一般社団法人 薬学教育評価機構

(調書)

## 薬学教育評価 基礎資料

(平成24年5月1日現在)

日本薬科大学薬学部薬学科

### 「基礎資料」作成上の注意事項

- 1 記述の対象となる年度が提示されていない場合は、自己点検・評価対象年度の5月1日 現在の数値を記述してください。平成25年度評価対象大学の場合は、自己点検・評価 対象年度の平成24年5月1日となります。
- 2 記述に際し、各シートの[注]を確認し、作成してください。
- 3 各シートの表中の表記例は、消去して作成してください。また、各シートに付されている[注]は消去しないでください。
- 4 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数 点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 5 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述するか、欄外に大学 独自の注をつけて説明を記してください。

### 6 提出形態について

- ・基本的にA4判で作成してください。
- ・表紙および目次を作成し、全体に通しページを付してください。
- ・両面印刷して加除が可能な体裁でファイル綴じにした印刷物を提出してください。
- ・カラー表記のあるページは、カラーで印刷してください。
- ・PDFファイルに変換したデータをCD-Rに保存し、提出してください。その際、自己 点検・評価書と同じCD-Rに保存しても結構です。

### 薬学教育評価 基礎資料

### (目次)

	資料概要	ページ
基礎資料1	学年別授業科目	1
基礎資料 2	在籍学生数	11
基礎資料3	薬学教育モデル・コアカリキュラム等のSBOs に該当する科目	14
基礎資料4	カリキュラムマップ	181
基礎資料 5	語学教育の要素	182
基礎資料 6	4年次の実務実習事前学習スケジュール	185
基礎資料7	学生受入状況における志願者数等について	199
基礎資料8	教員・事務職員数	201
基礎資料 9	専任教員年齢構成	202
基礎資料10	専任教員の担当授業科目および時間数	203
基礎資料11	卒業研究の配属状況	221
基礎資料12	講義室等の数と面積	222
基礎資料13	学生閲覧室等の規模	223
基礎資料14	図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	224
基礎資料15	専任教員の教育・研究業績	225

	1 年 次						
	科目名	前期・後期	人数/クラス	履修者数		授業方法	単位数
	ヒューマニズ <mark>ム</mark> I	前期	248/2	248	コ・S・オ		1
	<mark>ヒューマニズム</mark> I	後期	245/2	245	コ・オ		1
	イントロダク <mark>ション</mark>	後期	254/2	254	コ・オ		1
	早期体験学習	前期	248/1	248	コ・S・オ		1
	医療倫理学	後期	245/2	245	⊐		1
	地球環境概論	前期	247/2	247	⊐		1
	英語I	前期	246/6	246	⊐		1
	英語Ⅱ	後期	245/6	245	⊐		1
	数学入門 I	前期	253/4	253	⊐		1
	数学入門Ⅱ	後期	249/4	249	=		1
+/_	情報リテラシー	前期	248/4	248	=		1
¥ ↓ 養	国語表現論	前期	248/2	248	⊐		1
教 養 教 育	化学入門 I	前期	249/2	249	⊐		1
-	化学入門Ⅱ	後期	249/2	249	⊐		1
語学教	生物学入門 I	前期	251/2	251	⊐		1
教	生物学入門Ⅱ	後期	250/2	250	⊐		1
育	物理学入門 I	前期	250/4	250	⊐		1
	物理学入門Ⅱ	後期	251/4	251	⊐		1
	(択)哲学	前期・後期	38/1	38	⊐		2
	(択)心理学	前期・後期	212/2	212	⊐		2
	(択)法学	前期・後期	94/1	94	⊐·S		2
	(択)経営学	前期・後期	103/1	103	⊐		2
	(択)社会福祉学	) 前期・後期	54/1	54	⊐		2
	(択)英会話	前期・後期	133/2	133	⊐		2
	(択)ドイツ語	前期・後期	81/1	81	⊐		2
	(択)中国語	 前期・後期	34/1	34	⊐		2
	有機薬化学IA	前期	257/4	257	⊐		1
	有機薬化学 I B	後期	251/4	251	⊐		1
遊	理論化学 I	後期	255/4	255	⊐		1
学	薬品分析化学 I	後期	255/4	255	⊐		1
薬 学 専 門	薬用植物学	前期	251/2	251	⊐		1
	機能形態学IA	前期	255/2	255	⊐		1
自	機能形態学IB	後期	255/2	255	=		1
	生化学 I	後期	256/2	256	_		1
実習	基礎薬学実習 基礎薬学実習	後期	245/2	245			1
\ <del>+</del> 지근	薬学演習 I A	前期	255/2	255	コ・オ		1
演習	薬学演習 I B	後期	253/2	253	コ・オ		1
第 17 並 ~						(必須科目)	29
単位数の 合計						(選択科目)	6
						合計	35

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育 教養教育科目 語学教育科目 医療安全教育科目 生涯学習の意欲醸成科目 コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。

授業方法	
講義:	⊐
PBL/SGD:	s
自習:	ジ
オムニバス:	オ
その他:	タ

	2 年 次							
	科目名	前期・後期	人数/クラス	履修者数		授業方法		単位数
教	<mark>ヒューマニズ</mark> ムII	後期	194/2	194	⊐·S			1
学教育・	<mark>コミュニケー</mark> ション学	後期	191/1	191	⊐			1
育 .								
語								
	薬学英語入門 I	前期	196/2	196	⊐			1
	薬学英語入門Ⅱ	後期	197/4	197	コ・オ			1
	有機薬化学ⅡA	前期	195/4	195	⊐			1
	有機薬化学ⅡB	後期	197/4	197	⊐			1
	理論化学Ⅱ	前期	207/2	207	⊐			1
	生薬学Ⅰ	前期	201/2	201	⊐			1
	生薬学Ⅱ ····································	後期	195/2	195	⊐·S			1
	薬品分析化学Ⅱ	前期	199/2	199	⊐			1
	薬品物理化学 I	前期	199/2	199	⊐			1
	薬品物理化学Ⅱ	後期	202/2	202	⊐			1
	機器分析学Ⅰ	前期	196/2	196	⊐			1
	機器分析学Ⅱ	後期	200/2	200	⊐			1
薬	機能形態学ⅡA	前期	200/2	200	_			1
薬学専門	機能形態学ⅡB	後期	203/2	203	_			1
門 教	生化学ⅡA	前期	196/2	196	_			
育	生化学ⅡB	後期	195/2	195	_			
	微生物学 I 微生物学 II	前期	196/2 195/2	196 195				'
	細胞生物学	後期前期	211/2	211				1
	№ 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10	後期	200/2	200				'
	本来開エテェ  薬理学 I	前期	196/2	196	_ 			1 1
	薬理学ⅡΑ	後期	204/2	204	_ 			'
	病態生理学ⅠÅ	前期	205/2	205	_ 			1 1
	病態生理学IB	後期	198/2	198	_ 			1 1
	統合医療 I	前期	195/1	195	_ =			1
	生物薬剤学Ⅰ	後期	204/2	204	_			1
	薬物治療学Ⅰ	後期	206/2	206	_			1
	東洋医薬学概論	後期	197/2	197	<b>=</b>			1
			, -					
	 化学・物理系実習 Ⅰ	前期	193/2	193	<u> </u>			1
_+_ <del></del> -	化学・物理系実習Ⅱ	後期	190/2	190				1
実習	生物系実習	前期	194/2	194				1
	<mark>薬学総合実習</mark> (PBL)							
	薬学演習ⅡA	前期	195/2	195				1
<u>ು≐</u> ನನ	薬学演習 Ⅱ B	後期	195/1	195				1
演習	(択)情報処理演習 I	前期	127/2	127				1
	<b>(択)情報処</b> 理演習 Ⅱ	後期	62/2	62				1
		•				(必須科目)	•	36
単位数の 合計						(選択科目)		1
нн					_	合計		37

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育 教養教育科目 語学教育科目 医療安全教育科目 生涯学習の意欲醸成科目 コミュニケーンョン能力おより目己表規能 を身につけるための科日

3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。

授業方法
講義:コ
PBL/SGD : S
自習:ジ
オムニバス:オ
その他:タ

(基礎資料1-3)学年別授業科目 平成21、22年度 薬学科(3学科制)カリキュラム 平成22年度入学生

	科目名	前期・後期	人数/クラス	履修者数		授業方法	単位数
数	ヒューマニズムⅣ		212/2	212			1
教養教育・							
	薬学英語 I	前期	211/2	211			1
	医薬品化学 I	前期	213/2	213	⊐		1
	医薬品化学Ⅱ	後期	212/2	212	⊐		1
	創薬化学	前期	211/2	211	⊐		1
	天然物化学	前期	209/2	209	⊐		1
	薬品製造化学	後期	211/2	211	⊐		1
	公衆衛生学Ⅱ	前期	212/2	212	⊐		1
	環境衛生学 I	前期	212/2	212	コ		1
	環境衛生学Ⅱ	後期	213/2	213	⊐		1
	免疫学 I	前期	212/2	212	コ		1
	免疫学Ⅱ	後期	214/2	214	コ		1
	遺伝子工学	前期	210/2	210	コ・タ		1
	微生物薬品学	後期	215/2	215	コ		1
	薬理学ⅡB	前期	212/2	212	⊐		1
	薬理学ⅢA	後期	214/2	214	⊐		1
	病態生理学ⅡA	前期	212/2	212	⊐·S		1
薬	病態生理学ⅡB	後期	213/2	213	⊐·S		1
学 専	医薬品情報学	前期	214/2	214	コ		1
門 教	生物薬剤学Ⅱ	前期	210/2	210	コ・オ		1
叙 育	薬物治療学ⅡA	前期	212/2	212	⊐		1
	薬物治療学ⅡB	後期	213/2	213	⊐		1
	物理薬剤学	後期	213/2	213	⊐		1
	薬剤学 I A	前期	210/2	210	⊐		1
	薬剤学 I B	後期	212/2	212	⊐		1
	日本薬局方	前期	209/2	209	コ		1
	処方解析学 I	後期	212/2	212	⊐		1
	薬物代謝安全性学	前期	213/2	213	⊐		1
	食品栄養学 I (健)	前期	38/2	38	⊐		1
	(択・医)食品栄養学Ⅱ(健)	後期	107/2	107	⊐		1
	東洋医薬学概論(健・医)	前期	169/1	169	⊐		1
	民間薬概論(漢)	前期	41/1	41	⊐		1
	漢方理論(漢)	後期	41/1	41	⊐		1
	(択・健医)漢方薬剤学(漢)	後期	59/2	59	⊐		1
	新薬論(医)	前期	131/1	131	⊐		1
	(択・健)薬局管理学(医)	後期	155/1	155	⊐		1
	(択・漢)漢方生薬化学	後期	18/1	18	⊐		1
	衛生系実習 I	前期	209/2	209			1
	衛生系実習Ⅱ	前期	212/2	212			1
⊐ য়হ	薬理系実習	後期	211/2	211			1
習	基幹実習(健)	前期	38/1	38			1
	基幹実習(漢)	前期	40/1	40			1
	基幹実習(医)	前期	131/2	131			1
<b>4</b> pe	薬学演習ⅢA	前期	210/1	210			1
習	薬学演習ⅢB	後期	212/2	212			1
						(必須科目)	37
対の				_		(選択科目)	<del></del>

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育
 教養教育科目
 語学教育科目

医療安全教育科目

生涯学習の意欲醸成科目

コミュニケーション能力および自己表現能力を身につけるための科目

3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで記入してください。

授業方法 講義:コ PBL/SGD:S 自習:ジ オムニバス:オ その他:タ

- 6 行は適宜加除し、記入してください。
- [注] 科目名(\*):各学科の必修科目 (択・\*)科目名(\*):学科によって必修・選択の区分が異なる。 選択科目は3,4年次に1単位を取得することになっているため、選択しない場合は合計単位数は37単位となる。

	4 年 次							
	科目名	前期·後期	人数/クラス	履修者数		授業方法		単位数
語 学教育 ・								
	薬学英語Ⅱ	前期	170/2	170	٦			1
	ゲノム科学 I	後期	170/2	170	⊐			1
	臨床薬学 I	前期	170/2	170	⊐			1
	薬理学ⅢB	前期	170/2	170	⊐			1
	薬物治療学ⅢA	前期	170/2	170	⊐			1
	<mark>薬物治療学ⅢB</mark>	後期	170/2	170	⊐			1
	薬物動態学	前期	170/2	170	⊐			1
	薬剤学Ⅱ	前期	170/2	170	⊐			1
澎	医療統計学	前期	170/2	170	⊐			1
薬学専門教育	<mark>処方解析学 Ⅱ</mark>	前期	170/2	170	⊐			1
専門	統合医療Ⅱ	前期	170/2	170	⊐			1
教	薬事関係法規 I	前期	170/2	170	⊐			1
Ħ	薬事関係法規Ⅱ	後期	170/2	170	⊐			1
	臨床検査学	後期	170/2	170	⊐			1
	(択・漢医)機能性食品学(健)	前期	52/1	52	⊐			1
	(択・漢医)臨床栄養学(健)	前期	33/1	33	⊐			1
	(択・健医)漢方処方学(漢)	前期	41/1	41	コ・オ			1
	(択・健医)臨床漢方治療学 I (漢)	前期	77/1	77	⊐			1
	(択・健漢)臨床医学概論(医)	前期	116/1	116	⊐			1
	(択・健漢)臨床薬学Ⅱ(健・漢・医)	前期	105/1	105	コ・オ			1
	実務実習プレ教育	前期・後期	170/2	170				7
実習	薬剤系実習	前期	170/2	170				1
, , , i	実務系実習	後期	170/2	170				1
	薬学総合演習IA	前期	170/1	170				2
演習	薬学総合演習 I B	後期	170/1	170				2
						( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		00
単位数の						(必須科目)		29
合計						(選択科目)		0
						合計		29

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を

付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育 教養教育科目 語学教育科目 医療安全教育科目 生涯学習の意欲醸成科目 コミュニケーション能力および自己表現能力 を身につけるための科目

3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。

授業方法 講義:コ PBL/SGD : S 自習:ジ オムニバス:オ その他:タ

6 行は適宜加除し、記入してください。

[注] 科目名(\*):各学科の必修科目

(択・\*)科目名(\*):学科によって必修・選択の区分が異なる。 選択科目は3,4年次に1単位を取得することになっているため、4年次に選択した場合は合計単位数は29単位となる。

	5 年 次							
	科目名	前期・後期	人数/クラス	履修者数		授業方法		単位数
新 新 養 教 育 ・								
薬学専門教育	ゲノム科学Ⅱ 医薬品開発論 一般用医薬品学 医療と療療 を変ををではいる。 を変ををでは、のでは、のででは、のででででは、のででででででできます。 を変には、のででできます。 を変には、のででできます。 を変には、のでできます。 を変には、のでできます。 を変には、のでできます。 を変には、のでできます。 を変には、のでできます。 できまする。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できまます。 できままます。 できまます。 できままます。 できままます。 できまままままま。 できままままままま。 できままままままま。 できままままままま。 できまままままままままま	前前前前前前後後後前後前前期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期期	125/1 125/1 125/1 125/1 125/1 17/1 18/1 31/1 22/1 72/1 39/1 39/1 69/1 69/1	125 125 125 125 125 17 18 31 22 72 39 39 69	コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ コ			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	<mark>実務実習</mark> 卒業研究	前期·後期 前期·後期	125 125	125 125				20 4
演習								
単位数の 合計	Ø					(必須科目) (選択科目) 合計		31 1 32

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。

ヒューマニズム教育・医療倫理教育 教養教育科目 語学教育科目 医療安全教育科目 生涯学習の意欲醸成科目 コミュニケーンョン能力おより目己表現能 を身につけるための科目

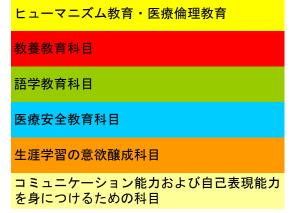
- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
- [注] 科目名(\*):各学科の必修科目

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。

授業方法 講義:コ PBL/SGD : S 自習:ジ オムニバス:オ その他:タ

	6 年 次							
	科目名	前期・後期	人数/クラス	履修者数		授業方法		単位数
語学教育 高学教育。								
	POS実践論	前期	152/1	152	⊐			1
	薬物動態学Ⅱ	前期	152/1	152	⊐			1
	ストレス学(健)	前期	23/1	23	⊐			1
	医薬品食品相互作用学(健)	前期	23/1	23	⊐			1
	(択)緩和医療実践学	前期	28/1	28				1
薬	(択)応用薬物治療学	前期	8/1	8				1
薬学専門教	(択)臨床薬物動態学	前期	7/1	7				1
門数	(択) スポーツ薬学	前期	109/1	109				1
育	本草学Ⅱ(漢)	前期	41/1	41	⊐			1
	臨床漢方治療学Ⅲ(漢)	前期	41/1	41	⊐			1
	薬剤疫学(医)	前期	88/1	88	⊐			1
	病態解析学(医)	前期	88/1	88	コ・オ			1
	<mark>卒業研究</mark>	前期・後期	152	152				4
	実務実習ポスト教育	前期	152/1	152				1
<b>⇔</b> 33								
実習								
	薬学総合演習 Ⅱ	前期・後期	152/1	152				4
演習								
<b>次日</b>								
出仕事で						(必須科目)		13
単位数の 合計						(選択科目)		1
			合計		14			

- [注] 1 教養教育・語学教育は、基本的に履修者がいる科目について 記入してください。
  - 2 上記の「科目の識別」にそって、該当する科目に「色」を 付してください。



- 3 選択科目については、頭に「(択)」と記してください。
- [注] 科目名(\*):各学科の必修科目

- 4 実習は1組(実習グループ)の人数を記入してください。
- 5 表には下の「授業方法」にそって、主な方法を最大3種類まで 記入してください。

授業方法				
講義	:	П		
PBL/SGD	:	s		
自習	:	ジ		
オムニバス	:	オ		
その他	:	タ		

### (基礎資料1-7) 学年別授業科目

### 平成23、24年度 薬学科(3コース制)カリキュラム

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	9	34
教養教育科目	20	25
語学教育科目	9	12
医療安全教育科目	17	42
生涯学習の意欲醸成科目	3	3
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	19	51

### (2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単数を合算して記入してください。

<b>* *</b>	単位数					
学年	必須科目	選択科目	合計			
1 年 次	29	6	35			
2 年 次	36	1	37			
3 年 次	39	0	39			
4 年 次	27	0	27			
5 年 次	32	1	33			
6 年 次	14	1	15			
合計	177	9	186			

### (基礎資料1-7) 学年別授業科目

### 平成21、22年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	10	34
教養教育科目	20	25
語学教育科目	9	12
医療安全教育科目	18	43
生涯学習の意欲醸成科目	3	3
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	19	51

### (2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単数を合算して記入してください。

<b>#</b> #		単位数	
学年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	29	6	35
2 年 次	36	1	37
3 年 次	37	1	38
4 年 次	29	0	29
5 年 次	31	1	32
6 年 次	13	2	15
合計	175	11	186

<sup>\*∶3</sup>年次選択科目は4年次で取得することもできる。

### (基礎資料1-7) 学年別授業科目

### 平成19、20年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

(基礎資料1-1)から(基礎資料1-6)までの結果から下記の(1)および(2)を記入してください。

(1) 下表の「合計科目数」および「単位数」を記入してください。

科目の識別	合計科目数	合計単位数
ヒューマニズム教育・医療倫理教育	5	30
教養教育科目 	20	33
語学教育科目	5	10
医療安全教育科目	14	41
生涯学習の意欲醸成科目	1	1
コミュニケーション能力および自己表現能力を 身につけるための科目	15	48

### (2) 学年別授業科目の表から前期と後期の単数を合算して記入してください。

<b>#</b> #		単位数	
学年	必須科目	選択科目	合計
1 年 次	27	8	35
2 年 次	35	3	38
3 年 次	37	1	38
4 年 次	29	0	29
5 年 次	31	1	32
6 年 次	13	1	14
合計	172	14	186

<sup>\*∶3</sup>年次選択科目は4年次で取得することもできる。

(基礎資料2-1)在籍学生数

			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	<b>∳</b> □	수計	
	入学5	入学定員数	260	260	320	320	320	320	1, 800	٨	
入学年度 における	編入5	編入定員数	I	-	I	I	I	ı	Ι	Δ	
	入学	入学者数	245	203	222	270	250	321	1, 511		
	各学年のを	各学年の在籍学生数	262	210	235	249	154	228	1, 338	O	
	編入学生数(内)	.数 (内)	0	2	2	0	0	0	4	۵	
	留年者数(内)	(四)	11	21	21	16	2	1	8/		
		平成18年度	0	-	2	8	-	-	13		
一口目		平成19年度	0	3	വ	-	-		10		
おける		平成20年度	0	4	6	7			20		
	留年者の 入学年度	平成21年度	-	3	വ				6		
		平成22年度	-	10					11		
		平成23年度	15						15		
		平成24年度									
	C / (A+B)		0.74								
	D/B		Ι								

「 $\mathsf{C} \diagup$ ( $\mathsf{A} + \mathsf{B}$ )」と「 $\mathsf{D} \diagup \mathsf{B}$ 」については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。 世

2 「編入学生数(内)」および「留年者数(内)」は、「各学年の在籍学生数」の内数を記入してください。

(基礎資料2-2) 在籍学生数:休学者数および退学者数

	平成1	平成19年度	平成	平成20年度	平成2	平成21年度	平成22年度	2年度	平成23年度	3年度	平成24年度	4年度
総在籍学 生数	(1134 (601)	(601)	940	940 (265)	81) 168	(18)	1019	6	1090	06	1338	88
	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数	休学者数	退学者数
1年次	(0) 8	46 (0)	(0) 6	(0)	6	41 (0)	4	28	4	21	1	0
2年次	2 (1)	19 (5)	3 (0)	52 (4)	9	24 (0)	14	19	3	14	2	-
3年次	(1)	(8) 8	3 (2)	20 (16)	3	(0) L	2	91	1	10	0	0
4年次	(0) 0	2 (2)	(0) 0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
5年次				0			-	0	0	0	-	0
6年次				0					1	0	0	0
合計	6 (2)	75 (15)	15 (2)	123 (20)	18	72 (0)	21	63	11	46	4	1

主] 自己点検・評価対象年度以外は年度末の現状を記入してください。

( ) は旧4年制度学生の内数

備考:①平成24年度は5月1日現在(平成24年4月1日~5月1日の休学者及び退学者)を示す。

備考:②平成19年度~23年度の総在籍学生数は、それぞれの年度の5月1日現在の人数から、5月2日以降の退学者、除籍者、年度末に卒業した学生および転学科生を差し引いた数を示す。

備考:③上記表に、除籍者、転学科生は含まれていない。

備考:④平成21年度除籍者5名、平成22年度除籍者2名、平成23年度除籍者4名

備考:⑤平成23年度の5月2日以降の退学者は44名である。

備考:⑥平成23年度末から24年度のかけての転学科生は10名である。1090名は、転学科した後の数である。

備考:⑦平成22年度末から23年度にかけての転学科生は11名である。1019名は、転学科した後の数である。

(基礎資料2-3) 学士課程修了状況

		平成23年度 (平成24年3月卒業)	平成24年度 (平成25年3月卒業)	平成25年度 (平成26年3月卒業)	平成26年度 (平成27年3月卒業)	平成27年度 (平成28年3月卒業)	平成28年度 (平成29年3月卒業)			† #	
		76 名	150 名	各	始	各	各	入学者総数	%数	4 (%)	
<b>₩</b>	業 者 総 数	111 (平成24年9月卒業含 名 む)	名	名	み	各	名				
		76 名	名	¥	t,	¥	¥			平成24年3月卒	24.4%
	平成18年度入学者	35 (平成24年9月卒業) 名	名	<b>名</b>	<del>L</del>	<del>'</del>	<b>4</b>	平成18年度	311 名	平成24年9月卒	11.3%
			20 名							平成25年3月卒	6.4%
卒業者の	平成19年度入学者	0 名	130 名	名	各	岁	名	平成19年度	321 名	平成25年3月卒	40.5%
人十十人 公共 化	平成20年度入学者	0 名	0 名	名	各	各	名	平成20年度	252 名		
	平成21年度入学者	0 名	0 各	名	名	名	名	平成21年度	272 名		
	平成22年度入学者	0 名	0 名	名	各	名	名	平成22年度	223 名		
	平成23年度入学者	0 名	0 名	名	各	各	名	平成23年度	203 名		

## 平成23、24年度 薬学科(3コース制)カリキュラム

# (基礎資料3一1)薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

- [注] 1 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の欄に記入してください。
  - 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。

Ø

			数	本目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 全学年を通して:ヒューマニズムについて学ぶ						
(1) 生と死						
【生命の尊厳】						
2. 子菜花 一般并分出来多出,绿叶 电计 大鸡乡一	Lューマニズム I		ヒューマニズムⅣ			
1)人の避土、及女、加勵、光の息味で右浜し、引織98。(知殿・悠茂)	社会福祉学		医療系実習			
	I カズニアーセコ					
2)誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明 できる。	医療倫理学		ヒューマニズムⅣ	ゲノム科学 I		
	哲学					
3)医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。	Lューマニズム I		ヒューマニズムⅣ			
	I カズニアーセコ		ヒューマニズムⅣ			
4)死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。	医療倫理学		医療系実習			
	哲学					
5) 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)	Lユーマニズム I		医療系実習			
【医療の目的】						
	Lューマニズム I					
1)予防、治療、延命、QOLについて説明できる。	医療倫理学	統合医療 I	統合医療Ⅱ			
	社会福祉学					
【先進医療と生命倫理】						
1)医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を 	ヒューマニズム I			ゲノム科学 1		
概説できる。	哲学					
(2) 医療の担い手としてのこころ構え						
【社会の期待】						
1)医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。(態度)			臨床薬学 I			
- 2)医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する。(知識・態度)	ヒューマニズム I  法学	統合医療 I	統合医療Ⅱ			
十二十世第二十十十八二十八十二十十五十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二			臨床薬学 I			
3) 医療の担い手にかさわしい態度を示り。 (態度)	社会福祉学					
【医療行為に関わるこころ構え】						
1)ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。	ヒューマニズムI 法学					
2)医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。	トューマニズムⅡ		医薬品情報学	臨床医学概論		
ソ	医療倫理学工具					
4)患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度)	¥ ¥					
5)医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	ヒューマニズム I 法学					

			計			
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【研究活動に求められるこころ構え】						
1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。	ITXニとーェコ					
・態度を身につける。(態度)	法学					
3) 中の研究者の音目を理解し、計論する能力を身にしける。(能度)	ヒューマニズム I 医癖倫理学					
/ 大学/ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大学					
【医薬品の創製と供給に関わるこころ構え】						
1) 医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度)	ITXニとーェコ					
2) 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	法学					
【自己学習·生涯学習】						
1) 医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。(知識・技能・態度)	II サズニとーェコ		ヒューマニズムIV			
2) 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	法学					
(3) 信頼関係の確立を目指して						
[コミュニケーション]						
1) 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。		1 1				
2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。	<b>计</b> 公指址	コミュニケーション科				薬局管理学
3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。		薬学総合実習(PBL)				
【相手の気持ちに配慮する】						
1)対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。	<b>秦</b> 垂①	, ш, г,				
2) 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度)		`	医療系実習			
3) 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)		来子榕古夫首 (FDL)				
【患者の気持ちに配慮する】						
1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。						
2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)	1年 4年					
3) 患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)		ヒューマニズム皿	医療系実習			
4) 患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。(態度)						
5) 不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度)	社会福祉学					
[+-47-5]						
1)チームワークの重要性を例示して説明できる。		1				
2) チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)		ヒューマニスムⅢ 薬学総合実習(PBL)				
3) 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)						
【地域社会の人々との信頼関係】						
1)薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。	<b>补</b> 合恒补带		医療系実習			
2)薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)		\				

条子教育モナル・コアカリキュフム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
B イントロダクション						
(1) 薬学への招待						
【薬学の歴史】						
1) 薬学の麻中的た流力 ノ医痺に ゼニケ 薬学が用 サー アキナ 沿割 を押部 がま み				漢方薬剤学		
米ナの歴文的な測れて区境にあい、七米ナが木としてそに区割で物配とよる。	イントロダクション			漢方生薬化学		
2)薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。						
【薬剤師の活動分野】						
1)薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。					医療経済学	
医梅チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。					香粧品科学感染制御学	
	イントロダクション 一					
医薬品の創製における薬剤師の役割につ	<u> </u>					
5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。					感染制御学	
[薬について]						
1)「薬とは何か」を概説できる。						
2)薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。				漢方生薬化学		
3) 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。	イントロダクション					
4) 種々の剤形とその使い方について概説できる。						
5) 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。	粉	統合医療 I	統合医療Ⅱ	漢方薬剤学	香粧品科学	
【現代社会と薬学との接点】						
1) 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。						
2) 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。	イントロダクション			漢方生薬化学		
3)薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。						
【日本薬局方】						
1) 日本薬局方の意義と内容について概説できる。			日本薬局方			
【総合演習】						
1) 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(態度)	イントロダクション					
2) 身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。(技能)						
(2) 早期体験学習						
<ul><li>1)病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。</li></ul>						
)開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。(知識・態度)	早期体験学習 —					
3) 製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割 について討議する。(知識・態度)						
4)保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。(知識・態度)						

			新	平		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
C 薬学専門教育						
[物理系薬学を学ぶ]						
C1 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
【化学結合】						
1) 化学結合の成り立ちについて説明できる。	181					
2) 軌道の混成について説明できる。	-16·47-11					
3)分子軌道の基本概念を説明できる。						
4)共役や共鳴の概念を説明できる。						
【分子間相互作用】						
1)静電相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門 I					
2) ファンデルワールス力について例を挙げて説明できる。	  理論化学 I					
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	1 元 77 元 11					
4)分散力について例を挙げて説明できる。						
5)水素結合について例を挙げて説明できる。	化学入門 I	細胞生物学				
	理論化学 I					
6) 電荷移動について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
7) 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門 I 理論化学 I					
[ 原子・分子]						
		機器分析学 1				
・ はん						
2.5%割、回47、 2.7.7.4 ∈ 接信井	-理論化学 I					
ガナの対例と対象十十一メントについて説明でする。 おまなもくきょく シュー・ギョウ・ 神子・で間子・ギョナ・ 一十	1 班子第一部					
り、仁衣町みが九人へクトルを測にし、角道との選連を説明できる。(知識・女能)の、「后当さればない」と、「おはままして、「おいまます」	<b>奉</b> 從					
	1 张 / 沙田	世界 公许沙里				
		H -F 10 C 24 A				
[放射線と放射能]						
1)原子の構造と放射壊変について説明できる。						
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。						
	物理学入門工理論化学工					
4) 核反応および放射平衡について説明できる。						
5) 放射線の測定原理について説明できる。						
(2) 物質の状態 I						
[総論]						
1)ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	薬学演習 I B (化学)					
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	物理学入門工	理論化学工				
3) エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。						

1 1 1 1			該	西田		
楽子牧月モナル・コノルリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[工本ルギー]						
1)系、外界、境界について説明できる。						
2) 状態関数の種類と特徴について説明できる。	H	一番がい場合				
3)仕事および熱の概念を説明できる。	-	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
4)定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。		18年7年4年3年				
4.7日次7.7日44.7.7.1日末,建步上森	-	. 物理形米目				
	物理学入門Ⅱ					
6)代表的な過程(変化)における熱と仕事を計算できる。(知識、技能)		田塚子彩田				
7)エンタルピーについて説明できる。	7	1 十二 1 十二 1				
8) 代素的な物理亦化 ・ 化学亦化に伴っ 種雑 エンタ リピー 亦化を背間 「 計管 がまる						
こなごのを分えていて、コイン・ボイーノングロータにの見らい、コギンのでの、と思い	<u> </u>	化学・物理系実習エ				
9)標準生成エンタルピーについて説明できる。	H	理論化学工				
[自発的な変化]						
1)エントロピーについて説明できる。		里論化学工				
2)熱力学第二法則について説明できる。	が は アイブロー ジョン・ディー ジョン・ディー アイ・ファイン アイ・ファイン アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	薬品分析化学工				
3)代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロピー変化を計算できる。(知識、技能)						
4)熱力学第三法則について説明できる。		工作人於田				
5) 自由エネルギーについて説明できる。	1	- <del>-</del> 1				
6)勢力学閏数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。(知識、技能) —						
	TAN	薬品分析化学工				
7) 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。		世紀 小砂 二				
8)自由エネルギーと平衡定数の温度依存性(van't Hoffの式)について説明できる。						
9)共役反応について例を挙げて説明できる。						
(3) 物質の状態 II						
[物理平衡]						
1)相変化に伴う熱の移動(Glausius-Clapeyronの式など)について説明できる。						
2) 相平衡と相律について説明できる。	In					
3)代表的な状態図(一成分系、二成分系、三成分系相図)について説明できる。	.N	大田勿年10十1				
4)物質の溶解平衡について説明できる。	薬学演習 1 B (化					
		薬品物理化学工				
	1	化学・物理系実習エ				
6) 界面における平衡について説明できる。	TAN	薬品物理化学 I				
7) 吸着平衡について説明できる。						
8)代表的な物理平衡を観測し、平衡定数を求めることができる。(技能)				薬剤系実習		

		路	はない。		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年 3年	=	5年	6年
[溶液の化学]					
1)化学ポテンシャルについて説明できる。	理論化学 I 瀬 品 物 組 化 沙 I	7. 工作用于			
ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1.1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1			
石里 C 石里 京教 こうごう 記め この の。	米田名	#10+ a			
3)平衡と化学ポテンシャルの関係を説明できる。	本語による   薬品物理化学	ナユ 理化学 I			
4) 電解質のモル伝導度の濃度変化を説明できる。					
5) イオンの輸率と移動度について説明できる。	薬品物理化学	里化学工			
6) イオン強度について説明できる。					
7)電報智の活量体数件(Dehve-Hiicke)の式)について説明できる。	薬品物理化学	里化学 I			
电符号 O.7D 単 所致の/版/文体打II(Nobye Huckel O.44) I- Jo. て配わての	薬品物理化学	里化学 I			
【電気化学】					
1)代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。					
2)標準電極電位について説明できる。					
3)起電力と標準自由エネルギー変化の関係を説明できる。	神				
4) Nernstの式が誘導できる。	米田多田光———————————————————————————————————	十二冊			
5)濃淡電池について説明できる。					
6) 膜電位と能動輸送について説明できる。					
(4)物質の変化					
【反応速度】					
1) 反応次数と速度定数について説明できる。					
2) 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)	化人田季 口辨	一 北 之 田			
3)代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	米田松				
4)代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)	;				
	化学・物理系	物理系実習工			
5)代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。		里化学工			
6)反応速度と温度との関係(Arrheniusの式)を説明できる。	化学・	・物理系実習エ			
7) 衝突理論について概説できる。					
8) 遷移状態理論について概説できる。	14 日				
9)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応など)について説明できる。		11.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1			
10) 酵素反応、およびその拮抗阻害と非拮抗阻害の機構について説明できる。					
【物質の移動】         (物質の移動】					
1) 拡散および溶解速度について説明できる。					
2) 沈降現象について説明できる。	薬品物理化学	理化学 I			
3) 流動現象および粘度について説明できる。					

			新絳	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
C2 化学物質の分析						
(1) 化学平衡						
【酸と塩基】						
1)酸・塩基平衡を説明できる。						
2)溶液の水素イオン濃度(pH)を測定できる。(技能)		機器分析学工	日本薬局方			
3)溶液のpHを計算できる。(知識・技能)	英四公拓化学 1					
4)緩衝作用について具体例を挙げて説明できる。						
化非分子资格法人共享 口夕仓留割计 尤指旧火 乡 2	( <b>社</b>					
に な 的 な 様 里 液 の 特 頃 と た の 非 昨 で … こ こ か っ む	薬品分析化学 I					
6)化字物質のpHによる分子形、イオン形の変化を説明できる。 						
【各種の化学平衡】						
1) 錯体・キレート生成平衡について説明できる。		工祭化井公口菜				
2) 沈殿平衡(溶解度と溶解度積)について説明できる。		米田刀们儿子工				
3)酸化還元電位について説明できる。						
4)酸化還元平衡について説明できる。						
5) 分配平衡について説明できる。						
6) イオン交換について説明できる。						
(2) 化学物質の検出と定量						
【定性試験】						
1) 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。	薬品分析化学 I					
2)日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		化学・物理系実習エ				
3)日本薬局方収載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。						
【定量の基礎】						
1) 実験値を用いた計算および統計処理ができる。(技能)		化学・物理系実習エ				
2) 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。						
3)日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。						
4) 日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。						
5)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。						
【容量分析】						
1) 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		化学・物理系実習エ				
2)非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
3)キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。			十四样十二			
4) 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		井口へ大から	口个米向力			
5)酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		米田万何七十二				
6)電気滴定(電位差滴定、電気伝導度滴定など)の原理、操作法および応用例を説明できる。						
		化学・物理系実習エ				
7)日本楽局万収載の代表的な医楽品の容量分析を実施できる。(技能)						

			松	一		
薬字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[金属元素の分析]						
1)原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。		1 完	日本薬局方			
2)発光分析法の原理、操作法および応用例を説明できる。		(城命 )   1     十				
[クロマトグラフィー]						
1) クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。			平 回 操 平 口			
2) クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。		機器分析学 I	口个米司力			
3) 溥層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な 化学物質を分離分析できる。(知識・技能)		化学・物理系実習 I				
		化学・物理系実習エ				
(3)分析技術の臨床応用						
【分析の準備】						
1) 代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取扱いができる。(技能)		機器分析学 I				
2) 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。						
[分析技術]						
1) 陪庄公托の公晤が用いたわる伴事的か公托注を到券が考え			日本薬局方			
踊不力 作うろうまって 吊っこうしょうしょくほう・イン		機器分析学工				
2) 免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。						
<b>3)酵素を田ハた伴素的か分析注の</b>		機器分析学 I				
昨年 なだし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			臨床検査学			
4) 電気泳動法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)						
5)代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。		機器分析学工				
6)代表的なドライケミストリーについて概説できる。						
7)代表的な画像診断技術(X線検査、CIスキャン、MRI、超音波、核医学検査など)について概説 できる。						
8) 画像診断薬(造影剤、放射性医薬品など)について概説できる。						
9) 薬学領域で繁用されるその他の分析技術(バイオイメージング、マイクロチップなど)について概説できる。						
[薬毒物の分析]						
1) 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。			薬物代謝安全性学		蜂幣化物	
2)代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)のスクリーニング法を列挙し、説明できる。					ᄣᇑᄧᄓᅩ	
3)代表的な中毒原因物質を分析できる。(技能)			衛生系実習エ			

•			談	本		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
G3 生体分子の姿・かたちをとらえる						
(1) 生体分子を解析する手法						
【分光分析法】						
1) 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
2) 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。			日本薬局方			
3) 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		機器分析学 I				
4)電子スピン共鳴(ESR)スペクトル測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
5) 旋光度測定法(旋光分散)、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について 説明できる。		機器分析学工	日本薬局方			
6)代表的な生体分子(核酸、タンパク質)の紫外および蛍光スペクトルを測定し、構造上の特徴と関連付けて説明できる。(知識・技能)						
【核磁気共鳴スペクトル】						
1)核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。		1 崇井公斋辦				
2)生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。		液布刀引于 1				
【質量分析】						
1)質量分析法の原理を説明できる。		機器分析学工				
7 年 7 日 张 4 1 1 7 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		機器分析学 I				
2)生体分子の発付への具重分析の心治のにしていて説明できる。		機器分析学工				
【X線結晶解析】						
1) X線結晶解析の原理を概説できる。		工崇井公布新				
2)生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。						
【相互作用の解析法】						
1)生体分子間相互作用の解析法を概説できる。						
(2) 生体分子の立体構造と相互作用						
【立体構造】						
1) 生体分子(タンパク質、核酸、脂質など)の立体構造を概説できる。	理論化学 I					
2) タンパク質の立体構造の自由度について概説できる。						
3) タンパク質の立体構造を規定する因子(疎水性相互作用、静電相互作用、水素結合など)について、具体例を用いて説明できる。		細胞生物学				
4) タンパク質の折りたたみ過程について概説できる。						
5) 核酸の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。						
6) 生体膜の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。		薬品物理化学 I				
【相互作用】						
1) 鍵と鍵穴モデルおよび誘導適合モデルについて、具体例を挙げて説明できる。						
2) 転写・翻訳、シグナル伝達における代表的な生体分子間相互作用について、具体例を挙げて説明 できる。						
3) 脂質の水中における分子集合構造(膜、ミセル、膜タンパク質など)について説明できる。		薬品物理化学 I				
4)生体高分子と医薬品の相互作用における立体構造的要因の重要性を、具体例を挙げて説明できる。						

			談	4 目		
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C4 化学物質の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質						
【基本事項】						
1) 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。						
2)薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。						
3) 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。						
4) 有機反応における結合の開裂と生成の様式について説明できる。						
5)基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説できる。	有機薬化学 I A					
6) ルイス酸・塩基を定義することができる。						
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン)の構造と性質 を説明できる。						
8) 反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。						
9) 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。						
[有機化合物の立体構造]						
1)構造異性体と立体異性体について説明できる。	有機薬化学 I A					
	<b>↓</b>					
	ルナベニュ 有機薬化学 IB					
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。						
4) ラセミ体とメソ化合物について説明できる。						
5)絶対配置の表示法を説明できる。	有機薬化学IB					
6)Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。						
7) エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。	有機薬化学IA					
【無機化合物】						
1) 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。						
2) 代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。	化学入門工					
3)窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。						
4) イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。						
5) 代表的な無機医薬品を列挙できる。						
【錯体】						
1) 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。						
2)配位結合を説明できる。						
3) 代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。						
4)錯体の安定度定数について説明できる。						
5)錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。						
6) 錯体の反応性について説明できる。						
フ)医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。						

			新维	超		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
(2) 有機化合物の骨格						
[アルカン]						
1) 基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。	有機薬化学 I A					
2)アルカンの基本的な物性について説明できる。	化学入門工					
3)アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。						
)シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明でき						
	有機薬化学 I A					
6)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。						
7) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。						
【アルケン・アルキンの反応性】						
1)アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。						
2)アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。						
3) アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性 (Markovnikov 則) について説明できる。						
4)カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。	有機薬化学 I V 有機薬化学 I B					
5) 共役ジェンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。						
6)アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。						
フ)アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。						
【芳香族化合物の反応性】						
1) 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。						
2)芳香族性(Hückel則)の概念を説明できる。	化学入門工					
3)芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。		有機薬化学IIA				
4) 芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。						
5) 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。						
(3)官能基						
【概説】						
1)代表的な官能基を列挙し、個々の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。						
2)複数の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。	有機薬化学IA					
3)生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。						
4)代表的な官能基の定性試験を実施できる。(技能)		1 照中多田野、張小				
5) 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)	基礎科学実習	· 勿垤氷头				
6) 日常生活で用いられる化学物質を官能基別に列挙できる。						
[有機ハロゲン化合物]						
1) 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。						
2)求核置換反応(Sulおよび Su2反応)の機構について、立体化学を含めて説明できる。	有機薬化学 I B					
3) ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff則)を 説明できる。						

			松	本		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
<b>【アルコール・フェノール・チオール】</b>						
1) アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	化学入門工					
2) フェノール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機薬化学IIA				
3) フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。						
[エーテル]						
1) エーテル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		1 日本学生				
2) オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。		カラス A T T T T T T T T T T T T T T T T T T				
【アルデヒド・ケトン・カルボン酸】						
1)アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。	1 開工					
2) カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	16+711	有機薬化学IIB				
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル)の代表的な性質と 反応を列挙し、説明できる。						
[アミン]						
1)アミン類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。						
2)代表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができる。	化学入門工	白飯米几子 TA				
【官能基の酸性度・塩基性度】						
1)アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。		有機薬化学IIA				
2)アルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。						
3) 含窒素化合物の塩基性度を説明できる。		有機薬化学IIA				
(4) 化学物質の構造決定						
【総論】						
1) 化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。						
['H NMR]						
1)NMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。						
3) 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。						
4)重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。		機器分析型 1				
5)「H MMRの積分値の意味を説明できる。		1 E 10. C 185 %				
6) 「H MMRシグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する理由と、分裂様式を説明できる。						
7)「H MMRのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。						
8)代表的化合物の部分構造を <sup>I</sup> H NMR から決定できる。(技能)						
I 13C NMR]						
1) <sup>13</sup> C NMRの測定により得られる情報の概略を説明できる。		数据公许池 1				
2)代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。						
[IRスペクトル]						
1)IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。		1 池 井八 品 難				
2) IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)		被命刀¶ ≠ 1				
【紫外可視吸収スペクトル】						
1) 化学物質の構造決定における紫外可視吸収スペクトルの役割を説明できる。		機器分析学 I				

(9)03) 711-4二十个下:"计工种标准撰			無 雞	科目		
米子牧月モンル・コノルリオエノム(3DOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[マススペクトル]						
1)マススペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。						
3) ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明ができる。						
4)塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。		機器分析学 I				
5) 代表的なフラグメンテーションについて概説できる。						
6)高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。						
7) 基本的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)						
【比旋光度】						
1)比旋光度測定法の概略を説明できる。						
2) 実測値を用いて比旋光度を計算できる。(技能)		1 作出公常報				
3)比旋光度と絶対配置の関係を説明できる。		医布刀机 十1				
4) 旋光分散と円二色性について、原理の概略と用途を説明できる。						
【総合演習】						
1)代表的な機器分析法を用いて、基本的な化合物の構造決定ができる。(技能)		機器分析学 I				

/ H = + 4 L				科 目		
米子秋月モナル・コノム・スロロS/	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C5 ターゲット分子の合成						
(1) 官能基の導入・変換						
1) アルケンの代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
2) アルキンの代表的な合成法について説明できる。						
3) 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
4) アルコールの代表的な合成法について説明できる。						
5) フェノールの代表的な合成法について説明できる。		有機薬化学IIA				
6) エーテルの代表的な合成法について説明できる。						
フ)アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。						
8) カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。						
9) カルボン酸誘導体(エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物)の代表的な合成法		有機薬化学IIB				
について説明できる。		化学・物理系実習I				
10) アミンの代表的な合成法について説明できる。		有機薬化学IIB				
11) 代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			薬品製造化学			
12)代表的な官能基を他の官能基に変換できる。(技能)		化学・物理系実習I				
(2) 複雑な化合物の合成						
【炭素骨格の構築法】						
1)Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。						
2) 転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。						
3)代表的な炭素酸のpKaと反応性の関係を説明できる。			薬品製造化学			
4)代表的な炭素-炭素結合生成反応(アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル 合成、Michael付加、Mannich反応、Grignard反応、Wittig反応など)について概説できる。		有機薬化学IIB				
【位置および立体選択性】						
1) 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			城口制华化部			
2) 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			米阳炭但心于			
【保護基】						
1) 官能基毎に代表的な保護基を列挙し、その応用例を説明できる。			薬品製造化学			
【光学活性化合物】						
1) 光学活性化合物を得るための代表的な手法(光学分割、不斉合成など)を説明できる。			薬品製造化学			
【総合演習】						
1)課題として与えられた化合物の合成法を立案できる。(知識・技能)			苯甲凯华化沙			
2)課題として与えられた医薬品を合成できる。(技能)	其礎利学宝羽	化学・物理系実習Ⅰ	米品を占して			
3) 反応廃液を適切に処理する。(技能・態度)						

			二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	科目		
楽字教育モテル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C6 生体分子・医薬品を化学で理解する						
(1) 生体分子のコアとパーツ						
【生体分子の化学構造】						
<ul><li>1) タンパク質の高次構造を規定する結合(アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など) および相互作用について説明できる。</li></ul>						
2)糖類および多糖類の基本構造を概説できる。	化学入門工	盆配件を排				
3) 糖とタンパク質の代表的な結合様式を示すことができる。			医薬品化学 I			
4)核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。						
5)生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を説明できる。						
【生体内で機能する複素環】						
1)仕休巾に方左才ろ伴事的た指妻语ル仝物名別※1 様浩式を書く「レが示さろ			医薬品化学 I			
エ体内に仕仕りるい衣的な伎糸境化百物を列手し、			医薬品化学工			
2)核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。						
3)複素環を含む代表的な補酵素(フラビン、NAD、チアミン、ピリドキサール、葉酸など)の機能を 化学反応性と関連させて説明できる。			医薬品化学 I			
【生体内で機能する錯体・無機化合物】						
1)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。	化学入門工					
2)活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。			医薬品化学 I			
3)一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。						
【化学から観る生体ダイナミクス】						
1)代表的な酵素の基質結合部位が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。						
2)代表的な酵素(キモトリプシン、リボヌクレアーゼなど)の作用機構を分子レベルで説明できる。			医薬品化学 I			
3)タンパク質リン酸化におけるATPの役割を化学的に説明できる。						
(2) 医薬品のコアとパーツ						
【医薬品のコンポーネント】						
1)代表的な医薬品のコア構造(ファーマコフォア)を指摘し、分類できる。						
2)医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明 できる。	化学入門工		医薬品化学 I			
【医薬品に含まれる複素環】						
1)医薬品として複素環化合物が繁用される根拠を説明できる。			1 张力口张五			
2) 医薬品に含まれる代表的な複素環化合物を指摘し、分類することができる。						
3)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。						
4)代表的芳香族複素環の求電子試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
5)代表的芳香族複素環の求核試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
【医薬品と生体高分子】						
1)生体高分子と非共有結合的に相互作用しうる官能基を列挙できる。						
2)生体高分子と共有結合で相互作用しうる官能基を列挙できる。			医薬品化学 I			
3)分子模型、コンピューターソフトなどを用いて化学物質の立体構造をシミュレートできる。 (知識・技能)		化学・物理系実習 I				
			-			

(7) ロン・・=・十二十9~・=				科 目		
米十枚声にった・エンとうけんのものの	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生体分子を模倣した医薬品】						
1) カテコールアミンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			1 奈化口浆因			
2) アセチルコリンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
3) ステロイドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
4) 核酸アナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			医薬品化学工			
5) ペプチドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
【生体内分子と反応する医薬品】						
1)アルキル化剤とDNA塩基の反応を説明できる。						
2) インターカレーターの作用機序を図示し、説明できる。			医薬品化学工			
3) $eta$ -ラクタムを持つ医薬品の作用機序を化学的に説明できる。						

			新絲	平		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	中1	2年			5年	6年
(7) 自然が生み出す薬物						
(1)薬になる動植鉱物						
【生薬とは何か】						
		生薬学 I				
1)代表的な生薬を列挙し、その特徴を説明できる。	薬用植物学	生薬学Ⅱ				民間薬概論
		東洋医薬学概論		漢方薬剤学	本草学	
4.7 沿是 4.2.7 上于祖乡林七、		生薬学 I				
2)年楽の歴史について概訳できる。		审详医薄沙椰盐		漢方生薬化学		
3) 生薬の生産と流通について概説できる。	薬用植物学	<u> </u>		漢方薬剤学		
【莱田埴坳】		 				
						_
1)代表的な薬用植物の形態を観察する。(技能)		生薬学 I 生薬学 I	医療系実習			
		化学・物理系実習Ⅰ				
<ul><li>2)代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。</li><li>3)代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。</li></ul>	薬用植物学	任薬学 I 作薬学 I		漢方薬剤学		
4)代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。(技能)		理系実習Ⅰ	医療系実習			
5)代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。		生薬学 I 生薬学 I				
【植物以外の医薬資源】						
1) 動物・鉱物由率の医薬品について目体例を挙げて説明できる		生薬学Ⅰ	干妖物化学	<b>華七華名</b>  学		
U 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		生薬学Ⅱ	7.8.12 LT	子に来てくれ		
【生薬成分の構造と生合成】						
1) 代表的な生薬成分を化学構造から分類し、それらの生合成経路を概説できる。	薬用植物学					
2) 代表的なテルペノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
3) 代表的な強心配糖体の構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
4) 代表的なアルカロイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることがで きる。			天然物化学	漢方薬剤学		
5)代表的なフラボノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
6)代表的なフェニルプロパノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
7) 代表的なポリケチドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
【単性のユコマ門琳旻、薬業】						
王殊物質の農薬 条牲品かどの同数レーケの古田柱について 目体倒を巻げて設まる		生薬学 I		海七茶名亭		
育権品などの原件でしての有用性に プいて、		生薬学エ		沃刀米別子		

			然	中国	-	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生薬の同定と品質評価】						
		生薬学Ⅰ				
1) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。		生薬学Ⅱ				
		化学・物理系実習I				
		生薬学Ⅰ				
2)代表的な生薬を鑑別できる。(技能)		生薬学ロ		苗十拼赵郎		
				(米乙米) (大)		
3)代表的な生薬の確認試験を実施できる。(技能)		化学・物理系実習I				
4)代表的な生薬の純度試験を実施できる。(技能)						
5)生薬の同定と品質評価法について概説できる。		生薬学 I 生薬学 I	医療系実習			
(2)薬の宝庫としての天然物						
【シーズの探索】						
1) 医漱 ロレー ア 体 カ か ア い 2 工 株 方 機 ル 今 物 む ト パ ろ の 禁道 休 夫 一 目 休 励 太 袟 げ ア 部 明 ぶ ま 2		東洋医薬学概論				
6米m~~(女/イイ・~・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		生薬学Ⅰ	創薬化学	漢方薬剤学		
2) シーズの弦参に音群してまた 存体 医学 日本 哲学 学の 三十 子の 20 で 1 で 1 で 1 で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1			天然物化学			
ノースの木形に兵所ってそには心にす、とが付信がするだめっても思いて		<b>由</b> 光 压 採 办 車 %		漢方生薬化学		
3) 医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列挙できる。				漢方薬剤学		
[天然物質の取扱い]						
1) 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)		化学・物理系実習 I	微生物薬品学	漢方薬剤学		
2)代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる。		東洋医薬学概論	天然物化学	漢方生薬化学		
【微生物が生み出す医薬品】						
1) 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる。			微生物薬品学	漢方薬剤学		
【発酵による医薬品の生産】						
1) 微生物による抗生物質(ペニシリン、ストレプトマイシンなど)生産の過程を概説できる。						
【発酵による有用物質の生産】						
1) 微生物の生産する代表的な糖質、酵素を列挙し、利用法を説明できる。				漢方薬剤学		

(3) ロッ) イニ・ユニナム・ニバエ母妹会様		財	1 科目		
米十枚三十・ファイナング(300%)	1年 2	2年 3年	4年	5年	6年
(3) 現代医療の中の生薬・漢方薬					
[漢方医学の基礎]					
	生薬学 I				
1) 漢方医学の特徴について概説できる。	統合医療	I			
	東洋医薬学概論	5概論			
2) 漢方薬と民間薬、代替医療との相違について説明できる。		統合医療工	漢方理論 漢方処方学	本草学	民間薬概論
3)漢方薬と西洋薬の基本的な利用法の違いを概説できる。	統合医療 東洋医薬	5梅瑞			투 경 건 건 구 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	統合医療	I			- 臨床漢方治療子 11
	東洋医薬学概論	5概論			
5)代表的な漢方処方の適応症と配合生薬を説明できる。	生薬学 I	医療系実習	漢方薬剤学		
6) 漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。	上 本 上 本 上		漢方処方学		
フ)漢方エキス製剤の特徴を煎液と比較して列挙できる。			漢方薬剤学		
[漢方処方の応用]					
1) 代表的な疾患に用いられる生薬及び漢方処方の応用、使用上の注意について概説できる。	—————————————————————————————————————	医療系実習	漢方処方学漢方薬剤学		2. 化铁子式
っ) 準古瀬の代素的 が副作 田や注音 事 佰を説 昭 ぶ ま ろ	工業十二年代	5概論			<b>留外决力力派于</b>
			漢方生薬化学		

			常	<b>三</b>		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	14	2年	П		5年	6年
[生物系薬学を学ぶ]		-				
C8 生命体の成り立ち         生命体の成り立ち						
(1) ヒトの成り立ち						
[概論]						
1) ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。	A 1 作品 1 8 数	機能形態学工A				
2)ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。	<b>-</b>	生物系実習				
【神経系】						
1)中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	機能形態学 I A機能形態学 I B	- 薬理学 I				
2)体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。	機能形態学 I A	生物系実習機能死能等工人				
3) 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。		奏問があって、 薬理学IA				
【骨格系·筋肉系】						
1)主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	⊦					
2) 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。	飯肥杉彫子 I D	生物系実習				
[皮膚]						
1)皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。	機能形態学IB				香粧品科学	
【循環器系】						
ア・ショー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー		機能形態学工A	薬理学IIB			
・0.63~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1~1		生物系実習				
2) 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IA				
3) リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IIB				
【呼吸器系】						
1)肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IIB				
		生物系実習				
[消化器系]						
1) 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	—————————————————————————————————————	4 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
2)肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。	מידור יייי אוירוואיו					
【泌尿器系】						
1) 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学工B	薬理学IIB			
[生殖器系]					-	
1) 精単 卵単 子宮などの牛殖器多職器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IIB				
		生物系実習				
[内分泌系]						
1)脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IIB				
【感觉器系】						
1)眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IB				
					-	
1) 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学工B				

			鮴	本		
楽学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(2) 生命体の基本単位としての細胞						
【細胞と組織】						
1) 細胞集合による組織構築について説明できる。	A V I 化银光 W W W W W W W W W W W W W W W W W W W	盆地				
2)臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。		エビーコ				
3) 代表的な細胞および組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能)						
[細胞膜]						
1)細胞膜の構造と性質について説明できる。						
2)細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。		<b>細胞生物</b> 学				
3)細胞膜を介した物質移動について説明できる。						
【細胞内小器官】						
1)細胞内小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど)の 構造と機能を説明できる。	4	生化学IA細胞牛物学				
【細胞の分裂と死】						
1)体細胞分裂の機構について説明できる。						
2) 生殖細胞の分裂機構について説明できる。		· · ·				
3)アポトーシスとネクローシスについて説明できる。	TM.	· 医二十二二十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二				
4)正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。						
[細胞間コミュニケーション]						
1)細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。	100	7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7				
2) 主な細胞外マトリックス分子の種類、分布、性質を説明できる。	TM.	神心生物子				
(3) 生体の機能調節						
【神経・筋の調節機構】						
1)神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。 増物経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。		機能形態学IA				
2)シナプス伝達の調節機構を説明できる。	τ.	加工物士 物系実習		漢方生薬化学		
3)神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。						
4)筋収縮の調節機構を説明できる。 機能を説明できる。	供能形態学 I B 一	生物系実習細胞的生物学				
【ホルモンによる調節機構】						
1) 主要なホルモンの分泌機構および作用機構を説明できる。	777	世界 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京				
	<b>松</b>	╡		4日学業学 11		
ALTHOUGH BY INCHES C. ENLOYS C. C.	生	生化学IIB		14 大田		
【循環・呼吸系の調節機構】						
1)血圧の調節機構を説明できる。	機	機能形態学エA	医療系実習	食品栄養学工		
2)肺および組織におけるガス交換を説明できる。	797F	T 工作部工字解				
3) 血液凝固・線溶系の機構を説明できる。	XI.	HE JIVISE THE D		食品栄養学工		
【体液の調節機構】						
1) 体液の調節機構を説明できる。	**************************************	操台 比		今ロ光帯ボー		
2)尿の生成機構、尿量の調節機構を説明できる。	XX.	<u> </u>	薬理学IB	<b>大部十里</b>		

#	3				中			
任、他のによける時間の受担について提供できる。	・コアガリチュフム	1年	2年			5年	6年	
	[消化・吸収の調節機構]							
	説明できる。	1 元 第 元 守 縣			追 张 口			
現在的機能を対すできる。	吸収におけるホルモンの役割について説明できる。	飯能形態子 1 D			品 大 大 大			
	【体温の調節機構】							
		機能形態学IB						
	(4) 小さな生き物たち							
(約4年度の発生的の送りに対明できる。								
##左と婚姻経嫌を診明できる。	生態系の中での微生物の役割について説	· hg						
構造と解放機構を認可できる。	原核生物と真核生物の違いを説明できる	) JUK						
特性意と経験機を説明できる。	[細菌]							
株主								
	細菌の系統的分類について説明でき、主な細菌を列挙できる			衛生系実習 I				
加速を子流し (技能)	グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌の違いを説明できる							
語の役割について説明できる。   機生物学   機生物学   接触   機生物学   機生素配可   機生素配可   機工系表面   横型   機工系表面   横工系表面   横工系面   横工系表面   横工系表面   横工系表面   横工系表面   横工系表面   横工系表面   横工系表面   横工系面   横	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、きる。	(美)	生物学 I					
小選伝子伝達 (接合、形質転換) について説明できる。     微生物学 II       小なの特温と増殖過程を説明できる。     微生物学 II       小なの対域法について機能できる。     微生物学 II       小なの対域法について機能できる。     微生物学 II       1. その地の療法、定量法について説明できる。     微生物学 II       高の仕状について説明できる。     微生物学 II       消毒、防魔および殺菌、静度の概念を説明できる。     微生物学 II       調査法を実施できる。(技能)     (技能・態度)       成の住民できる。(技能)     ((政部・總度)       のSOEの対象)     衛生系実習 I       高層法に見菌の分離培養、終始養を実施できる。(技能)     衛生系実習 I       高層法に関いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に     衛生系実習 I       別項できる。 (技能)     衛生系実習 I       高層に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に     衛生系実習 I       別項できる。 (本述のなどれできる。(技能)     衛生系実習 I	5) 腸内細菌の役割について説明できる。							
7なかが用を説明できる。	形質導入、形質転換)について説明できる							
5位個置毒素の作用を説明できる。     微生物学 I       スの分類法について構設できる。     微生物学 I       大の分類法について構設できる。     微生物学 I       は、砂イルスの接達と 場流過程を説明できる。     機生物学 I       は、砂イルスの培養法、定量法について説明できる。     機生物学 I       は、砂体 に のいて のは できる。     機生物学 I       は、 砂体 に のいて の対象 は いっと のできる。     機生物学 I       は のいて の対象 が構造する に 技能 )     (0.05年の対象)        (0.05年の対象)        (0.05年の対象)        (位表)        (位表)       所定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に	[細菌毒素]							
いスの特強と増殖過程を説明できる。     機生物学 [	1)代表的な細菌毒素の作用を説明できる。	(多)	生物学工					
たウイルスの構造と増殖過程を説明できる。       微生物学 I         の分類法について概説できる。       その他の微生物 I         その他の微生物 I       (必妊娠 が 態度) (0SCEの対象)       微生物学 I         素、防臓および殺菌、静菌の概念を説明できる。 は、寄生虫の生活史について説明できる。 は、寄生虫の生活史について説明できる。 は、寄生生の生活史について説明できる。 は、寄生はの生活史について説明できる。 は、寄生はの生活史について説明できる。 は、寄生はの生活とび質、静菌の概念を説明できる。 (技能)       微生物学 I         (もを実施できる。(技能)       衛生系実習 I         (定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に 明できる。。 (技能)       衛生系実習 I         (対能)       衛生系実習 I         (対能)       衛生系実習 I         (対能)       衛生系実習 I         (対能)       衛生系実置 I         (対能)       衛生系実習 I         (対能)       衛生系実習 I         (対能)       (対能)       衛生系実習 I         (対能)       (対能)       衛生系実習 I         (対能)       (対能)       (対能)         (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能)       (対能) <td <="" rowspan="2" td=""><td>[ウイルス]</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	<td>[ウイルス]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	[ウイルス]						
・の分類法について概認できる。       微生物学 I         その他の微生物 I       後生物学 I         その他の微生物 I       微生物学 I         おきたったの始後法、定量法について説明できる。       微生物学 I         は、寄生虫の生活ウについて説明できる。       微生物学 I         毒素を適切に使用する。(技能・態度) (0SCEの対象)       微生物学 I         歯法を実施できる。(技能)       (0SCEの対象)         ・細茎 たは真魔の分離培養、純培養を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         流園または真魔の分離培養、純培養を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         第2 に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に 調明できる。       衛生系実習 I         第2 に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に 調明できる。       衛生系実習 I         第2 に用いる代表のなは酸法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に 調明できる。       衛生系実習 I		1)代表的なウイルスの構造と増殖過程を説明できる。						
動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる。       その他の機生物1         その他の機生物1       衛生物学1         (3. 寄生虫の生活史について説明できる。       機生物学1         毒薬を適切に使用する。(技能・態度)       (0SCEの対象)       衛生教学1         菌素を適切に使用する。(技能・態度)       (0SCEの対象)       衛生系実習1         色を実施できる。(技能)       衛生系実習1       衛生系実習1         企業施できる。(技能)       衛生系実習1       衛生系実習1         定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に のままたにあっまった。(社能)       衛生系実習1       衛生系実習1         施防またに関島の分離培養、練培養を実施できる。(技能)       衛生系実習1       衛生系実習1         施工・フィオル、(2000)       (技能)       衛生系実習1       衛生系実習1         施工・フィオル、(2000)       (大能)       衛生系実習1       衛生系実習1         (2010)       (大能)       (大能)       (大能)       (大能)	2) ウイルスの分類法について概説できる。	(多)						
その他の機生物】       後生物学 I       微生物学 I         (、寄生虫の生活史について説明できる。       微生物学 I       衛生系実習 I         (毒薬を適切に使用する。(技能・態度)       (OSCEの対象)       衛生系実習 I         (自名実施できる。(技能)       (OSCEの対象)       衛生系実習 I         (報報)       (OSCEの対象)       衛生教室 I         (お腹)       衛生系実習 I         (報報)       衛生系実習 I         (報報)       衛生系実習 I         (現代)       衛生系実習 I         (現代)       衛生系実習 I         (現代)       衛生系実習 I         (現代)       衛生系実習 I         (財験)       衛生系実習 I         (財験)       衛生系実習 I         (財務)       衛生系実習 I         (財務)       衛生系実習 I         (財務)       衛生系達習 I         (財務)       衛生系達習 I         (財務)       衛生系達習 I         (財務)       衛生系達習 I	代表的な動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる							
(大・寄生虫の生活史について説明できる。       微生物学 I       微生物学 I       微生物学 I       一個主発達         毒素、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。       (0SCEの対象)       (MSCEの対象)       (MET (MET ))	【真菌・原虫・その他の微生物】							
は、寄生虫の生活史について説明できる。       (NSCEの対象)       微生物学 I       (報生物学 I)       (報生物学 I)       (報生物学 I)       (事業を適切に使用する。(技能・態度)       (0SCEの対象)       (0SCEの対象)       (国生物学 I)       (国生来実習 I)       (国生来実習 I)       (国生来実習 I)       (国生来主習 I)       (国生来主習 I)       (国生来主習 I)       (国生来主国 I)			上物学 1					
1毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。       (0SCEの対象)       衛生物学 I       衛生系実習 I         恵薬を適切に使用する。(技能・態度)       (0SCEの対象)       衛生系実習 I         性色を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         ・を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         ・細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         1別に用いる代表的な試験法、純培養を実施できる。(技能)       衛生系実習 I         1個できる。(技能)       横生系実習 I         1個できる。(技能)       横生系実習 I         1個できる。(技能)       横生系実習 I	主な原虫、寄生虫の生活史について説明でき	. XVI	エ <b>ヤ</b> 処子 1					
消毒薬 b 面 成	[消毒と滅菌]							
消毒薬を適切に使用する。(技能)       (0SCEの対象)       衛生系実習         減菌法を実施できる。(技能)       (0SCEの対象)       (0SCEの対象) </td <td>滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概</td> <td>衾</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>感染制御学</td> <td></td>	滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概	衾				感染制御学		
減菌法を実施できる。(技能)(0SCEの対象)(0SCEの対象)3.染色を実施できる。(技能)衛生系実習9位を実施できる。(技能)(技能)10定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に 説明できる。(特生系実習 (計・が無すーロ・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・が無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・か無すーロー・スェファイナル) (土・かま) (土・かま)) 	(技能・態度)							
文色を実施できる。(技能)       衛生系実習         資作を実施できる。(技能)       (力の記に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に       (本条実習)         10同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に       (本条実習)         1.5部明できる。       (本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(技能)							
グラム染色を実施できる。(技能)       無菌操作を実施できる。(技能)       (技能)         代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)       (大生物学的試験)       (大生物学的試験)       (大生物学的試験)         細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)       (大生物学的試験)       (株本来実習りいて説明できる。         いて説明できる。       (大井林)	【検出方法】							
無菌操作を実施できる。(技能) 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能) 細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。				系実習				
代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能) 細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。	無菌操作を実施できる。							
細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。 ルまかた細帯を同句できる。								
	細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験) ついて説明できる。							
	5)代表的な細菌を同定できる。(技能)							

4 : 4			談	本		
来子教育セケル・コアカリオユフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C9 生命をミクロに理解する						
(1)細胞を構成する分子						
【脂質】						
1) 脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。	I 索卯事					
2)脂肪酸の種類と役割を説明できる。	化学入門工	4.7. 小小山 L.B.				
3)脂肪酸の生合成経路を説明できる。	生化学 I			## ## 		
コレステロールの生合成経路と				食品宋香字Ⅱ		
[糖質]						
1) グルコースの構造、性質、役割を説明できる。						
2) グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生化学 I	細胞生物学				
3)代表的な多糖の構造と役割を説明できる。						
4)糖質の定性および定量試験法を実施できる。(技能)		生物系実習				
[アニノ酸]						
1)アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生化学 I	細胞生物学				
2)アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。	;	生化学IB				
3)アミノ酸の定性および定量試験法を実施できる。(技能)	I 点小手					
[ビタミン]						
1) 水溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 について説明できる。	;	生化学エA				医薬品食品相互作用
2)脂溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質と生理機能を説明できる。	;	生化学IA				+
3) ビタミンの欠乏と過剰による症状を説明できる。		生化学IIB				
(2) 生命情報を担う遺伝子						
【ヌクレオチドと核酸】						
1)核酸塩基の代謝(生合成と分解)を説明できる。	;	生化学エA				
2)DNAの構造について説明できる。		<b>细胎</b> 牛物形		1 魚怪7 / 光		
3) RNAの構造について説明できる。		ᄣᄱᅩᇄᆠ		<b>ン</b> カイナ		
【遺伝情報を担う分子】						
1)遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。				ゲノム科学I		
2) DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。		<b>开</b> 化 尝 T A				
3)ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。		I LT # A				
4)染色体の構造を説明できる。						
5)遺伝子の構造に関する基本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 説明できる。	***	細胞生物学	遺伝子工学	I 本材ムレヤ	ゲノム科学ロ	
6) RNAの種類と働きについて説明できる。						

		dur	2		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年 3年	:	5年	6年
【転写と翻訳のメカニズム】					
1)DNAからRNAへの転写について説明できる。		生化学IIA	1 年 7 年		
2) 転写の調節について、例を挙げて説明できる。			ト な な ト な な に の に る		
3) RNAのプロセシングについて説明できる。		細胞生物学		ゲノム科学エ	
		生化学IIA			
4)RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。		生化学IIB			
		细胞牛物学			
5)リボソームの構造と機能について説明できる。					
【遺伝子の複製・変異・修復】					
1) DNAの複製の過程について説明できる。		生化学IIA	ゲノム科学 I		
2) 遺伝子の変異 (突然変異) について説明できる。				# #	
3) DNAの修復の過程について説明できる。				中本サント	
[遺伝子多型]					
1) 一塩基変異 (SNPs) が機能におよぼす影響について概説できる。					
(3) 生命活動を担うタンパク質					
[タンパク質の構造と機能]					
1) タンパク質の主要な機能を列挙できる。					
2) タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。	生化学 I	<b>番</b>			
現に必要な翻					
[薛素]					
1)酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。					
2) 酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質と役割を説明できる。		生化学IB			
3)酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。					
4)酵素反応速度論について説明できる。		薬品物理化学Ⅱ			
に)		生化学ⅡB —————			
- 6)代表的な酵素の活性を測定できる。(技能)		生物系実習			
1)細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説 できる。		—————————————————————————————————————			
2)物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。	生化学 I				
3) 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。		生化字II8 ——————			
4)細胞内で情報を伝達する主要なタンパク質を列挙し、その機能を概説できる。		10000000000000000000000000000000000000			
1		*************************************			
【タンパク質の取扱い】					
1) タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。(技能)					
2) タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。(知識・技能)	生化学 I				
3) タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。					

			計			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
(4) 生体エネルギー						
【栄養素の利用】						
1) 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概説できる。	生化学工	ŽΙΒ				
【ATPの産生】						
1)ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。				· 注 注		
2) 解糖系について説明できる。				食品宋養字 I 臨床栄養学		
3) クエン酸回路について説明できる。						
4) 電子伝達系(酸化的リン酸化)について説明できる。				臨床栄養学 —		
5)脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。	生化学IB	žIB		食品栄養学』		
6)アセチルCoAのエネルギー代謝における役割を説明できる。				臨床栄養学		
7)エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。				食品栄養学 [		
8) ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。				臨床栄養学		
9)ペントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。				食品栄養学 I 臨床栄養学		
10) アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。		↑ 加学 I		臨床栄養学		
【飢餓状態と飽食状態】						
1) グリコーゲンの役割について説明できる。				食品栄養学 I		
2) 糖新生について説明できる。				臨床栄養学		
3) 飢餓状態のエネルギー代謝 (ケトン体の利用など) について説明できる。				臨床栄養学		
4)余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。				食品栄養学 I 臨床栄養学		
5) 食餌性の血糖変動について説明できる。	生化学IIB		医梅玄里沼			
6)インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。		<u> </u>	п К	食品栄養学 I 臨床栄養学		
				食品栄養学工		
7)糖から脂肪酸への合成経路を説明できる。				臨床栄養学		
8)ケト原性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。				食品栄養学 I 臨床栄養学		
(5) 生理活性分子とシグナル分子						
[ホルモン]						
1) 代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
2)代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を 説明できる。	機能	機能形態学IIB 生化学IIA				
3)代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
4)代表的なホルモン異常による疾患を挙げ、その病態を説明できる。	生化学工A	学II A				

: :			紅	<b>科</b>		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[オータコイドなど]						
1)エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。						
代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる	生化学 I	薬理学IA				
、その生理的意義(生理活性)を説明できる。						
4) 主な生理活性アミン(セロトニン、ヒスタミンなど)の生合成と役割について説明できる。		機能形態學IA 英田多二A				
5)主な生理活性ペプチド(アンギオテンシン、ブラジキニンなど)の役割について説明できる。		来生ナエハ 機能形態学 II B				
6) 一酸化窒素の生合成経路と生体内での役割を説明できる。						
【神経伝達物質】						
1)モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	機能形態学IA					
2)アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。		- 核肥形點子 TA				
3)ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。						
4)アセチルコリンの生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	機能形態学IA	機能形態学IIA				
【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】						
1)代表的なサイトカインを挙げ、それらの役割を概説できる。		生化学IB				
		盆路升智沙				
2) 代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。		十27十四四十				
3)代表的なケモカインを挙げ、それらの役割を概説できる。						
【細胞内情報伝達】						
1)細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げて説明できる。	機能形態学 I B	A工作品工品数				
2)細胞膜受容体から6タンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。		88.17.55 十 m k				
3)細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。						
4) 伴事的が細胎内(核内) 母容体の 自体個を挙げて 部間 かき ろ		機能形態学IB				
こくだこうできょう ベストン・メイチ・シスト・ション・ロビシン・ロビン・ログ・コン・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・		細胞生物学				
(6) 遺伝子を操作する						
【遺伝子操作の基本】						
1)組換えDNA技術の概要を説明できる。	薬用植物学		遺伝子工学			
2)細胞からDNAを抽出できる。(技能)					ゲノム科学Ⅱ	
3)DNAを制限酵素により切断し、電気泳動法により分離できる。(技能)		生物系実習				
4)組換えDNA実験指針を理解し守る。(態度)						
5) 遺伝子取扱いに関する安全性と倫理について配慮する。(態度)		生物系実習	遺伝子工学			
[遺伝子のクローニング技術]						
1)遺伝子クローニング法の概要を説明できる。						
2) cDNAとゲノミックDNAの違いについて説明できる。						
3) 遺伝子ライブラリーについて説明できる。					ゲノム科学Ⅱ	
4)PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		生物系実習	遺伝子工学			
5) RNAの逆転写と逆転写酵素について説明できる。						
6)DNA塩基配列の決定法を説明できる。						
7)コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)						

(3) ロップ・コーギニキター・三背 日仲非証権			計	日   本		
米十枚=トング・コングントイング(ひりつ)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【遺伝子機能の解析技術】						
1)細胞(組織)における特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。						
2)外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。	薬用植物学		第一七十字		1、1、2、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	
3)特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。			十十. 勺岗		1+44	
4) 遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。						

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年	3年3年	<b>存 目</b> 4年	5年	6年
C10 生体防御					
(1) 身体をまもる					
【生体防御反応】					
1) 白殊色応 7 獲得色 応 0 柱端 7 子 0 遠いを 3 昭 5 ま ろ	微生物学工				
日流光なく食は光ないが強くていほいを訳めてら	細胞生物学	免疫学 I			
2) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。	細胞生物学				
3) 補体について、その活性化経路と機能を説明できる。					
免疫反応の特徴					
5)クローン選択説を説明できる。	細胞生物学	4 请			
6) 休游杆鱼虎 7 细胎杆鱼 吃太 7 粒 1 7 凹 品 6 本 2	微生物学工				
0 / 体/後 王光後 C 神郎 王光後 で 七秋 し く 記切 く さ る。	細胞生物学				
【免疫を担当する組織・細胞】					
1) 免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。		466号1			
2)免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。	機能形態受 11 B	<b>元次于 1</b>			
	都 都 都 節 中	免疫学工			
3) 食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。		<b>在</b> 克沙 —			
4) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。		元次十 1			
【分子レベルで見た免疫のしくみ】					
1) 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる。	_				
2)MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。					
3) 「細胞による抗原の認識について説明できる。		免疫学 I			
4)抗体分子およびT細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)を概説できる。					
5) 免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインを挙げ、その作用を説明できる。					
(2) 免疫系の破綻・免疫系の応用					
【免疫系が関係する疾患】					
1) アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。					
2) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。		在 行 形 二			
3)代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。		<u>ንድን</u> ጂ ተ			
4) 代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。					
[免疫応答のコントロール]					
1) 臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。					
2)細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わりについて説明できる.	微生物学工	布亦亦			
3) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。		元汝十二			
4) 代表的な免疫賦活療法について概説できる。					
【予防接種】					
1) 予防接種の原理とワクチンについて説明できる。					
2) 主なワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン) について基本的特徴を 説明できる。	微生物学	免疫学II			
3) 予防接種について, その種類と実施状況を説明できる。					

: :			熱	科目		
楽字教育七テル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[免疫反応の利用]						
1)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法を説明できる。			<b>在</b> 庇勞 T			
2)抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。			九次十二			
3) 沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。(技能)						
4) ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。(技能)						
(3) 感染症にかかる						
【代表的な感染症】						
1) 主なDNAウイルス(△サイトメガロウイルス、△EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、△アデノウイルス、△パルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
2) 主なRNAウイルス(△ポリオウイルス、△コクサッキーウイルス、△エコーウイルス、△ライノ ウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、△麻疹ウイルス、 △ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
3)レトロウイルス (HIV、HTLV) が引き起こす疾患について概説できる。						
4) グラム陽性球菌 (ブドウ球菌、レンサ球菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患に ついて概説できる。						
5) グラム陰性球菌(淋菌、Δ髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について 概説できる。						
6) グラム陽性桿菌(破傷風菌、ムガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ムジフテリア菌、△炭疽菌)の細菌 学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。		:				
7) グラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、△チフス菌、△ペスト菌、コレラ菌、△百日 咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、△ブルセラ菌、レジオネラ菌、△インフルエンザ菌)の細菌学的 特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	45	<b>该生</b> 物型 I				
8) グラム陰性スピリルム属病原菌(ヘリコバクター・ピロリ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
9) 抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説 できる。						
10) スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす 代表的な疾患について概説できる。						
11) 真菌 (アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、△ムーコル)の微生物学的特徴とそれが 引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
12) 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。						
13) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。						
【感染症の予防】						
1)院内感染について、発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策を概説できる。	供	微生物学工			感染制御学	

			<b>张</b>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
[健康と環境]						
611 健康						
(1) 栄養と健康						
【栄養素】						
1) 栄養素 (三大栄養素、ビタミン、ミネラル) を列挙し、それぞれの役割について説明できる。		生化学IB 公衆衛生学I	臨床漢方治療学 I	食品栄養学 I 臨床栄養学		医薬品食品相互作用 学
				機能性食品学		
2)各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。		生化学IB 公衆衛生学I	統合医療Ⅱ			
3)脂質の体内運搬における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。		生化学IB 公衆衛生学I		食品栄養学 ] 臨床栄養学		
。。多考可問語多(新養学)動品な優美学の質々かんをの中品多(4						
				機能性食品学		
5)エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量の意味を説明できる。				食品栄養学 I 臨床栄養学		
6) 栄養素の栄養所要量の意義について説明できる。		公衆衛生学 I		食品栄養学 I 食品栄養学 I		
7)日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。				臨床栄養学 機能性食品学		医薬品食品相互作用 学
8)栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。			統合医療Ⅱ	食品栄養学 I 臨床栄養学		
				機能性食品学		
【食品の品質と管理】				_		
食品が腐敗する機構について説明できる。				臨床栄養学		
			衛生系実習工	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		
3) 良品の偽変を引き起し9 土な及心とその微楠を記明できる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				盟床来 <b>被</b> 予		
.12.1		公衆衛生学 I		路在光莱ヴ		
6)代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。				ト X Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y		
7) 食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。				機能性食品学		
		統合医療 I				
8)主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能)			衛生系実習エ	臨床栄養学		
9)代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。		八母 领 千 池 L	臨床漢方治療学 I	食品栄養学工		医薬品食品相互作用 学
10) 造に之紹飾するロの珥味を説明し、之の間語よについて計禁する (如難・能体)		7%画计十 1		機能性食品学		

			蘇	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
[食中毒]						
1) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。	7	公衆衛生学Ⅰ				
2)代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品 および予防方法について説明できる。	42	微生物学 I				
3) 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。						
コトキシンを列挙し、そ		公衆衛生学Ⅰ				
5) 化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。						
(2) 社会·集団と健康						
【保健統計】						
1)集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。			公衆衛生学 I 華物代謝安全性受			
2) 人口静態と人口動態について説明できる。						
3) 国勢調査の目的と意義を説明できる。			1 年 第 十 第 中			
4) 死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。			公來個生子口			
5) 人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。						
【健康と疾病をめぐる日本の現状】						
1) 死因別死亡率の変遷について説明できる。						
2) 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。			公衆衛生学工			
3)高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。(知識・態度)			值件系実習 II			
[疫学]						
1)疾病の予防における疫学の役割を説明できる。					感染制御学	
2)疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)について説明できる。						
3)疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。						
:E			公衆衛生学工			
5)要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。 (知識・技能)						
6)医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。						
フ)疫学データを解釈する上での注意点を列挙できる。						
(3) 疾病の予防						
【健康とは】						
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。			公衆衛生学Ⅱ			
2) 世界保健機構 (WHO) の役割について概説できる。	机口区烷 1		統合医療Ⅱ			
【疾病の予防とは】						
1) 疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。						
2) 疾病の予防における予防接種の意義について説明できる。			八串領千爭二			
3) 新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。			カメーナー	臨床栄養学		
4)疾病の予防における薬剤師の役割について討議する。(態度)						
			衛生糸実習Ⅱ			

		新	双回		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年			5年	6年
【感染症の現状とその予防】					
1) 現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴について説明できる。			1 上		
2) 新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。			语不适子负温		
3) 一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。		八串衛件形工		感染制御学	
4)母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。					
5) 性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。					
6)予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。					
【生活習慣病とその予防】					
1) 生活習慣病の種類とその動向について説明できる。			臨床栄養学 臨床医学概論		
2)生活習慣病のリスク要因を列挙できる。		── 公衆衛生学Ⅱ	食品栄養学工臨床栄養学工		
3) 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。			機能性食品学臨床医学概論		
【職業病とその予防】					
1) 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。		公衆衛生学工			
612 環境					
(1) 化学物質の生体への影響					
【化学物質の代謝・代謝的活性化】					
1) 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。					医薬品食品相互作用 学
2) 第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。		班本 人 丹燕		免罪方述	
3) 第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。		<u>H</u>		一川田田の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
【化学物質による発がん】					
1)発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。					
2)変異原性試験(Ames試験など)の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		薬物代謝安全性学			
3) 発がんのイニシエーションとプロモーションについて概説できる。		衛生系実習 I			
4)代表的ながん遺伝子とがん抑制遺伝子を挙げ、それらの異常とがん化との関連を説明できる。					
【化学物質の毒性】					
1) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。					
2)肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。		環境衛生学 I	臨床医学概論		
3) 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。		40年海口		-鑑韻化学	
4) 手令屋が汗杯秘事に FA陪审女 叶 グナ みの仕 休氏物田 ス について 目 休 個 女 斑 げ ア 説 明 な ま 2		į.			
		環境衛生学 I			
「コンスス・イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	統合医権				
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		T			
条名にディノ、アン・あったこうしょうな、こくとは深て入り、ゲョクのアン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		統合医療工	- 臨床医学概論		
	-	_			

			新	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	中	2年	п		57 年	9年
「かかを知っていました」	-		-		-	-
	_		# 14 4 1-18 11 11:11			
明できる。		<b>**</b>	梁彻代謝女生性子		<b>離離化</b> 学	
2)化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処置法、解毒法を検索することができる。(技能)		要	衛生系実習工			
【電離放射線の生体への影響】						
1) 人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。						
2)電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。						
3) 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。		빈 	上 北 北 北			
4) 電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子(酸素効果など)について説明できる。		<u> </u>	塚児衛生子 1			
5) 電離放射線を防御する方法について概説できる。						
6) 電離放射線の医療への応用について概説できる。						
[非電離放射線の生体への影響]						
1)非電離放射線の種類を列挙できる。						
2) 紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。		強	環境衛生学 I			
3) 赤外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。						
(2)生活環境と健康						
【地球環境と生態系】						
1) 地球環境の成り立ちについて概説できる。		<u> </u>	1 元 元 元			
2) 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	场场倒生子 1 — —————————————————————————————————			
3) 人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。(態度)						
4) 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。						
5) 食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。		ii	国 中央 上 市 工 市			
6) 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。		Kr	1 十工用的			
7) 環境中に存在する主な放射性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。						
【水環境】						
1)原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。						
2) 水の浄化法について説明できる。		112	语格衡 化 沙 工			
3) 水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。		7	T 上 干 里 % >			
4) 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)		#	1 1 1			
ら)下水処理だよが結氷処理の主な方法について説明でする。		<del>"</del>	海上米米百 T T T T T T T T T T T T T T T T T T			
水質汚濁の主な指揮を水域ごとに列挙し、その音味を			環境衛生学工			
7) DO, BOD, CODを測定できる。(技能)		一	衛生系実習 II			
		ュ	環境衛生学工			
1)空気の成分を説明できる。		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	環境衛生学工			
・ サヤナ(手)が帯断大回来。 タの神牧 7条件語「しい」と当品が非	統合医療 I		環境衛生学工			
、この作物の光上派に		彩	統合医療Ⅱ			
3) キな大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)		弹	環境衛生学工			
		##	衛生系実習工			
4)大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。		<u>元</u>	環境衛生学工			

(90日3)プロトキニ牛の「・ニューの保証を			無 雞	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[室内環境]						
(特书·舞巧) 女羊少马鼠 一般四女野引父的事书少女子女子到婚女哥哥中岛(1			環境衛生学工			
1)手付塚境で計画9のため2212枚円3を指標で列手し、別たてそる。(知識・汉能)			衛生系実習工			
マキジ 品紀 ノン ロッカ 国 少 日 神 石 井 記 中 卒	· <del>**</del>	なる医皮 1	環境衛生学工			
主が承先に 姪承 こび 対所に フジ・こ 配労 こら	יואוי ו	1	統合医療工			
3)室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。			環境衛生学工			
7、シック、ウンウを開出し、一下間部がまる	· <del>**</del>	なる 下皮 1	環境衛生学工			
ナンファンクに下午に ファ つきば このら。	י זואוי		統合医療工			
[廃棄物]						
1)廃棄物の種類を列挙できる。			四 本 余 十 売 工		耐沙生物	
2)廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。			· 洛克斯士子 II		十五三米段	
3) 医療廃棄物を安全に廃棄、処理する。(技能・態度)						
4)マニフェスト制度について説明できる。			唱连络开学工			
5)PRTR法について概説できる。			<b>从规制工于</b> L			
【環境保全と法的規制】						
1)典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。						
2)環境基本法の理念を説明できる。			<b>副本统十</b> 第二			
3) 大気汚染を防止するための法規制について説明できる。			以 場 出 上 上 上 上 に に に に に に に に に に に に に			
4)水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。						

(編を検別) 14年 25年 24年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			数	科目		
####################################	ル・コアガリキュフム	1年	2年	3年		5年	6年
	[薬と疾病]						
用量と作用の関係を設明できる。 「AT を	薬の効く						
	[薬の作用]						
ペトアンタゴニストについて説明できる。 (作用するしくみについて、要容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。) (作用するしくみについて、要容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。) (作用表現に関連する代表的な帰胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を きる。) (個人差が生じる変固を列挙できる。) (日本の主要な財産経路ときる。) (日本の主要な財産経路と表別等し、活性化された場合の生理反応を 19人株内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効参弱の関わりについて説明できる。 (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本た政剤が吸えされるまでに受ける歌化・崩壊、分散、消耗など)を説明できる。) (日本た政剤が吸えれるまでに受ける歌化・崩壊、分散、消耗など)を説明できる。) (日本た政剤が吸えれるまでに受ける歌化・崩壊、分散、消耗など)を説明できる。) (日本た政剤が吸えれるまでに受ける歌化・崩壊、分散、消耗など)を説明できる。) (日本た政剤が吸えれるまでに受ける歌化・崩壊、分散、消耗など)を説明できる。) (日本における機理について説明できる。) (日本に対して記録する。(地度) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて説明できる。) (日本の主要な財産経路を、例を挙げて記録できる。) (日本の主要な財産経路を、例を変け、地様、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を検別を注を実施できる。(技能) (日本の主要な財産を経済を経済を使が、生な副作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を使が、生な副作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を経済を発が、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を経済を発が、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を経げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を発が、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。) (日本の主要な財産を経済を経済を発が、その薬理作用、機序、主な副作用になど、まな副によれて、これに対していて説明できる。) (日本の主な財産を経済を経済を発が、アンドの発展を発が、アンドの発展を発が、アンドの対し、アンドの対し、日本の主な財である。) (日本の主な財産を表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表で表が、アンドの表が、							
0/4 同するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。         薬理学1           7/4 関するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。         薬理学1           7/4 開発型に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を設けてきる。         薬理学1           19/4 必要ないまりを含む、         (2000年)         ※理学1           19/4 会がない、対象と多いは阻害された場合の生理反応を説明できる。         薬理学1           10/4 表的な生しる処配を列挙できる。         (3000年)         ※理学1           70年地によりが不住制、排出)と薬効等原の関わりについて説明できる。         薬理学1           70年地に対象できずけて説明できる。         ※理学1           70年地に対象では、(有形、投与経路)を列撃し、その意義を説明できる。         ※理学1           70年地における高田におりる。         ※理学1           70年期の主要な接近経路を、例を挙げて説明できる。         生体用と副作用 (有管作用)、素性との問題について説明できる。           70年青年券の達いについて説明できる。         (技能)           70年青年券の達いについて記明できる。         (技能)           70年音を発展を見てる。(技能)         生な副作用について記明できる。           70年音を発展を開発を挙げ、その薬理作用、機体、主な副作用について説明できる。         生な副作用について説明できる。           70な機能薬を挙げ、その薬理作用、機体、主な副作用について説明できる。         * なるのでは、まな副作用について説明できる。           70な機能素を挙げ、その薬理作用、機体、主な副作用にしていているができないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	アゴニストとアンタゴニス						
7位異物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。 7作用発現に関連する代表的な超胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を 電人を分生しる要固を列挙できる。 7位 差が生じる要固を列撃できる。 7位 差が生じる要固を列撃できる。 7位 差が生じる要固を列撃できる。 7位 差が生じる要固を列撃できる。 7位 差が生じる要固を列撃できる。 7位 差が上に多げを挙げて説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力はにおける確理において配明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例形、投与総路)を列撃し、その意義を説明できる。 7位 有力は、例の主動の主要な技術経路を、例を挙げて説明できる。 7位 有力は、例の主動の主要な様が経路を、例を挙げて説明できる。 7位 有当年条の進いについて配明できる。 (技能) 7位 有音音を加速してついて配慮する。 (技能) 7位 有音音を通に取り扱うことができる。(技能) 7位 有音音を通に取り扱うことができる。(技能) 7位 有音音を通に取り扱うことができる。(技能) 7位 有音音を通に取り扱うことができる。(技能) 7位 有音音を通に表り扱うことができる。(技能) 7位 有音音を通に表を選性 根外、主な副作用について説明できる。 7位 有音音を通に表し扱ってきる。(技能) 7位 有音音を通に表しての表理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 有音音を描述を挙げ、その素理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 指標表を挙げ、その素理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 指標表を挙げ、その素理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 指標表を挙げ、その素理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 指標表を挙げ、その素理作用、機片、主な副作用について説明できる。 7位 指標表を挙げ、その素理を指述を表述を表述を発起を表述を通過を表述を表述を表述を表述を表述を必要を呼ば、 40 表記を表を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	薬物の作用するしくみについて、			理系実習			
作用発現に関連する代表的な細胞内情線伝達系を列準し、活性化された場合の生理反応を に個人差が生じる要因を列挙できる。 に個人差が生じる要因を列挙できる。 が表際が用立作用の機件について説明できる。 (株内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。 (株内動態 (吸収、分布、代謝、接泄)と薬が発現の関わりについて説明できる。 (株内動態 (吸収、分布、代謝、接世)と薬が発現の関わりについて説明できる。 (株内動態 (吸収、分布、代謝、接世)と薬が発現の関わりについて説明できる。 (株内動態 (吸収、分布、代謝、接世)と薬が発現の関わりについて説明できる。 (株内の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。 (株内分布における循環系の重要性を説明できる。 (株内分布における循環系の重要性を説明できる。 (株内の代表的の表別が吸収されるまでに受ける変化、伽護、分散、溶解など)を説明できる。 (株内人布における循環、の主要な精泄経路を、例を挙げて説明できる。 (株内 大力を発展していて配慮する。(機能) (株内 大力を発展の選しについて配明できる。(機能) (株内 大力にないなうことができる。(機能) (株内 大力にないなうことができる。(機能) (株内 大力にないないなりにとができる。(機能) (株内 大力にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	代表的な薬物受容体を列挙し、	77 E- +	,				医薬品食品相互作用 学
- 個人差が住じる要因を列挙できる。 - 104 差が住じる要因を列挙できる。 - 104 差が住じる要因を列撃できる。 - 104 差が発現の関わりについて説明できる。 - 104 条が発現の関わりについて説明できる。 - 104 条が発現の関わりについて説明できる。 - 105 差が発現の関わりについて説明できる。 - 105 差がた。 (	薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、 説明できる。	 	<u> </u>				
70本業物相互作用の機所について説明できる。 次件性について具体例を挙げて説明できる。 次件性について具体例を挙げて説明できる。 20本内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。 25きれた製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。 25きれた製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。 25年れた製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。 31 31 31 31 31 32 32 32 32 32 32 32 33 33 34 34 34 35 35 36 36 36 36 36 37 36 36 36 37 36 36 37 37 38 37 38 38 38 38 38 38 38 38 38 38			<u> </u>	事 化 華 化 基 化 基 化 基 化 基 化 基 化 基 化 基 化 基 化 基			
な存性について具体例を挙げて説明できる。 (株内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。 (株金的な投与方法(御形、投与経路)を列撃し、その意義を説明できる。 (大金的な投与方法(御形、投与経路)を列撃し、その意義を説明できる。 (大金的な投与方法(御形、投与経路)を列撃し、その意義を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の分布における循環系の重要性を説明できる。 (本体の子本でに要ける、(態度) (本有音事象の違いについて説明できる。(態度) (本有音事象の違いについて説明できる。(態度) (本有音事象の違いについて説明できる。(後度) (本格のな素物投与法を実施できる。(技能) (本格の音楽物投与法を実施できる。(技能) (本を存れる薬) (本格の音楽が投与法を実施できる。(技能) (本格の音楽を)(大きの表理作用、機序、主な副作用について説明できる。 (技能) (本格の音楽を)(大・その楽理作用、機序、主な副作用について説明できる。 (本語なんな影が投与法を実施できる。(技能) (本格の音楽を)(大・その楽理作用、機序、主な副作用について説明できる。 (本格の音楽を)(大・名の薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 (本格の経験を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について対明できる。 (本格の経験を使じ、その薬理作用、機序、主な副作用について対明できる。 (本格の経験を使じ、その薬理作用、機序、主な副作用について対明できる。 (本格の経験を使じ、人の楽理性に対し、イベキンソイマー病など)の治療薬を挙げ、との薬理性に対し、イベキンソイマー病など)の治療薬を挙げ、 (本格の経験を使じ、大の薬理性に対し、イベキンソイマー病など)の治療薬を挙げ、 (本格の経験を使じ、大の薬理性に対して、イベキンソイマー病など)の治療薬を挙げ、 (本格の経験を使じ、大の楽理性に対して、イベキンソイマー病など)の治療薬を挙げ、との薬理性に対して、イベキンソイマー病のでは、またの影響を使じ、その楽理性に対しななど、これがはである。 (本格の経験を使じ、大の楽理性に対して、イベキンソイス・イベ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			** 	を1、2000年日十			
(体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。       か代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。       (を与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。       (の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。       (1) 薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。       (2) 生作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。       (2) 表別が吸収される企業を促進を説のできる。       (2) 表別を発力を発展していて記慮する。(複度)       (2) 表別を発力を実施できる。(複度)       (2) 表別を発力は変換な与法を実施できる。(技能)       (2) 表別を発力を実施できる。(技能)       (2) 表別を発力は、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(技能)       (2) なの薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(技能)       (2) なの薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(技能)       (2) なの薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(技能)       (2) なの薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(技能)       (2) ない、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(対象薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、主な副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、主な副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、主な副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、主な副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その薬理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その素理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その素理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その素理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表を挙げ、その素理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表述を使用、表述を使用、その素理作用、機序、まな副を用について説明できる。(対象・表述を使用、表述を使用、表述を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	8)薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。	薬理学	I				
(内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。       業理学 I         、表的な投与方法 (利能、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。       業理学 I         はそれた製剤が吸収されるまでに受ける変化 (崩壊、分散、溶解など)を説明できる。       薬理学 I         (本内分布における循環系の重要性を説明できる。       薬理学 I         (本内分布における循環系の重要性を説明できる。       薬理学 I         (本用と副作用 (有害作用)、毒性との関連について説明できる。       生物系実習 (技能)         1での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)       生物系実習         (全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (機能薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (職職業を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         (職職業を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         (事務条集と、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         (事務条集を提供をしていたがらん、パーキャンリン病・アイマー病など)の治療薬を挙げ、       薬理学 I         (中枢神療疾患 していよいにない (本)・アルツ・イマー病など)の治療薬を挙げ、       薬理学 I         (本) 日本 (本)・アルヴィイマー病など)の治療薬を挙げ、       ※理学 I	【薬の運命】						
(表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。       楽理学1         1と体内分布における循環系の重要性を説明できる。       薬理学1         (本内分布における循環系の重要性を説明できる。       薬理学1         (本書集象の違いについて記明できる。       薬理学1         (本書集象の違いについて記明できる。       (態度)         (本日するを受け、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       生物系実習         (金月解酵薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (機能薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (額痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (職職業を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (額痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学1         (額痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学1         (額 株理 本 本 本 を を を を を を を を を を を を を を を を	薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる			理系実習			医薬品食品相互作用 学
<ul> <li>主をわな投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。</li> <li>にされた製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。</li> <li>作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。</li> <li>(有害事象の違いについて配慮する。(機度)</li> <li>(主体用する違す)</li> <li>(主体用する違す)</li> <li>(性間できる。(技能)</li> <li>(生物系実習での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)</li> <li>(性間する違す)</li> <li>(性限度を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>(種職薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>(技能)</li> <li>(性限度を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> <li>(益期・主な副作用について記明できる。</li> <li>(本間・主な副作用について説明できる。</li> <li>(本間・主な副作用について説明できる。</li> <li>(本間・主な副作用について説明できる。</li> <li>(本間・主な副作用について説明できる。</li> <li>(本に、主な副作用について説明できる。</li> <li>(本に、主な副作用について説明できる。</li> <li>(本にのかん、パーキンツンは、アルリのエキューをあるとのよりにおいます。)の治療薬を挙げ、との薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。</li> </ul>		楽理学 —		物動態学			
は	薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明でき						
1.体内分布における循環系の重要性を説明できる。       薬理学 I         2.作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。       薬理学 I         2.作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。       土物系実習         3.での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)       土物系実習         2.全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       生物系実習         4.健眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       業理学 I         4.健眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         4.健眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         4.性・素を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         4.性・素を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         4.性・報告、まな副作用について説明できる。       ※理学 I         4.性・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神・神	経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる		<u></u>	理系実習			
薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。       業理学 I         上作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。       業理学 I         乳における倫理について配慮する。(態度)       生物系実習         実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)       生物系実習         10つの代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)       生物系実習         全角麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (機能薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         10年期末を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       業理学 I         10年期末の、パーキンソン系。アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用に対して説明できる。       薬理学 I         10年期 2017年 2017	薬物の生体内分布における循環系の重要性を説明でき	和 四 种					
(作用と副作用 (有害作用)、毒性との関連について説明できる。         (主おける倫理について説明できる。       (聴度)         (主おける倫理について記明できる。(機能)       生物系実習         (本用する薬】         (権服業を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (動作用について説明できる。         (動作表を表現を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (動作業を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         (動作表表はないない、パーキンシン系の、アルジのイマー病など)の治療薬を挙げ、         (動作 地震 また可能に関いる。	生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明でき		<u> </u>				
D主作用と副作用 (有害作用)、毒性との関連について説明できる。       薬理学 I         目と有害事象の違いについて説明できる。       薬理学 I         Ft袋における倫理について配慮する。(態度)       生物系実習         かき方 I       生物系実習         かき方 I       本方 I         Ac全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       サな登録痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         かな銭痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         かな鏡痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         対な鏡痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         対な鏡痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         対な鏡痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、上な副作用について説明できる。       薬理学 I	[薬の副作用]						
日と有害事象の違いについて説明できる。	薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる			理系実習			
	副作用と有害事象の違いについて説明でき	<b>州</b>	н				医薬品食品相互作用 学
IIについて配慮する。(態度)       生物系実習         I並に取り扱うことができる。(技能)       生物系実習         薬物投与法を実施できる。(技能)       学げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         *、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         *、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         *、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I         *、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       薬理学 I	[動物実験]		-				
I正に取り扱うことができる。(技能)       エやボ夫目         ・薬物投与法を実施できる。(技能)       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	動物実験における倫理について配慮する。	- 以 - 基 					
・薬物投与法を実施できる。(技能)       ・         ・学げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       ・         ・、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       ・         ・、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       ・         ・、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       ・         ・、インかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、       ・         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。	工物本		理系実習			
学げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、       薬理学 I	実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。						
学げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         デ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。       (てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、	(2) 薬の効き方1						
代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な血を神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、	【中枢神経系に作用する薬】						
代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、	代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明でき						
代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、 その薬理作用、雌序、土た司佐用について説明なまる	代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、			!			
代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、 その薬理佐田 雑序 ナた司佐田について説明さまる	代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明でき	1		理系実習			
この来生に用、彼げ、エタ町に用していて記引に	代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、 その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる	F. F	4				
5)代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用 について説明できる。	代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、 について説明できる。				新薬論		
6)中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。				理系実習			

			盆	本		
楽字教育モナル・コアカリチュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【自律神経系に作用する薬】						
1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な 副作用について説明できる。	機	機能形態学ⅡA	城苗农市岛			
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用について説明できる。		■学ⅡA	米杆状光面			
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学IIA				
4)自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))∆技能であるからCBTには 馴染まない						
【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】						
1)知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用につい	機	機能形態学IIA	薬理系実習			
て説明できる。		薬理学ⅡΑ				
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
3) 知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))			薬理系実習			
【循環器系に作用する薬】						
1) 代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
2)代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			Q H 犯 田 辨	1 公計		
3)代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			米H H L I D	<b>雷天丙十</b> 宮里		
4)代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理系実習	新薬論		
			医療系実習			
【呼吸器系に作用する薬】						
1)代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	機	機能形態学IB	薬理系実習			
2)代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理学皿A			
3)代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
【化学構造】						
1) 上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。						
(3) 薬の効き方!!						
【ホルモンと薬】						
1) ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。						
2)代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。						
3)代表的な性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について 説明できる。						
【消化器系に作用する薬】						
1) 代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。				新薬論		
2) その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
3)代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			薬理学皿A			
4)代表的な肝臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
5) 代表的な膵臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						

,			数	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年		5年	6年
[腎に作用する薬]						
1) 利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。		機能形態学IIB	薬理学IIB			
【血液・造血器系に作用する薬】						
1) 代表的な止血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。						
2) 代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				薬理学皿B		
3) 代表的な造血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。						
【代謝系に作用する薬】						
1)代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				薬理学皿B 路丘库売槽等		
2)代表的な高脂血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				語   下   上   上   上   上   上   上   上   上   上		
3) 代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				臨床医学概論		
4)カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用に		生化学IB		薬理学皿B		
ついて説明できる。				新薬論		
【炎症・アレルギーと薬】						
1)代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			免疫学工			
2)慢性関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。				新薬論		
3)アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる。						
【化学構造】						
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。				新薬論		
(4)薬物の臓器への到達と消失						
[吸収]						
1)薬物の主な吸収部位を列挙できる。						
2)消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。						
3)受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。		* 元   4 4 7 7		薬剤系実習		医薬品食品相互作用 学
4)能動輸送の特徴を説明できる。		. 计参条型子 I				
5) 非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。						
6)薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。				機能性食品学		医薬品食品相互作用 学
[分布]						
到達目標:						
1)薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。						
2)薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。						
3)薬物の胎児への移行について、その機構と血液 - 胎盤関門の意義を説明できる。		:				
4)薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)を組織への移行と関連づけて説明できる。		生物薬剤字I				医薬品食品相互作用 学
5)薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)について説明できる。			薬物動態学			
6)分布容積が著しく大きい代表的な薬物を列挙できる。						
フ)代表的な薬物のタンパク結合能を測定できる。(技能)						

			<b>派</b>	双回		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
【代謝】						
1)薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位を列挙して説明できる。						
2)薬物代謝が薬効に及ぼす影響について説明できる。						
3)薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素を列挙できる。						
4)シトクロムP-450の構造、性質、反応様式について説明できる。			薬物代謝安全性学			
5)薬物の酸化反応について具体的な例を挙げて説明できる。		生物薬剤学 I				
6)薬物の還元・加水分解、抱合について具体的な例を挙げて説明できる。						
7)薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、加齢、SNPsなど)について説明できる。						医薬品食品相互作用
8) 初回通過効果について説明できる。			千香树丛形白			**
9) 肝および固有クリアランスについて説明できる。			计参米型卡口			
【排泄】						
1) 腎における排泄機構について説明できる。	機自	機能形態学IIA				
2) 腎クリアランスについて説明できる。						
3) 糸球体ろ過速度について説明できる。						
4) 胆汁中排泄について説明できる。	—————————————————————————————————————	生物薬剤学 I	光 生 ~ 子 是 引 上 非			
5) 腸肝循環を説明し、代表的な腸肝循環の薬物を列挙できる。			果物代謝女宝忸子			
6) 唾液・乳汁中への排泄について説明できる。						
7) 尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。						
【相互作用】						
1)薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。			生物薬剤学工	路다张紫		医薬品食品相互作用
2)薬効に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。				<b>唇不不烦</b> 子		补
(5)薬物動態の解析						
[李傳文]						
1)薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。			:			
2)薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。			生物薬剤学 I 薬物動熊学			
3)線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)						
4)線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)			生物薬剤学エ			
5)線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。						
6)生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)				城 村 村 村 村		
7) 全身クリアランスについて説明し、計算できる。(知識・技能)				四米米岩米		
8) 非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。			生物薬剤学工			
9) モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。			薬物動態学			
10)薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)						
11) 点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)				薬剤系実習		
12)連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)						

(3000) プー・ギニナグト・三が上降赤手様			<b>無 </b>	科目		
米十枚エトング・エングントトング(ひゅう)	1年	2年	3年	女 4	5年	女9
【TDM (Therapeutic Drug Monitoring)】						
1)治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。			<b>上</b> 新数字 T		成沙生	
2)TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。			工物来剂于工		十 本 宣 米 段	
3)薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。(技能)						
4) 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。			生物薬剤学エ		感染制御学	
5)代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。(技能)				薬剤系実習		

		<b>清</b>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) —	1年 2年		=	5年	6年
C14 薬物治療		-			
(1) 体の変化を知る					
[症候]					
1)以下の症候について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を説明できる。発熱、頭痛、発疹、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、出血癌血、腎疾・心疾亢滞・動疾・宣血圧・症血圧・シュ、カ・呼吸円難・防・口湿・口経胃治	病態生理学IB	病態生理学IIA	臨床医学概論		
祖 別 別	統合医療 I	統合医療工			
【症候と臨床検査値】					
1)代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IB				
2)代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IA				
3)代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IB				
4)代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IA				
5)代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。	病態生理学IB				
6)代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。	病態生理学IA	臨床検査学			
7) 感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。	病態生理学IB		薬物治療学皿B		
8) 悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。					
9) 尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。					
10) 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。					
11) 代表的なバイタルサインを列挙できる。	病態生理学IB				
	生物系実習	$\left  \right $			
(2) 疾患と薬物治療(心臓疾患等)					
	-	_		-	
1)代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明でき る。			機能性食品学		
2) 適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。(知識・技能)					
【心臓・血管系の疾患】					
1)心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。		病態生埋字ⅡA 医生谱卡治病學 1			
2) 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			臨床医学概論		
シアクライ いっぱん はっぱん はっぱん アン・カー・ディン の はっぱい はん いっぱん はん かいかん かいか		処方解析学 I			
固ツみ石炭米、ひゃ	病態生理学IA		T		
	薬物治療学 I	病態生理学IB	臨床栄養学		
4) 高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	病態生理学IA	医療系実習	臨床医学概論		
			新薬論		
6年末、4年の年能大田「第七十公春城」セトズタの末田「のい巻」の17年3日542			臨床栄養学		
、固ツな石原米、おそのての文石上の江思い、	薬物治療学Ⅰ	医療系実習	臨床医学概論		
6) 以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症、心原性ショック	病態生埋字 I A	病態生理学IIB	臨床栄養学		
		加方解析学 I			

薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)			m	<b>₹</b> _		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【血液・造血器の疾患】						
2 キジゲコー 2 川浜 7 串ず 4 4 年 ガ 2 十 1 4 一 品 中 末 ・ 光 中			薬物治療学IIB	臨床栄養学		
・垣里命においる元女でみ状形で手いることができ			病態生理学IIA			
っ)谷血の症能圧囲(海内た治咳薬) サトパタの体田 トの注音 「ついて背明 5.まえ		生化学IIB		薬理学皿B		
月皿の748 窓上年、 過ぎなら焼米、 おみいての「文冶上の注意」ことに、記号に こ				臨床栄養学		
				薬理学皿B		
3) 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				処方解析学工		
	病	病態生理学IB	薬物治療学 IIB	臨床栄養学		
4)播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について 説明できる。				薬理学皿B		
5)以下の佐串について押討がする。 中方病・単性にいい語・特殊病・白色は減小症・一位・重な				薬理学皿B		
ダーンが高していて物的とでも。血水が、応圧して、腫、水丸が、口血や脱少に、血柱				臨床栄養学		
【消化器系疾患】						
			薬物治療学IIB			
1)消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げ ることができる。			臨床漢方治療学 I			
			病態生理学IIA	臨床医学概論		
			薬理学皿A			
2)消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			処方解析学 I			
			薬物治療学 IIB			
3) 腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学IIB			
			薬理学皿A			
4)肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	3	: :	薬物治療学IIB			
	<b>海</b> 原	病態生埋字 I B	病態生理学IIA			
5) 膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			薬物治療学IIB	:		
			薬理学皿A	臨床栄養学		
6)以下の疾患について概説できる。食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、 虫垂炎、クローン病			処方解析学 I			
			薬物治療学IIB			
【総合演習】						
<ul><li>1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能)</li></ul>						

		<b>济                                    </b>	T 34		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年 2年	3年	<u> </u>	5年	6年
(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等)	-	-	-	-	
【腎臓・尿路の疾患】					
1)竪臓お上が屈路におけろ伴毒的か疾患を挙げることができる	薬物治療学	I病態生理学IIA			
日限の9つではについてではないなどである。 ていらし はいい こうしん ひんしゅうしゅうしょう		臨床漢方治療学 I			
2) 腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	78 + 78 70 +	処方解析学 I	臨床医学概論		
3) ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	聚物治療学 ] 病態生理学 ]	I A I			
4) 以下の疾患について概説できる。糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石					
【生殖器疾患】					
		薬理学皿A			
1) 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。		臨床漢方治療学 I			
	病態生理学	IA病態生理学IIA	薬物治療学皿B		
2) 前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			<u> </u>		
3)以下の疾患について概説できる。前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症					
【呼吸器・胸部の疾患】					
		薬理学皿A			
1		臨床漢方治療学 I			
) 肺と気迫に対する代数的な狭思を手げることができる。 		病態生理学ⅡA			
		医療系実習			
		薬理学皿A	米		
2)閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意に   ついて説明できる。		処方解析学 I			
	病態生理学	8 1			
3)以下の疾患について概説できる。上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、 肺炎、肺結核、肺癌、乳癌		病態生理学ⅡB	加方解析学工		
【内分泌系疾患】					
1)ホルキンの産牛職器別に代表的な疾患を挙げることができる.		病態生理学IIA			
2) 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
3) クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	病態生理学	I A 薬物治療学 II B			
4) 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
5)以下の疾患について概説できる。上皮小体機能異常症、、アルドステロン症、アジソン病		需能 件 理学 Ⅱ B			
【代謝性疾患】					
		薬物治療学エA			
1)糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		処方解析学 1			
		医療糸実習 I A	新薬部		
2) 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	生化学IIB	薬物治療学ⅡA			
3) 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学 II A 病態生理学 II B			

			本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年 2年	3年		5年	6年
【神経・筋の疾患】					
1)神経・皓一間オス件事的た佐事を挙げるニとができる		病態生理学ⅡA			
/ 14計 - 121111111111111111111111111111111111			臨床医学概論		
2) 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
			臨床栄養学		
3) てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	4		臨床医学概論		
		薬物治療学ⅡA	処方解析学 I		
4)パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		T			
5) アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
6)以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性	底能 生 扭 学 1 B		臨床医学概論		
<b>凶血管性痴呆</b>	-	病態生理学IIB			
【総合演習】					
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。		医療系実習			実務実習ポスト教育
(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)					
【精神疾患】					
1)は事的が非神佐事な渋げる「レができる		薬物治療学ⅡA	会用 企工 工 型		
<b>いながず作があで手いることがくさ</b>		臨床漢方治療学 I	四个石十多哥		
海付から 海ボー サーバタ 夕年田 トの注音 について 当 田 がま ろ		薬物治療学ⅡA			
)戦ロ大闘雄の内容工法、過ぎるカ族米、おものでの政府上の注意につびて記号でき		病態生理学IA	処方解析学工		
よし 事 よし 中の 中部 大田 一番 古が は 一番 アブタの 年田 アランザ 出 日 デザロップ			臨床医学概論		
) フノ格、味つノ海の海影士年、画別や石原米、		薬物治療学IA	新薬論		
4)以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症			臨床医学概論		
【耳鼻咽喉の疾患】					
1) 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IA	 		
2) めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		処方解析学 I	X 加力用		
3)以下の疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎			晋		
【皮膚疾患】			1 1 10.15(17)		
1) 皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA	薬理学皿B		
			薬物治療学皿B		
2)アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			п	香粧品科学	
、適切な治療薬、およびその使用上の注意について					
4)以下の疾患を概説できる。蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症			朱 忽 沾 涼 子 m D		

		<b>派</b> 绛			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		:	5年	6年
【眼疾患】					
1)眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA	薬理学皿B 薬物シ梅学皿A		
2)緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			業物の海ナーの開発を学典部		
			処方解析学 II		
3) 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	•		薬理学田B   薬物治療学用A		
4)以下の疾患を概説できる。結膜炎、網膜症			福床 医子 を は は は は は は は は は は は は は は は は は は		
[骨・関節の疾患]			- C 10:40:50		
1) 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA			
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	1 定业公里林		新薬論		
	条物の様子 1 病態生理学 I A	処方解析学 1	薬物治療学皿B		
3)慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			新薬論 (一)		
4)以下の疾患を概説できる。変形性関節症、骨軟化症					
【アレルギー・免疫疾患】					
		免疫学工	薬物治療学皿B		
1)代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる。			臨床医学概論		
			臨床栄養学		
2)アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき			4 H 77 T #		
ح°			樂物治療字mp   臨床医学概論		
我那只不见我, 田士给什么 (17 4 7) 一一二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	病態生理学IB	免疫学工			
3)目じ兇後朱忠(王が仕エリア々トーナイなど)の病態生せ、適切な治療楽、およいその使用よの 注意について説明できる。			臨床栄養学		
			処方解析学工		
			薬物治療学皿B		
4)後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			臨床医学概論		
			臨床栄養学		
[移植医療]					
1) 牧枯「開浦」 七年能 千田 英石 かぶ 香菜 サーバタの 併田 トの汁 芋 こつご が出 ちょく			薬物治療学皿A		
が同に対決して対応工士、過ぎずは派米、30のでででは近上で江南にして、このがての			臨床医学概論		
【綴和ケアと長期療養】				-	
サード かいかい カー・カー・サイン サード			薬物治療学皿A		
治江が開いた。 くべん C 4での米物でがまし、 区内上の江ボに、 プ・こ 50で 20で 1			臨床医学概論		
2) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。			薬物治療学皿A		
【総合演習】					
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。		処方解析学 I	処方解析学工	嵌	実務実習ポスト教育
(技能)		医療系実習			
(5)病原微生物・悪性新生物と戦う					
[感染症]					
1) 主な感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。			薬物治療学皿A		

			派 縊	皿		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年		<u> </u>	5年	6年
【抗菌薬】					-	
1) 抗菌薬を作用点に基づいて分類できる。			衛生系実習 I		感染制御学	
2) 代表的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。						
3)代表的なβ-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。						
4) テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。						
5)マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。						
6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。			; ; ;	斯勒 心病 引		
7) ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。			微生物薬品学 衛生系実習 I	米玄石紅十目A		
8)サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。						
9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。						
11)代表的な抗菌薬の使用上の注意について説明できる。						
12) 特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。						
[抗原虫·寄生虫薬]						
1)代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。			微生物薬品学	薬物治療学皿A		
[抗真菌薬]						
1)代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。			微生物薬品学	薬物治療学皿A		
[抗ウイルス薬]					-	
1)代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。				薬物治療学皿A		
2) 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点を挙げ、説明できる。			- 飯 光 参 米 铝 사			
【抗菌薬の耐性と副作用】						
1) 主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。			张 工	城	感染制御学	
2) 主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。				米勿石涼十旦A		
【悪性腫瘍の病態と治療】						
1) 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。						
2) 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。				薬物治療学皿A		
3) 化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。						
【抗悪性腫瘍薬】						
1) 代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。						
2)代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。						
3)代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。			:			
4)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。			T微生物薬品学薬単学工B	拉斯·公康 引用 A		
5) 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。				米多石原十月片		
6) 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。			ľ			
7)代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。						
8)代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。						
【抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用】						
1) 主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。						
2) 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。			微生物薬品学    	薬物治療学皿A		
3) 副作用軽減のための対処法を説明できる。			1			

			" "	T 34		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1	¥ 0	ğ   τ	п		
	1#	2本	3#	4年	ზ	6#
015 薬物治療に役立つ情報						
(1) 医薬品情報						
【情報】						
1) 医薬コン アルタの棒部を別券がまる			医療系実習			
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。						
3) 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。		机口区域 1	統合医療I 医薬品情報学			
4) 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。						
5) 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。						
【情報源】						
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。						
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。						
3) 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。			医療系実習			
4) 医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途を説明できる。			医薬品情報学			
5) 医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。						
6) 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。						
7) 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。(技能)						
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源			医薬品情報学			医薬品食品相互作用 学
を選択し、必要な情報を検案、収集できる。(技能)			医療系実習			
2) 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。			医薬品情報学			
3) 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。(技能)			X X H I H X Z			
			医療系実習			
4) 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。(知識・態度)						
5) 主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。			医薬品情報学			
[データベース]						
1)代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。			医薬品情報学		感染制御学	
2)医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索 できる。(知識・技能)						
。) インターカットたどを刊用して伴事的た医薬品情報をID権できる (抹飲)			医薬品情報学			
イノメーインドなこで心力していなびな区米即月秋で北米へらる。			医療系実習			
[EBM (Evidence-Based Medicine) ]						
1) EBMの基本概念と有用性について説明できる。						
2)EBM実践のプロセスを概説できる。						
3) 臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所を概説できる。			医薬品情報学			
4)メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。(知識・技能)						薬剤疫学
5) 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違いを説明できる。						
6) 臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)について説明できる。			医薬品情報学			

			常	四菜		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
【総合演習】	_					
1) 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目を列挙できる。						
5論文を評価		<u> </u>	医薬品情報学			
(2) 患者情報	-					
[情報と情報源]						
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。				薬物治療学皿B		
		KDI	医薬品情報学	薬剤学工		
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。						
【収集・評価・管理】						
1) 問題志向型システム (POS) を説明できる。						DNS電器論
2)薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)						の天成     実務実習ポスト教育
3) 患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)						
4)得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。 (知識・技能)			医薬品情報学	薬剤学 II		FU3夫岐調 実務実習ポスト教育
5)SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)				1		POS実践論
6) チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる。(態度)						
7) 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。(知識・態度)						
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して						
【遺伝的素因】						
1)薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。						
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。				薬物治療学皿B		
3) 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。						
【年齡的要因】						
1)新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
2) 幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				薬物治療学皿B		
3) 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【生理的要因】						
1) 生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。				海智治療沙田R		
2) 授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				*12/12/36 1- #5		
3) 栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【合併症】						
1)腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
2) 肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。		HKV.	薬物動態学	薬物治療学皿B		
3) 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【投与計画】						
1) 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)						
2) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。		<u>4</u>	生物薬剤学エ	医离络乳谱		
3)薬動力学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)				医旗机引手		
4)薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。				薬物治療学皿B		

			解	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年			5年	6年
[医薬品をつくる]						
016 製剤化のサイエンス						
(1)製剤材料の性質						
【物質の溶解】						
1)溶液の濃度と性質について説明できる。						
2)物質の溶解とその速度について説明できる。			注 科 生			
3)溶解した物質の膜透過速度について説明できる。			- 忽埋衆別子			
4)物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。						
[分散系]						
1) 界面の性質について説明できる。						
2) 代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。					香粧品科学	
3) 乳剤の型と性質について説明できる。			物理薬剤学			
4)代表的な分散系を列挙し、その性質について説明できる。						
5)分散粒子の沈降現象について説明できる。						
【製剤材料の物性】						
1) 流動と変形(レオロジー)の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。			物理薬剤学		香粧品科学	
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。			神   1.5   1.5			
3) 製剤分野で汎用される高分子の物性について説明できる。			- 来到子 I D			
4)粉体の性質について説明できる。			物理薬剤学			
5)製剤材料としての分子集合体について説明できる。			薬剤学 I B			
6)薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。			春 田 村 区 近			
7) 粉末 X線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。			初年来別十			
8)製剤材料の物性を測定できる。(技能)				薬剤系実習		
(2) 剤形をつくる						
【代表的な製剤】						
1) 代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。						
2) 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。						
3) 代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。				薬剤系実習		
4)代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。			薬剤学IA			
5)代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。						
6) エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。						
7)代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。						
8) 休事的な創刻の有効性と安全性質価注「ついて説明を考え			薬剤学 I B			
メロジタダイプション はいこう オートリ 軍人 こうしん はっこう はっこう しょうしょう						
製剤化の単位操作および汎用される製剤機械につい.			薬剤学 I B			
				薬剤系実習		
3) 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			薬剤学 I A			

横沙牧舎エデニ・コケナニオュル (SBOs)			温	本田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【製剤試験法】						
1) 日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。			本文  年10			
2) 日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)			米三十 I D	薬剤系実習		
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)						
[DDSの必要性]						
1)従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。			薬剤学IB			
7 作才品ぶインフリを田斗し ゆ星 ラ 300 、 7			生物薬剤学Ⅱ			
マン nnson気がC 由 HIHI フいて訳的 c S o o			薬剤学IB			
【放出制御型製剤】						
7年岁品品477)14年3 74岁4城哪姓4岁,成哪届吸信647。			生物薬剤学Ⅱ			
- )校田町毎分教門(赤灰江教門を目む)の付属について説明できる。			薬剤学IB			
の)、伊里的た甘田和御刊制刻太可談がまる			生物薬剤学工			
て、1人女的な双山町中央教用で列手できる。						
3)代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。						
4)徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。			薬剤学IB			
5) 経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる						
6) 腸溶製剤の特徴と利点について説明できる。						
[ターゲティング]						
1、 ターボテッパがの断断と音楽「しいだ当明だまる			生物薬剤学Ⅱ			
こ、メーン・イノンの例文に応載について明治である。			81 劍隊薬			
2)代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。			米別于 1.0			
[プロドラッグ]						
- 1、 分事 や 1 し 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に			生物薬剤学工			
			薬剤学IB			
【その他のDDS】						
1) 代表的な生体膜透過促進法について説明できる。			基剤学 I B			

			談響	本 目		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
C17 医薬品の開発と生産						
(1) 医薬品開発と生産のながれ						
【医薬品開発のコンセプト】						
1) 医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子を列挙できる。			<u>一种</u>		医漱口 間然益	
2) 疾病統計により示される日本の疾病の特徴について説明できる。			十二米三十		三元 三二二 三二二二	
【医薬品市場と開発すべき医薬品】						
1) 医療用医薬品で日本市場および世界市場での売上高上位の医薬品を列挙できる。						
2) 新規医薬品の価格を決定する要因について概説できる。				薬事関係法規工		
3) ジェネリック医薬品の役割について概説できる。						
4) 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の重要性について説明できる。						
【非臨床試験】						
1)非臨床試験の目的と実施概要を説明できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
【医薬品の承認】						
1)臨床試験の目的と実施概要を説明できる。						
2) 医薬品の販売承認申請から、承認までのプロセスを説明できる。				1 日十二四年本		
3) 市販後調査の制度とその意義について説明できる。				米争医ボムス	三元 三元 三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	
4) 医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション (ICM) について概説できる。						
【医薬品の製造と品質管理】						
1) 医薬品の工業的規模での製造工程の特色を開発レベルのそれと対比させて概説できる。						
2) 医薬品の品質管理の意義と、薬剤師の役割について説明できる。					医薬品開発論	
3) 医薬品製造において環境保全に配慮すべき点を列挙し、その対処法を概説できる。						
[規範]						
1) GLP (Good Laboratory Practice)、GMP (Good Manufacturing Practice)、GCP (Good Clinical Practice)、GPMSP (Good Post-Marketing Surveillance Practice) の概略と意義について説明できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
[特許]						
1) 医薬品の創製における知的財産権について概説できる。					医薬品開発論	
[薬害]						
1)代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど)について、その 原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)				薬事関係法規工	医薬品開発論	
(2) リード化合物の創製と最適化						
【医薬品創製の歴史】						
1) 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。			創薬化学		医薬品開発論	
【標的生体分子との相互作用】						
1) 医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。					医薬品開発論	
2) 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。			;			
3)立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。			創薬化学			
4)医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。						
é°						

			松	中		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[スクリーニング]					-	
1) スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。			金梯/小班		<b>万城口 間及計</b>	
2)代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。			- 三米二十			
【リード化合物の最適化】						
1) 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。						
2) 生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。			創薬化学			
3)薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。						
(3) パイオ医薬品とゲノム情報						
【組換え体医薬品】						
1)組物で休医瀬中の柱の上右田性を背間がまる					ゲノム科学エ	
高深ん体色米明の特色ともおはる配めて			造作工工学	ゲノ人科学コ	医薬品開発論	
2)代表的な組換え体医薬品を列挙できる。			누구 [ 디딩	1 + + 4	ゲノ人料学工	
3)組扱え体医薬品の安全性について押討できる。					=	
11. 12. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13. 13					医薬品開発論	
【遺伝子治療】						
1) 遣伝子学癖の佰補 方洋と手順 相状 対トび倫理的問題占を無部が考え (知識・能使)			遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学エ	
さる。					医薬品開発論	
【細胞を利用した治療】						
1) 百件 医療の 店舗 大洋 レチ順 頃 神・ 七 とび (参知 的間 語 古 を 無 部 が き え ) ( 如 謙・ 能 使 )					ゲノム科学エ	
廿十六派の承子、乙分CT県、名字、3080亩平町山路市で海郎、GS。					医薬品開発論	
【ゲノム情報の創薬への利用】						
1)ヒトゲノムの構造と多様性を説明できる。			創薬化学			
2) バイオインフォマティクスについて概説できる。					;	
3) 遺伝子多型(欠損、増幅)の解析に用いられる方法(ゲノミックサザンブロット法など)について 概説できる。			遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学エ	
4)ゲノム情報の創薬への利用について、創薬ターゲットの探索の代表例(イマチニブなど)を挙げ、 ビュー創業の法セトのして説明なま 2			.創薬化学			
イノム剧楽の流だについて説明できる。					医薬品開発論	
【疾患関連遺伝子】						
1)代表的な疾患(癌、糖尿病など)関連遺伝子について説明できる。				ゲノム科学「	ゲノ人料学工	
っ) 佐串関連遣行子情報の薬物療法への応用例を挙げ、無説を考え、					1	
					医薬品開発論	

- H			経	科目		
米十枚目トン・コング・オング(300%)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(4)治験						
[治験の意義と業務]						
1)治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところを説明できる。			<b>松亭 2 田 薬</b>			
2) 医薬品創製における治験の役割を説明できる。			米年光天日	東 田 区 注 担 工	大	
3)治験(第1、11、および11相)の内容を説明できる。				米事法派法院工	<b>三三三</b>	
4)公正な治験の推進を確保するための制度を説明できる。						
5) 治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性について討議する。 (態度)			薬理系実習			
6)治験業務に携わる各組織の役割と責任を概説できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
【治験における薬剤師の役割】						
1)治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)を説明できる。						
2) 治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。			薬理系実習		医薬品開発論	
3)治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる。						
4) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。(態度)						
(5) パイオスタティスティクス						
【生物統計の基礎】						
1)帰無仮説の概念を説明できる。						
2) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。						
3)主な二群間の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)			薬理系実習			
$4$ ) $\chi 2$ 検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)				医療統計学		
5) 最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能)						
6)主な多重比較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。						
7)主な多変量解析の概要を説明できる。						
【臨床への応用】						
1)臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を 説明できる。				食品栄養学工		
2) バイアスの種類をあげ、特徴を説明できる。						
3) バイアスを回避するための計画上の技法(盲検化、ランダム化)について説明できる。				医療統計学		
4) リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算できる。 (知識・技能)						
5)基本的な生存時間解析法(Kaplan-Meier曲線など)の特徴を説明できる。						

			解	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
C18 薬学と社会         2010						
(1)薬剤師を取り巻く法律と制度						
【医療の担い手としての使命】						
1、苯对邻氏的现在分词 1、一个仓留的事件大力增长了一个银币			医薬品情報学	薬事関係法規 I	医療経済学	
米利率の医療の行うすることの電性的負付を目見りる。			2. 计		解戦し部	薬局管理学
2) 医療過誤、リスクマネージメントにおける薬剤師の責任と義務を果たす。(態度)			暗 <b>不米</b> ≁ 1		婚調化子	
[法律と制度]						
1) 滋刻師一間油木名字等の様式を設まれるよ			医薬品情報学			
米川町に河足りのゴカツ伸及で記当てで				薬事関係法規 I		
2)薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。			:	薬事関係法規工		
3)薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。			臨床樂學 I		鑑識化学	
4)薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。				薬事関係法規 I		
5)医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる。						
6) 医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。				二 目 十 之 目 早 率		
7)製造物責任法を概説できる。				来 事 短 涂 法 祝 L		
[管理薬]						
1) 麻薬及び向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。				薬事関係法規 I		
2) 覚せい剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。				漢方生薬化学	条件	
3) 大麻取締法およびあへん法を概説できる。				1 盽式多間重楽	十二治場「	
4)毒物及び劇物取締法を概説できる。						
【放射性医薬品】						
1) 放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など) および制度について概説できる。					鑑識化学	
2)代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試験法を概説できる。						
(2) 社会保障制度と薬剤経済						
【社会保障制度】						
1)日本における社会保障制度のしくみを説明できる。					医废绞体带	薬局管理学
2)社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。				東東間 6 注 指 〒	医原性角子	
3) 介護保険制度のしくみを説明できる。				米 宇 河 ボ ム が エ		薬局管理学
4)高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。					医療経済学	
[医療保険]						
1)医療保険の成り立ちと現状を説明できる。						
2)医療保険のしくみを説明できる。				薬事関係法規工	军廢祭洛亭	薬局管理学
3) 医療保険の種類を列挙できる。						
4) 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。						

			<b>市</b>	<u>4</u>		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)						-
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【薬剤経済】						
1) 国民医療費の動向を概説できる。						薬局管理学
2)保険医療と薬価制度の関係を概説できる。				工 田 工 四 里 平	压废绞决进	
3)診療報酬と薬価基準について説明できる。				米事 闰ボ 広 児 山	医烷性消子	
4) 医療費の内訳を概説できる。						
5)薬物治療の経済評価手法を概説できる。					医家公汝岩	
8)代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる。(知識・技能)					医掠柱消子	
(3) コミュニティーファーマシー						
【地域薬局の役割】						
1)地域薬局の役割を列挙できる。						
2) 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。			医療系実習	薬事関係法規工	在宅医療概論	薬局管理学
3) 学校薬剤師の役割を説明できる。						
【医薬分業】						
1)医薬分業のしくみと意義を説明できる。					医療経済学	薬局管理学
2) 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。(知識・態度)				薬事関係法規Ⅱ		
3)かかりつけ薬局の意義を説明できる。						薬局管理学
【薬局の業務運営】						
1)保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。						薬局管理学
2)薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。				<b>苯重阻</b> 依注相 π		
3) 医薬品の流通のしくみを概説できる。				⋇ <del>⋠</del> ⋽⋒⋈⋨⋒⋴	医療経済学	
4)調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。						薬局管理学
【016薬・セルフメディケーション】						
1) 地域住民のカルフメディケーションのために薬剤師が埋たす役割を討議する」(能度)	統合医療 [		<b>統合医</b> 療Π		医療経済学	
	7. H E-7. H					
2)主な一般用医薬品(01C薬)を列挙し、使用目的を説明できる。					一般用医薬品学	<b>操</b> 匹绝苗沙
3) 蓮方蓮 生活改善薬 サプリメント 保健機能食品について棚笥できる。	4446年 1		4年の 1年 1日	食品栄養学工		K H H H
1973年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年、1977年	7. A. A. A.			機能性食品学		医梁品食品相互作用  学

## SBOSに該当する科目 (基礎資料3-1)薬学教育モデル・コアカリキュラムの

平成21、22年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名を実施学年の欄に記入してくださ同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。 四二

学科基幹科目 学科基幹科目 学科基幹科目 ···健康薬学科 ····漢方薬学科 ····医療薬学科 健漢医

[備考]

1 4 5 4 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			蘇	科目		
条子教育セナル・コアカリキュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 全学年を通して:ヒューマニズムについて学ぶ						
(1) 生と死						
	ヒューマニズム I					
1)人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。(知識・態度)	伝統医薬学(漢)					
	社会福祉学					
	ヒューマニズム I		77 7 7 7 1 11	ゲノム科学 I		
2)誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生削診断など)の概略と問題点を説明できる。	医療倫理学		1			
	哲学					緩和医療実践学
3) 医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。	172-27					
4)死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。	医療倫理学					
	哲学					
5) 自らの体験を通して、生命の尊さと医療の関わりについて討議する。(態度)	Lユーマニズム I					
[医療の目的]						
	ヒューマニズム I					
1) 予防、治療、延命、QOLについて説明できる。	医療倫理学	統合医療 I		統合医療工		緩和医療実践学
	社会福祉学					
【先進医療と生命倫理】						
1)医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を 押説できる。	ヒューマニズム I ###			ゲノム科学 I		·緩和医療実践学
	<b>+</b>					
(2) 医療の担い手としてのこころ構え						
【社会の期待】						
1) 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。(態度)				臨床薬学 I		
っ)医癖の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提客する。(知識・能度)	ヒューマニズムⅡ	統合医療 I		統合医療工		
	<b>小</b>					緩和医療実践学
3) 医療の担い手にふさわしい態度を示す。(態度)				臨床薬学 I		
	社会福祉学					

			* *	۵ 3		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)			益			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【医療行為に関わるこころ構え】						
1) ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。						
2) 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。	ヒューマニズム I 沫学		医薬品情報学			
2 年 7 日 宗 7 本 国 5 一 株 4 多 1 ・・ 7・・ 7・ 3 7 一 下 7・・ 7・ 3 7 一 下 7・・ 7・・ 1 ・ 3 7 一 下 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7・・ 7	<u> </u>			国 大阪 北京 東京 大阪 三田 大阪 大学 三田 大阪 大学 三田 大阪 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		
3)インノオームト・コンセントの足報と必安性を説明できる。	医療倫理学					緩和医療実践学
4)患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度)	<u> </u>					
5)医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	ヒューマニズム I 法学					
【研究活動に求められるこころ構え】						
1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。						
2) 研究者に求められる自立した態度を身につける。(態度)	ヒューマニズム II 法学					緩和医梅実胖学
3)他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。(態度)	社会福祉学					
【医薬品の創製と供給に関わるこころ構え】						
1) 医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度)	ヒューマニズムⅡ					经书子家中程序
2) 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	法学					板仙区掠天坛子
【自己学習·生涯学習】						
1)医療に関わる諸問題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。 (知識・技能・態度)	ヒューマニズムⅡ		ヒューマニズムIV			緩和医療実践学
2) 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	法子					
(3) 信頼関係の確立を目指して						
[コミュニケーション]						
1)言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。		ロイニズマ				
2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。	<b>计</b> 会哲学等	コニュニケーション・	薬局管理学(医)			緩和医療実践学
3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。		薬学総合実習(PBL)				
【相手の気持ちに配慮する】						
1)対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。	少理学					
2)相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度)	正学	コニュニケーション が 無事総合電路(DRI)				緩和医療実践学
3) 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)		***************************************				
【患者の気持ちに配慮する】						
1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。		ヒューマニズム皿				
2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)		医療心理学(医)				
3) 患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)	心理学					緩和医療実践学
4)患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。 (態度)		ヒューマニズムⅢ				
5) 不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。 (知識・態度)	社会福祉学					

(2) 00) 7 11 - 千二千月了。三川日保証機			科	本目		
米十枚百トング・エングンイオング(3008)	1年	2年	3年	女 4	5年	6年
[₹−47− <i>4</i> ]						
1)チームワークの重要性を例示して説明できる。		,				
2) チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)		トューマニズムⅢ 薬学総合実習(PBL)				緩和医療実践学
3) 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)						
【地域社会の人々との信頼関係】						
1)薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。	杂化异个花	皿 7 だーとーェイ				經和医療牢胖学
2)薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)	<b>七岁雷位于</b>					核型內族米茲十

			紅	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
B イントロダクション						
(1) 薬学への招待						
【薬学の歴史】						
1) 瀬守 ( 廃中 的 た 洗 と ) 内 医 底 し む こ が ず が が は し か ま た 心 割 た 哺 記 た ま と			漢方薬剤学(漢)			
米ナい座文的な流れて 区域にあい こ米ナ	イントロダクション 伝統医薬学(漢)		漢方生薬化学			
2)薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。						
【薬剤師の活動分野】						
1)薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。					医療経済学	
2)薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。	, , , , ,					
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。	- ヘーハクタロュイト				医療経済学	
4) 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。						
5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。					医療経済学	
[薬について]						
1)「薬とは何か」を概説できる。						
2)薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。			漢方生薬化学			
3) 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。	イントロダクション					
4)種々の剤形とその使い方について概説できる。						
5) 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。	£1.	統合医療 I	漢方薬剤学(漢)	統合医療Ⅱ	香粧品科学(健)	
【現代社会と薬学との接点】						
1) 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。						
2) 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。	イントロダクション		漢方生薬化学			
3)薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。						
【日本薬局方】						
1) 日本薬局方の意義と内容について概説できる。			日本薬局方			
【総合演習】						
1) 医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(態度)	<b>イヒトロダクション</b>					
2) 身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。(技能)						
(2) 早期体験学習						
1)病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。						
2) 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。(知識・態度)	<b>申</b> 即休赔学翌					
3)製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割 について討議する。(知識・態度)	十% 学术目					
4)保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。(知識・態度)						

			跳	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
C 薬学専門教育						
[物理系薬学を学ぶ]						
(1 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
【化学結合】						
1) 化学結合の成り立ちについて説明できる。	化学入門 I					
2) 軌道の混成について説明できる。	化学入門 I					
3)分子軌道の基本概念を説明できる。						
4)共役や共鳴の概念を説明できる。						
【分子間相互作用】						
1) 静電相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門 I					
2) ファンデルワールスカについて例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
4)分散力について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
5) 水素結合について例を挙げて説明できる。	化学入門 I 理論化学 I	細胞生物学				
6) 電荷移動について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
7) 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門 I 理論化学 I					
【原子・分子】						
1)電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。		機器分析学 I				
2)分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。	- *** : <====					
3) スピンとその磁気共鳴について説明できる。	- 英電允子 1					
4)分子の分極と双極子モーメントについて説明できる。						
5)代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。(知識・技能)	基礎科学実習					
6) 偏光および旋光性について説明できる。						
フ)散乱および干渉について説明できる。	理論化学 I	機器分析学工				
8)結晶構造と回折現象について説明できる。						
【放射線と放射能】						
1) 原子の構造と放射壊変について説明できる。						
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。	!					
3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。	物理字人門					
4) 核反応および放射平衡について説明できる。						
5) 放射線の測定原理について説明できる。						
(2) 物質の状態 I						
1) ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	薬学演習 I B (化 学)					
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	物理学入門工	理論化学工				
3)エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。						

			新			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
[エネルギー]						
1)系、外界、境界について説明できる。						
2)状態関数の種類と特徴について説明できる。		一里之外 四				
3)仕事および熱の概念を説明できる。						
4)定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。		<b>→ 沙田 文 車 翌 Ⅲ</b>				
		ロケンチの				
5)熱力学第一法則について式を用いて説明できる。 6)代表的な過程(変化)における熱と仕事を計算できる。(知識、技能)	物理学入門 II					
こついて説明できる。		मा अस्ति च				
8)代表的な物理変化。化学変化に伴う煙淮エンタルピー変化を説明し、計管できる。(知識・技能)						
こなどではなって マイタン・ドイン・ドイン・ドイン・ドイン・ドイン・・・・・・・・・・・・・・・・・		化学・物理系実習エ				
9)標準生成エンタルピーについて説明できる。		理論化学工				
【自発的な変化】						
1)エントロピーについて説明できる。		工作人张田				
2)熱力学第二法則について説明できる。	物理学入門 I	薬品分析化学工				
第37 一个光线而不合并,67 D 一个十八年已分并定了,分并用是个女子的						
<b>代表的な物理炎化、化字炎化に件</b>						
4)熱力学第三法則について説明できる。		田論化学工				
5)自由エネルギーについて説明できる。						
6)熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。(知識、技能)		薬品分析化学工				
7) 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。		出了一个				
8) 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性 (van't Hoffの式) について説明できる。		1十二温世				
9) 共役反応について例を挙げて説明できる。						
(3) 物質の状態 II						
【物理平衡】						
1)相変化に伴う熱の移動(Clausius-Clapeyronの式など)について説明できる。						
2) 相平衡と相律について説明できる。		1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5				
3)代表的な状態図(一成分系、二成分系、三成分系相図)について説明できる。		米哥参加5十1				
4)物質の溶解平衡について説明できる。	薬学演習IB(化					
5) ※海の車一的性質(温漆圧)連占ト駅・海周占修下たど)「ついて部間がきみ	(太)	薬品物理化学エ				
		化学・物理系実習エ				
6) 界面における平衡について説明できる。		薬品物理化学 I				
7) 吸着平衡について説明できる。						
8)代表的な物理平衡を観測し、平衡定数を求めることができる。(技能)			171	薬剤系実習		

			該当			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
[溶液の化学]						
1)化学ポテンシャルについて説明できる。		理論化学工 英品物語化学工				
つ)活量人活量係数について説明できる。	報告 報	ボボル・コン・一連の開発の関係を対象の関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を				
		注記   11.5   12.5   13.5				
4) 電級路のエルに消昨の連年亦化 大部門でき 2	K	1 CO H.S				
■解真のモル加等度の派及多元を訪究で含 イオンの輸率と移動度について説明できる		素品物理化学 II =====				
)イオン強度について説明できる。						
7)電解質の活量係数の濃度依存性(Debye-Hückelの式)について説明できる。		薬品物理化学 I				
		薬品物理化学エ				
1)代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。						
2)標準電極電位について説明できる。						
3) 起電力と標準自由エネルギー変化の関係を説明できる。	村	1 班公田				
4) Nernstの式が誘導できる。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	米品参年17十二				
5)濃淡電池について説明できる。						
6) 膜電位と能動輸送について説明できる。						
(4)物質の変化						
【反応速度】						
1) 反応次数と速度定数について説明できる。						
2) 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)						
3)代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	**************************************	コキルキュ				
4)代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)	北	・物理系実習 II				
5)代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。	1					
6)反応速度と温度との関係(Arrheniusの式)を説明できる。	K K H H H H H H H H H H H H H H H H H H	の生にチェ・物理系実習Ⅱ				
7) 衝突理論について概説できる。						
8) 遷移状態理論について概説できる。	# #					
9)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応など)について説明できる。	 	米品参姓化米 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11				
10) 酵素反応、およびその拮抗阻害と非拮抗阻害の機構について説明できる。						
【物質の移動】						
1) 拡散および溶解速度について説明できる。						
2) 沈降現象について説明できる。		薬品物理化学 I				
3) 流動現象および粘度について説明できる。						

4 : 4			默	科目		
条子教育セナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C2 化学物質の分析						
(1) 化学平衡						
【酸と塩基】						
1)酸・塩基平衡を説明できる。						
2)溶液の水素イオン濃度(pH)を測定できる。(技能)		機器分析学工	日本薬局方			
3)溶液のpHを計算できる。(知識・技能)	率品分析化学 1					
4)緩衝作用について具体例を挙げて説明できる。	来聞の記して 薬学演習IB(化					
	学)					
5)代表的な緩衝液の特徴とその調製法を説明できる。	<b>東品公析化学 1</b>					
<b>  による分子形、イオン形の変化を説明できる。</b>						
【各種の化学平衡】						
1) 錯体・キレート生成平衡について説明できる。						
2) 沈殿平衡 (溶解度と溶解度積) について説明できる。		果品分析化学业				
3)酸化還元電位について説明できる。						
4)酸化還元平衡について説明できる。						
5) 分配平衡について説明できる。						
6) イオン交換について説明できる。						
(2) 化学物質の検出と定量						
【定性試験】						
1) 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。	薬品分析化学 I					
2)日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		化学・物理系実習エ				
3)日本薬局方収載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。						
【定量の基礎】						
1) 実験値を用いた計算および統計処理ができる。(技能)		化学・物理系実習エ				
2) 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。						
3)日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。						
4) 日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。						
5)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。						
【容量分析】						
1) 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		化学・物理系実習エ				
2)非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
3)キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。			十 山 浜			
4) 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		拼口公书分形工	口个米回乙			
5)酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
6) 電気滴定(電位差滴定、電気伝導度滴定など)の原理、操作法および応用例を説明できる。						
7)日本薬島方収載の代素的た医薬品の容量分析を実施できる (技能)		化学・物理系実習エ				
14米河ン大戦なこなおずる6米田でひ乗とずに6米泥への。0.						

			松			
楽子教育七ナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【金属元素の分析】						
1)原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。		数 器 公 井 珍 工	日本薬局方			
2) 発光分析法の原理、操作法および応用例を説明できる。						
[クロマトグラフィー]						
1) クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。			口木ボ巨木			
2) クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。		機器分析学 I	口个来问力			
3)薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離分析できる。(知識・技能)		化学・物理系実習Ⅰ				
		化学・物理系実習工				
(3)分析技術の臨床応用						
【分析の準備】						
1) 代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取扱いができる。(技能)		機器分析学 I				
2)臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。						
[分析技術]						
1) 臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。			日本薬局方			
2) 免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。						
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)				吊石材外形		
4) 電気泳動法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		機器分析学工		<b>留外</b> 74月十		
5)代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。						
6)代表的なドライケミストリーについて概説できる。						
7)代表的な画像診断技術(X線検査、CIスキャン、MRI、超音波、核医学検査など)について概説 できる。						
8) 画像診断薬(造影剤、放射性医薬品など)について概説できる。						
9) 薬学領域で繁用されるその他の分析技術(バイオイメージング、マイクロチップなど)について概説できる。						
【薬毒物の分析】						
1) 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。			薬物代謝安全性学		(母) (本)	
2)代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)のスクリーニング法を列挙し、説明できる。						
3)代表的な中毒原因物質を分析できる。(技能)			衛生系実習Ⅱ			

			談響	4 目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C3 生体分子の姿・かたちをとらえる						
(1) 生体分子を解析する手法						
[分光分析法]						
1) 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
2) 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。			日本薬局方			
3) 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		数部公许形 1				
4)電子スピン共鳴(ESR)スペクトル測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
5) 旋光度測定法(旋光分散)、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について 説明できる。			日本薬局方			
6)代表的な生体分子(核酸、タンパク質)の紫外および蛍光スペクトルを測定し、構造上の特徴と関連付けて説明できる。(知識・技能)						
【核磁気共鳴スペクトル】						
1) 核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。		数据公许形 1				
2)生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。						
[質量分析]						
1)質量分析法の原理を説明できる。		機器分析学工				
6) 生体公子仓额指入仓留冒分并仓际田间下心17节部品产业及		機器分析学 I				
エトンコン肝が、この食悪のかしてがあれて		機器分析学工				
[ X線結晶解析]						
1) X線結晶解析の原理を概説できる。		<b>機器公托売工</b>				
2)生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。		17. T. H. XVI				
【相互作用の解析法】						
1)生体分子間相互作用の解析法を概説できる。						
(2) 生体分子の立体構造と相互作用						
【立体構造】						
1)生体分子(タンパク質、核酸、脂質など)の立体構造を概説できる。	理論化学 I					
3) タンパク質の立体構造を規定する因子(疎水性相互作用、静電相互作用、水素結合など)について、具体例を用いて説明できる。		細胞生物学				
4) タンパク質の折りたたみ過程について概説できる。						
5)核酸の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。						
6)生体膜の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。		薬品物理化学 I				
【相互作用】						
1) 鍵と鍵穴モデルおよび誘導適合モデルについて、具体例を挙げて説明できる。						
2) 転写・翻訳、シグナル伝達における代表的な生体分子間相互作用について、具体例を挙げて説明できる。						
3) 脂質の水中における分子集合構造(膜、ミセル、膜タンパク質など)について説明できる。		薬品物理化学 I				
4)生体高分子と医薬品の相互作用における立体構造的要因の重要性を、具体例を挙げて説明できる。						

			紅			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年		5年	6年
C4 化学物質の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質						
【基本事項】						
1)基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。						
2)薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。						
3) 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。						
4) 有機反応における結合の開裂と生成の様式について説明できる。						
5)基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説できる。	有機薬化学 I A					
6) ルイス酸・塩基を定義することができる。						
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン)の構造と性質を説明できる。						
8) 反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。						
9) 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。						
[有機化合物の立体構造]						
1)構造異性体と立体異性体について説明できる。	有機薬化学 I A					
2) キラリティーと光学活性を概説できる。	化字人門      有機薬化学 I B					
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。						
4) ラセミ体とメソ化合物について説明できる。						
5)絶対配置の表示法を説明できる。	有機薬化学 IB					
6)Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。						
7) エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。	有機薬化学IA					
【無機化合物】						
1) 代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。						
2)代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。	化学入門工					
3)窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。						
4) イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。						
5)代表的な無機医薬品を列挙できる。						
[錯体]						
1)代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。						
2)配位結合を説明できる。						
3)代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。						
4) 錯体の安定度定数について説明できる。						
5) 錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。						
6) 錯体の反応性について説明できる。						
7) 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。						

			終票			
楽字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(2) 有機化合物の骨格						
[アルカン]						
1)基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。	有機薬化学IA					
2)アルカンの基本的な物性について説明できる。	化学入門工					
3)アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。						
4)シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。						
5) シクロヘキサンのいす形配座と舟形配座を図示できる。	有機薬化学IA					
6)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。						
7) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。						
【アルケン・アルキンの反応性】						
1) アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。						
2) アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。						
3)アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性(Markovnikov 則)について説明できる。						
4)カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。	有機薬化学 I V 有機薬化学 I B					
5) 共役ジェンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。						
6)アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。						
7) アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。						
【芳香族化合物の反応性】						
1)代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。						
2)芳香族性(Hückel則)の概念を説明できる。	化学入門工					
3)芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。		有機薬化学IIA				
4)芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。						
5) 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。						
(3) 官能基						
【概説】						
1)代表的な官能基を列挙し、個々の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。						
2)複数の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。	有機薬化学IA					
3)生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。						
4)代表的な官能基の定性試験を実施できる。(技能)		4年以中部				
5) 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)	基礎科学実習	ルチ・物理が失自!				
6) 日常生活で用いられる化学物質を官能基別に列挙できる。						
【有機ハロゲン化合物】						
1) 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。						
2) 求核置換反応 (Sulおよび Su2反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。	有機薬化学 IB					
3) ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff則)を 説明できる。						

			二	本		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年		4年	5年	6年
<b>【アルコール・フェノール・チオール】</b>						
1)アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	化学入門工					
2)フェノール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機薬化学IIA				
3) フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。						
[エーテル]						
1) エーテル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		VI上京化建新早				
2)オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。		1年版米にナロル				
【アルデヒド・ケトン・カルボン酸】						
1)アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。	1 開工					
2)カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	15+711	有機薬化学IIB				
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル)の代表的な性質と 反応を列挙し、説明できる。						
[フミン]						
1)アミン類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		<b>★報報</b> 方派 I A				
2)代表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができる。	化学入門工	右板米によ T A ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■				
【官能基の酸性度・塩基性度】						
1)アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。		有機薬化学IIA				
2)アルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。						
3) 含窒素化合物の塩基性度を説明できる。		有機薬化学IIA				
(4) 化学物質の構造決定						
1) 化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。						
K'H NMR]						
1)NMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。						
3) 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。						
4)重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。		操器分析形 1				
5) <sup>1</sup> H NMRの積分値の意味を説明できる。		1 T 10 C 34 XI				
6) 「H NMRシグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する理由と、分裂様式を説明できる。						
7)「H NMRのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。						
8)代表的化合物の部分構造を¹H NMR から決定できる。(技能)						
K <sup>13</sup> C NMR]						
1) <sup>13</sup> C NMRの測定により得られる情報の概略を説明できる。		1 化岩分铝紫				
2) 代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。		城命刀机于 1				
[IRスペクトル]						
1)IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。		1 形华// 8 弊				
2) IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)						
【紫外可視吸収スペクトル】						
1)化学物質の構造決定における紫外可視吸収スペクトルの役割を説明できる。		機器分析学 I				

(2003) 71114111111111111111111111111111111111			無 雞	科目		
米子牧月モンル・コノルリオエノム(3DOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[マススペクトル]						
1)マススペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。						
3) ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明ができる。						
4)塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。		機器分析学工				
5) 代表的なフラグメンテーションについて概説できる。						
6)高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。						
7) 基本的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)						
【比旋光度】						
1)比旋光度測定法の概略を説明できる。						
2) 実測値を用いて比旋光度を計算できる。(技能)		世界 公井沙田				
3)比旋光度と絶対配置の関係を説明できる。						
4)旋光分散と円二色性について、原理の概略と用途を説明できる。						
【総合演習】						
1)代表的な機器分析法を用いて、基本的な化合物の構造決定ができる。(技能)		機器分析学 I				

4 1 4			解	村 目		
条子教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C5 ターゲット分子の合成						
(1) 官能基の導入・変換						
1) アルケンの代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
2) アルキンの代表的な合成法について説明できる。						
3) 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
4) アルコールの代表的な合成法について説明できる。						
5) フェノールの代表的な合成法について説明できる。		有機薬化学IIA				
6) エーテルの代表的な合成法について説明できる。						
7) アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。						
8) カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。						
9)カルボン酸誘導体(エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物)の代表的な合成法		有機薬化学IIB				
について説明できる。		化学・物理系実習Ι				
10) アミンの代表的な合成法について説明できる。		有機薬化学IIB				
11) 代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			薬品製造化学			
12)代表的な官能基を他の官能基に変換できる。(技能)		化学・物理系実習I				
(2) 複雑な化合物の合成						
【炭素骨格の構築法】						
1) Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。						
2) 転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。						
3)代表的な炭素酸のpKaと反応性の関係を説明できる。			薬品製造化学			
4)代表的な炭素-炭素結合生成反応(アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル 合成、Michael付加、Mannich反応、Grignard反応、Wittig反応など)について概説できる。		有機薬化学ⅡB				
【位置および立体選択性】						
1) 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			苯甲制苯化酚			
2) 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			米部教母に丁			
【保護基】						
1) 官能基毎に代表的な保護基を列挙し、その応用例を説明できる。			薬品製造化学			
【光学活性化合物】						
1) 光学活性化合物を得るための代表的な手法(光学分割、不斉合成など)を説明できる。			薬品製造化学			
【総合演習】						
1)課題として与えられた化合物の合成法を立案できる。(知識・技能)			苯二氢苯乙基			
2) 課題として与えられた医薬品を合成できる。(技能)	其磁剂学生型	化学·物理系実習 I	米品教但几十			
3)反応廃液を適切に処理する。(技能・態度)	金売けて入口					

			計	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
06 生体分子・医薬品を化学で理解する						
(1) 生体分子のコアとパーツ						
【生体分子の化学構造】						
<ul><li>1)タンパク質の高次構造を規定する結合(アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など)および相互作用について説明できる。</li></ul>						
2) 糖類および多糖類の基本構造を概説できる。	化学入門工	新酌生物学				
3) 糖とタンパク質の代表的な結合様式を示すことができる。			医薬品化学 I			
4) 核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。						
5)生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を説明できる。						
【生体内で機能する複素環】						
<u> </u>			医薬品化学 I			
1) 王仲凶に付仕りる九衣町な後糸壌1.6日物を列手し、伸厄むを音へことができる。			医薬品化学工			
2) 核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。						
3) 複素環を含む代表的な補酵素(フラビン、NAD、チアミン、ピリドキサール、葉酸など)の機能を 化学反応性と関連させて説明できる。			医薬品化学 I			
【生体内で機能する錯体・無機化合物】						
1)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。	化学入門工					
2)活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。			医薬品化学 I			
3) 一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。						
【化学から観る生体ダイナミクス】						
1) 代表的な酵素の基質結合部位が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。						
2) 代表的な酵素(キモトリプシン、リボヌクレアーゼなど)の作用機構を分子レベルで説明できる。			医薬品化学 I			
3) タンパク質リン酸化におけるATPの役割を化学的に説明できる。						
(2) 医薬品のコアとパーツ						
【医薬品のコンポーネント】						
1) 代表的な医薬品のコア構造(ファーマコフォア)を指摘し、分類できる。						
2) 医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明できる。	化学入門工		医薬品化学 I			
【医薬品に含まれる複素環】						
1)医薬品として複素環化合物が繁用される根拠を説明できる。			1 無化日薬因			
2) 医薬品に含まれる代表的な複素環化合物を指摘し、分類することができる。						
3)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。						
4)代表的芳香族複素環の求電子試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
5)代表的芳香族複素環の求核試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
【医薬品と生体高分子】						
1)生体高分子と非共有結合的に相互作用しうる官能基を列挙できる。						
2)生体高分子と共有結合で相互作用しうる官能基を列挙できる。			医薬品化学 I			
3)分子模型、コンピューターソフトなどを用いて化学物質の立体構造をシミュレートできる。 (知識・技能)		化学・物理系実習 I				
					_	

			然	科目		
条子教育セナル・コノカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生体分子を模倣した医薬品】						
1) カテコールアミンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
2) アセチルコリンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			1 十二 日米区			
3) ステロイドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
4) 核酸アナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			医薬品化学工			
5) ペプチドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
【生体内分子と反応する医薬品】						
1)アルキル化剤とDNA塩基の反応を説明できる。						
2) インターカレーターの作用機序を図示し、説明できる。			医薬品化学工			
3) 8-ラクタムを持つ医薬品の作用機序を化学的に説明できる。						
67 自然が生み出す薬物						
(1)薬になる動植鉱物						
【生薬とは何か】						
		生薬学 I A	民間薬概論(漢)			
1)代表的な生薬を列挙し、その特徴を説明できる。	薬用植物学	σ.	漢)素利之			
			東洋医薬学概論(海)(西)			
っ、土港の麻中について再当だまん		年楽字 I A 本草学 I (漢)	(健) (医)			
			漢方生薬化学			
3)生薬の生産と流通について概説できる。	薬用植物学	生薬学 I B	漢方薬剤学(漢) 東洋医薬学概論			
			(健) (医)			
[薬用植物]						
1)代表的な薬用植物の形態を観察する。(技能)	•	化学・物理系実習Ⅰ	•			
2)代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。		生薬学 I A				
3)代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。	薬用植物学	生薬学IB	漢方薬剤学(漢)			
・ 学子 ( 壮能)						
IVXXII'Y O X / II'I III II		化学·物理系実習 I				
5)代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。		生薬学IA 生薬学IB				
[植物以外の医薬資源]						
1) 計物 鉱物中来の医薬品について目体例を巻げて説明がきる		生薬学IA	天然物化学			
		生薬学IB	漢方薬剤学(漢)			

			1	科 目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生薬成分の構造と生合成】						
	薬用植物学					
そ			7 T 14			
4)代表的なアルカロイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		<b>T</b> 1990	大然物化字 漢方薬剤学(漢)			
5)代表的なフラボノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
6)代表的なフェニルプロパノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
7)代表的なポリケチドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。		THE STATE OF THE S	漢方薬剤学(漢)			
【農薬、香粧品としての利用】						
1) 天然物質の農薬、香粧品などの原料としての有用性について、具体例を挙げて説明できる。	生薬学」	A	漢方薬剤学(漢)			
	生薬学』	B :				
【生薬の同定と品質評価】						
1) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。	一 一 一 一 一 一 一 一 一	V C				
2)代表的な生薬を鑑別できる。(技能)		· D 勿理系実習 I				
3)代表的な生薬の確認試験を実施できる。(技能)	77 5	; ;				
4)代表的な生薬の純度試験を実施できる。(技能)		物理米美官 1	漢力樂剤子 (漢)			
N H	生薬学 I	. A				
工業の内たこの具計画法について協践でき	生薬学 I B	. B				
(2)薬の宝庫としての天然物						
【シーズの探索】						
1) 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる。		<u>他</u> 於	創薬化学 漢方薬剤学 (漢)			
	在 上 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	∢ (	(洋医薬学概論 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			
2)シーズの探索に貢献してきた伝統医学、民族植物学を例示して概説できる。	任業4.	m	(歴) (色) (然物化学			
		颖	漢方生薬化学			
3)医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列挙できる。		ш.	東洋医薬学概論 (健) (医)			
		50	漢方薬剤学(漢)			
【天然物質の取扱い】	-	-	-	-	-	
1) 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)		物理系実習Ⅰ	401.			
		I	漢方薬剤学(漢)			
り、代表的な天然右襟化合物の構造決定法について目体例を挙げて押討がきる。		K	天然物化学			
このなどでも、「おこの「井上の人」という。これはいって、「中の」という。		iii	漢方生薬化学			
【微生物が生み出す医薬品】						
1) 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる。		第	微生物薬品学			
		100 T	漢方薬剤学(漢)			
【発酵による医薬品の生産】				_		
1)微生物による抗生物質(ペニシリン、ストレプトマイシンなど)生産の過程を概説できる。		45	微生物薬品学			
		100	漢方薬剤学(漢)			

(9003) 74"十十二十二十二十二年朱永某			無 雞	科目		
米子牧月モノル・コノコソナユノガ(SDOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【発酵による有用物質の生産】						
1)微生物の生産する代表的な糖質、酵素を列挙し、利用法を説明できる。			漢方薬剤学 (漢)			
(3) 現代医療の中の生薬・漢方薬						
[漢方医学の基礎]						
, 各年が提供しついて概能できる。		生薬学 I A なみにあ 1	東洋医薬学概論(健) (医)		漢方鍼灸治療	本草学用(漢)
	•	机百医煤 1 本草学 I	漢方理論(漢)		がロンスないと	
っ) 増大漸 ケ 田間 薬 ・ 休 禁 医 域 ケ の 扫 遠 に つ ハ ケ	伝統医薬学(漢)	生薬学 I A	民間薬概論(漢)			
送び来とな同来、い目らぶとの1位年に		年楽字 I B 統合医療 I		統合医療工業十四十部(選)		
3) 漢方薬と西洋薬の基本的な利用法の違いを概説できる。		本草学 I	  東洋医薬学概論(健)	漢力処力子 (漢)	臨床漢方治療学工	臨床漢方治療学皿
			(医) (医) (()		(漢)	(漢)
4)漢方処方と「証」との関係について概説できる。			漢ク埋誦(漢)		統合医療特論(漢)	
		統合医療 I			漢方鍼灸治療	(東) 工作工
5)代表的な漢方処方の適応症と配合生薬を説明できる。		4 Ⅰ 英本	漢方薬剤学(漢)			
6) 漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。		生薬学IB		漢方処方学(漢)		
フ)漢方エキス製剤の特徴を煎液と比較して列挙できる。			漢方薬剤学 (漢)			
【漢方処方の応用】						
1) 代表的な疾患に用いられる生薬及び漢方処方の応用、使用上の注意について概説できる。		生業 本業 I A 年 基 I B	<b>#</b> 0	漢方処方学(漢)		臨床漢方治療学皿 (達)
2)漢方薬の代表的な副作用や注意事項を説明できる。			漢万楽剤字(渓)		統合医療特論(漢) 	

			**			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	· 世	<b>分</b>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>存</b>	п	ñ
	#	# 7	# 0	#	# 00	# 0
[生物系薬学を学ぶ]						
C8 生命体の成り立ち						
(1) ヒトの成り立ち						
[報酬]						
1) ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。		能形態学IIA				
2) ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。	徳能が膨子 1.4 生) 	生物系実習				
【神経系】						
1) 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	操	薬理学 I				
り、体性神経系の構成と機能の無要を説明できる。		薬理学IIA				
でにはまたくでものでも、後になってので、そのでは、これは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには		機能形態学IIA 新田学IIA				
3)自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。	······································	性子 II A				
【骨格系·筋肉系】						
°C	۰					
な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。	機能が膨子 1 D 生!	生物系実習				
[皮膚]						
1) 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。 機	機能形態学IB				香粧品科学(健)	
[循環器系]					•	
	機	機能形態学ⅡA	薬理学IIB			
1) 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。	<b>₩</b>	生物系実習				
	( <b>種</b> )	健康スポーツ科学 (健)				
2) 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IIA				
3) リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IIB				
[呼吸器系]						
1)肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学ⅡB				
	<u>#</u>	生物系実習				
/陽、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	機能形態学 IB 生	生物系実習				
膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。						
	-					
1) 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IIB	薬理学IIB			
【生殖器系】	_			-	-	
1) 精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IB				
	<u>₩</u>	生物系実習				
[内分泌系]						
1) 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IIB				
【感覚器系】						
1)眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。	機.	機能形態学IB				
	-					
1) 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	機	機能形態学IIB				

			汗 %		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年		5年	9
(2) 牛命体の基本単位としての細胞		-			
1)細胞集合による組織構築について説明できる。		2000年100日			
形態的および機能的特徴を説明できる。	成形// 2017 1 N	·阿尼士物子			
3) 代表的な細胞および組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能)					
【細胞膜】					
1) 細胞膜の構造と性質について説明できる。					
2)細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。		細胞生物学			
3)細胞膜を介した物質移動について説明できる。					
【細胞内小器官】					
1)細胞内小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど)の		生化学IIA			
構造と機能を説明できる。		細胞生物学			
【細胞の分裂と死】					
1) 体細胞分裂の機構について説明できる。					
2)生殖細胞の分裂機構について説明できる。		**************************************			
3)アポトーシスとネクローシスについて説明できる。		香尼计多木			
4) 正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。					
【雑胞間コニュニケーション】					
1)細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。		77 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1			
布、性質を説明できる。		<b>番</b> 超 平 多 子			
(3) 生体の機能調節					
【神経・筋の調節機構】					
1)神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。	  -   :	機能形態学IA			
	饭 把 下 恐 十 1 A		漢方生薬化学		
3)神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。					
	機能形態学IA	生物系実習			
ט אונא		細胞生物学			
【木ルモンによる調節機構】					
1)主要なホルモンの分泌機構および作用機構を説明できる。		機能形態学工B			
2)血糖の調節機構を説明できる。			食品栄養学工(健)・		
【循環・呼吸系の調節機構】					
4.7.日常七世拳战职乡山中		機能形態学ⅡA	食品栄養学工(健)		
1) 皿圧の調即 筱伸 を説明 できる。		健康スポーツ科学			
2)肺および組織におけるガス交換を説明できる。		(健)			
		機能形態学IB			
3) 血液凝固・線溶系の機構を説明できる。			食品栄養学工(健)		
【体液の調節機構】					
1)体液の調節機構を説明できる。		•	6品栄養学工(権)		
っ)同の生式機構・同量の調節機構を説明が考え		機能形態学IB	1		
			薬理学IIB		

			东	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
【消化・吸収の調節機構】						
1)消化、吸収における神経の役割について説明できる。	大学 1.0 大					
2) 消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。	徳能形態子 1 D		食品栄養学工(健)			
【体温の調節機構】						
1)体温の調節機構を説明できる。	機能形態学 I B		食品栄養学工(健)			
(4) 小さな生き物たち						
1) 生態系の中での微生物の役割について説明できる。	**	第千春派 1				
2) 原核生物と真核生物の違いを説明できる。		X 生物子 1				
【細菌】						
1) 細菌の構造と増殖機構を説明できる。						
2)細菌の系統的分類について説明でき、主な細菌を列挙できる。			衛生系実習 I			
3)グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌の違いを説明できる。						
4) マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、放線菌についてその特性を説明できる。		微生物学 I				
5) 腸内細菌の役割について説明できる。						
6)細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換)について説明できる。						
[細菌毒素]						
1) 代表的な細菌毒素の作用を説明できる。	**	微生物学 II				
[641k]						
1)代表的なウイルスの構造と増殖過程を説明できる。						
2) ウイルスの分類法について概説できる。	#	微生物学 I				
3)代表的な動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる。						
【真菌・原虫・その他の微生物】						
1) 主な真菌の性状について説明できる。	**	第千春沙 1				
2) 主な原虫、寄生虫の生活史について説明できる。	d.					
[消毒と滅菌]						
1)滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。	4	微生物学 I			感染制御学	
2)主な消毒薬を適切に使用する。(技能・態度) (0SCEの対象)			衛生系実習I			
3)主な滅菌法を実施できる。(技能) (0SCEの対象)						
【検出方法】						
1) グラム染色を実施できる。(技能)			衛生系実習 I			
2)無菌操作を実施できる。(技能)						
3)代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)						
4) 細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。			衛生系実習 I			
5)代表的な細菌を同定できる。(技能)						

1 1 1 1 1 1			計	本皿		
朱子牧育七ナル・コノガリイュブム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C9 生命をミクロに理解する						
(1)細胞を構成する分子						
[胎質]						
1)脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。	生化学 I	生化学IB				
2)脂肪酸の種類と役割を説明できる。	化学入門工					
3)脂肪酸の生合成経路を説明できる。	生化学 I	生化学IB	:			
			食品栄養学工(健) 			
[精質]						
1) グルコースの構造、性質、役割を説明できる。						
2) グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	生化学 I	細胞生物学				
3)代表的な多糖の構造と役割を説明できる。						
4)糖質の定性および定量試験法を実施できる。(技能)		生物系実習				
[アミノ酸]						
1)アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生化学 I	細胞生物学				
2)アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。		生化学IB				
3)アミノ酸の定性および定量試験法を実施できる。(技能)	生化学 I					
[ビタミン]						
1) 水溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 について説明できる。		生化学エA				医薬品食品相互作用
2)脂溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質と生理機能を説明できる。		生化学IA				子(唯)
3)ビタミンの欠乏と過剰による症状を説明できる。		生化学IB				
(2) 生命情報を担う遺伝子						
【ヌクレオチドと核酸】						
1)核酸塩基の代謝(生合成と分解)を説明できる。		生化学エA				
2) DNAの構造について説明できる。		盆配升を沙		インへ対割っ		
3) RNAの構造について説明できる。				7 7 7		
【遺伝情報を担う分子】						
1)遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。				ゲノム科学 I		
2)DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。		4一张七十				
3)ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。		エルチェル				
4)染色体の構造を説明できる。			,			
5) 遺伝子の構造に関する基本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 説明できる。		<b>維助生物</b> 学	遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学ロ	
6) RNAの種類と働きについて説明できる。					T	

			1		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年 3年	<u>Ε</u>	5年	6年
【転写と翻訳のメカニズム】				-	
1)DNAからRNAへの転写について説明できる。		生化学IIA	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
2) 転写の調節について、例を挙げて説明できる。			1 人 4 4 4 1		
3)RNAのプロセシングについて説明できる。		細胞生物学		ゲノム科学工	
		生化学IA			
4)RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。		生化学IB			
		細胞生物学			
5)リボソームの構造と機能について説明できる。					
【遺伝子の複製・変異・修復】					
1)DNAの複製の過程について説明できる。		生化学IIA	ゲノム科学 I		
2) 遺伝子の変異 (突然変異) について説明できる。				# 1	
3) DNAの修復の過程について説明できる。				コトなインハー	
[遺伝子多型]					
1) 一塩基変異(SNPs)が機能におよぼす影響について概説できる。					
(3) 生命活動を担うタンパク質					
【タンパク質の構造と機能】					
1) タンパク質の主要な機能を列挙できる。					
2) タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。	生化学 I	备的生物学			
現に必要な翻					
[薛素]					
1)酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。					
2) 酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質と役割を説明できる。		生化学IB			
3)酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。					
		薬品物理化学Ⅱ			
6)		生化学IIB —————			
6)代表的な酵素の活性を測定できる。(技能)		生物系実習			
				-	
1)細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説 できる。		細胞生物学			
- 「		生化学IB			
	生化学 I	細胞生物学			
3) 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。		生化学IB			
4)細胞内で情報を伝達する主要なタンパク質を列挙し、その機能を概説できる。		倉吊千春郎			
١,		神战主物子			
【タンパク質の取扱い】					
1) タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。(技能)					
2) タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。(知識・技能)	生化学 I				
3) タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。					
		-	-		

			解	平		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
(4) 生体エネルギー					-	
【栄養素の利用】						
1) 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概説できる。		生化学IB				
[ATPの産生]						
1)ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。						
2) 解糖系について説明できる。			食品栄養学I(健)			
3) クエン酸回路について説明できる。		健康スポーツ科学 (健)				
4) 電子伝達系(酸化的リン酸化) について説明できる。				- 臨床来徴子(健) 		
5)脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。		生化学IIB				
6)アセチルCoAのエネルギー代謝における役割を説明できる。						
7)エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。			食品栄養学 I (健)			
8) ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。						
9) ペントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。				臨床栄養学 (健)		
10) アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。		微生物学 I		•		
【飢餓状態と飽食状態】						
1) グリコーゲンの役割について説明できる。						
2) 糖新生について説明できる。						
3) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。				•		
4)余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		千分兆日				
5)食餌性の血糖変動について説明できる。		±1c≠up	食品栄養学工(健)	福牙未续子(矩)		
6) インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。						
7)糖から脂肪酸への合成経路を説明できる。						
8)ケト原性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。				r		
(5) 生理活性分子とシグナル分子						
[ホルモン]						
1)代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
2)代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を 説明できる。		機能形態学IIB 生化学IIA				
3)代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
4)代表的なホルモン異常による疾患を挙げ、その病態を説明できる。		生化学IIA				
[オータコイドなど]						
1)エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。						
2)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。	生化学 I	薬理学IIA				
3)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生理的意義(生理活性)を説明できる。						
4) 主な生理活性アミン(セロトニン、ヒスタミンなど)の生合成と役割について説明できる。		機能形態学ⅡA				
5) 主な生理活性ペプチド (アンギオテンシン、ブラジキニンなど) の役割について説明できる。		薬理学IIA				
		機能形態学ⅡB				
		機能形態学エA				
6)一酸化華素の生台成栓路と年体内での役割を記明できる。		健康スポーツ科学 (健)				

1年 2年 3年				林	一四			
	薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年		卅	4			
	【神経伝達物質】							
	モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、	Ι	V工作得狂导新					
ペクラチャを特定を発出できる。 の立たの長期を発生の発展、分解を指、全部性を記録できる。 機能が移す 14 機能が移す 14 機能が移す 14 性能がない 2 生た子18 仕続から 2 年 14 日 2 年 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、		)XX HL IIンiSt ナロA					
### 1949年19 / 1949年8月248 - 1949年8月248 - 1949年9月248 - 1949年9月248	ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、							
	アセチルコリンの生合成経路、分解経路、	機能形態学IA	機能形態学IIA					
株式的なサイトカインを割れ、それらの役割を超数できる。  ##的生物学   ##的特殊   ##的生物学   ##的特殊   ##的生物学	【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】							
	作事的だ士人トセインを挙げ タセドの役割を押背がす		生化学IB					
(大きがなどを担めてきずげ、それらの経過を構設できる。、	いないが ソニーンコーノ Cキリン てんじついえぎ とうばいて G		<b>独胎生物</b> 涉					
####################################	代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる		神旭生物子					
	【細胞内情報伝達】							
##的原受容体から69シバク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概数できる。 ##問度受容体をプレで情報を経過できる。 ##問度受容体をプレで情報を任達する主な経路について概数できる。 ##記書を経験でする ##認定子を無する ##認定子をはいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、 て説明できる。		▼ 工作能工					
##的版接受容体分シパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について構設できる。			% 能力 的 中 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的					
(未養的な順色内(核内) 受容体の具体例を挙げて説明できる。         機能を影響で16         機能を影響で16         (機能を影響で16         (基礎子業権を募集         (基礎子業権を募集         (基礎子業権を募集         (基礎子工作         (基礎子子工作         (基礎子子工作         (基礎子子工作         (基礎子子工作         (基礎子子工作         (基礎子工作         (基礎工工作         (基礎工工作         (基礎工工作         (基礎工工作         (基礎工工作         (基礎工工作 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>								
	4) 化丰的 5. 如明内(核中) 母容体 6. 目体 個 5. 类 详 7. 部 昭 5. 美 5		機能形態学IIB					
### 1	4)に女門や首語で(友乙)女女子の木子の名手にて男とこの。		細胞生物学					
の概要を説明できる。 曲出できる。(技能)	遺伝子を操作す							
変を説明できる。。         薬用植物学         連伝子工学         (2015年)         (2015年) <t< td=""><td>【遺伝子操作の基本】</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	【遺伝子操作の基本】							
できる。(技能)     生物系実習     生物系実習     生物系実習     生物系実習       を理解しつる。(態度)     生物系実習     生物系実習     上の       る安全性と倫理について配慮する。(態度)     生物系実習     遺伝子工学       がふの概要を説明できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       について説明できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       はを説明できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       はを説明できる。(対能・反説明できる。(対能・技能)     生物系実習     遺伝子工学       いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)     生物系実習     遺伝子工学       1いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)     実用権物学     産品・工学       で多親はよる方法を観明できる。     薬用権物学     連伝子工学       ・した動物 あるいは特定の選供子を破壊した動物の作成法を破談できる。     薬用権物学     連伝子工学       野での応用について例を挙げて説明できる。     薬用権物学     連伝子工学       野での応用について例を挙げて説明できる。     要にないは特定のはできる。     連位の応用について例を挙げて説明できる。	組換えDNA技術の概要を説明できる	薬用植物学		遺伝子工学				
中切断し、電気泳動法により分離できる。(技能)       生物系実習       基位子工学       生物         女女女生と倫理について配慮する。(法板)       生物の達いについて配明できる。(知識・技能)       生物系実習       基位子工学       生物系実習       基位子工学       生物系実習       基位子工学       生物系実習       基位子工学       上級の企業の定分ので表別の企業を説明を表別のできる。(技能)       生物系実習       基位子工学       上級の企業の定分ので表別のできる。(技能)       生物系実習       基位子工学       上級の企業の定分ので表別のできる。(技能)       工場を説明できる。(技能)       工場の企業の定分ので表現を推設できる。(技能)       工場の企業の定分の定別できる。(技能)       工場の企業の定分の定別できる。(技能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の企業の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の正式の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別でする。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の正式の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定別できる。(対能)       工場の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の定分の	細胞からDNAを抽出できる。					ゲノム科学エ		
を理解し守る。(態度)     生物系実習     進伝子工学     (地級子工学       5女全性と倫理について記慮する。(態度)     生物系実習     遺伝子工学       法の概要を説明できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       対域の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)     生物系実習     遺伝子工学       対域の原理を説明し、実施できる。(対能)     生物系実習     遺伝子工学       対域の原理を説明できる。     は能)     はか       おくびの水およびRNAを検出する方法を説明できる。     実用植物学     遺伝子工学       こて発現させる方法を概認できる。     実用植物学     遺伝子工学       いて動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概認できる。     実用植物学     遺伝子工学       野での応用について例を挙げて説明できる。     実用権物学     遺伝子工学       野での応用について例を挙げて説明できる。     実用を表して対験である。     選伝子工学       野での応用について例を挙げて説明できる。     実用権物学     選伝子工学       野のの原見に立いて例を挙げて説明できる。     実施を表しいまを表します     選売子工学			生物系実習					
文体引       生物系実習       進伝子工学       本の         文体引       生物系実習       遺伝子工学       上         (法の概要を説明できる。       (知識・技能)       生物系実習       遺伝子工学       日         にこいて説明できる。       生物系実習       遺伝子工学       日       日         芸を説明できる。       大会説明できる。       (知識・技能)       は能)       日       日       日         31いて特徴的な塩基配別を検索できる。       (技能)       会議院のMAAよびRNAを検出する方法を説明できる。       財産・       日       日       日         54枠定のDNAおよびRNAを検出する方法を観視できる。       (技能)       無用権物学       当年を表現させる方法を概能できる。       無用権物学       当年・       日       日       日         59年のの内に対えを概能できる。       無用権物学       当年・       日 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>								
技権別       (法の概要を説明できる。       (状の概要を説明できる。       (小の道・技能)       生物系実習       造伝子工学         写酵素について説明できる。       法を説明できる。       (状能)       上の発現させる方法を説明できる。       (状能)       上の発現させる方法を説明できる。       大のNNAを検出する方法を説明できる。       実用植物学       連伝子工学       上の上動物の作成法を概説できる。       実用植物学       遺伝子工学       上の上動物の作成法を概説できる。       上の上動物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概説できる。       上の物の作成法を概認できる。       上の物の作成法を概認できる。       上の物の作成法を概認できる。       上の物の作成法を概認できる。       上の物の作成法を概認できる。       上のかまでは記述を表現に認知できる。       上のいは解定の適合する。       上のいは解定の適合する。       上のいまる。       上のいまれている。       上のいまれている。 <td rows<="" td=""><td>0</td><td></td><td>生物系実習</td><td>遺伝子工学</td><td></td><td></td><td></td></td>	<td>0</td> <td></td> <td>生物系実習</td> <td>遺伝子工学</td> <td></td> <td></td> <td></td>	0		生物系実習	遺伝子工学			
(Aの概要を説明できる。       (Aの確要を説明できる。       (Aの確要を説明できる。       (Aの確定を記明できる。       (Aum・支配できる。(知識・技能)       生物系実習       遺伝子工学       (Aum・支配できる。(知識・技能)       生物系実習       遺伝子工学       (Aum・支配できる。(技能)       は本記明できる。       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(技能)       (Aum・支配できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して説明できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して説明できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して説明できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して説明できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して説明できる。(対能)       (Aum・大工・対象を対して記して記して記して記して記して記して記して記して記して記して記して記して記し								
NAの違いについて説明できる。       NAの違いについて説明できる。       生物系美習       生物系美習       連伝子工学       自位の正確と記憶できる。       (知識・技能)       生物系美習       連伝子工学       日本の正確と記憶できる。       日本の正確と記憶を記憶できる。       日本のEMAでよびRNAを検出する方法を説明できる。       本のEME を記憶を表現的できる。       本のEME を記憶を表現的できる。       本のEME を記憶を表現的できる。       本のEME を記憶を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現的できる。       本の正確を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	遺伝子クローニング法の概要を説明できる							
-Iこついて説明できる。       生物系実習       遺伝子工学       性物系実習       遺伝子工学         写酵素について説明できる。       生物系実習       遺伝子工学       (本記)         法を説明できる。       (技能)       (本記)       (本記)         日いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)       (技能)       (本記)       (本記)         15 特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。       ※用植物学       (連伝子工学       (本記)         15 特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。       ※用植物学       (連伝子工学       (本記)         16 大工学期が、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       ※用植物学       (本記)       (本記)         18 すでの応用について例を挙げて説明できる。       (本記)       (本記)       (本記)         18 すでの応用について例を挙げて説明できる。       (本記)       (本記)       (本記)	cDNAとゲノミックDNAの違いについて説明できる							
増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)       生物系実習       遺伝子工学       自位       自位 <td>遺伝子ライブラリーについて説明でき</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ゲノム科学ロ</td> <td></td>	遺伝子ライブラリーについて説明でき					ゲノム科学ロ		
写酵素について説明できる。       (技能)       (技能)       (大き説明できる。       (大き説明できる。       (大能)       (大き説明できる。       (大能)       (大き説明できる。       (大き説明できる。       (大き説明できる。       (大いた動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大た動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大た動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・た・動物・あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       (大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。(知識		生物系実習	遺伝子工学				
法を説明できる。法を説明できる。薬用植物学薬用植物学適伝子工学が1いて特徴的な塩基配列を検索できる。薬用植物学薬用植物学適伝子工学が1で発現させる方法を概説できる。薬用植物学適伝子工学がいした動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。事での応用について例を挙げて説明できる。が野での応用について例を挙げて説明できる。財政の応用について例を挙げて説明できる。(人工学)(人工学)	RNAの逆転写と逆転写酵素について説明で							
引いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)       第日本のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。       薬用植物学       薬用植物学       薬用植物学       技会概説できる。       対象を提合するでは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       ※日本の応用について例を挙げて説明できる。       対象をの応用について例を挙げて説明できる。       本の応用について例を挙げて説明できる。       本の応用について例を挙げて説明を確認する。       本の応用について例を確認する。       本の応用でのである。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用ではないる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。       本の応用ではないる。       本の応用ではないる。       本の応用ではないる。       本の応用ではないる。       本の応用でいる。       本の応用でいる。 <th< td=""><td>6)DNA塩基配列の決定法を説明できる。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></th<>	6)DNA塩基配列の決定法を説明できる。							
1-5 特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。       薬用植物学       薬用植物学       連伝子工学       グ         いた動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。       ・       ・       ・       ・         ・野での応用について例を挙げて説明できる。       ・       ・       ・       ・								
細胞 (組織) における特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。 外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。 特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。 遺伝子エ学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。	【遺伝子機能の解析技術】							
外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。       薬用植物学       薬用植物学       遺伝子工学       遺伝子工学       遺伝子工学       遺伝子工学       遺伝子工学       方       対	8							
特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。 遺伝子エ学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。		薬用植物学		温什工工学		一个 经第一		
遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明でき	特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる			구구 [ 전] 점		7.44		
	遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明でき							

			不指	a 3		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	9年
	+	2+			+	+
610 生体防御						
(1) 身体をまもる						
【生体防御反応】						
口架 布克丁斯坦布克 化苯乙甲二苯二甲甲二苯二甲甲二苯甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲	後	微生物学工				
1) 目然光後 C 渡時光後の付取 C で の連いを説明 C さる。	w	<b>细胎</b> 生物	免疫学 I			
2) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。	THAV	18 ± 121 ±				
3) 補体について、その活性化経路と機能を説明できる。						
5)クローン選択説を説明できる。	盆	細胞生物学	44 14 1-			
1 1 1	<b></b>	微生物学工	光炎子 1			
0 / 体後性光後と神話性光後を応載して説明できる。	翻	細胞生物学				
【免疫を担当する組織・細胞】						
1) 免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。	!		44 克克 1			
2) 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。	<b>数</b> 整	機能形態学 II B 細胞生物学	光波子!			
			光发子口			
3) 食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。	+	細胞生物学	<b>在</b> 京沙 I			
4) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。	機	機能形態学IIB	ルメナ 1			
【分子レベルで見た免疫のしくみ】						
1) 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる。						
2)MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。						
3) 「細胞による抗原の認識について説明できる。			免疫学 1			
4)抗体分子およびT細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)を概説できる。						
5) 免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインを挙げ、その作用を説明できる。						
(2) 免疫系の破綻・免疫系の応用						
【免疫系が関係する疾患】						
1) アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。						
2) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。			在疗形二			
3)代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。			元次十二			
4)代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。						
[免疫応答のコントロール]						
1) 臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。						
2)細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わりについて説明できる.	後	微生物学工	46克第二			
3) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。			光发子口			
4) 代表的な免疫賦活療法について概説できる。						
【予防接種】						
1)予防接種の原理とワクチンについて説明できる。						
2) 主なワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン) について基本的特徴を説明できる。	<b>参</b>	<b>後生物</b> 学 I	免疫学工			
3)予防接種について,その種類と実施状況を説明できる。						
			•	•	•	

3 3 3 1			解	4 目		
条子教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【免疫反応の利用】						
1)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法を説明できる。			<b>4</b> 道			
2) 抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。			光发子口			
3) 沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。(技能)						
4) ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。(技能)						
(3) 感染症にかかる						
【代表的な感染症】						
1)主なDNAウイルス(△サイトメガロウイルス、△EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、△アデノウイルス、△パルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
2)主なRNAウイルス(△ポリオウイルス、△コクサッキーウイルス、△エコーウイルス、△ライノ ウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、△麻疹ウイルス、 △ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
3) レトロウイルス (HIV、HTLV) が引き起こす疾患について概説できる。						
4) グラム陽性球菌(ブドウ球菌、レンサ球菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
5) グラム陰性球菌(淋菌、△髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について 概説できる。						応用薬物治療学
<ul><li>6)グラム陽性桿菌(破傷風菌、ムガス壊疽菌、ボツリヌス菌、△ジフテリア菌、△炭疽菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。</li></ul>						
7) グラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、ヘチフス菌、ヘペスト菌、コレラ菌、 Δ百日 咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、 Δブルセラ菌、 レジオネラ菌、 Δインフルエンザ菌) の細菌学的 特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	<del>₽</del>	後生物学 I				
8) グラム陰性スピリルム属病原菌(ヘリコバクター・ピロリ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
9)抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説 できる。						
10) スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす 代表的な疾患について概説できる。						
11) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、△ムーコル)の微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
12) 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。						
13) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。						
【感染症の予防】						
1)院内感染について、発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策を概説できる。	#	微生物学工			感染制御学	

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			緊	奉 目		
楽子教育セナル・コケカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[健康と環境]						
C11 健康						
(1) 栄養と健康						
[栄養素]						
				臨床漢方治療学 I (漢)		医薬品食品相互作用
1)宋養素(二大宋養素、ヒタミン、ミネフル)を列挙し、それそれの役割について説明できる。		47年8日				学(健)
		エルチョD 公衆衛生学 I		機能性質品平(健)臨床栄養学(健)		
2)各栄養素の消化、吸収、代謝のブロセスを概説できる。			食品栄養学 I (健)			
3)脂質の体内運搬における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。				臨床栄養学(健)		
4) 食品中のタンパク質の栄養的な価値(栄養価)を説明できる。				臨床栄養学(健)		
ておしました。 スンドスファロド でスプンエン・エスレギー代謝に関わる基礎代謝 一 呼吸商				機能性食品学(健)		
7 十十四点十二)一样开多国用汽井汽》丰井汽		+ + + + +		臨床栄養学(健)		
6)未費系の未費所安重の息報について説明できる。		公死衛生子!	食品栄養学 I (健)	機能性食品学(健)		
7)日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。			(健)	統合医療工 臨床栄養学(健)		医薬品食品相互作用 学(健)
8)栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。			食品栄養学 I (健)	機能性食品字(健)		
[食品の品質と管理]						
1)食品が腐敗する機構について説明できる。				臨床栄養学(健)		
2)油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)			衛生系実習エ			
3)食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。				臨床栄養学(健)		
4)食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。		公弗衛牛沙 1				
5)食品成分由来の発がん物質を列挙し、その生成機構を説明できる。		· 十十 ± × ·		臨床栄养学(健)		
6)代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。				1 40		
7) 食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。						
	<del>M⊆</del>	統合医療 [				
8)主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能)	<b>₩</b>	統合医療 I	衛生系実習エ	臨床栄養学(健)		
9)代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。		公衆衛生学 I	食品栄養学工(健)	臨床漢方治療学 I (漢) 機能性食品学(健)		医薬品食品相互作用 -学(健)
10) 遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する。(知識・態度)		•				

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			歐黑	奉目		
楽字教育モテル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[食中毒]						
1) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。		公衆衛生学 I				
2)代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。		微生物学 I				
3)食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。		•				
4)代表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について概説できる。		公衆衛生学 I				
5) 化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。						
(2) 社会·集団と健康						
【保健統計】						
1) 集団の健康と疾病の現状を把握する トグの人口統計の音蓋を揺説がきる			公衆衛生学Ⅱ			
米山の西洋では次にがある。ロボット・マインは近日のである。これで			薬物代謝安全性学			
2)人口静態と人口動態について説明できる。						
3) 国勢調査の目的と意義を説明できる。			公衆衛生学Ⅱ			
4)死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。						
5)人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。						
【健康と疾病をめぐる日本の現状】						
1) 死因別死亡率の変遷について説明できる。					生活習慣病予防学	
2) 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。			公衆衛生学工			
3) 高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。(知識・態度)			衛生系実習 II		生活習慣病予防学 —	
[疫学]						
1)疾病の予防における疫学の役割を説明できる。					感染制御学	
2)疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)について説明できる。	<b>健康樂</b> 子乾霜(ケーケー ( )					
3)疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。						
4) 患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。(知識・技能)			公衆衛生学Ⅱ			
5)要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。 (知識・技能)						
6)医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。						
フ)疫学データを解釈する上での注意点を列挙できる。						
(3) 疾病の予防						
[健康とは]						
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。	統合医療 I		<b>公毋德</b> 牛勞 T	なみ医療エ		
2)世界保健機構(WHO)の役割について概説できる。	健康薬学概論(健)					
【疾病の予防とは】						
1)疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。	健康薬学概論(健)	健康スポーツ科学 (健)			生活習慣病予防学	
2)疾病の予防における予防接種の意義について説明できる。			<b>父要衛牛学Ⅱ</b>			
3)新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。			1         	臨床栄養学(健)		
4)疾病の予防における薬剤師の役割について討議する。 (態度)					生活習慣病予防学	
			衛生系実習工			

(3003) 71114411111111111111111111111111111111			無 雑	科目		
米十枚エトング・エングンサンサング(のロウタ)	1年	5年	3年	4年	5年	6年
【感染症の現状とその予防】						
1) 現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴について説明できる。	(哲) 参量余军电			(型) 袋皿点型中站		
2) 新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。						
3) 一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。			八串領千部二		感染制御学	
4) 母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。						
5) 性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。						
6)予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。						
【生活習慣病とその予防】						
1) 计许多调件人结据 7 之一部 1 二人 1 计时间 1 元 1 元 3 元 3 元 4 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5			八曲然午池市	臨床栄養学(健)		
- / エカ目jg/MO/性対C C O Millyin ファイボ光 C G の。	(母) 《星形科里母	健康スポーツ科学	7.X. T. T. T. T. T. T. T. T. T. T. T. T. T.	臨床医学概論(医)	4. 注 8. 重 作 4. 平 证	
2)生活習慣病のリスク要因を列挙できる。	阿承米十克雷(阿)		食品栄養学工(健)	臨床栄養学(健) 機能幹命ロ影(健)	生冶百頃物子別子	
3) 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。			I	被能压及即子(延) 臨床医学概論(医)		
【職業病とその予防】						
1) 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。			公衆衛生学Ⅱ			

			77、华	III		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	, T	ţ	Į.	п #	ţ	
	#_	5.4	ж #	4 年	t L	# o
612 環境						
(1) 化学物質の生体への影響						
【化学物質の代謝・代謝的活性化】						
1)代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。						医薬品食品相互作用 学(健)
2) 第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。			并 17 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			
3) 第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。			- 条約代習女王汪子		指調化子(推)	
【化学物質による発がん】						
1)発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。						
2)変異原性試験(Ames試験など)の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)						
3)発がんのイニシエーションとプロモーションについて概説できる。			来物で割みまける   衛生系実習 I			
4)代表的ながん遺伝子とがん抑制遺伝子を挙げ、それらの異常とがん化との関連を説明できる。						
【化学物質の毒性】						
1) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。						
2) 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。				臨床医学概論(医)		
3) 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。		統合医療 I		統合医療工	鑑識化学(健)	
ついて 具体例を挙げ						
5) 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて 無語 なきス			環境衛生学 I			
6) 化学物質の安全摂取量 (1日許容摂取量など) について説明できる。						
7)有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法など)を説明できる。		統合医療 I				
8) 環境ホルモン(内分泌撹乱化学物質)が人の健康に及ぼす影響を説明し、その予防策を提案する。 (態度)				臨床医学概論(医) 統合医療 II		
【化学物質による中毒と処置】						
1)代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。			薬物代謝安全性学			
2) 化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処置法、解毒法を検索することができる。(技能)			衛生系実習Ⅱ		- 指調17 十(1年)	
【電離放射線の生体への影響】						
1) 人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。						
2)電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。						
3)電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。			唱告命 十岁 1			
4) 電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子(酸素効果など)について説明できる。						
5) 電離放射線を防御する方法について概説できる。						
6) 電離放射線の医療への応用について概説できる。						
[非電離放射線の生体への影響]						
1)非電離放射線の種類を列挙できる。						
2) 紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。			環境衛生学 I			
3) 赤外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。						
			-			

1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		解 课	本回		
楽字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
(2) 生活環境と健康					
【地球環境と生態系】					
1) 地球環境の成り立ちについて概説できる。		国本统十部中			
2)生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。					
3)人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。(態度)					
4) 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。					
5) 食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。		環境衛生学工			
6) 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。					
7) 環境中に存在する主な放射性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。		環境衛生学 I			
【水環境】					
1) 原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。					
2) 水の浄化法について説明できる。					
3)水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。					
4) 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)		1 光十 光 中 即			
5) 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。					
6) 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。					
7) DO, BOD, CODを測定できる。 (技能)					
8) 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。					
[大気環境]					
1)空気の成分を説明できる。					
2) 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。	統合医療 I	環境衛生学工	統合医療工		
3)主な大気活染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)					
十.9.7.メンドでは、18.7.4.0.7. できたが一ていている。		衛生系実習Ⅱ			
4)大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。		環境衛生学Ⅱ			
[室内環境]					
1)室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)		環境衛生学工衛生系実習工			
2)室内環境と健康との関係について説明できる。	統合医療 I		統合医療工		
3)室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。		環境衛生学工			
4)シックハウス症候群について概説できる。	統合医療 I		統合医療工		
[廃棄物]					
1)廃棄物の種類を列挙できる。		電接衛井停工		成功制御夢	
2)廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。		ネグボーゴ・		10年11年11年11年11年11年11日本第	
3) 医療廃棄物を安全に廃棄、処理する。(技能・態度)					
4) マニフェスト制度について説明できる。					
5)PRTR法について概説できる。		本名用工士			

(*) 00/ / 11 - 十二十八 - 二 11   14   4   12   13   14   14   15   15   15   15   15   15			談票	科目		
米十枚目としが・ゴノンウイエノが(3DOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【環境保全と法的規制】						
1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。						
2)環境基本法の理念を説明できる。			唱声第十多二			
3) 大気汚染を防止するための法規制について説明できる。			* 元十二十二			
4) 水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。						

,			蘇	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[薬と疾病]						
C13 薬の効くプロセス						
【薬の作用】						
1)薬物の用量と作用の関係を説明できる。						
2)アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。			!			
3)薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。			薬理系実習			
4)代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。						医薬品食品相互作用学(健)
5)薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を 説明できる。		薬理学Ⅰ				
6)薬効に個人差が生じる要因を列挙できる。			薬物代謝安全性学			
7)代表的な薬物相互作用の機序について説明できる。				臨床薬学Ⅱ(医)		
8)薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。		薬理学 I				
【薬の運命】						
1)薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。		1 会田楽		薬物動態学		医薬品食品相互作用 学(健)
2)薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。		1	家里系 第一条			
3)経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。						
4)薬物の生体内分布における循環系の重要性を説明できる。		1 沿田湖				
5)生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。		¥埋于 1				
【薬の副作用】						
1)薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。		* 777 EL 40	薬理系実習			
2) 副作用と有害事象の違いについて説明できる。		楽坩字 I				医薬品食品相互作用 学(健)
[動物実験]						
1)動物実験における倫理について配慮する。(態度)		<b>广</b>				
2)代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)		1. 忽米米自	薬理系実習			
3) 実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)						
(2)薬の効き方I						
【中枢神経系に作用する薬】						
1) 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
2) 代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
3)代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		1 世界	薬理系実習			
4)代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、 その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	<del>"</del>	1 <del>1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</del>				応用薬物治療学
5)代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用 について説明できる。			新薬論(医)			
6)中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。			薬理系実習			

: : : :		<b>黎</b>			
楽字教育モナル・コアカリチュラム(SBOS) 集字教育モナル・コアカリチュラム(SBOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
【自律神経系に作用する薬】					
1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な 副作用について説明できる。	機能形態学工A	城苗及审验			
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用について説明できる。	薬理学 II A	IK X H			応用薬物治療学
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	薬理学IIA				
4)自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))△技能であるからGBTには 馴染まない					
【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】					
1)知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用につい	機能形態学ⅡA				
て説明できる。	薬理学 II A	薬理系実習			
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
3)知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))					
【循環器系に作用する薬】					
1) 代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
2) 代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		               			
3)代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			臨床医学概論(医)		応用薬物治療学
4)代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。 		薬理系実習			
		新薬論(医)			
【呼吸器系に作用する薬】	-				
1)代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	機能形態学工B	薬理系実習			
2)代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		- 薬理学皿A			
3)代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					応用薬物治療学
【化学構造】					
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。					応用薬物治療学
(3) 薬の効き方II					
【ホルモンと薬】					
1) ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。					応用薬物治療学
2)代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。					
3)代表的な性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について 説明できる。					
【消化器系に作用する薬】		-			
1)代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		新薬論(医)			応用薬物治療学
2)その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
3)代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。		薬理学皿A			
4) 代表的な肝臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					
5)代表的な膵臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。					

:		松	当科目	
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)   	1年 2年	3年	4年 5年	6年
【腎に作用する薬】				
1) 利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。	機能形態学工	B 薬理学IIB		応用薬物治療学
【血液・造血器系に作用する薬】				
1) 代表的な止血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				
2) 代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学皿B	応用薬物治療学
3)代表的な造血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				
【代謝系に作用する薬】				
1) 代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			薬理学IIB	北京
2)代表的な高脂血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			臨床医学概論(医)	十三三三三十三三十三三十三三十三三十三三十三三十三三十三三十三二十三
3)代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。			臨床医学概論(医)	
4)カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	生化学ⅡB	新薬論(医)	薬理学皿B	
【炎症・アレルギーと薬】				
1)代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。		免疫学工		
2)慢性関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。		新薬論(医)		
3)アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる。				
【化学構造】				
1)上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。				
(4)薬物の臓器への到達と消失				
[吸収]				
1)薬物の主な吸収部位を列挙できる。				
2) 消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。				
3)受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。 ――			_	医薬品食品相互作用
				(型) 十
能動輸送の特徴を説明できる。			臨床薬学工(医)	
5)非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。				
6)薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。			機能性食品学(健) 臨床薬学Ⅱ(医)	医薬品食品相互作用学(健)
[分布]	_	-		
1)薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。				
2)薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。			臨床薬学Ⅱ(医)	
3)薬物の胎児への移行について、その機構と血液-胎盤関門の意義を説明できる。				
4)薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)を組織への移行と関連づけて説明できる。	生物薬剤学 I		臨床薬学工(医)	医薬品食品相互作用 学 (健)
2) 薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)について説明できる。   -			薬物動態学	
			——臨床薬学 I (医)	
分布谷積か者しく入きい代表的な楽物を列挙で言い十七七十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十				
7)代表的な楽物のタンハク結合能を測定できる。(技能)				

	: 1			数 当 本 日		
	楽字教育モナル・コアカリキュラム(SBOS) キャラ 大教育モナル・コアカリキュラム(SBOS) コアカリキュラム (SBOS)	年	年 3			
####################################	[代謝]	_				
###################################	て説明でき			lы		
##性経過程を発生できる。						
株の地域の						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			薬物代謝安全	) 日十米と 団		
		生物薬剤	I 本			
####################################	薬物の還元・加水分解、					
本地表的学生のよいて提明できる。	薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、			п		医薬品食品相互作用
####################################	初回通過効果について説明できる		# 注			李(種)
「おける経療機構について説明できる。	肝および固有クリアラ		1. 大河米河子口			
### 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【排料】					
20	腎における排泄機構について説明できる	機能形態		) H		
	腎クリアランスについて説明でき					
###について認明できる。 ###について認明できる。 ###について認明を表現を発表を表す。 ###について認明できる。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の高い代表的な異なるを表す。 ###の音が、一とソントモデルと表記のための方法を説明できる。 ###の編集が開催の意味とその計算法を説明できる。(知識・技能) ###の高い代表のな明な挙げ、回避のための方法を説明できる。(知識・技能) ###の高い代表のな明なを挙げ、回避のための方法を説明できる。(知識・技能) ###の第44年の計算法を説明できる。(知識・技能) ###の音が、一とソントモデルと表記のに、これに基づいた計算ができる。(知識・技能) ###の語について異体例を挙げ、起記のできる。(知識・技能) ###の語について異体例を挙げ、短いできる。(知識・技能) ###の語について異体例を挙げ、記述できる。(知識・技能) ###の語について異体例を挙げ、記述の表示を記明できる。 ### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	糸球体ろ過速度について説明でき					
現金を記明し、代表的な場所を選かを対象できる。	胆汁中排泄について説明でき	生物薬剤		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
####################################			米忽九劉女王.	出 光米		
#2						
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7) 尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。			п		
	[相互作用]					
## 1 に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。	薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる		生物薬剤学工			
動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、機能できる。 100生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。 121コンパートメントモデルを説明で、これに基づいた計算ができる。(知識・技能) 薬物動態学 産業物動態学 医染制御学 スコンパートメントモデルと非縁形コンパートメントモデルと非縁形コンパートメントモデルと非縁形コンパートメントモデルの違いを説明できる。(知識・技能) 薬物助態学 薬物動態学 アウリアラスの計算ができる。(知識・技能) 薬物助態学 海りの肝および腎クリアランスの計算ができる。(知識・技能) 薬物助態学 海りの肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 薬物助態の学 薬物動態の学 (技能) 薬物助態の (技能) 薬物助態の学 (技能) 薬物助態の学 (技能) 薬物助態の学 ※対の影響学 ※対の影響学 ※対の影響学 ※対の影響ができる。(技能) ※対した。(技能) ※対した。(技能) ※対した。(技能) ※対した。(技能) ※対した。(技能) ※対しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	薬効に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる					1. X 至 X 至 X 至 X (
業物動態に関わる代表的なパラメーターを利挙し、概説できる。     薬物動態学     薬物動態学       薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。     薬物の生物学の利用能の意味とその計算法を説明できる。(知識・技能)     薬剤系実習     薬剤系実習       線形レコンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。(知識・技能)     薬物の能・対能)     薬物動態学     薬物動態学       生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)     生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)     薬物の能学     薬物の能学       主身クリアランスについて説明し、計算できる。(知識・技能)     実物の能やすて説明し、計算できる。(知識・技能)     薬物の能やすて説明のよる。     薬物の能やする。       薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)     薬物動態やリアランスの計算ができる。(技能)     薬物動態学     薬物動態学       点満静注の血中濃度計算ができる。(技能)     薬物動態学     薬物動態学       連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)     薬物動態学     薬物動態学       連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)     薬物動態学     薬物動態学	[薬動学]					
薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。       薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。       (知識・技能)       薬物動態学       薬物動態学         線形とコンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。       (知識・技能)       薬物動態学       薬物動態学         総形コンパートメントモデルを説明し、計算できる。       (知識・技能)       薬物動態学       薬物動態学         生物学的半減期を説明し、計算できる。       (知識・技能)       薬物動態の関い、計算できる。       (知識・技能)         非線形性の薬物動態の解析法を列挙し説明できる。       モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。       (技能)       薬物動態の解析法を列挙の記録できる。       (技能)         素物の肝および腎クリアランスの計算ができる。       (技能)       薬物動態学       薬物動態学       薬物動態学         連続投与における血中濃度計算ができる。       (技能)       薬物動態学       薬物動態学       薬物動態学         連続投与における血中濃度計算ができる。       (技能)       薬物動態学       禁約事業	薬物動態に関わる代表的なパラメーター			拼替鞋铲形	感染制御学	
線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)       薬剤系実習       薬物系実習       薬物類態学         線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)       生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)       薬物動態学       薬物動態学         生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)       非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。       薬物動態学       薬物動態学         非線形性の薬物動態の解析法を列挙し説明できる。       モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。       薬物動態学       薬物動態学         薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)       薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)       薬物動態学       薬物動態学         点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)       連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)       薬物動態学       薬物動態学         連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)       連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)       薬物動態学       薬物動態学				十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		
線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能) 線形コンパートメントモデルを説明できる。 生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能) 生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能) 非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。 手がによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。 薬物動態で 薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 素物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)	線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。			薬剤系実習 財物 事能等		臨床薬物動態学
線形と-コンパートメントモデルを説明し、これに基ついた計算ができる。 (知識・技能)				上巡旋以来		
線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。       線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。       生物薬剤等       本物動態学       本物動態学       本物動態学       生物薬剤等型       薬物の能学       本の事業できる。       (知識・技能)       本の所来表習       本の所来表習       本の所来表習       本の所来表習       本の所来表習       本の所来表別をし説明できる。       本の所能学の所来を別挙し説明できる。       本の所能学       本の所能学       本の所能学       本の所能学       本の所能学       世の本語の正式をいます。       本の事態学       本の事態学       一位の正式をいます。       本の事態学       一位の正式をいます。       本の事態学       世の事態学       世の事態学       正規算ができる。       は能)       本の事態学       世の事態学       世の事態学       世の事態学       日本の事態を開きる       日本の事業を開きる       日本の事業を開まる       日本の事業を開きる       日本の事業を開まる	線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基ついた計算ができる。(知識					臨床楽物動態字
生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)生物薬剤学工生物薬剤学工薬剤系集習薬剤影学生身クリアランスについて具体例を挙げて説明できる。 モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。(技能) 薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)集物系集習 薬物動態学 薬物動態学 運輸物動態学 薬物動態学株物動態学 薬物動態学 薬物動態学 薬物動態学	線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる			薬物動態学		
全身クリアランスについて説明し、計算できる。 非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。 モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。 薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 点満静注の血中濃度計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)薬物動態学 無効動態学 無効動態学 無効動態学薬物動態学 無効動態学 無効動態学薬物動態学 無効動態学 無効動態学	生物学的半減期を説明し、計算できる。		生物薬剤学工	薬剤系実習		
非総形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。薬物動態学薬物動態学薬物動態学モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)薬剤系実習薬剤系実習点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)薬剤系実習薬物動態学連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)薬物動態学薬物動態学	全身クリアランスについて説明し、計算できる。			薬物動態学		
モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。 薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能) 点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)来約約定字 薬剤系実習 薬物動態学 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)				拼香幣語		
薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)薬剤系実習薬剤系実習点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)薬物動態学連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)				十50厘岁米		
点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)	薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。			; - - - - +		
連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)	点滴静注の血中濃度計算ができる。			楽剤糸実習 薬物動態学		臨床薬物動態学
	連続投与における血中濃度計算ができる。					

(3)ロ3/ / 中・十二十八・二八十中条金米			無 雞	相 目		
米十枚エトング・エンとントトノは(ひゅつの)	1年	2年	3年	女 7	5年	9
【TDM (Therapeutic Drug Monitoring)】						
1)治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。			工学区草架工		成沙制细带	
2) TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。			1. 人名米利卡 1.		大車宣光 大車宣光	
3)薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。(技能)						
4) 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。			生物薬剤学エ		感染制御学	路丘茶香香能学
5)代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。(技能)				薬剤系実習		晋不米乞当於十

		<b>江</b>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		<u> </u>	5年	6年
C14 薬物治療					
(1) 体の変化を知る					
	_				
1)以下の症候について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を説明できる。発熱、頭痛、発疹、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、出血値向、胸痛・心悸亢准・動悸、高血圧、低血圧、ショック、呼吸困難、咳・口温・日経異党	病態生理学IB	病態生理学IIA	臨床医学概論(医)		
、 でニン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	統合医療 I		統合医療工		
【症候と臨床検査値】					
1)代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができ る。	病態生理学IB				
2)代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IA		T		
3)代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IB		· · · · · ·		
4)代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。	病態生理学IA		— 臨床検値子 —		
5)代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。	病態生理学IB				
6)代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。	病態生理学IA			生活習慣病予防学	
7)感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。	病態生理学IB		薬物治療学皿8		
8)悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。					
挙し、その検査値の異常から推測			— 臨床検査学		
10) 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。					
11)代表的なバイタルサインを列挙できる。	病態生理学IB				
	生物系実習				
(2) 疾患と薬物治療(心臓疾患等) (2) 疾患と薬物治療(心臓疾患等) (2) 疾患の位置づけ】					
1)代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明できる。			機能性食品学(健)		
【心臓・血管系の疾患】	-	_			
1)心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA	臨床漢方治療学 I (漢)		
2) 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	条物记游子 1				応用薬物治療学
3) 心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	病態生理学IA	— — 如方解析学 I			応用薬物治療学  病能解析学 (医)
4) 高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		病態生理学IIB	臨床栄養学(健)		
長生理、適切な治	薬物治療学工		臨床医学概論(医)		応用薬物治療学
6) 以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症、心原性ショック	新態生埋字 I A	病態生理学 IB加土超光	臨床栄養学(健)	生活習慣病予防学	

		新籍	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		<u> </u>	5年	6年
【血液・造血器の疾患】	-				
7 市法:并市里广大江 7 平丰的大寿电大张江2 一口太方4 2		薬物治療学 IIB	2000年光業市(日)		
・垣皿命にありるれ衣的な状態を手けることがで		病態生理学IIA			
海付から 海ボー サーバタ の 体田 トの注音 「しい」 当日 おまえ	生化学IB				応用薬物治療学
/ 貝皿の海芯工年、画刻な石熕米、およのての文法上の注意について記号に合			莱理学皿B		病能解析学(医)
		薬物治療学IB	臨床宋赉平(健)		
3)白血病の病態生埋、適切な治療薬、およひその使用上の注意について説明できる。 -			卯方解析学 II		
4)播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について					応用薬物治療学
		新薬論(医)	*************************************		
5) 以下の疾患について概説できる。血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓		東物治療学 II B	薬理学皿B		
		1	臨床栄養学(健)		
【消化器系疾患】	_	_			
1)消化器系の部位別(食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げ		薬物治療学 IIB	臨床医学概論(医)		
ることができる。		病態生理学IIA	臨床漢方治療学 I (漢)		緩和医療実践字
		処方解析学 I			緩和医療実践学
2) 消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬理学 IIA	臨床医学概論(医)		応用薬物治療学
		薬物治療学 IIB			病態解析学(医)
3) 腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学IIB	臨床医学概論(医)		緩和医療実践学
4) 时火,吐苗赤仓养部千苗,诸石大头香菜, 4 - 75 2 6 并田 7 6 7 举了 6 7 7 光铝化十二		薬理学皿A 薬物治療学ⅡB			緩和医療実践学 応用薬物治療学
こうでは、こうでは、こうでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本		病態生理学ⅡA	<u> </u>		
在 / 日常 / 1. ) 1. 林文 9 - 日士 9 ~ ** 1. 1. 一样 世 2. 1. 节目 4. 一日 七 多 1. 9 ~ 4. 4. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.					緩和医療実践学
5)膵炎の病態生埋、適切な治療楽、およいその使用上の注息について説明できる。		果物治療子 11 8	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		応用薬物治療学
电超出标记线 多田 经银产 化环 田说 医多人头头形置不了)一里没有的					
0) ダドの状形について偽訳 ここの。 以道館、 目館、 肝館、 人務館、 自效、 米利14 肝 早台、 泊石 並、 田華炎、 クローン病		楽物治療字 11.8			緩和医療実践学
		処万解析字 1			
<ul><li>1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能)</li></ul>					病態解析学(医)
(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等)					
[腎臓・尿路の疾患]					
1)腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。	薬物治療学 I	病態生理学ⅡA	臨床漢方治療学 I (漢)		
。) 腎不全の病能生理・適切な治療薬・ お上がその体用 Fの注音について説明できる.		加大姆托沙 1			
1 まごものがようなである。 390.00とは、日本ではあっている。 1 はらい 1 はい 1 はい 1 はい 1 はい 1 はい 1 はい 1 は					応用薬物治療学
3) ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	薬物治療学 I 病態生理学 I A				病態解析学(医)
4) 以下の疾患について概説できる。糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石 -		処方解析学 1			

4 1 4			秋	科目		
条子教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生殖器疾患】						
1)男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。			東理学 TA	臨床漢方治療学 I (漢)		
		病態生理学IA	病態生理学ⅡA			緩和医療実践学
2) 前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿B		
3)以下の疾患について概説できる。前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症						
【呼吸器・胸部の疾患】						
1)肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。			病態生理学IIA	臨床漢方治療学 I (漢)		
			∇Ⅲ佘曲粱	   萊加治療学用A		緩和医療実践学
			米ゴナー	米物和源于世界		
2)閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およひその使用上の注意に しいて説明できる。			処方解析学 I			<b>需能解析学</b> (医)
		病態生理学IB				
3)以下の疾患について概説できる。上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、			病態生理学IIB	薬物治療学皿A		<b>經</b> 和 医 疼 宇
肺炎、肺結核、肺癌、乳癌				処方解析学工		ᄻᇄᅎᇪᆽᅩ
【内分泌系疾患】						
1)ホルモンの在生職哭別「伴寿的か在事を挙げる」とががきろ			病態生理学IIA			<b>經和医</b> 療宇 <b></b>
こと こく 生土 原始 ジョートなぎょう アンドン						ᄻᇄᅐᄷ
2) 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						1 d d d d d d d d d d d d d d d d d d d
3) クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		病態生理学IA	病態生理学ⅡA			緩和医療美廷字 応用薬物治療学
4) 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						
5)以下の疾事について無説できる。トロハ体機能異党症 アルドステロン症 アジンン病						緩和医癖軍瞎学
メージンでについて、その、上次・1年では大田に、、 ノバーン・ロンボン			病態生理学IIB			₩14 <i>ビホ</i> スペナ
【代謝性疾患】						
1) 特同病 アタクタ 供売 の病能 生神 適切 から 極速 サナバタの 毎日 トの注音 について 背間 がま ス			処方解析学 I			
信がなし、くっていまっている。 エイオ・ 国 から ひぶ 米・			7 上 洪 土 兴 土 林	薬理学皿B	<b>牛汪翌帽病予防</b> 学	応用薬物治療学
2) 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	生化学IB	病態生理学IA	来物石撩子 II A 新薬論(医)	臨床栄養学(健)		<b>病態解析学(</b> 医)
3) 宣記離中点・英国の無能生理・海内が治療薬・サーバタの体田トの注音について説明がまえ			薬物治療学IIA	臨床栄養学(健)		
同水段皿ボ・浦流の7名於土土、過ぎずらぶ米、			病態生理学IIB			

		水华	<u>4</u>		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		<u> </u>	5年	6年
【神経・筋の疾患】					
1)神怒・蛇「開才 2 坪 車 か		病態生理学IIB	臨床医学概論(医)		
/ 仲性・別にありるしないながるを手いることが、こ					
2) 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			臨床栄養学(健) 臨床医学概論(医)	生活習慣病予防学	応用薬物治療学
3)てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 ——		基物治梅学 II A	処方解析学Ⅱ		応用薬物治療学
4)パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。 ——			臨床医学概論(医)		病態解析学(医)
5) アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					応用薬物治療学
6)以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性 脳性 地名 地名 地名 地名 地質 地名	病態生理学 I B		臨床医学概論(医)		
图 语 一		病態生理学IB			
[総合演習]					
1)指定された疾患側について必要な情報を120番が過過が治療法を考案することができる。 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――					実務実習ポスト教育
					病態解析学(医)
(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)					
【精神疾患】		_			
ひおグジコー					
<b>化変的な精伸状思を挙げることができる</b>			臨床漢方治療学 I (漢)		応用薬物治療学
2) 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療字ⅡA 	百十億井池日		
3) うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			2012年11十五四年 12日		<b>车部的标》(PA)</b>
4)以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物体存症、アルコール依存症		新薬論(医)	臨床医学概論(医)		1111
1) 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA	   		
2) めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	市場 電影 中田学 1 7	処方解析学 I	大工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		
3)以下の疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎 ――			■ 本		
【皮膚疾患】					
1) 皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学IIA	薬理学皿B 薬物治療学皿B		
			处方解析学 II		
			臨床栄養学(健)	省杜品件子(健)	
、適切な治療			薬理学皿B ギボジーボー		
4)以下の疾患を概説できる。蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症			薬物治療学皿B		

			跳	本		
楽字教育モナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【眼疾患】						
1) 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。		*	病態生理学IIA	薬理学皿B 蒸物治療やmV		
っ)緑内障の病能牛理・適切な治梅薬・およ <i>びその</i> 使用トの注音について説明できる。				来2018年中 臨床医学概論		
こうさい うくしゅう こうさい 大きになる アンドラン・マージ こうしょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょう	流能	需能牛理学 1. Å		処方解析学工		
3) 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	150, EU	4		薬理学ⅢB 薬物治療学ⅢA		
4) 以下の疾患を無説できる、結じが、網膜症				米が石源ナーの臨床医学概論(医)		
				処方解析学工		
[骨・関節の疾患]						
1) 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。		¥	病態生理学IIA			
。) 母押懸 赤の 赤能 生理・ 海付 か 沙 梅 華 ・ 女 ト が その 体田 トの 注音 に ついて 剖明 で き ろ	***************************************		- 7: 1 - 1 - 1	薬理学皿B		
f 在核形でが窓上生、 過ぎる石魚米、 のみ C C V K A L V L あに J C L U V C A	楽物流	楽物治療字 I 病態生理学 I A 第	処方解析字 I 新薬論(医)	臨床栄養学(健)		病態解析学(医)
3)慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿B		
4) 以下の疾患を概説できる。変形性関節症、骨軟化症						
【アレルギー・免疫疾患】						
				東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東		
1)代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる。		40	免疫学工	スプイン・ 一		
				臨床医子模舗(医)  		
2) アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明でき	工	床態 化 苗 沙 I B		薬物治療学皿B		
8.	- 39; M2	-		臨床医学概論(医)		4 田 州 春 沙南 小
3) 自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の		*	<b>免</b> 応学 T	処方解析学工		心石米包石凉十
注意について説明できる。		n		薬物治療学皿B 路中光等時 (母)		
4)後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				四小不食于 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		
【移植医療】						
1) 牧姉「間浦」 七 佐能 仕畑 「海内 た 込 夜 薬 ) せっパタの 併田 トの 注音 について 背明 ぶま ス				薬物治療学皿A		
梦信に対圧した内容工生、 過ぎる力療業、 おみのてめば用土の注意に プジト部分 てき				臨床医学概論(医)		
【緩和ケアと長期療養】						
1)癌性痰痛に対して使用される薬物を列挙し、使用トの注音について説明を考る.				臨床医学概論(医)		
治は冷無に対して大沽です。今末治でがより、大沽上がたあにていていた。				斯勒治療 沙田 A		緩和医療実践学
2) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。				未物石源于mu		
【総合演習】						
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。		4	処方解析学 I	処方解析学工		実務実習ポスト教育
(技能)						病態解析学(医)
(5)病原微生物・悪性新生物と戦う						
【感染症】						
1) 主な感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。				薬物治療学皿A		応用薬物治療学

			無	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年		:	5年	6年
【抗菌薬】						
1) 抗菌薬を作用点に基づいて分類できる。			衛生系実習 I		感染制御学	
2) 代表的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。						
3)代表的なβ-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。						
4) テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。						
5) マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。			衛生系実習 I			
6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。			微生物薬品学	城春 <b>公</b> 康 小目 小		
7) ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。				米玄石族十旦A		
8)サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。						
9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。						
10)細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。			衛生系実習 I			
11)代表的な抗菌薬の使用上の注意について説明できる。			衛生系実習 I			
12)特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。			微生物薬品学			
[抗原虫·寄生虫薬]						
1)代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。			微生物薬品学	薬物治療学皿A		
[抗真菌薬]					-	
1)代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。			微生物薬品学	薬物治療学皿A		
【抗ウイルス薬】						
1)代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。			京 村 七	薬物治療学皿A		
2) 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点を挙げ、説明できる。			<b>飯</b> 1			
1) 主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。			第六番城口孙	 	感染制御学	
2) 主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。				来初石凉于皿N		
【悪性腫瘍の病態と治療】						
1)悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。					生活習慣病予防学	
2) 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。				薬物治療学皿A		
3) 化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。						
【抗悪性腫瘍薬】						
1) 代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。						
2)代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。						
3)代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。			; ;			
4)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。			微生物楽品字 薬理学 IB	斯雷·公康 沿田 A		
5) 抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。				米包石原十串人		
6) 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。						
7)代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。						
8)代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。						
【抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用】						
1) 主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。						
2) 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。			微生物薬品字 薬理学 IIB	薬物治療学皿A		
3)副作用軽減のための対処法を説明できる。						
				-		

			<b>市 华</b>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
(15 薬物治療に役立つ情報)		-				
)医薬品情報						
[情報]						
1)医薬品として必須の情報を列挙できる。						
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。						
3) 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。	統合医療 [		医薬品情報学	統合医療Ⅱ		
4) 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。						
5) 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。						
【情報源】						
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。						
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。						
3)厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。		1	**************************************			
4) 医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途を説明できる。			<b>医架品情報子</b>			
5) 医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。						
6) 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。						
7) 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。(技能)						
	_	-			-	
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)						医薬品食品相互作用 学(健)
2) 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。		<u>FE1</u>	医薬品情報学			
3) 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。(技能)						
4) 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。(知識・態度)						
5) 主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。		KDI	医薬品情報学			
[データベース]						
1)代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。		<u>KEN</u>	医薬品情報学		感染制御学	
2) 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。(知識・技能)						
3) インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。(技能)			医薬品情報学			
[EBM (Evidence-Based Medicine)       ]						
1) EBMの基本概念と有用性について説明できる。						
2)EBM実践のプロセスを概説できる。						
3)臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所を概説できる。		<u> </u>	医薬品情報学			
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。(知識・技能)						薬剤疫学(医)
5) 真のエンドポイントと代用のエンドポイントの違いを説明できる。						
6)臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)について説明できる。						
【総合演習】						
て検討すべ						
2) 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる。 (知識・技能)		<u>E7</u>	医薬品情報学			
(AH PR. 1× RE.)						

		<b>市</b>	4		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年		<u> </u>	5年	6年
(2) 患者情報		-			
[情報と情報源]					
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。			薬物治療学皿B		
		医薬品情報学	操 配 和 配		
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。			1		
【収集・評価・管理】					
1) 問題志向型システム(POS)を説明できる。					POS実践論
2)薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)					POS実践論
					実務実習ポスト教育
3) 患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)					P0S実践論
4)得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。 (知識・技能)		医薬品情報学	<b>薬剤学</b> 工		POS実践論 実務実習ポスト教育
5)SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)					POS実践論
6) チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる。(態度)			1		
7) 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。(知識・態度)					
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して					
[遺伝的素因]					
1)薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。					
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。			薬物治療学皿B		
3)遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。					
[年齡的要因]					
1)新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
2)幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			· 秦物治療字ⅢB · 莱物動態学		
3) 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。					
【生理的要因】					
1) 生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			斯加治療 P T R		
2)授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。			米物石源于曲5		
3)栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。					
[合併症]					
1)腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			1 1 1 1 1		
2)肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。			楽物治療字皿B 薬物動態学		
3)心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。					
【投与計画】					
1) 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)					
2)ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。		生物薬剤学工	医梅科学		路午茶加點能予
3)薬動力学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)			三/朱/04   丁		
4)薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。			薬物治療学皿B		

薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)	Ł	Ţ	※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ţ	Ţ
	#	# 7	# #	# #	# 0	# o
[医薬品をつくる]						
016 製剤化のサイエンス						
(1)製剤材料の性質						
【物質の溶解】						
1)溶液の濃度と性質について説明できる。						
2)物質の溶解とその速度について説明できる。			"			
3)溶解した物質の膜透過速度について説明できる。						
4)物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。						
[分散系]						
1) 界面の性質について説明できる。						
2)代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。						
3) 乳剤の型と性質について説明できる。			物理薬剤学			
4)代表的な分散系を列挙し、その性質について説明できる。						
5) 分散粒子の沈降現象について説明できる。						
【製剤材料の物性】						
1) 流動と変形(レオロジー)の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。			物理薬剤学		香粧品科学(健)	
2) 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。			排 1.0			
3) 製剤分野で汎用される高分子の物性について説明できる。			W三十 I D			
4)粉体の性質について説明できる。			物理薬剤学			
5) 製剤材料としての分子集合体について説明できる。			薬剤学IB			
6)薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。			报 社 社			
7) 粉末 X 線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。			<b>参</b> 压柴 闰 子			
8) 製剤材料の物性を測定できる。(技能)				薬剤系実習		
(2) 剤形をつくる						
【代表的な製剤】						
1)代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。						
2)代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。						
3)代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。				薬剤系実習		
4)代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。			薬剤学 I A			
5)代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。						
6) エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。						
7)代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。						
8)代表的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。			·薬剤学 I B			
[製剤化]						
1) 製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。			斯名1 · L B			
2) 単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)				薬剤系実習		
3) 汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。			薬剤学IA			

			許	<u> </u>		
本学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【製剤試験法】						
1)日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。			Q I 完  本華			
2)日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)			米門子 I D	薬剤系実習		
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)						
[DDSの必要性]						
1)従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。			城太郎 1 D			
スキガ品ボイン)」を田斗しや単ラSM(co			d I 十层米			
マン DDSOCを受けて HIHI Jos CBS CB			生物薬剤学Ⅱ			
【放出制御型製剤】						
1) 放出制御型製剤(徐放性製剤を含む)の利点について説明できる。			生物薬剤学工			
2)代表的な放出制御型製剤を列挙できる。			薬剤学 I B			
3)代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。						
4)徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。			城 1.D			
5)経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる			米鬥十 I D			
6) 腸溶製剤の特徴と利点について説明できる。						
[ターゲティング]						
7 年 3 日 宗 4 二 ) ! 乗 母 二 用 單 ラ ガ・・・ 一 ゼ 一 ダ ・・			生物薬剤学エ			
			城 1.D			
2)代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。			A三十 I D			
[プロドラッグ]						
7 年3 田荘イン) 1 本田 4 2 7 7 1 十 7 3 7 1 米 1 光 1 光 2 光 3 光 4 光 ま 2 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			生物薬剤学Ⅱ			
			薬剤学 I B			
【その他のDDS】						
1)代表的な生体膜透過促進法について説明できる。			薬剤学IB			

			秋	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
C17         医薬品の開発と生産						
(1) 医薬品開発と生産のながれ						
【医薬品開発のコンセプト】						
1) 医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子を列挙できる。			<b>宣蔣</b>		医漱口鼠杂验	
2)疾病統計により示される日本の疾病の特徴について説明できる。			是 一			
【医薬品市場と開発すべき医薬品】						
1)医療用医薬品で日本市場および世界市場での売上高上位の医薬品を列挙できる。						
2) 新規医薬品の価格を決定する要因について概説できる。				薬事関係法規工		
3) ジェネリック医薬品の役割について概説できる。						
4) 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の重要性について説明できる。						
[非臨床試験]						
1)非臨床試験の目的と実施概要を説明できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
【医薬品の承認】						
1)臨床試験の目的と実施概要を説明できる。						
2) 医薬品の販売承認申請から、承認までのプロセスを説明できる。				本中田化工田工	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
3) 市販後調査の制度とその意義について説明できる。				- 米事		
4) 医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション (ICH) について概説できる。					Г	
[医薬品の製造と品質管理]						
1) 医薬品の工業的規模での製造工程の特色を開発レベルのそれと対比させて概説できる。						
2) 医薬品の品質管理の意義と、薬剤師の役割について説明できる。					医薬品開発論	
3) 医薬品製造において環境保全に配慮すべき点を列挙し、その対処法を概説できる。						
[規範]						
1) GLP (Good Laboratory Practice)、GMP (Good Manufacturing Practice)、GCP (Good Clinical Practice)、GPMSP (Good Post-Marketing Surveillance Practice) の概略と意義について説明できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
[特許]						
1) 医薬品の創製における知的財産権について概説できる。					医薬品開発論	
[薬害]						
1)代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど)について、その原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)				薬事関係法規工	医薬品開発論	
(2) リード化合物の創製と最適化						
[医薬品創製の歴史]						
1) 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。			創薬化学		医薬品開発論	
【標的生体分子との相互作用】						
1)医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。					医薬品開発論	
2)医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。			:			
3)立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。			創薬化学			
4)医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明でき 2						
ရိ						

			新	超		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年 2	中			5年	6年
[スクリーニング]		-				
1)スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。			ر باز		定 斯口 間 <b>次</b> 沙	
2)代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。			± 0			
【リード化合物の最適化】						
1) 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。		創薬化学	比学			
2) 生物学的等価性 (バイオアイソスター) の意義について概説できる。		創薬化学	比学			
3)薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。		創薬化学	比学			
(3) パイオ医薬品とゲノム情報						
【組換え体医薬品】						
1)組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。 ――					ゲノム科学 II	
			遺伝子工学	ゲノム科学 I	医	
2)代表的な組換え体医薬品を列挙できる。		į		•	ゲノム科学ロ	
3)組換え体医薬品の安全性について概説できる。					医薬品開発論	
[遺伝子治療]	-	-				
第二人名英格兰 计计算 医二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲二甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲		遺伝	遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学Ⅱ	
乙分の十歳、名々、るその軍法的可随所で参照でする。(対政					医薬品開発論	
【細胞を利用した治療】						
1) 五牛 医梅の 原理・方法 と手順・現状・および 倫理的問題 占を押討できる。(知識・能度) ――					ゲノム科学Ⅱ	
サービボンがも、ノルトコドボ・ガ・ブ、509~「阿子Fゴリ佐派 とうむし トロ・シュ					医薬品開発論	
[ゲノム情報の創薬への利用]						
1)ヒトゲノムの構造と多様性を説明できる。		創薬化学	比学			
/オマティクスについて概説できる。 /## ### / #### ### / #### / #### / ### / ### / #### / ### / ### / ### / #### / #### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / #### / ### / ### / ### / #### / #### / #### / #### / #### / #### / ### / #### / #### / #### / ### / #### / ### / #### / #### / ### / ### / #### / ### / #### / #### / #### / #### / #### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / #### / ### / ### / #### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / ### / #### / ##### ### / #### / #### / #### ##					ゲノム科学Ⅱ	
はGCナダ虫(人は、ielle)のPRのILTにいるたる方法(フィミッシックノンロットがなこ)に、哲説できる。		遺伝	遺伝子工学	ゲノム科学 I		
4)ゲノム情報の創薬への利用について、創薬ターゲットの探索の代表例(イマチニブなど)を挙げ、			孙		医薬品開発論	
【疾患関連遺伝子】						
1)代表的な疾患(癌、糖尿病など)関連遺伝子について説明できる。				7、1、5、1	7、1、世界二	
2)疾患関連遺伝子情報の薬物療法への応用例を挙げ、概説できる。				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	ノノムやキュ	
(4) 治験	_					
[治験の意義と業務]						
1)治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところを説明できる。		2 田 郑	成 本 多 田 楽			
2)医薬品創製における治験の役割を説明できる。		***		※ 車 間 径 注 相 π	医漱口胃染验	
3) 治験(第1、1、および皿相)の内容を説明できる。				¥≠⋈╓ <i>५</i> ӎ <sup>╻</sup>		
4) 公正な治験の推進を確保するための制度を説明できる。						
5)治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性について討議する。 (態度)			薬理系実習			
6) 治験業務に携わる各組織の役割と責任を概説できる。		薬理	薬理系実習	薬事関係法規工	医薬品開発論	

(3003) プロ・ナニナクト・ニが七种株金種			科目		
米十秋目 トング・コング・コング (3DOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
[治験における薬剤師の役割]					
1)治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)を説明できる。					
2) 治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。		薬理系実習		医薬品開発論	
3) 治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる。					
4) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。(態度)					
(5) パイオスタティスティクス					
【生物統計の基礎】					
1)帰無仮説の概念を説明できる。					
2) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。					
3)主な二群間の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)					
$4$ ) $\chi 2$ 検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)			医療統計学		
5)最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能)					
6)主な多重比較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。					
7)主な多変量解析の概要を説明できる。					
【臨床への応用】					
1)臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を 説明できる。		食品栄養学工(健)			
2)パイアスの種類をあげ、特徴を説明できる。					
3) バイアスを回避するための計画上の技法(盲検化、ランダム化)について説明できる。			医療統計学		
4)リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算できる。 (知識・技能)					
5) 基本的な牛存時間解析法(Kanlan-Meier曲線など)の特徴を説明できる。					

			盆	中		
楽字教育モナル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C18         薬学と社会						
(1)薬剤師を取り巻く法律と制度						
【医療の担い手としての使命】						
1) 薬剤(師の医療の切り手 ソープの金細的書任を白管ナス (能用)			医薬品情報学	薬事関係法規 I	医療経済学	
米引呼の区域の位が十60~の国生的具は6日兄96。						
2) 医療過誤、リスクマネージメントにおける薬剤師の責任と義務を果たす。(態度)			梁向官埋子 (医)	1 光米光雷		
【法律と制度】						
1)薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。				薬事関係法規 I		
2)薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。				臨床薬学 I		
				薬事関係法規工		
3)薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。				!		
4)薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。				薬事関係法規   臨床薬学		
5)医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる。				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
6) 医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。				4 时十岁 目 单 年		
7)製造物責任法を概説できる。				米中国ボムダロ		
[管理薬]						
1) 麻薬及び向精神薬取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。			进十十岁八帝			緩和医療実践学
2) 覚せい剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。			<b>戻力士架</b> 几子	1 时十少旧 早年	鑑識化学(健)	
3) 大麻取締法およびあへん法を概説できる。				米甲因ボム処 1		
4)毒物及び劇物取締法を概説できる。				Γ		
【放射性医薬品】						
<ul><li>1)放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など)および制度について概説できる。</li></ul>						
2)代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試験法を概説できる。						
(2) 社会保障制度と薬剤経済						
【社会保障制度】						
1)日本における社会保障制度のしくみを説明できる。			薬局管理学(医)		医废绞决学	
2) 社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。				世界 2 日 年 率	大学 计分类 计	
3) 介護保険制度のしくみを説明できる。	介護概論(医)		薬局管理学(医)	米		
4)高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。					医療経済学	
【医療保険】						
1) 医療保険の成り立ちと現状を説明できる。						
2)医療保険のしくみを説明できる。			薬局管理学(医)	薬事関係法規工	军海纹冷亭	
3)医療保険の種類を列挙できる。					- がボルナ	
4) 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。						

			75 40	0 4		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【薬剤経済】						
1) 国民医療費の動向を概説できる。			薬局管理学(医)			
2)保険医療と薬価制度の関係を概説できる。				工品化学品单类	牙底绞法部	
3)診療報酬と薬価基準について説明できる。				米尹闰ボ広苑山	医原性角子	
4) 医療費の内訳を概説できる。						
5)薬物治療の経済評価手法を概説できる。					医底绞法部	
6)代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる。(知識・技能)					区原性角子	
(3) コミュニティーファーマシー						
【地域薬局の役割】						
1) 地域薬局の役割を列挙できる。						
2)在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。	介護概論(医)		薬局管理学(医)	薬事関係法規工	在宅医療概論	
3) 学校薬剤師の役割を説明できる。						
【医薬分業】						
1) 医薬分業のしくみと意義を説明できる。			薬局管理学(医)		医療経済学	
2) 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。(知識・態度)				薬事関係法規工		
3)かかりつけ薬局の意義を説明できる。			薬局管理学(医)			
【薬局の業務運営】						
1)保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。			薬局管理学(医)			
2)薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。				東 車 間 仮 注 钼 π		
3) 医薬品の流通のしくみを概説できる。				⋇ <del>ヺ</del> ヺゕゟゟ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	医療経済学	
4)調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。			薬局管理学(医)			
【016薬・セルフメディケーション】						
1) 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(態度)	林今医療 1			世 世	医療経済学	
	: × = 1.5					
2) 主な一般用医薬品(0TC薬)を列挙し、使用目的を説明できる。			拼匠饰苗沙 (厍)		一般用医薬品学	
3) 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。	40000000000000000000000000000000000000		<b>├</b> # •	統合医療Ⅱ		医薬品食品相互作用
	л н <i>⇔</i> ля т		食品栄養学工(健)	機能性食品学(健)		学(健)

## SBOsに該当する科目 (基礎資料3一1)薬学教育モデル・コアカリキュラムの

## 平成19、20年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

四二

緩和医療実践学 緩和医療実践学 緩和医療実践学 緩和医療実践学 9 卅  $\Omega$ 4年 ゲノム科学 ゲノム科学 統合医療工 臨床薬学 I 臨床薬学 I 臨床薬学 I 統合医療 Ш 椞 紃 ューマニズムIV 医薬品情報学(医) 臨床薬学 I (医)  $\widehat{\mathbb{R}}$  $\overline{\mathbb{R}}$ 撚 卅 薬局管理学 薬局管理学 က 臨床薬学  $\square \square \square$ 学科基幹科目 学科基幹科目 学科基幹科目 ור 健康薬学科 漢方薬学科 医療薬学科 卅  $^{\circ}$ 統合医療 統合医療 1年 伝統医薬学 社会福祉学 社会福祉学 社会福祉学 操护概 沃护 薬学概論 薬学概論 薬学概論 薬学概論 法学 莱学概 沃护 薬学概論 薬学概論 薬学概論 薬学概論 [備考] 枯冰 枯水 姑你 する科目名を実施学年の欄に記入してくださ 難病治療など)に伴う生命観の変遷を 2)誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。 4) 死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明でき (知識·態度) (態度) こともできます 薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) (知識·態度) 討議する。 3)医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明でき ŵ (態度) 2) 医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案す 3) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。 薬学教育モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当 同じ科目名が連続する場合はセルを結合して記入する 生命の尊さと医療の関わりについて 1)医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植・再生医療、 概説できる。 1) 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。 1) 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。 4) 患者の基本的権利と自己決定権を尊重する。(態度) (態度) 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。 全学年を通して:ヒューマニズムについて学ぶ 1) 予防、治療、延命、QOLについて説明でき 3) 医療の担い手にふさわしい態度を示す。 1) ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。 (2) 医療の担い手としてのこころ構え 【医療行為に関わるこころ構え】 5) 自らの体験を通して、 [先進医療と生命倫理] [医療の目的] [生命の尊厳] [社会の期待] (1) 生と死

 $\widehat{\mathbb{R}}$ 

臨床薬学

5) 医療事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)

			<b>元</b>	1000		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	Т		5年	6年
【研究活動に求められるこころ構え】						
1)研究に必要な独創的考え方、能力を醸成する。						
2)研究者に求められる自立した態度を身につける。(態度)	灤字概 法字					緩和医療実践学
3)他の研究者の意見を理解し、討論する能力を身につける。(態度)	社会福祉学					
【医薬品の創製と供給に関わるこころ構え】						
会に及ぼす影響に常に目を向ける。(態度)	薬学概論 一		١,			经货币银币
2) 医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現する。(態度)	<b>法</b>		是不米子 I (因) I 光米子語			板机医撩表坛子
【自己学習·生涯学習】						
題から、自ら課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。 叓)	 		ヒューマニズムⅣ			緩和医療実践学
にわたって自ら学習する大切さを認識する。(態度)	<b>开</b>		薬局管理学(医)			
(3) 信頼関係の確立を目指して						
[コミュニケーション]						
1)言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。	ת	Ⅲケズニケー⊏				
2) 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。		コミュニケーション科	隔床薬学 1 (医)			緩和医療実践学
3) 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。	4. 文本信子	学総合実習 (PBL)				
【相手の気持ちに配慮する】						
1) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。	~ 無い	世 / 蒼 - 仁				
2)相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。(知識・態度)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「コーペーイカー」、コーペーイカー・コーケーション・ボーケーション・ボージング・中間のロック	臨床薬学 I (医) -			緩和医療実践学
3) 対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(技能)	<del>K</del>	子杉口大百 (r DC)				
【患者の気持ちに配慮する】						
1) 病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。	<u></u> 11	ヒューマニズム国	臨床薬学 I (医) 薬局管理学 (医)			
2) 患者の心理状態を把握し、配慮する。(知識・態度)	N	_				
(3)						緩和医療実践学
4) 患者やその家族の持つ価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できるよう努力する。 (態度)	П	Ⅲケニズート	臨床薬学 I (医)			
5) 不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。(知識・態度)	社会福祉学					
[7-47-4]						
1)チームワークの重要性を例示して説明できる。	7	Ϋ́ II				
2) チームに参加し、協調的態度で役割を果たす。(態度)	J <u></u>	英学総合実習 (PBL)	臨床薬学 I (医)			緩和医療実践学
3) 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める。(態度)						
【地域社会の人々との信頼関係】						
1)薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。		Ť 1				是 化甲甲二甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲
2)薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。(態度)	化云值低子   C	<b>■4</b> <->-				<b>板</b>

			新	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
ロイントロがカシュン						
ロンスロコント						
(1)薬学への招待						
【薬学の歴史】						
莱哥人医日夕尤达女 乙医梅丁七二乙苯硝法甲七一 人女士 名型大唱话乐女人			漢方薬剤学			
1)米子の座文的な流れて医療にあいて米子が米にしてきに反剖を極鋭できる。 (伝)	伝統医薬学(漢)		漢方生薬化学(漢)			
2)薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。						
【薬剤師の活動分野】						
1)薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。						
					香粧品科学(健)	
2)薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。						
3) 医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。			薬局管理学(医)			
4) 医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。						
5)疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。						
[2/10/2]						
1)「薬とは何か」を概説できる。			漢方生薬化学(漢)			
2)薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。						
3) 化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。						
4) 種々の剤形とその使い方について概説できる。						
5) 一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。		統合医療 I	漢方薬剤学		香粧品科学 (健)	
			漢方生薬化学(漢)	統合医療エ		
【現代社会と薬学との接点】						
1) 先端医療を支える医薬品開発の現状について概説できる。						
2) 麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。			漢方生薬化学(漢)			
3)薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。						
【日本薬局方】						
1) 日本薬局方の意義と内容について概説できる。			日本薬局方			
【総合演習】						
1)医療と薬剤師の関わりについて考えを述べる。(態度)						
2) 身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。(技能)						
(2)早期体験学習						
<ul><li>1)病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。</li></ul>						
2) 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。(知識・態度)						
3) 製薬企業および保健衛生、健康に関わる行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割 について討議する。(知識・態度)						
4) 保健、福祉の重要性を具体的な体験に基づいて発表する。(知識・態度)						
			Ì			

			新	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
C 薬学専門教育						
[物理系薬学を学ぶ]						
(1 物質の物理的性質						
(1)物質の構造						
【化学結合】						
1) 化学結合の成り立ちについて説明できる。	7. 第 3. 图					
2) 軌道の混成について説明できる。	16千人					
3)分子軌道の基本概念を説明できる。						
4)共役や共鳴の概念を説明できる。						
【分子間相互作用】						
1)静電相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門					
2) ファンデルワールス力について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
3) 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
4)分散力について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
5)水素結合について例を挙げて説明できる。	化学入門 理論化学 I	細胞生物学				
8) 電荷移動について例を挙げて説明できる。	理論化学 I					
フ)疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。	化学入門 理論化学 I					
[原子・分子]						
		機器分析学				
分子の振動、回転、電子遷移について説	;					
3) スピンとその磁気共鳴について説明できる。	埋端化字					
4)分子の分極と双極子モーメントについて説明できる。						
5)代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。(知識・技能)	基礎科学実習					
6) 偏光および旋光性について説明できる。						
7)散乱および干渉について説明できる。	理論化学 I	機器分析学				
8)結晶構造と回折現象について説明できる。						
【放射線と放射能】						
1) 原子の構造と放射壊変について説明できる。						
2) 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。	:					
3) 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。	物理学入門工  理論化学					
4) 核反応および放射平衡について説明できる。						
5) 放射線の測定原理について説明できる。						
(2) 物質の状態 I						
1)ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。	薬学演習 I B (化  学)					
2) 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。	物理学入門工	理論化学工				
3)エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。						

			跳	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[エネルギー]						
1) 系、外界、境界について説明できる。						
2)状態関数の種類と特徴について説明できる。		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
3)仕事および熱の概念を説明できる。		五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二				
4)定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。		化学・物理系実習工				
5) 熱力学第一法則について式を用いて説明できる。						
6)代表的な過程(変化)における熱と仕事を計算できる。(知識、技能)	- 物埋字人門 11					
7) エンタルピーについて説明できる。		1 十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二 二十二				
8) 守事的行物語亦ん 子学亦化「守ら曹淮トンタニア―参イを当田」 早省万本人 (白譜 甘労)						
こなごずを弁めに、「十名に「十七年十七~~~」 女にも思わて、「中へ(う。 (4)感、		化学・物理系実習エ				
9)標準生成エンタルピーについて説明できる。		理論化学工				
【自発的な変化】						
1) エントロピーについて説明できる。	487 彩田华	理論化学工				
2) 熱力学第二法則について説明できる。		薬品分析化学工				
3)代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロピー変化を計算できる。(知識、技能)						
4) 熱力学第三法則について説明できる。		1 非人公田				
5) 自由エネルギーについて説明できる。		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
6)熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。(知識、技能)		薬品分析化学工				
7) 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。		田場人部田				
8) 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性 (van't Hoffの式) について説明できる。		1 子小胆素				
9) 共役反応について例を挙げて説明できる。						
(3) 物質の状態 II						
【物理平衡】						
1)相変化に伴う熱の移動(Clausius-Clapeyronの式など)について説明できる。						
2) 相平衡と相律について説明できる。						
3)代表的な状態図(一成分系、二成分系、三成分系相図)について説明できる。		米吕亥年七十				
4)物質の溶解平衡について説明できる。	薬学演習 I B (化					
5)溶液の東一的性質(浸透圧、沸点上昇、凝固点降下など)について説明できる。	<u></u>	化学・物理系実習エ				
6) 界面における平衡について説明できる。		薬品物理化学				
7) 吸着平衡について説明できる。						
8)代表的な物理平衡を観測し、平衡定数を求めることができる。(技能)				薬剤系実習		

			新	超回		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	ī		5年	6年
[溶液の化学]						
1)化学ポテンシャルについて説明できる。		理論化学 I 薬品物理化学				
2) 活量と活量係数について説明できる。		薬品物理化学				
3)平衡と化学ポテンシャルの関係を説明できる。	開業	理論化学 I 薬品物理化学				
4) 電解質のモル伝導度の濃度変化を説明できる。						
5) イオンの輸率と移動度について説明できる。	ļi I	1000年100年10日本				
6) イオン強度について説明できる。	₩ 	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1				
7) 電解質の活量係数の濃度依存性 (Debye-Hückel の式) について説明できる。						
【電気化学】						
1)代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。						
2)標準電極電位について説明できる。						
3)起電力と標準自由エネルギー変化の関係を説明できる。	i i	1000年100年10日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本				
4)Nernstの式が誘導できる。	<u> </u>	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二				
5)濃淡電池について説明できる。						
6)膜電位と能動輸送について説明できる。						
(4)物質の変化						
[反応速度]						
1) 反応次数と速度定数について説明できる。						
2) 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)	i i	一里里 三班				
3)代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。	**	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二				
4) 件表的た (据) 一次同応の同応语音を測定し、语音完数を求めることがだきる (技能)						
こなぜずる気が、今次ででは大きな、たるとのでもなるというという。	化学	ド・物理系実習Ⅱ				
5)代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明できる。	· 操	薬品物理化学 ——				
6)反応速度と温度との関係(Arrheniusの式)を説明できる。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・ 加田 ※ 電別 Ⅱ				
7) 衝突理論について概説できる。						
8) 遷移状態理論について概説できる。	#	*** · II ## ## [				
9)代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応など)について説明できる。	·张	米品参姓化子				
10) 酵素反応、およびその拮抗阻害と非拮抗阻害の機構について説明できる。						
[物質の移動]						
1) 拡散および溶解速度について説明できる。						
2) 沈降現象について説明できる。		薬品物理化学				
3) 流動現象および粘度について説明できる。						

4 1 4 1 4 1			数	科 目		
条字教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C2 化学物質の分析						
(1) 化学平衡						
【酸と塩基】						
1)酸・塩基平衡を説明できる。						
2)溶液の水素イオン濃度(pH)を測定できる。(技能)		機器分析学	日本薬局方			
3)溶液のpHを計算できる。(知識・技能)	華品 公 拓 小 型 1					
4)緩衝作用について具体例を挙げて説明できる。	*#711071					
	薬学演習IB(化 学)					
5)代表的な緩衝液の特徴とその調製法を説明できる。	第四公拓化学 1					
6)化学物質のpHIこよる分子形、イオン形の変化を説明できる。	* # 11 10 년 1					
【各種の化学平衡】						
1) 錯体・キレート生成平衡について説明できる。						
2) 沈殿平衡 (溶解度と溶解度積) について説明できる。		米品分析化子工				
3)酸化還元電位について説明できる。						
4)酸化還元平衡について説明できる。						
5) 分配平衡について説明できる。						
6) イオン交換について説明できる。						
(2) 化学物質の検出と定量						
【定性試験】						
1)代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。	薬品分析化学 I					
2) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。		化学・物理系実習エ				
3) 日本薬局方収載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。						
[定量の基礎]						
1)実験値を用いた計算および統計処理ができる。(技能)		化学・物理系実習エ				
2) 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。						
3)日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。						
4) 日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。						
5)日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。						
【容量分析】						
1)中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		化学・物理系実習エ				
2)非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
3)キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
4) 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。		ボロンオンボー	口个米问力			
5)酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。						
6) 電気滴定(電位差滴定、電気伝導度滴定など)の原理、操作法および応用例を説明できる。						
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		化学・物理系実習エ				
7)日本楽局万収載の代表的な医楽品の容量分析を実施できる。(技能)						

1 1 1			然	本		
条子教育モナル・コアガリキュフム(SBOS) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【金属元素の分析】						
1) 原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。		海北八品	日本薬局方			
2)発光分析法の原理、操作法および応用例を説明できる。		<b>陇奋万</b> 机子				
[クロマトグラフィー]						
1) クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。			十四英十口			
2) クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。		機器分析学	口个米向力			
っ、			基幹実習 (健)			
海眉グロストプレイモ、夜体グロストプレノイーなどのグロストプレイイ化学物質を分離分析できる。(知識・技能)		化学・物理系実習 I 化学・物理系実習 I				
(3)分析技術の臨床応用						
【分析の準備】						
1)代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取扱いができる。(技能)		機器分析学				
2)臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。						
【分析技術】						
1) 臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。			日本薬局方			
2) 免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。						
3) 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)				张 大 大		
4) 電気泳動法の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)				<b>哈尔依闰十</b>		
5)代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。		機器分析学				
6)代表的なドライケミストリーについて概説できる。						
7)代表的な画像診断技術(X線検査、CIスキャン、MRI、超音波、核医学検査など)について概説できる。						
8) 画像診断薬(造影剤、放射性医薬品など)について概説できる。						
9) 薬学領域で繁用されるその他の分析技術(バイオイメージング、マイクロチップなど)について 概説できる。						
【薬毒物の分析】						
1) 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。					発帯に帯(母)	
2)代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)のスクリーニング法を列挙し、説明できる。						
3)代表的な中毒原因物質を分析できる。(技能)			衛生系実習エ			

			経	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年			5年	6年
C3 生体分子の姿・かたちをとらえる						
(1) 生体分子を解析する手法						
【分光分析法】						
1) 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
2) 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。			日本薬局方			
3) 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。						
4)電子スピン共鳴(ESR)スペクトル測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。		機器分析学				
5) 旋光度測定法(旋光分散)、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について 説明できる。			日本薬局方			
6)代表的な生体分子(核酸、タンパク質)の紫外および蛍光スペクトルを測定し、構造上の特徴と関連付けて説明できる。(知識・技能)						
【核磁気共鳴スペクトル】						
1) 核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。		<b>第四八片</b> 亦				
2)生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。		饭备 27 们 子				
[質量分析]						
1)質量分析法の原理を説明できる。		犯人员				
2)生体分子の解析への質量分析の応用例について説明できる。		饭品为何子				
【X線結晶解析】						
1) X線結晶解析の原理を概説できる。		<b>黎器公</b> 托逊				
2)生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。		አጀቱ / J ባ/ ተ				
【相互作用の解析法】						
1)生体分子間相互作用の解析法を概説できる。						
(2) 生体分子の立体構造と相互作用						
【立体構造】						
1)生体分子(タンパク質、核酸、脂質など)の立体構造を概説できる。	理論化学 I					
2) タンパク質の立体構造の自由度について概説できる。						
3) タンパク質の立体構造を規定する因子(疎水性相互作用、静電相互作用、水素結合など)について、具体例を用いて説明できる。		細胞生物学				
4) タンパク質の折りたたみ過程について概説できる。						
5) 核酸の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。						
6)生体膜の立体構造を規定する相互作用について、具体例を挙げて説明できる。		薬品物理化学				
【相互作用】						
1)鍵と鍵穴モデルおよび誘導適合モデルについて、具体例を挙げて説明できる。						
2) 転写・翻訳、シグナル伝達における代表的な生体分子間相互作用について、具体例を挙げて説明できる。						
3) 脂質の水中における分子集合構造(膜、ミセル、膜タンパク質など)について説明できる。		薬品物理化学				
4)生体高分子と医薬品の相互作用における立体構造的要因の重要性を、具体例を挙げて説明できる。						

			無	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
54 化字物真の性質と反応						
(1) 化学物質の基本的性質						
【基本事項】						
1)基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。						
2)薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。						
3) 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。						
4) 有機反応における結合の開裂と生成の様式について説明できる。						
5) 基本的な有機反応(置換、付加、脱離、転位)の特徴を概説できる。	有機薬化学 I					
6)ルイス酸・塩基を定義することができる。						
7)炭素原子を含む反応中間体(カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン)の構造と性質を説明できる。						
8)反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。						
9) 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。						
【有機化合物の立体構造】						
1)構造異性体と立体異性体について説明できる。						
2) キラリティーと光学活性を概説できる。	化学入門  右藤夢化学 1					
3) エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。						
4) ラセミ体とメソ化合物について説明できる。						
5)絶対配置の表示法を説明できる。	<b>九</b> 教持					
6)Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。	1 十二米ダウ					
7) エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。						
【無機化合物】						
1)代表的な典型元素を列挙し、その特徴を説明できる。						
2) 代表的な遷移元素を列挙し、その特徴を説明できる。	化学入門					
3)窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。						
4) イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。						
5)代表的な無機医薬品を列挙できる。						
【錯体】						
1) 代表的な錯体の名称、構造、基本的性質を説明できる。						
2)配位結合を説明できる。						
3)代表的なドナー原子、配位基、キレート試薬を列挙できる。						
4)錯体の安定度定数について説明できる。						
5)錯体の安定性に与える配位子の構造的要素(キレート効果)について説明できる。						
6)錯体の反応性について説明できる。						
7) 医薬品として用いられる代表的な錯体を列挙できる。						

			宗経	111		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
(2) 有機化合物の骨格						
[アルカン]						
1) 基本的な炭化水素およびアルキル基をIUPACの規則に従って命名することができる。	有機薬化学 I					
2) アルカンの基本的な物性について説明できる。	化学入門					
3)アルカンの構造異性体を図示し、その数を示すことができる。						
4)シクロアルカンの環の歪みを決定する要因について説明できる。						
	有機薬化学 I					
6)シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向(アキシアル、エクアトリアル)を図示できる。						
7) 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。						
【アルケン・アルキンの反応性】						
1)アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。						
2) アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性(アンチ付加)を説明できる。						
3)アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性(Markovnikov 則)について説明できる。						
4)カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。	有機薬化学 I					
5) 共役ジエンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。						
6) アルケンの酸化的開裂反応を列挙し、構造解析への応用について説明できる。						
フ)アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる。						
【芳香族化合物の反応性】						
1) 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。						
2)芳香族性(Hückel則)の概念を説明できる。	化学入門					
3)芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。	K	有機薬化学エ				
4)芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。						
5) 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。						
(3) 官能基						
【概説】						
1)代表的な官能基を列挙し、個々の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。						
2)複数の官能基を有する化合物をIUPACの規則に従って命名できる。	有機薬化学 I					
3)生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。						
4)代表的な官能基の定性試験を実施できる。(技能)						
5)官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)	基礎科学実習					
6) 日常生活で用いられる化学物質を官能基別に列挙できる。						
[有機ハロゲン化合物]						
1) 有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。						
s化学を含めて説明できる。	有機薬化学 I					
3) ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff則)を 説明できる。						

			経			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年		4年	5年	6年
<b>【アルコール・フェノール・チオール】</b>						
1) アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。	化学入門					
2)フェノール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		有機薬化学エ				
3) フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。						
[エーテル]						
1) エーテル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		<b>大松茶化学工</b>				
2) オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。		1 做来心子 11				
【アルデヒド・ケトン・カルボン酸】						
1)アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。	化学入門					
		有機薬化学エ				
3)カルボン酸誘導体(酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル)の代表的な性質と 反応を列挙し、説明できる。						
[アミン]						
1)アミン類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。		九 滋 浜 小 泥 巾				
2)代表的な生体内アミンを列挙し、構造式を書くことができる。	化学入門	白飯米七子 11				
【官能基の酸性度・塩基性度】						
1)アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。		有機薬化学エ				
2)アルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、 説明できる。						
3) 含窒素化合物の塩基性度を説明できる。		有機薬化学エ				
(4) 化学物質の構造決定						
【終論】						
1) 化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を説明できる。						
[I'H NWR]						
1)NMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。						
3) 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。						
4)重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。		機器分析学				
5)¹H NMRの積分値の意味を説明できる。		F 171 C 7 HH 301				
6) 「H NMRシグナルが近接プロトンにより分裂(カップリング)する理由と、分裂様式を説明できる。						
7)「H NMRのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。		1				
8)代表的化合物の部分構造を¹H NMR から決定できる。(技能)						
I 13C NMR]						
1) <sup>13</sup> C NMRの測定により得られる情報の概略を説明できる。		数 器 公 井 沙				
2) 代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。						
[IRスペクトル]						
1)IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。		おおいた。				
2) IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)		成命 刀 们 于				
【紫外可視吸収スペクトル】						
1) 化学物質の構造決定における紫外可視吸収スペクトルの役割を説明できる。		機器分析学				

(3003) ブー・ギニチター・三が上降条金米			無 雑	科目		
米十枚月モング・ゴングンイエング(3DOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[マススペクトル]						
1)マススペクトルの概要と測定法を説明できる。						
2) イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。						
3)ピークの種類(基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク)を説明が できる。						
4)塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。	7	機器分析学				
5) 代表的なフラグメンテーションについて概説できる。						
6)高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。						
フ)基本的な化合物のマススペクトルを解析できる。(技能)						
【比旋光度】						
1)比旋光度測定法の概略を説明できる。						
2) 実測値を用いて比旋光度を計算できる。(技能)		<b>登出</b> 公井沙				
3)比旋光度と絶対配置の関係を説明できる。		子 10 17 4 4				
4)旋光分散と円二色性について、原理の概略と用途を説明できる。						
【総合演習】						
1) 代表的な機器分析法を用いて、基本的な化合物の構造決定ができる。(技能)		機器分析学				

			計			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C5 ターゲット分子の合成						
(1) 官能基の導入・変換						
1)アルケンの代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
2) アルキンの代表的な合成法について説明できる。						
3) 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。			薬品製造化学			
4)アルコールの代表的な合成法について説明できる。						
5)フェノールの代表的な合成法について説明できる。		有機薬化学エ				
6) エーテルの代表的な合成法について説明できる。						
7)アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。						
8)カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。						
9)カルボン酸誘導体(エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物)の代表的な合成法		化学・物理系実習Ι				
について説明できる。		工宗化粜貅字				
10) アミンの代表的な合成法について説明できる。		1 十二米為中				
11)代表的な官能基選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			薬品製造化学			
12) 代表的な官能基を他の官能基に変換できる。(技能)		化学·物理系実習I				
(2) 複雑な化合物の合成						
【炭素骨格の構築法】						
1) Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。						
2) 転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。						
3)代表的な炭素酸のpKaと反応性の関係を説明できる。			薬品製造化学			
4)代表的な炭素-炭素結合生成反応(アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル 合成、Michael付加、Mannich反応、Grignard反応、Wittig反応など)について概説できる。		有機薬化学エ				
【位置および立体選択性】						
1) 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			斯口制法化形			
2) 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。			米阳夜归几十			
【保護基】						
1) 官能基毎に代表的な保護基を列挙し、その応用例を説明できる。			薬品製造化学			
【光学活性化合物】						
1) 光学活性化合物を得るための代表的な手法(光学分割、不斉合成など)を説明できる。			薬品製造化学			
【総合演習】						
1)課題として与えられた化合物の合成法を立案できる。(知識・技能)			完 化 宋 译 口 撰			
2) 課題として与えられた医薬品を合成できる。(技能)	<b>应</b> 声宗	化学・物理系実習Ι	米阳汝但心于			
3) 反応廃液を適切に処理する。(技能・態度)	<b>委啶件于天目</b>					

			談	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
C6 生体分子・医薬品を化学で理解する						
(1) 生体分子のコアとパーツ						
【生体分子の化学構造】						
1) タンパク質の高次構造を規定する結合 (アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など) および 相互作用について説明できる。						
2)糖類および多糖類の基本構造を概説できる。	化学入門	—				
3) 糖とタンパク質の代表的な結合様式を示すことができる。			医薬品化学			
4) 核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。		T				
5)生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を説明できる。						
【生体内で機能する複素環】						
1)生体内に存在する代表的な複素環化合物を列挙し、構造式を書くことができる。	化学入門					
2)核酸塩基の構造を書き、水素結合を形成する位置を示すことができる。			医薬品化学			
3)複素環を含む代表的な補酵素(フラビン、NAD、チアミン、ピリドキサール、葉酸など)の機能を 化学反応性と関連させて説明できる。						
【生体内で機能する錯体・無機化合物】						
1)生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能について説明できる。						
2)活性酸素の構造、電子配置と性質を説明できる。			医薬品化学			
3)一酸化窒素の電子配置と性質を説明できる。						
【化学から観る生体ダイナミクス】						
1)代表的な酵素の基質結合部位が有する構造上の特徴を具体例を挙げて説明できる。						
2)代表的な酵素(キモトリプシン、リボヌクレアーゼなど)の作用機構を分子レベルで説明できる。			医薬品化学			
3) タンパク質リン酸化におけるATPの役割を化学的に説明できる。						
(2) 医薬品のコアとパーツ						
【医薬品のコンポーネント】						
1)代表的な医薬品のコア構造(ファーマコフォア)を指摘し、分類できる。			医薬品化学			
2)医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明 できる。	化学入門					
【医薬品に含まれる複素環】						
1)医薬品として複素環化合物が繁用される根拠を説明できる。			<b>开拼口</b> 子形			
2) 医薬品に含まれる代表的な複素環化合物を指摘し、分類することができる。			十二日米日			
3)代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。						
4)代表的芳香族複素環の求電子試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
5)代表的芳香族複素環の求核試薬に対する反応性および配向性について説明できる。						
【医薬品と生体高分子】						
1)生体高分子と非共有結合的に相互作用しうる官能基を列挙できる。						
2)生体高分子と共有結合で相互作用しうる官能基を列挙できる。			医薬品化学			
3)分子模型、コンピューターソフトなどを用いて化学物質の立体構造をシミュレートできる。 (知識・技能)		化学・物理系実習Ⅰ				

(*) ロンノ イリーキニキター・三背 日仲未非様			計			
	1年	2年	3年	4年	字9	6年
【生体分子を模倣した医薬品】						
1) カテコールアミンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
2) アセチルコリンアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
3) ステロイドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。			医薬品化学			
4) 核酸アナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
5) ペプチドアナログの医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。						
【生体内分子と反応する医薬品】						
1)アルキル化剤とDNA塩基の反応を説明できる。						
2) インターカレーターの作用機序を図示し、説明できる。			医薬品化学			
3) $eta$ -ラクタムを持つ医薬品の作用機序を化学的に説明できる。						

			**			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)			益	T I		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
67 自然が生み出す薬物						
(1)薬になる動植鉱物						
【生薬とは何か】						
	光田坪	生薬学Ⅰ	漢方薬剤学			
1)代表的な生薬を列挙し、その特徴を説明できる。	米历恒勿子		民間薬概論 (漢)			
		本草学 I (漢)				
2) 生薬の歴史について概説できる。	東洋医薬学概論		生薬学II (漢) 漢方薬剤学			
3) 生薬の生産と流通について概説できる。	拼田站香亦	生薬学 I	海上 土 茶 / 沙 / 海 /			
【薬用植物】						
1)代表的な薬用植物の形態を観察する。(技能)		化学·物理系実習I				
2)代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを列挙できる。		·    -  -	•			
3)代表的な生薬の産地と基原植物の関係について、具体例を挙げて説明できる。	薬用植物学	1. 大张十.	漢方薬剤学 生薬学II(漢)			
4)代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。(技能)		1 张声文世外 - 孙田文丰张 1	•			
5)代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。			•			
り以外の医薬資源】						
		生薬学 I	天然物化学			
1)動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。			生薬学Ⅱ(漢)			
			漢方薬剤学			
【生薬成分の構造と生合成】						
1)代表的な生薬成分を化学構造から分類し、それらの生合成経路を概説できる。						
2)代表的なテルペノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
3)代表的な強心配糖体の構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
4)代表的なアルカロイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。			天然物化学 漢方薬剤学			
5)代表的なフラボノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
6)代表的なフェニルプロパノイドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。						
7)代表的なポリケチドの構造を生合成経路に基づいて説明し、その基原植物を挙げることができる。			漢方薬剤学			
【農薬、香粧品としての利用】						
1)天然物質の農薬・香粧品などの頂料としての有用性について、自体例を挙げて説明できる。		生薬学 I	漢方薬剤学			
			生薬学I (漢)			

			鮴	林		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
【生薬の同定と品質評価】						
1) 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。		生薬学 I				
2)代表的な生薬を鑑別できる。(技能)		化学・物理系実習I				
3)代表的な生薬の確認試験を実施できる。(技能)			漢方薬剤学			
4)代表的な生薬の純度試験を実施できる。(技能)		• 彻理杂美				
5)生薬の同定と品質評価法について概説できる。		生薬学 I				
(2)薬の宝庫としての天然物						
[シーズの探索]						
1) 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる。		上 小 州 小	創薬化学 漢方薬剤学			
2)シーズの探索に貢献してきた伝統医学、民族植物学を例示して概説できる。	伝統医薬学(漢)		東洋医薬学概論 天然物化学			
3)医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列挙できる。			漢方薬剤学 東洋医薬学概論			
[天然物質の取扱い]						
1) 工架 物密の 作事的 か 世世 は、 公離 拝制 は 太 回 桜   東 佐 赤 ま 2 ( 甘 鈴)		化学・物理系実習 I	微生物薬品学			
人糸성貝の1/女町4田山広、7階付教店で列手し、米盾に6つ。			漢方薬剤学			
2) 代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる。			漢方薬剤学			
【微生物が生み出す医薬品】						
イ学様で一ゴグライが話かせて			微生物薬品学			
い、はついるのでは、このでして、			漢方薬剤学			
【発酵による医薬品の生産】						
ストレプトマメジンなど) 牛産の過程を押買がまる			微生物薬品学			
は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一			漢方薬剤学			
【発酵による有用物質の生産】						
1) 微生物の生産する代表的な糖質、酵素を列挙し、利用法を説明できる。			漢方薬剤学			
(3)現代医療の中の生薬・漢方薬						
【漢方医学の基礎】						
1) 漢方医学の特徴について概説できる。		; ;			漢方鍼灸治療	本草学 II (漢)
2) 漢方薬と民間薬、代替医療との相違について説明できる。	伝統医薬学(漢)	任樂小 I 統合医療 I ★ 由心(诺)	审详医读学概益	統合医療工漢方処方学	漢方薬効解析学 (健)	臨床漢方治療学皿
3)漢方薬と西洋薬の基本的な利用法の違いを概説できる。	ı	(K) +++		漢万埋誦(漢)  漢方薬理学(漢) 	臨床漢方治療学 I (漢)	(漢)
		統合医療 I			漢方鍼灸治療	本草学 I (漢)
4)漢方処方と「証」との関係について概説できる。				統合医療特論(漢)	臨床漢方治療学工	臨床漢方治療学皿 (漢)
5)代表的な漢方処方の適応症と配合生薬を説明できる。		在横形 [	漢方薬剤学	漢方薬理学(漢)		本草学 II (漢)
6) 漢方処方に配合されている代表的な生薬を例示し、その有効成分を説明できる。		7 <del>                                    </del>		漢方処方学		
7)漢方エキス製剤の特徴を煎液と比較して列挙できる。			漢方薬剤学			

(*)ロ3/ 70・41491111111111111111111111111111111111			無 類	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【漢方処方の応用】						
1)代表的な疾患に用いられる生薬及び漢方処方の応用、使用上の注意について概説できる。				艮	漢方薬効解析学 (健)	
		生薬学 I	米什內米十刻單漢方薬剤学	漢方薬理学(漢) 統今医癖牲論(漢)	臨床漢方治療学工	
2)漢方薬の代表的な副作用や注意事項を説明できる。					(漢)	

			清播	<u>a</u>		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	90世
「午を必嫌事とあた」		-	-			
-						
68 生命体の成り立ち						
(1) ヒトの成り立ち						
【梅諦】						
1) ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。	A 1 告記 1 拾批	機能形態学工A				
2) ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。		生物系実習				
[神経系]						
1)中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	機能形態学 I A 機能形態学 I B	至				
2)体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。		生物系実習				
7 千十日だ十 用星 9 先季二十年 9 パマキサン		機能形態学 II A 率理学 II A				
3/ 日本作性がO/伸及し、液形O/心文で B.O. いっと C. O. C. O. C. C. O. C. C. C. O. C.						
1)主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	機能形態学 I B					
2) 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。		生物系実習				
[皮膚]						
1)皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。	機能形態学IB					
【循環器系】						
		機能形態学工A	薬理学IIB			
1) 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。		健康スポーツ科学 (健)				
		生物系実習				
2) 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IA				
3) リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IB				
[呼吸器系]						
1)肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IB				
[消化器系]		工物米米目				
1) 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。		F				
2)肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。	- 核肥杉彫子 I D	计参米表面				
[泌尿器系]						
1) 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学工B	薬理学IIB			
【生殖器系】						
1) 精単、卵単、子宮などの牛殖器多職器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学ⅡB				
		生物系実習				
					_	
1)脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IB				
条】						
1)眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。		機能形態学IB				

			常	- T		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年			5年	6年
[血液·造血器系]						
		機能形態学ⅡB				
(2) 生命体の基本単位としての細胞						
【細胞と組織】						
1)細胞集合による組織構築について説明できる。	⊢	28. 公子子子				
2)臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。	<b>依能</b> 尼點子 1 A	<b>桂超</b> 计多十				
3)代表的な細胞および組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能)						
【細胞膜】						
1)細胞膜の構造と性質について説明できる。						
2)細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。		細胞生物学				
3)細胞膜を介した物質移動について説明できる。						
【細胞内小器官】						
1)細胞内小器官(核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど)の##・こばなず当間です。		生化学IA				
<b>構造と機能を説明できる。</b> 		細胞生物学				
【細胞の分裂と死】						
1) 体細胞分裂の機構について説明できる。						
2) 生殖細胞の分裂機構について説明できる。		<b>智</b> 医 升春 沙				
3)アポトーシスとネクローシスについて説明できる。		112 11 2 1				
4) 正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。						
【細胞間コミュニケーション】						
1)細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。		2000年100日				
2) 主な細胞外マトリックス分子の種類、分布、性質を説明できる。		十多十多十				
(3)生体の機能調節						
【神経・筋の調節機構】						
1)神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。	A 1 崇得狂婦辦	機能形態学IA				
2)シナプス伝達の調節機構を説明できる。	<b>-</b>	mmr 加子 生物系実習				
3)神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。						
4)筋収縮の調節機構を説明できる。	機能形態学 I B	生物系実習 細胞生物学				
【ホルモンによる調節機構】						
1)主要なホルモンの分泌機構および作用機構を説明できる。		8 Ⅱ 杂 碧 갶 ዓ 森				
2)血糖の調節機構を説明できる。		<b>†</b>				
		生化子业D				
【循環・呼吸系の調節機構】					_	
1)血圧の調節機構を説明できる。		機能形態学工A	基幹実習 (医)			
			食品栄養学工(健)			
っ)時だよび組織におけるガス交換を設明できる。		m 3				
こう Cylumer Co. このこれで Edital C Edital		健康スホーツ科字  (健)				
3) 血液凝固・線溶系の機構を説明できる。		機能形態学IIB				

			計	本		
楽字教育モテル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【体液の調節機構】						
1)体液の調節機構を説明できる。			(世) 二代業計 (中)			
2)尿の生成機構、尿量の調節機構を説明できる。		機能形態学IIB	田 大阪 十 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田			
[消化・吸収の調節機構]						
1) 消化、吸収における神経の役割について説明できる。	0 + 711 HP (# 17 99)		薬理学皿A			
2) 消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。	機能形態字 I B		食品栄養学 I (健)			
[体温の調節機構]						
1)体温の調節機構を説明できる。	機能形態学 I B		食品栄養学工(健)			
(4) 小さな生き物たち						
1) 生態系の中での微生物の役割について説明できる。		1 作星十岁				
2) 原核生物と真核生物の違いを説明できる。						
[細菌]						
1)細菌の構造と増殖機構を説明できる。						
2)細菌の系統的分類について説明でき、主な細菌を列挙できる。			衛生系実習I			
3) グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌の違いを説明できる。						
4)マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、スピロヘータ、放線菌についてその特性を説明できる。		微生物学 I				
5)腸内細菌の役割について説明できる。			食品栄養学工(健)			
6)細菌の遺伝子伝達(接合、形質導入、形質転換)について説明できる。						
[細菌毒素]						
1) 代表的な細菌毒素の作用を説明できる。		微生物学工				
[ウイルス]						
1)代表的なウイルスの構造と増殖過程を説明できる。						
2)ウイルスの分類法について概説できる。		微生物学 I				
3) 代表的な動物ウイルスの培養法、定量法について説明できる。						
【真菌・原虫・その他の微生物】						
1) 主な真菌の性状について説明できる。		1 宗學士影				
2) 主な原虫、寄生虫の生活史について説明できる。						
[消毒と滅菌]						
1)滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。		微生物学 I			感染制御学(医)	
2)主な消毒薬を適切に使用する。(技能・態度) (0SCEの対象)			衛生系実習 I			
3)主な減菌法を実施できる。(技能) (OSCEの対象)						
[検出方法]						
1) グラム染色を実施できる。(技能)			衛生系実習 I			
2)無菌操作を実施できる。(技能)						
の分離培養、純培養を実施できる。(技能)						
4)細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験)に ついて説明できる。			衛生系実習I			
5)代表的な細菌を同定できる。(技能)						

1			默	科 目		
条子教育七ナル・コアカリオュフム(3BOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(9) 生命をミクロに理解する						
(1) 細胞を構成する分子						
[指質]						
1) 脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。	生化学 I					
2)脂肪酸の種類と役割を説明できる。	化学入門工生	生化学IB				
3)脂肪酸の生合成経路を説明できる。	生化学 I		= };			
4)コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。			及品末後子 11 (健)			
【精質】						
1) グルコースの構造、性質、役割を説明できる。						
2) グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。	年化学 I 電	細胞生物学				
3)代表的な多糖の構造と役割を説明できる。						
4)糖質の定性および定量試験法を実施できる。(技能)	<b>士</b>	生物系実習				
[アミノ酸]						
1)アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	生化学 I 舗	細胞生物学				
2)アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。	#	生化学IIB	食品栄養学工(健)			
3)アミノ酸の定性および定量試験法を実施できる。(技能)	生化学 I					
[ビタミン]						
1) 水溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応 について説明できる。	#	生化学IA				
2)脂溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質と生理機能を説明できる。	<u> </u>	生化学IIA 年化学IIB				
3) ビタミンの欠乏と過剰による症状を説明できる。						
(2) 生命情報を担う遺伝子						
【ヌクレオチドと核酸】						
1)核酸塩基の代謝(生合成と分解)を説明できる。	<b>士</b>	生化学工A				
2) DNAの構造について説明できる。		细胎生物涉		7/12391		
3) RNAの構造について説明できる。	, IPM.	16 土物子		/ <del>4</del> / <del>1</del> /		
【遺伝情報を担う分子】						
1)遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。				ゲノム科学 I		
2)DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。	#	<b>件化学πΛ</b>				
3)ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。	H	<b>∃</b>				
4)染色体の構造を説明できる。						
5) 遺伝子の構造に関する基本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を 説明できる。	出	<b>昝跑生物</b> 染	遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学エ	
6)RNAの種類と働きについて説明できる。						

			製 当 本 田		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年 3	中	5年	9
【転写と翻訳のメカニズム】					
1)DNAからRNAへの転写について説明できる。		生化学IIA	1 4 7 7		
2) 転写の調節について、例を挙げて説明できる。				1	
3)RNAのプロセシングについて説明できる。		細胞生物学		ゲノム科学エ	
		生化学IIA			
4)RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。		生化学IB			
		細胞生物学			
5)リボソームの構造と機能について説明できる。					
【遺伝子の複製・変異・修復】					
1)DNAの複製の過程について説明できる。		生化学IIA	ゲノム科学	I	
2) 遺伝子の変異 (突然変異) について説明できる。				_	
3) DNAの修復の過程について説明できる。				1 十 本 4 7 八 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
[遺伝子多型]					
1) 一塩基変異(SNPs)が機能におよぼす影響について概説できる。					
(3) 生命活動を担うタンパク質					
【タンパク質の構造と機能】					
1) タンパク質の主要な機能を列挙できる。					
2) タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。	生化学 I	細胞生物学			
現に必要な翻					
[華糧]					
1)酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。					
2) 酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質と役割を説明できる。		生化学IIB			
3)酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。					
4)酵素反応速度論について説明できる。		薬品物理化学工			
		生化学IB			
		# <del> </del>			
り、代表的/4 許系の治性を測定できる。(校能) 『発生には 6 雑数 4 、		<b>计</b>	_	_	
★ 1 分割的内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説できる。		<b>細胞生物学</b>	ŀ	L	L
っ)物質の輸業を担こないパク質の構造と雑説を押討できる。		細胞生物学			
	生化学 I	升 子 和 上 B			
3) 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。		ተከታሠዐ			
4)細胞内で情報を伝達する主要なタンパク質を列挙し、その機能を概説できる。		<b>倉配千春</b> 派			
١,		可超生物子			
【タンパク質の取扱い】					
1) タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。(技能)					
2) タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。(知識・技能)	生化学 I				
3) タンパク質のアミノ酸配列決定法を説明できる。					
				•	

4 1 4			繁	科目		
米子牧目七ナル・コノンリオユンム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(4) 生体エネルギー						
【栄養素の利用】						
1) 食物中の栄養成分の消化・吸収、体内運搬について概説できる。		生化学IIB				
[ATPの産生]						
1)ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。						
2) 解糖系について説明できる。			食品栄養学I(健)			
3) クエン酸回路について説明できる。						
4) 電子伝達系(酸化的リン酸化) について説明できる。						
5) 脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。		生化学IIB				
6)アセチルCoAのエネルギー代謝における役割を説明できる。			食品栄養学I(健)			
フ)エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。						
8) ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。						
9) ペントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。			食品栄養学I(健)			
10)アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。		微生物学 I				
【飢餓状態と飽食状態】						
1) グリコーゲンの役割について説明できる。			(村) 1条条二号			
2) 糖新生について説明できる。			- -			
3) 飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。						
4)余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。		:				
5) 食餌性の血糖変動について説明できる。		生化学IIB				
6)インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。			基幹実習(医) 食品栄養学 I(健)			
7)糖から脂肪酸への合成経路を説明できる。						
8)ケト原性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。			食品栄養学I(健)			
(5) 生理活性分子とシグナル分子						
[木ルモン]						
1) 代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
2)代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を 説明できる。		機能形態学IB 生化学IA				
3)代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。						
4)代表的なホルモン異常による疾患を挙げ、その病態を説明できる。		生化学IIA				

			経	<b>本</b>		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
[オータコイドなど]						
1)エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。						
2)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。	生化学 I	薬理学IIA				
3)代表的なエイコサノイドを挙げ、その生理的意義(生理活性)を説明できる。						
4) 主な生理活性アミン(セロトニン、ヒスタミンなど)の生合成と役割について説明できる。						
		機能形態学IA 薬理学IA				
5)主な生理活性ペプチド(アンギオテンシン、ブラジキニンなど)の役割について説明できる。						
		機能形態学IB				
6) 一酸化窒素の生合成経路と生体内での役割を説明できる。		機能形態学IIA				
【神経伝達物質】						
1)モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	機能形態学IA	W 完 記 記 A A				
2)アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。		<b>发影形影子 4.8</b>				
3)ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。						
4)アセチルコリンの生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。	機能形態学IA	機能形態学IIA				
【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】						
1) 仕事的だ十人に七人ごを挙げ、夕七に 6 沿割を開設だまる		生化学IB				
ここで女団がなって「ジュノを手こうとものの文型を秘訣してつ。		<b>细胎</b> 计勒源				
2)代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。		MM 712 II 173 II				
3) 代表的なケモカインを挙げ、それらの役割を概説できる。						
【細胞内情報伝達】						
1)細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げ て説明できる。	機能形態学 I B					
2)細胞膜受容体から6タンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。		機能形態学IA				
3)細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。		<b>香尼</b> 什多子				
4)代表的な細胞内(核内)受容体の具体例を挙げて説明できる。						
(6) 遺伝子を操作する						
【遺伝子操作の基本】						
	薬用植物学		遺伝子工学			
			生態学(健)		チノ / 対別	
2)細胞からDNAを抽出できる。(技能)					# <del>                                     </del>	
3)DNAを制限酵素により切断し、電気泳動法により分離できる。(技能)		生物系実習				
4)組換えDNA実験指針を理解し守る。(態度)						
5) 遺伝子取扱いに関する安全性と倫理について配慮する。(態度)		生物系実習	遺伝子工学			

こうこう 一川 十二十月 一二月 十十十十十年			緊	本 目		
条子教育セナル・コアカリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【遺伝子のクローニング技術】						
1)遺伝子クローニング法の概要を説明できる。						
2) cDNAとゲノミックDNAの違いについて説明できる。						
3) 遺伝子ライブラリーについて説明できる。					ゲノム科学エ	
4)PCR法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)		生物系実習	遺伝子工学			
5) RNAの逆転写と逆転写酵素について説明できる。						
6)DNA塩基配列の決定法を説明できる。						
7) コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる。(技能)						
【遺伝子機能の解析技術】						
1)細胞(組織)における特定のDNAおよびRNAを検出する方法を説明できる。						
2)外来遺伝子を細胞中で発現させる方法を概説できる。	薬用植物学		害仁之工党		世紀 第一八世	
3) 特定の遺伝子を導入した動物、あるいは特定の遺伝子を破壊した動物の作成法を概説できる。			屋は丁上十		n 十十一	
4) 遺伝子工学の医療分野での応用について例を挙げて説明できる。						

			<b>清</b>			
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	6年
C10 生体防御						
(1) 身体をまもる						
【生体防御反応】						
1)自然免疫と獲得免疫の特徴とその違いを説明できる。 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	8年	微生物学工	免疫学 I			
	一	<b>第8</b> 年				
2) 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。			免疫学 I			
3) 補体について、その活性化経路と機能を説明できる。						
4) 免疫反応の特徴(自己と非自己、特異性、記憶)を説明できる。						
5) クローン選択説を説明できる。	2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	盆路升替那	免疫学 I			
6)体液性免疫と細胞性免疫を比較して説明できる。	1000日		会品学蒸ヴⅡ (健)			
【免疫を担当する組織・細胞】						
1)免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。						
	機能	機能形態学IB	免疫学 I			
2)免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。			免疫学工			
3) 食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。	細胞	細胞生物学	3 4			
4) 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。	機能	пВ	<b>免投字</b> I			
【分子レベルで見た免疫のしくみ】						
1)抗体分子の種類、構造、役割を説明できる。						
2)MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。						
3) T細胞による抗原の認識について説明できる。			免疫学 I			
4)抗体分子および1細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再構成)を概説できる。						
5) 免疫系に関わる主なサイトカイン、ケモカインを挙げ、その作用を説明できる。						
(2) 免疫系の破綻・免疫系の応用						
【免疫系が関係する疾患】						
1) アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。						
2) 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。			<b>布</b> 耐砂 Ⅱ			
3) 代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
4)代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。						
【免疫応答のコントロール】						
1)臓器移植と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。						
2) 細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫応答との関わりについて説明できる.	微生料	微生物学工	<b>在</b> 疗事			
3) 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。			ፖን <u>ታ</u>			
4) 代表的な免疫賦活療法について概説できる。						
【予防接種】						
1) 予防接種の原理とワクチンについて説明できる。						
2) 主なワクチン(生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチン) について基本的特徴を 説明できる。		微生物学 I	免疫学工	(數)		
3) 予防接種について, その種類と実施状況を説明できる。						
	-					

			二			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【免疫反応の利用】						
1)モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法を説明できる。			布施市			
2)抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。			光紋 十二			
3) 沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。(技能)						
4) ELISA法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。(技能)						
(3) 感染症にかかる						
【代表的な感染症】						
1) 主なDNAウイルス(△サイトメガロウイルス、△EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス、△アデノ ウイルス、△パルボウイルスB19、B型肝炎ウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
2) 主なRNAウイルス(△ポリオウイルス、△コクサッキーウイルス、△エコーウイルス、△ライノ ウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、△麻疹ウイルス、 △ムンプスウイルス)が引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
3) レトロウイルス (HIV、HTLV) が引き起こす疾患について概説できる。						
4) グラム陽性球菌 (ブドウ球菌、レンサ球菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患に ついて概説できる。						
5) グラム陰性球菌(淋菌、Δ髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について 概説できる。						応用薬物治療学
6) グラム陽性桿菌(破傷風菌、ムガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ヘジフテリア菌、ム炭疽菌)の細菌 学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
7) グラム陰性桿菌(大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、ムチフス菌、△ペスト菌、コレラ菌、△百日 咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、△ブルセラ菌、レジオネラ菌、△インフルエンザ菌)の細菌学的 特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。	<del>~</del>	<b>翁生</b> 物學 I				
8) グラム陰性スピリルム属病原菌(ヘリコバクター・ピロリ菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こ す代表的な疾患について概説できる。						
9) 抗酸菌(結核菌、非定型抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説 できる。						
10) スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
11) 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、△ムーコル)の微生物学的特徴とそれが 引き起こす代表的な疾患について概説できる。						
12) 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。						
13) プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。						
【感染症の予防】       (1)						
1)院内感染について、発生要因、感染経路、原因微生物、およびその防止対策を概説できる。	#	微生物学工			感染制御学 (医)	

			計	本		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
[健康と環境]						
10.1 每份						
四						
(1)栄養と健康						
[栄養素]						
7 年岁品添予20 11 再分子 22 7 4 7 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			,	機能性食品学(健)		
トダッノ、14ケング) か刈争し、	#13	生化学IIB 公母统产班I	食品栄養学 I (健) 臨床栄養学 I (健)			
2) 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。	7	_		統合医療工		
3) 脂質の体内運搬における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。			- {			
4) 食品中のタンパク質の栄養的な価値(栄養価)を説明できる。				機能性食品学(健)		
5)エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量の意味を説明できる。			食品栄養学 I (健) 臨床栄養学 I (健)			
6) 栄養素の栄養所要量の意義について説明できる。	\$	公衆衛生学Ⅰ		機能性食品学(健)		
7)日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。			段品宋養字 II (健) 食品栄養学 I (健)	統合医療Ⅱ		
8)栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。			食品栄養学I(健)	機能性食品学(健)		
[食品の品質と管理]						
1) 食品が腐敗する機構について説明できる。						
2)油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)						
3)食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。						
4) 食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。	<u> </u>	公衆衛生学Ⅰ				
5) 食品成分由来の発がん物質を列挙し、その生成機構を説明できる。						
6)代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。				機能性食品学(健)		
7)食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。		統合医療 I				
8) 主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能)			衛生系実習エ			
9)代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる。	<u> </u>	公衆衛生学 I	食品栄養学工(健)	機能性食品学(健)		
10) 遺伝子組換え食品の現状を説明し、その問題点について討議する。(知識・態度)						
【食中毒】						
1) 食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。	农	公衆衛生学Ⅰ				
2)代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。	蹇	微生物学 I				
3) 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。						
マイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について概説	\$	公衆衛生学 I				
5)化学物質(重金属、残留農薬など)による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を 説明できる。						

			75 75	T44		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年	2年			5年	90年
(2) 社会 = 無田 / 傑庫	-	-	-	-		-
「正公」						
1)集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。						
2) 人口静態と人口動態について説明できる。						
3) 国勢調査の目的と意義を説明できる。			公衆衛生学Ⅱ			
4)死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。						
5)人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。						
【健康と疾病をめぐる日本の現状】						
4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			公衆衛生学Ⅱ		生活習慣病予防学	
このでは、「一次では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ			疾病予防学			
2) 日本における人口の推移と将来予測について説明できる。			公衆衛生学工	感染症予防学(健)		
					生活習慣病予防学	
3)高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。(知識・態度)			疾病予防学			
[ 存送 ]			衛生糸実習 11			
<b>疾病の予防における疫字の役割を説明できる。</b>	<ul><li>──健康薬学概論(健) —─</li></ul>				· 聚米里每小(R)	
2)疫学の三要因(病因、環境要因、宿主要因)について説明できる。						
3)疫学の種類(記述疫学、分析疫学など)とその方法について説明できる。						
4) 患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。(知識・技能)			公衆衛生学Ⅱ			
5)要因・対照研究(コホート研究)の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。 (知識・技能)			•			
6)医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。						
7)疫学データを解釈する上での注意点を列挙できる。						
(3) 疾病の予防	-					
[健康とは]						
1)健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。	統合医療 I (中)		14年	*************************************		
2) 世界保健機構(WHO)の役割について概説できる。	唯成業子成調(唯)		7.米国十十日	机口区域工		
[疾病の予防とは]						
1)疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。	健康薬学概論(健)				生活習慣病予防学	
2)疾病の予防における予防接種の意義について説明できる。			公 報 徳 牛 沙 工			
3)新生児マススクリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。			ь Т Т			
4)疾病の予防における薬剤師の役割について討議する。(態度)					生活習慣病予防学	
			衛生系実習ロ			
1)現代における感染症(日和見感染、院内感染、国際感染症など)の特徴について説明できる。						
2)新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。						
3) 一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。			公衆衛生学工	感彩症 予防 字(健)		
4)母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。					感染制御学(医)	
5) 性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。						
6)予防接種法と結核予防法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。				感染症予防学(健)		

			談	本		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【生活習慣病とその予防】						
4. 光田光子、7. 上卫轴乡人、3. 莱亚乡中里园过土			公衆衛生学工			
)生活音順新の種類とその期间について説明できる。	(母) 《草彩单母		疾病予防学		4. 计设备市外 化多	
2)生活習慣病のリスク要因を列挙できる。	用沃米十克雷(第) ——		疾病予防学公争统不停工	報光字令口派 (每)	工, 10 目 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
3) 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。			ム米用エナロ食品栄養学工(健)	城形工及即于()使/		
【職業病とその予防】						
1) 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。			公衆衛生学工			
612 環境						
(1) 化学物質の生体への影響						
【化学物質の代謝・代謝的活性化】						
1)代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。						
2) 第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。				薬物代謝学(健)		
3) 第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。						
【化学物質による発がん】						
1)発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。						
2)変異原性試験(Ames試験など)の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)						
3) 発がんのイニシエーションとプロモーションについて概説できる。			倒生米美官 I			
4)代表的ながん遺伝子とがん抑制遺伝子を挙げ、それらの異常とがん化との関連を説明できる。						
【化学物質の毒性】						
1) 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。						
2)肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。						
3) 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。	一	統合医療 I		統合医療Ⅱ		
4) 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。						
5)毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて概説できる。			環境衛生学 I			
6)化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など)について説明できる。						
	統	統合医療 I				
8)環境ホルモン(内分泌撹乱化学物質)が人の健康に及ぼす影響を説明し、その予防策を提案する。 (態度)				統合医療エ		
【化学物質による中毒と処置】						
1)代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。						
2) 化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処置法、解毒法を検索することができる。(技能)			衛生系実習エ			
【電離放射線の生体への影響】						
1)人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。						
2) 電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。						
3) 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。			日本第十年 1			
4) 電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子(酸素効果など)について説明できる。			垛児闱生子 1			
5) 電離放射線を防御する方法について概説できる。						
6) 電離放射線の医療への応用について概説できる。						

			談	本		
	・コアカリキュラム	年 2	枡		5年	6年
指数を対策できる。	[非電離放射線の生体への影響]					
### 1997年し、その特徴と全体に及び予診響について説明できる。   2017年し、その特徴とは応及す影響について説明できる。	1)非電離放射線の種類を列挙できる。					
<ul> <li>(2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</li></ul>	紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる					
(4) (1985年)	赤外線の種類を列挙し、					
	(2)生活環境と健康					
は	【地球環境と生態系】					
			環境衛生学工			
### 1990年を入が生態系の一員であることをかまえて計雑する。(他後) ### 1990年度を対域を開発する。(他後) ### 1990年度を対域の関係を入が生態ができる。 ### 1990年度の上のに引きる。 ### 1990年度の上のに引きる。 ### 1990年度の上のに引きる。 ### 1990年度の上のに引きる。 ### 1990年度の上のに引きる。 ### 1990年度の上のに関手を含む。 ### 1990年度の上ので発展を向について説明できる。 ### 1990年度の上のを測定できる。 (知識・技能) ### 1990年度の上のを測定できる。 (知識・技能) ### 1990年度の上ので表現を定めたにのいて説明できる。 ### 1990年度の上ので表現を定めたましてもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。 ### 1990年度	生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明でき		生態学(健)			
接の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。 競者かしたど学物質の生物素値ついて具体を挙げて説明できる。 野田環境内動態と人の健康への影響について剥呼できる。 17存在する主な説的性技種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。 17指定ついて説明できる。 17指定のでは説明できる。 17指定の下に説明できる。 17 表述理の原理と問題点について説明できる。 17 表述理の原理と加盟点について説明できる。 17 表述理の原理と加盟点について説明できる。 17 表述理の原理と加盟点について説明できる。 17 表述理の原理と加盟点について説明できる。 17 表述理の原理と加盟点について説明できる。 18 会話を水域ことに引撃し、その意体を説明できる。 18 会話を水域ことに引撃し、その意体を説明できる。 18 会話を水域ことに引撃し、その意体を説明できる。 18 会話を水域ことに引撃し、その意体を説明できる。 18 会話を水域について説明できる。 18 会話を水域にと引撃し、通定できる。 18 会話を水域にないて説明できる。 18 会話をいかし、その性格と発生源について説明できる。 18 会話を発展する。 18 会話を発展を必要との配信にあっても必要と発展といる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達して説明できる。 18 会話を表達して記述のできる。 18 会話を表達して説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達して説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達して記述できる。 18 会話を表達して認明できる。 18 会話を表達して記述できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達して認知できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説にできる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表達を表達していて説明できる。 18 会話を表達していて説明できる。 18 会話を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を	人の健康と環境の関係を人が生態系の一員であることをふまえて討議する。					
総章を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。  「日春在する主な版材性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。 「日春在する主な版材性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる。 「精通を挙げ、特徴を説明できる。 「素が増しない。 「素が増したいで説明できる。 (知識・技能) 横上系表面 横上系表面 横上系表面 横上系表面 (48) 横上について説明できる。 (知識・技能) 横上系表面 (48) 横上にからいて説明できる。 (48) (48) 横上にからいて説明できる。 (48) (48) 横上にかられる問題点を挙げ、対策を説明できる。 (48) (48) 横上が乗りる。 (48) (48) 横上が原の上を力点について説明できる。 (48) (48) 横上にかられる問題点を挙げ、対策を説明できる。 (48) (48) 横上が高いてされる問題点を挙げ、対策を説明できる。 (48) (48) 横上が高いてもいては別できる。 (48) (48) 横上が高いてもいては別できる。 (48) (48) 横上が高いたもいに配慮するを承認について説明できる。 (48) (48) 横上を発生面について説明できる。 (48) (48) 横上を発生面について説明できる。 (48) (48) 横上を変更し、その推移と発生面について説明できる。 (48) (48) 横上を変更し、その推移と発生面について説明できる。 (48) (48) 横上を変更し、表示表面 横上を変更し、表示表面 横上を変更 (28)	地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明でき					
「保存する主な放射性核様(天然、人工)を挙げ、人の確集への影響について説明できる。	食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明でき		——」環境衛生学工   牛熊学(樺)			
11 日本民主な放射性核種 (天然、人工) を挙げ、人の健康への影響について説明できる。						
(発育を学化、特徴を説明できる。) (NEXIC-DLYE説明できる。) (A	環境中に存在する主な放射性核種(天然、人工)を挙げ、人の健康への影響について説明できる		環境衛生学工			
142歳を挙げ、特徴を認明できる。	[水環境]					
##を発生の原理と問題点について説明できる。 (知識・技能)	1)原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。					
(	水の浄化法について説明できる。		——環境衛生学II  牛熊学(樺)			
(の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)     環境衛生学工       (理わよび排水処理の主な方法について説明できる。     (知識・技能)       (国のまな指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。     生態学(健)       (社の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。(対職・技能)     構生系実習工       (気)実験閲覧を列挙し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)     様台医療1       (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     様台医療1       (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     様台医療1       (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     様台医療1       (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     様台医療1       (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     様台医療1       (対域・大能)     様台医療1       (対域・変数である。)     様台医療1       (対域・変数できる。)     様台医療1       (カウス生検財について観明できる。)     様台医療1       (カウス生検財について概算できる。)     様台医療1       (カウス生検財について概説できる。)     様台医療1       (カウス生検財について概説できる。)     様台医療1       (カウス生検財について概説できる。)     様台医療1       (カウス生検財について概説できる。)     様台医療1	水の塩素処理の原理と問題点について説明できる					
(成分を説明できる。 (知識・ 70元)     (知識・70元)       1理および排水処理の主な方法について説明できる。     生態学(健)       5滴の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。     生態学(健)       BOD. CODを測定できる。(技能)     無数衛生学工程の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。     (気活染物質を測定し、健康影響について説明できる。     (知識・技能)     構造と健康との関係について説明できる。(知識・技能)     構造と健康との関係について説明できる。(知識・技能)     構造と健康との関係について説明できる。(知識・技能)     構造を禁止でいて説明できる。(知識・技能)     構造を禁止でついて説明できる。(知識・技能)     構造を確定との関係について説明できる。(知識・技能)     構造を確定との関係について説明できる。     (知識・技能)     構造を確定との関係について説明できる。     (知識・技能)     構造を展示     構造を展示     構造を展示     構造を表す関について説明できる。     (知識・技能)     構造を表す関していて説明できる。     (知識・技能)     構造の保護について説明できる。     (知識・技能)     構造を表す関していて説明できる。     (知識・技能)     構造の保護してきる。     (知識・技能)     構造を表す関していて説明できる。     (知識・技能)     (知識・技能)     無法の保護とからいて説明できる。     (知識・技能)     (知識・技能) <td>集团》 乙午分山原 一族国子田史华十乡熊丰超个乡乡联乡</td> <td></td> <td>環境衛生学工</td> <td></td> <td></td> <td></td>	集团》 乙午分山原 一族国子田史华十乡熊丰超个乡乡联乡		環境衛生学工			
理志よび排水処理の主な方法について説明できる。     年態学(健)       5300主な指標を本域ごとに列挙し、その意味を説明できる。     生態学(健)       BOD. CODを測定できる。(技能)     年態学(健)       度にの原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。     (知識・技能)       (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)     統合医療1     環境衛生学工       (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)     (知識・技能)     衛生系実習工       (境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     衛生系実習工     (報告医療工       (域の保全のために配慮すべき事項について説明できる。     (知識・技能)     衛生系実習工       (域の保全のために配慮すべき事項について説明できる。     (知識・技能)     衛生系実習工       (対力な虚候群について概説できる。     (知識・技能)     (知識・経験」       (水力な虚候群について概説できる。     (知識・技能)     (知識・経験)       (水力な虚候群について概説できる。     (知識・経験)     (知識・経験)       (水力な虚候群について概説できる。     (知識・経験)     (知識・経験)       (水力な虚候群について概説できる。     (知識・経験)     (知識・経験)	小垣小の小貝笠竿のエイは日で刈手し、別たてこる。 (Ai 跳		衛生系実習工			
建設のよりが小がな生りますのよりなによってもない。     生態学(健)       高の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。     環境衛生学工       BOD, CODを測定できる。(技能)     衛生系実習工       RLの原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。     衛生系実習工       成分を説明できる。     統合医療 I       (気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)     衛生系実習工       (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)     衛生系実習工       (境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     衛生系実習工       株食を順応する表現について説明できる。     衛生系実習工       株食を確定しの関係について説明できる。     衛生系実習工       株食を確定しい表別などのための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)     横ち医療 I       株食を健康との関係について説明できる。     無ち医療 I       株を健康との関係について説明できる。     無ち医療 I       (大成の保全のために配慮すべき事項について説明できる。     無りを廃り       (ハウス症候群について概説できる。     無ち医療 I       (ハウス症候群について概説できる。     無ち医療 I       (ハウス症候群について概説できる。     無ち医療 I	キジ品院 インフーボキ 浮土 シェ は 木井 ジュ や 田 児 木土		環境衛生学工			
5週の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。       関連策略性         BOD, CODを測定できる。(技能)       衛生系実習工         BOD, CODを測定できる。(技能)       衛生系実習工         成分を説明できる。       (知識・技能)       統合医療 1       環境衛生学工         (気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)       衛生系実習工       衛生系実習工         (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       衛生系実習工       衛生系実習工         (域を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       衛生系実習工       環境衛生学工         (競り保全のために配慮すべき事項について説明できる。       (知識・技能)       衛生系実習工         (対力な症候群について概説できる。       (知識・技能)       福祉衛生学工         ハウス症候群について概説できる。        機合医療 1       環境衛生学工         ハウス症候群について概説できる。        機合医療 1       環境衛生学工         ハウス症候群について概説できる。        機合医療 1       環境衛生学工         ハウス症候群について概説できる。        機合医療 1       環境衛生学工	ころだすののでんだだが、こうとうないがっていた。		生態学(健)			
BOD. CODを測定できる。(技能)       衛生系実習工         ktの原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。       (知識・技能)       (知識・技能)       (報告医療 I )       環境衛生学工         気汚染物質を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       (知識・技能)       (知識・技能)       (報告医療 I )       (知識・技能)       (報告医療 I )         競技と健康との関係について説明できる。(知識・技能)       (知識・技能)       (報告医療 I )       (報告雇業 I )       (報告雇業 I )         競技と健康との関係について説明できる。       (知識・技能)       (報告医療 I )       (報告医療 I )       (報告雇業 I )         関係を設定さる。       (知識・技能)       (報告医療 I )       (報告医療 I )       (報告雇業 I )         関係を設定さる。       (知識・技能)       (報告医療 I )       (報告医療 I )       (報告雇業 I )         財の名を受けて配慮すべき事項について説明できる。       (知識・技能)       (報告医療 I )       (報告を雇 I )         いウス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (報告を雇 I )       (報告を雇 I )         いウス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (知識・技能)       (報告を雇 I )	水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる		環境衛生学工			
長化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。       環境衛生学工         の成分を説明できる。       (知識・技能)       (知識・技能)       環境衛生学工         (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       (知識・技能)       環境衛生学工         (会汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。       (知識・技能)       環境衛生学工         (会汚染物質の濃度を測定し、健康影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。       (知識・技能)       環境衛生学工         (競を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       (衛生系実習工         (競したの関係について説明できる。       (知識・技能)       (衛生系実習工         (競の保金のために配慮すべき事項について説明できる。       (知識・技能)       (報告医療 I         (対力ス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (報告を療 I         (いつス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (知識・技能)         (対力な症候群について概説できる。       (知識・大能)       (知識・技能)         (対力な症候群について概説できる。       (知識・大能)       (知識・大能)         (対力な症候群について概説できる。       (知識・大能)       (知識・大能)	DO, BOD, CODを測定できる。 (		衛生系実習工			
成分を説明できる。       統合医療 I       環境衛生学 I         気汚染物質を測率し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)       衛生系実習 I         3染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。       衛生系実習 I         環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       衛生系実習 I         環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       衛生系実習 I         環境の保全の上めに配慮すべき事項について説明できる。       衛生系実習 I         対力ス症候群について概説できる。       機合医療 I         かウス症候群について概説できる。       機合医療 I         が合医療 I       報境衛生学 I         かウス症候群について概説できる。       横合医療 I         かウス症候群について概説できる。       統合医療 I	富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる		環境衛生学工			
0成分を説明できる。       統合医療 1       環境衛生学 I         (気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)       衛生系実習 I         (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       (知識・技能)         環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       (知識・技能)         環境と健康との関係について説明できる。       (知識・技能)         環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。       (知識・技能)         がら医療 1       (報告を療 1         がら医療 1       (報告を度 1         がら医療 2       (知識・技能)         (対力ス症候群について概説できる。       (知識・技能)         (かウス症候群について概説できる。       (知識・技能)	[大気環境]					
気汚染物質を測挙し、その推移と発生源について説明できる。(知識・技能)       統合医療 1       環境衛生学 I         (気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       (知識・技能)       (本来実習工)         (登録に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。(知識・技能)       (知識・技能)       (本名主題について説明できる。         (関係について説明できる。)       (知識・技能)       (本名主題について説明できる。         (対力な症候群について概説できる。)       (知識・技能)       (本名主題について説明できる。         (対力な症候群について概説できる。)       (知識・技能)       (本名主題正)         (対力な症候群について概説できる。)       (本名を療 1)       (本名を度 1)         (カウス症候群について概説できる。)       (本名を療 1)       (本名を廃 1)         (カウス症候群について概説できる。)       (本名を療 1)       (本名を廃 1)         (カウス症候群について概説できる。)       (本名を廃 1)       (本名を廃 2)						
(気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)       衛生系実習工         5染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。       (知識・技能)         環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)       (対策・住康との関係について説明できる。       (知識・技能)       (報告を確康との関係について説明できる。       (対力を検群について概説できる。       (知識・技能)       (報告を確定のために配慮すべき事項について説明できる。       (知識・技能)       (報告を療 1)       (報告を療 1)       (報告を療 1)	主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明でき		環境衛生学Ⅱ	統合医療工		
5染に影響する気象要因 (逆転層など) を概説できる。       (知識・技能)       (知識・技能)       (知識・技能)       (報道衛生学工)         競技と健康との関係について説明できる。       (知識・技能)       (知識・技能)       (報道衛生学工)         競技と健康との関係について説明できる。       (知識・技能)       (報生学工)         7 パウス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (報告条正)         7 パウス症候群について概説できる。       (報告後康上)       (報告後康上)         7 パウス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (報告後康上)         7 パウス症候群について概説できる。       (知識・技能)       (知識・技能)	主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。					
5染に影響する気象要因 (逆転層など) を概説できる。(知識・技能)(知識・技能)(報達衛生学工)環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)(知識・技能)(報告係事工)環境と健康との関係について説明できる。(報告係事工)(報告後事工)3.1、いウス症候群について概説できる。(知識・技能)(報告後期)1、いウス症候群について概説できる。(知識・技能)(知識・技能)1、いウス症候群について概説できる。(知識・技能)(知識・技能)1、いウス症候群について概説できる。(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、いウス症候群について概説できる。(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別)1、対象を表別(知識・対象を表別)(知識・対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を			衛生系実習工			
環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。知識・技能)環境衛生学工環境と健康との関係について説明できる。統合医療 I環境衛生学工3.3.33.3.33.3.33.3.33.4.43.3.3 <td>大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる</td> <td></td> <td>環境衛生学Ⅱ</td> <td></td> <td></td> <td></td>	大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる		環境衛生学Ⅱ			
室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。 室内環境と健康との関係について説明できる。 室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。知識・技能 (知識・技能)知識・技能 (本名を)環境衛生学工 (本名を)室内環境と健康との関係について説明できる。 シックハウス症候群について概説できる。報告を療 I (本名を療 I (本名を療 I)環境衛生学工 (本名を療 I)						
室内環境と健康との関係について説明できる。(本会医療 I)(本会医療 I)(本会医療 I)シックハウス症候群について概説できる。(本会医療 I)(本会医療 I)	安内语倍を証価するための代表的な指揮を列挙し、測定できる		環境衛生学工			
室内環境と健康との関係について説明できる。       統合医療 I       環境衛生学 I         室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。       環境衛生学 I         シックハウス症候群について概説できる。       統合医療 I	までみんで 町画 7 でんくしょく はいかい はんじゅう はっちょう ボルト こうじょうしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう しょうしょう		衛生系実習Ⅱ			
室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。       環境衛生学I         シックハウス症候群について概説できる。       統合医療I						
シックハウス症候群について概説できる。	室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明でき		環境衛生学工			
				統合医療工		

(30日3) 7 ニーナニナムト・ニガエ年株会業			無 雞	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【廃棄物】						
1)廃棄物の種類を列挙できる。			四 本 宗 十 宗 上		成功制御谱(库)	
2)廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。			4.5.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.		(图) 十重宣米段	
3) 医療廃棄物を安全に廃棄、処理する。(技能・態度)						
4)マニフェスト制度について説明できる。			山本统士部中			
5) PRTR法について概説できる。			保児用工子口			
【環境保全と法的規制】						
1) 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。						
2)環境基本法の理念を説明できる。			山市等			
3) 大気汚染を防止するための法規制について説明できる。			4.5.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.			
4) 水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。						

			派	四		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	14	っ年			口	<b>6</b> 年
	± -	# 7		<del>+</del>	‡	+0
[薬と疾病]						
613 薬の効くプロセス						
[薬の作用]						
1)薬物の用量と作用の関係を説明できる。				臨床薬学工(医)		
2)アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。			第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
3)薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。			米莊氷米四			
4)代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。						
5)薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化された場合の生理反応を 説明できる。	131	薬理学 I				
6)薬効に個人差が生じる要因を列挙できる。						
7) 代表的な薬物相互作用の機序について説明できる。				臨床薬学 I (医)		
8)薬物体存性について具体例を挙げて説明できる。	150	薬理学Ⅰ				
[薬の運命]						
1)薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて説明できる。			薬物安全性学(健)	薬物動態学		
2)薬物の代表的な投与方法(剤形、投与経路)を列挙し、その意義を説明できる。	12	# E	· · · · ·			
3)経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化(崩壊、分散、溶解など)を説明できる。		米莊子」	米莊米米四			
4)薬物の生体内分布における循環系の重要性を説明できる。						
5)生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。						
【薬の副作用】						
1)薬物の主作用と副作用(有害作用)、毒性との関連について説明できる。		1 完田洋	薬理系実習			
2) 副作用と有害事象の違いについて説明できる。		€埋 <b>于</b> 1				
【動物実験】						
1) 動物実験における倫理について配慮する。(態度)		<b>片</b>				
2) 代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)		日本光光	薬理系実習			
3) 実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)						
(2)薬の効き方I						
【中枢神経系に作用する薬】						
1) 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
2)代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
3) 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		1 二二二	薬理系実習			
4)代表的な中枢神経疾患(てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など)の治療薬を挙げ、 その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		张 1 十				応用薬物治療学
5)代表的な精神疾患(統合失調症、うつ病など)の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用 について説明できる。			新薬論(医)			
6)中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。			薬理系実習			

1			紅	科目		
条子牧育モナル・コアガリキュフム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【自律神経系に作用する薬】						
<ul><li>1) 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な 副作用について説明できる。</li></ul>		機能形態学ⅡA	<b>兴</b> 明 郑			
2) 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、 主な副作用について説明できる。		薬理学IIA	米压术天白			応用薬物治療学
3)神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		薬理学IIA				
4)自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))∆技能であるからCBTには 馴染まない						
【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】						
1) 知覚神経に作用する代表的な薬物(局所麻酔薬など)を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用につい		機能形態学IIA	薬理系実習			
て説明できる。		薬理学IIA				
2) 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		東理学 IIA				
3)知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能))			薬理系実習			
【循環器系に作用する薬】						
1) 代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						
2) 代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			0 年 野			1. 电对象形式
3) 代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			张山 山 山 山			5. 日米   5. 日米   5. 日米   5. 日米   5. 日本   5. 日
4) 作事的打宣布压治梅斯女崇げ、崇語作曲・雑序・土打宣作用「つこて当語が考え			基幹実習 (医)			
XXX YXXX			薬理系実習			
			新薬論(医)			
【呼吸器系に作用する薬】						
1)代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。		機能形態学ⅡB	薬理系実習			
2)代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。			薬理学皿A			
3)代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。						応用薬物治療学
【化学構造】						
1) 上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる。						応用薬物治療学
(3)薬の効き方II						
【ホルモンと薬】						
1) ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。						応用薬物治療学
2)代表的な糖質コルチコイド代用薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。						
3)代表的な性ホルモン代用薬および拮抗薬の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について 説明できる。						

# 2 年				談	本		
1 代表がも同一十二階に総対が建発を挙げ、業性作用、循环、主な部件用について認明できる。	•	1年	2年	种	4	5年	6年
# 発音の	[消化器系に作用する薬]						
(大会がの京・十二時間活動を発き挙げ、美国中間、選手、生命時中間について記明できる。				薬理学皿A			応用薬物治療学
6.000 20 24 24 24 34 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24	代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、						
	その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、きる。						
### ### ### ### #### #### ###########				薬理学皿A			
### 54 (4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	薬理作用、機序、						
原来を用限的に分類に、成長の耐たよびまな副作用について説明できる。	薬理作用、機序、主な副作用について説明でき						
原基を有限機等別に公路に、	【腎に作用する薬】						
####################################		機能	形態学IIB	薬理学IIB			応用薬物治療学
表的な生血液を挙げ、作用機存と主な副作用について説明できる。	【血液・造血器系に作用する薬】						
表的な私血液を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。	代表的な止血薬を挙げ、						
### 14	2)代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				薬理学皿B		応用薬物治療学
は作用する歌月         実施的な服房が破棄を挙げ、作用機序と主な副作用について認明できる。         業理学回答         業理学回答           表的な配房が破棄を挙げ、作用機序と主な副作用について認明できる。         本の本の高い、企業のは配合の場所を変換を受け、作用機序と主な副作用について認明できる。         生化学Ⅱ         新薬論(医)         薬理学回答           パンウム代制御節・骨代側に顕達する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。         土化学Ⅱ         新薬論(医)         薬理学回答           大りたん様と表記 といて説明できる。         本の人業のな治療薬を挙げ、作用機序となご書を副作用について説明できる。         土化学Ⅱ         新薬論(医)         薬理学Ⅲ           表的な活産業を挙げ、作用機序となご書を制作用について説明できる。         本理学Ⅱ         有薬論(医)         薬理学Ⅲ           私の業別の治療薬を挙げ、作用機序とは関係などまび目作用について説明できる。         本理学Ⅲ         有薬論(医)         薬理学Ⅲ           配の薬物のうち代表的な治療薬を挙げ、作用機序を記明できる。         本語学の表別を表別の機を設明できる。         本期系素管         無期系素管           物の変換の表別の関係を説明できる。         生物薬剤学         本期系素管         無期系表管           物の取りを必要する日子を別学に設明できる。         生物薬剤のすると別学に設明できる。         本期系表に合成する別書においてきる。         本期系表に会別できる。							
	【代謝系に作用する薬】						
表的な高限酸血症・機局治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。	1)代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。				薬理学皿B		不田斯斯达索斯
(本位学 IR )							心巾来物石凉于
地上ウム化糖期節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用に       本化学工B       新業論(医)       薬理学工B         アンレオーと業別       (金位) (本庭) (本庭) (本庭) (本庭) (本庭) (本庭) (本庭) (本庭	代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、						
変した学し業別         全種別         会校学工         会校会工	カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、 ついて説明できる。	生化	;学IIB		薬理学皿B		
表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序はびきな副作用について説明できる。       楽理学」       新薬舗(医)       新薬舗(医)       新薬舗(医)       新薬舗(医)       新薬舗(医)       新薬舗(医)       加速調       お薬舗(医)       お薬舗(医)       お薬舗(医)       お薬舗(医)       おびまたの間において説明できる。       大いボーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる。       大・ボーン・イン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・イン・インボーン・インボーン・インボーン・インボーン・イン・イン・インボーン・インボーン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・インボーン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン	【炎症・アレルギーと薬】						
性関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる。       本理学1       新薬論(医)         あ。       (基本 ・ ) ・	1) 代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。			免疫学工			
LD.Lギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明である。       注意         (者の職器への到達と消失       (物の職器への到達と消失       (物の職器への到達と消失       (物の職器への到達と消失       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (事業を発力を利率を説明できる。       (事業を対象の業物吸収について部位別に説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       (地域に影響する因子を列挙し説明できる。       (地域に影響する因子を列挙し説明できる。       (地域に影響する因子を列挙し説明できる。       (地域に影響する因子を列挙し説明できる。       (地域に影響する因子を列挙と記事を列挙と記書を列挙を記書を必要と示するとの子を列挙を記書を必要と示する。       (地域に影響する因子を列挙と記書を列挙を記書を必要と記書を可能ないまする。)       (地域に影響する因子を列挙と記書を列挙を記書を必要と示する。)       (地域に影響する因子を列挙と記書を必要と示する。)       (地域に影響する因子を列挙を記書を必要と示する。)       (地域に影響を記書を必要と示する。)       (地域に影響を表する因子を列挙を記書を必要と示する。)       (地域に影響を表する)       (地域に影響を表する) <td></td> <td>                                     </td> <td>小 I</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>			小 I				
(地の臓器への到達と消失       (物の臓器への到達と消失         (物の重な吸収部位を列挙できる。       (事の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。         動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。       車動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。         (報告と変物吸収にごいて部位別に説明できる。       (報告と変物吸収にごいて部位別に説明できる。       本物業別等できる。         (物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。       機能性食品学の素物の収に影響する因子を列挙し説明できる。       機能性食品学の素物の収に影響する因子を列挙し説明できる。	アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、 きる。						
EMORREACO DIZE と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と消失       (日本の財産と対象できる。)       (日本の財産を説明できる。)       (日本の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。)       (日本の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。)       (日本の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。)       (日本の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。)       (日本の業別等できる。)       (日本の薬剤学」)       (日本の薬剤学」)       (日本の薬剤学」)       (日本の薬剤学」)       (日本の薬剤学」)       (日本の業別等の薬物収について部位別に説明できる。)       (日本の業別を記事を記事を記明できる。)       (日本の業別を記事を記明できる。)       (日本の業別を記書を記事を記明できる。)       (日本の業別等に記明できる。)       (日本の業別等に記明できる。)       (日本の業別等に記明できる。)       (日本の業別等に記明できる。)       (日本の業別等に記明できる。)       (日本の業別等に記明を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を	【化学構造】						
物の臓器への到達と消失       (物の臓器への到達と消失         物の主な吸収部位を列挙できる。       (物の主な吸収部位を列挙できる。       (事権定、機能と薬物吸収の関係を説明できる。       (事利系集習         動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。       (事利系集別       (事利系集別         動動法の特徴を説明できる。       (報告と変物吸収について部位別に説明できる。       (事利系集別         経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。       (物の吸収に影響する囚子を列挙し説明できる。       (報能性食品学         物の吸収に影響する囚子を列挙し説明できる。       (報能性食品学	上記の薬物のうち代表的なものについて基本構造を示すことができる						
(物の主な吸収部位を列挙できる。       (本)       (本) </td <td>(4)薬物の臓器への到達と消失</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	(4)薬物の臓器への到達と消失						
薬物の主な吸収部位を列挙できる。 消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。 受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。 能動輸送の特徴を説明できる。 非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。 薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。 薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。生物薬剤学 I 無約系集習  薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。  薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。  薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。   	[吸収]						
消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。生物薬剤学 I生物薬剤学 I薬剤系実習受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。生物薬剤学 I薬剤系実習能動輸送の特徴を説明できる。生物薬剤学 I本物系実習非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。機能性食品学薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。機能性食品学							
受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明できる。生物薬剤学I生物薬剤学I薬剤系実習能動輸送の特徴を説明できる。非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。本の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。機能性食品学							
能動輸送の特徴を説明できる。 非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。 薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。	受動拡散(単純拡散)、促進拡散の特徴を説明でき	<b>季</b> 士	1 元   太		薬剤系実習		
非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。 薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。		工物工	· 十层米				
薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。	非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる						
	6)薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる。				機能性食品学(健)		

		4	当本日		
楽字教育モナル・コアカリチュフム(SBOS)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
[分布]					
到達目標:					
1)薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。					
2)薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。			薬物代謝学(健)		
3)薬物の胎児への移行について、その機構と血液・胎盤関門の意義を説明できる。					
4)薬物の体液中での存在状態(血漿タンパク結合など)を組織への移行と関連づけて説明できる。	生物薬剤学 I				
5)薬物分布の変動要因(血流量、タンパク結合性、分布容積など)について説明できる。			薬物動態学		
6)分布容積が著しく大きい代表的な薬物を列挙できる。			- 臨床薬学Ⅱ(医)		
7)代表的な薬物のタンパク結合能を測定できる。(技能)					
【代謝】					
1)薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位を列挙して説明できる。					
2)薬物代謝が薬効に及ぼす影響について説明できる。					
3)薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素を列挙できる。					
4)シトクロムP-450の構造、性質、反応様式について説明できる。					
5)薬物の酸化反応について具体的な例を挙げて説明できる。	1. 近女棋奉士		薬物代謝学(健)		
6)薬物の還元・加水分解、抱合について具体的な例を挙げて説明できる。	1 大似米別十 1				
7)薬物代謝酵素の変動要因(誘導、阻害、加齢、SNPsなど)について説明できる。			薬物代謝学(健)		
8)初回通過効果について説明できる。		牛物薬剤学工			
9) 肝および固有クリアランスについて説明できる。			臨床薬学工(医)		
[排泄]					
1) 腎における排泄機構について説明できる。	機能形態学工A	薬物安全性学(健)	薬物代謝学(健)		
2) 腎クリアランスについて説明できる。					
3) 糸球体ろ過速度について説明できる。					
4)胆汁中排泄について説明できる。	生物薬剤学 I		(五) 工学某工品		
5) 腸肝循環を説明し、代表的な腸肝循環の薬物を列挙できる。					
6) 唾液・乳汁中への排泄について説明できる。					
7) 尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。					
【相互作用】					
1)薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。		生物薬剤学工	臨床薬学Ⅱ(医)		
2)薬効に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。			臨床薬学11(医)		

(90回3) 7年下午二十五下。三十五年条金瀬			無 雑	科目		
7	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(5)薬物動態の解析						
[薬動学]						
1)薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。					感染制御学(医)	
2)薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。				薬物動態学		
3)線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)						
				薬剤系実習		
4)線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)						
5)線形コンパートメントモデルと非線形コンパートメントモデルの違いを説明できる。				薬物動態学		
(日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)						
上がませずがあるであって、日子とらる。			生物薬剤学エ	薬剤系実習		
(領土・無内) アキジ勇士   旧県ノいつコでジェグニク自今(7				薬物動態学		
。 P U 大 に						
8)非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。				<b>光神晶</b> 植末		
9)モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる。				未初期芯士		
10)薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)				-		
11)点滴静注の血中濃度計算ができる。(技能)				楽剤糸実習 薬物動態学		臨床薬物動態学
12) 連続投与における血中濃度計算ができる。(技能)						
【TDM (Therapeutic Drug Monitoring)】						
1)治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。			生物薬剤学エ	(五) 山佘楽中弘	咸沙制御学(医)	
2) TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。			薬局管理学(医)			
3)薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。(技能)						
4)至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動学的パラメーターを用いて説明できる。			生物薬剤学 I 薬局管理学(医)		感染制御学(医)	臨床薬物動態学
5) 代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。(技能)				薬剤系実習		

1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			秋	中		
米子牧育モナル・コイムウキュウム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
C14 薬物治療						
(1) 体の変化を知る						
【症候】						
1)以下の症候について、生じる原因とそれらを伴う代表的疾患を説明できる。発熱、頭痛、発疹、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、悪心・嘔吐、嚥下障害、腹痛・下痢、便秘、腹部膨満、貧血、山血症の、腎疾・炎疾さ光・動疾、宣血圧、止血圧、シュニュ		病態生理学 I B	病態生理学ⅡA	臨床医学概論(医)		
エ、哈皿圧、フョッフ、叶製凶舞、吸、エA、記憶障害、しび れ、けいれん、血尿、頻尿、		統合医療 I		統合医療工		
【症候と臨床検査値】						
1)代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。						
2)代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。						
3)代表的な呼吸機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。				道 * * * *		
4)代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。		病態生理学 I B		上 医子宫 人		
5)代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げる ことができる。						
6)代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。					生活習慣病予防学	
7)感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。				薬物治療学皿B		
8)悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。						
9) 尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を 挙げることができる。				臨床検査学		
10) 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。						
11) 伴事的 た パイカー 十 人 い 左 回 栄 示 き ろ		病態生理学IB				
いないない インアット ノをがす こら		生物系実習				
(2)疾患と薬物治療(心臓疾患等)						
【薬物治療の位置づけ】						
1)代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療(外科手術、食事療法など)の位置づけを説明できる。				機能性食品学(健) 臨床医学概論(医)		
2) 適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。 (知識・技能)						

		<b>新</b> 4	平		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年 2年			5年	6年
【心臓・血管系の疾患】					
		病態生理学工			
1)心臓およひ皿曾糸における代表的な泆患を竿けることかできる。	1 本學兴 解棄		臨床漢方治療学 I (漢)		
2) 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					応用薬物治療学
3) 心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	1 迎君 七 端 北	処方解析学 I			
	1 十五十四岁	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #			病態解析学(医) 広田薬物治療労
4)高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		病態生理学 I			心石米名石族十
5)虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					応用薬物治療学
		病態生理学工		生活習慣病予防学	
6) 以下の疾患について概説できる。閉塞性動脈硬化症、心原性ショック		臨床栄養学 I (健)			
		処方解析学 I			
【血液・造血器の疾患】					
1)一位、一件の第一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		薬物治療学工			
/ 皿次・垣皿箱にのごでいないがあたまにでした。こと		病態生理学工			
海切か治療薬 お上びをの使用トの注音について背明がまる	生化学工	薬物治療学工			応用薬物治療学
/ 其曲の治治に上生、画名でもは深木、50のでででは出土の江市にてっていた。この		薬理学皿			病態解析学(医)
アキジョンコー 海がいか 海域の おいか はい		薬物治療学工			病態解析学(医)
/ ロmwovasktht 画名子の液木、50gCcckを出てくたあってのです。		薬理学皿	処方解析学工		
4)播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について	病態生理学 I	薬物治療学工			応用薬物治療学
説明できる。		薬理学皿			
5)以下の疾患について概説できる。血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓		薬物治療学工			
[消化器系疾患]	_	_	_		
1)消化器系の部位別(食道、冒・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓)に代表的な疾患を挙げ		薬物治療学工			÷ ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±
ることができる。		病態生理学Ⅱ	臨床漢方治療学 I (漢)		緩和医療美践字
		薬理学皿			緩和医療実践学
2) 消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		処方解析学 I			応用薬物治療学 作業額 おまり (P)
		薬物治療学工			<b>为</b> 思胜机子(医)
3) 腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学工			緩和医療実践学
	· 言 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	薬理学皿			
4)肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	据是理学 I	薬物治療学工			緩和医療実践学
		病態生理学工			応用薬物治療字
5) 膵炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学工			
8)以下の疾患について概説できる。食道癌、胃癌、肝癌、大腸癌、胃炎、薬剤性肝障害、胆石症、		薬理学田			
日本炎、クローン病		処方解析字 1 禁物治療過工			緩和医療美選字
		<b>サナボルボ</b> 井 エ			

		談	軍		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) -	1年 (	2年 3年	4年	5年	6年
【総合演習】					
<ul><li>1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。 (技能)</li></ul>					病態解析学(医)
(3)疾患と薬物治療(腎臓疾患等)					
[腎臓・尿路の疾患]					
	1				
1)腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。	楽物治療学	产Ⅰ 薬物安全性学(健) 	臨床漢方治療学 I (漢)		
2) 腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		処方解析学 I			- 広田東加治廃党
3) ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	薬物治療学病院生理学	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			病態解析学(医)
4) 以下の疾患について概説できる。糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石		処方解析学 1			
【生殖器疾患】					
4 / 4   -		薬理学皿	薬物治療学皿		
1)男性およひ女性生殖器に関する代表的な疾患を罕けることができる。	—————————————————————————————————————	病態生理学工	臨床漢方治療学 I (漢)		緩和医瘠実践学
2) 前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			电流 电		
3) 以下の疾患について概説できる。前立腺癌、異常妊娠、異常分娩、不妊、子宮癌、子宮内膜症					
【呼吸器・胸部の疾患】					
1)肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。		薬理学皿	薬物治療学皿		緩和医療実践学
		病態生理学工	臨床漢方治療学 I (漢)		
# + 7, 7 = 4,		薬理学皿			緩和医療実践学
2)闭巻性丸追疾患(丸官文垢息、肺丸腫)の病態生理、適切な治療楽、およいその使用よの注息について説明できる。			薬物治療学皿		病態解析学(医)
	病態生理学	芹I 病態生理学Ⅱ			
3) 以下の疾患について概説できる。上気道炎(かぜ症候群)、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患、		病態生理学工	薬物治療学皿		緩和医療実践学
			加万解析字 II		
【内分泌系疾患】		_			
1)ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患を挙げることができる。		薬物治療学 I 病態生理学 I			-緩和医療実践学
2) 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
3) クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		►1 薬物治療学Ⅱ 			緩和医療実践学 応用薬物治療学
4)尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
		· 宋 士 火 寸 华			
5) 以下の疾患について概説できる。上皮小体機能異常症、、アルドステロン症、アジソン病	T	楽物治療子 I			- 緩和医療実践学
		1 TH-1-200			

		跳	皿		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	1年 2年	3年	4年	5年	6年
【代謝性疾患】					
1) 特尼病 アタの今 併成の 病能 生理・適切な 治療薬・ および 多の 体田 トの注音 にっこく 苛留 できる		処方解析学 I			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
		村田 小田		生活習慣病予防学	の用条物治療子病態解析学(医)
高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびそ	生化学Ⅱ	来などの薬物治療学工			
3) 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
【神経・筋の疾患】		_			
1)抽級・缶「間ナス件事的か佐串を挙げる」とがだきる		薬物治療学工			
14性 - 加に因りでいなけられたのと手いる		病態生理学工			
2) 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	中部 计量量 计图录 1	薬物治療学工		生活習慣病予防学	応用薬物治療学
3) てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			山中部托湾山		1
4)パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学工			病態解析学(医) 応用薬物治療学
5) アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。					
6)以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性		薬物治療学工			応用薬物治療学
<u> </u>		病態生理学工			
【総合演習】					
1)指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。					実務実習ポスト教育
					病態解析学(医)
(4)疾患と薬物治療(精神疾患等)					
【精神疾患】	_	_			
1)代表的な精油疾患を挙げることができる。		T	* # # # # # # # # #		
/ IVXXIVの4817/Xがたチンの「「バー、C		薬物治療学工	臨床漢万治療字 I (漢)		応用薬物治療学
っ)統今年調売の病能生理・適切な治療薬・およびその体用トの注音について説明できる			処方解析学工		
こうには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		病態生理学Ⅱ			
3) うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	病態生理学 I		処方解析学工		病態解析学(医)
		薬物治療学工			- 応用薬物治療学
4)以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症					
【月鼻咽喉の狭思】	_	_			
1)耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学 II 薬理学 II	;		
2) めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		処方解析学 1薬理学田	薬物治療学		
3)以下の疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎		薬理学皿			
			処方解析学工		
【皮膚疾患】	-	_			
1)皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。		病態生理学 II 薬理学 II 薬理学 II	薬物治療学皿		
2)アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。	病態生理学 [		加七数井池工	- 香粧品科学(健)	
线电头 计电线 电电影计多元并中电子			コールサース		
3) 皮膚具菌症の病態生埋、適切な治療楽、およひその使用上の注意について説明できる。 4) 以下の疾患を概説できる。蕁麻疹、薬疹、水疱症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症		薬理学皿	薬物治療学皿		

4 : 4 : 1			談	4 目		
条字教育セケル・コノカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【眼疾患】						
1)間に間末ろ伴毒的か疾患を挙げることができる			病態生理学Ⅱ	薬物治療学皿		
/ 成にありのいなおがあたまいのにんどくの			薬理学皿			
				薬物治療学皿		5 田斯加沁威亭
2) 緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		床能牛理学 1		処方解析学工		心力来物色源于
		·	<b>工 本 田 本 田 本 田 本 田 本</b>			病能解析学(医)
3) 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				車 車 地		
4)以下の疾患を概説できる。結膜炎、網膜症				た に が に が に が が が が が が が が が が が が が が		
[骨・関節の疾患]	-					
1) 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。			病態生理学Ⅱ			
			処方解析学 I			病態解析学(医)
2) 骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。		薬物治療学Ⅰ				
	病態		薬理学皿			
3)慢性関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。			処方解析学 I	薬物治療学皿		病態解析学(医)
4)以下の疾患を概説できる。変形性関節症、骨軟化症						
【アレルギー・免疫疾患】						
1)代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる。			免疫学	薬物治療学皿		
2) アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。						
		病態生理学 I	免疫学	薬物治療学皿		応用薬物治療学
3)目己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生埋、適切な治療楽、およひその使用上の注意について説明できる。				処方解析学工		
4)後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
【移植医療】						
1)移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。				薬物治療学皿		
【緩和ケアと長期療養】						
1) 癌性疼痛に対して使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。				斯勒公库停用		經和医核牢胖勞
2) 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。				*************************************		域和台派大學士
[総合演習]						
1) 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる。			処方解析学 I	処方解析学工		実務実習ポスト教育
(技能)						病態解析学(医)

		***	数		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) ――	1年 2年		<u> </u>	5年	6年
(5) 病原微生物・悪性新生物と戦う		-			
[ 感染症 ]					
1) 主な感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。			薬物治療学皿		応用薬物治療学
[抗菌薬]					
1) 抗菌薬を作用点に基づいて分類できる。		衛生系実習 I			
2)代表的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。					
3)代表的な 8-ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。					
4)テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。					
5)マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。					
6)アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。			目 彩 地 穴 基 科		
7) ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。		—————————————————————————————————————	米ಶ沾浆水目		
8)サルファ薬(ST合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。		1			
9)代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。					
10)細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。					
11) 代表的な抗菌薬の使用上の注意について説明できる。					
12) 特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。					
[抗原虫·寄生虫薬]					
1)代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。		微生物薬品学	薬物治療学皿		
[抗真菌薬]					
1)代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。		微生物薬品学	薬物治療学皿		
【抗ウイルス薬】         (1)         (2)         (3)         (4)					
1) 代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。		非口洪圣士 8	薬物治療学皿		
2) 抗ウイルス薬の併用療法において考慮すべき点を挙げ、説明できる。					
【抗菌薬の耐性と副作用】					
1)主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。		化口料型 大麦	一种 化多次 基 并		
2) 主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。			米物石凉于皿		
【悪性腫瘍の病態と治療】					
1) 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。				生活習慣病予防学	
2) 悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。			薬物治療学皿		
3) 化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。					
【抗悪性腫瘍薬】					
1)代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。					
2)代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。					
3)代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。					
4)代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。	薬理学 I	微生物薬品学	拼智 心 每 小 目		
5)抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。			# + % 17 % 1 <del>*</del>		
6) 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。					
7)代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。					
8)代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。					

(3)ロ3/ / ロ・ナニチグト・三州 日仲未参展			解 親	科目		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用】						
1)主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。						
2) 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。		薬理学Ⅱ	微生物薬品学	薬物治療学皿		
3)副作用軽減のための対処法を説明できる。						

		松	中		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 	1年 2年	3年		5年	6年
015 薬物治療に役立つ情報					
(1) 医薬品情報					
【情報】					
1) 医薬品として必須の情報を列挙できる。		(金) 医斑巴特勒学 (医)			
2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。		(21.7)	44今不寿二		
3) 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。					
4) 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。		医薬品情報学(医)			
5) 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。					
【情報源】					
1) 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。					
2) 医薬品情報源として代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。		医薬品情報学(医)			
3)厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。		薬局管理学(医)			
4) 医薬品添付文書(医療用、一般用)の法的位置づけと用途を説明できる。					
5) 医薬品添付文書(医療用、一般用)に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。		医薬品情報学(医)			
6)医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。		薬局管理学(医)			
7) 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。(技能)					
【収集・評価・加工・提供・管理】					
1)目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源 を選択し、必要な情報を検索、収集できる。(技能)		医薬品情報学(医)			医薬品食品相互作用 学(健)
っ) 医薬品情報を質的に弧価式 A 際に必要 六 其 木 的 陌日 友 別 業 が き ろ					
		薬局管理学(医)			
3) 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。(技能)		医薬品情報学(医)			
4)医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。(知識・態度)					
5)主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。		医薬品情報学(医)			
コングログ こうつうさい トレッグ・ストン・オード・オート・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・		薬局管理学(医)			
[データペース]					
1)代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。		医薬品情報学(医)			
2) 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索 できる。(知識・技能)					
3) インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。(技能)		医薬品情報学(医)			
[EBM (Evidence-Based Medicine)       ]					
1) EBMの基本概念と有用性について説明できる。					
2)EBM実践のプロセスを概説できる。					
3) 臨床研究法(ランダム化比較試験、コホート研究、症例対照研究など)の長所と短所を概説できる。		医薬品情報学(医)			
4) メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。(知識・技能)					薬剤疫学(医)
ドポイントの違					
6) 臨床適用上の効果指標(オッズ比、必要治療数、相対危険度など)について説明できる。		医薬品情報学(医)			

			然	本 目		
楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOS)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
【総合演習】						
1) 医薬品の採用、選択に当たって検討すべき項目を列挙できる。						
2)医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題を解決するために必要な情報を提示できる。 (知識・技能)			医薬品情報学(医)			
(2) 患者情報						
【情報と情報源】						
1)薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。				(3) 紫叶宗 3 中岛		
2) 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。						
【収集・評価・管理】						
1)問題志向型システム(POS)を説明できる。						
2)薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。(技能)						POS実践論 宇鞍宇翌ポスト粉音
3)患者、介護者との適切なインタビューから患者基本情報を収集できる。(技能)						-
得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法? (知識・技能)			医薬品情報学(医)			POS実践論 <sub>事務電羽ポ</sub> っし粉音
						茶   -     くこ
SOAPなどの形式で患者記録を作成できる。(技能)						POS実践論
6) チーム医療において患者情報を共有することの重要性を感じとる。(態度)						
7) 患者情報の取扱いにおいて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。(知識・態度)						
(3) テーラーメイド薬物治療を目指して						
【遺伝的素因】						
下光田张子灯来不过,子气了上田集设过更"不好非力不过"出了田农田光多梨样				薬物治療学皿		
ンなて上回来				臨床医学概論(医)		
2)薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。				苯格比威萨用		
3) 遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。				未物口源于血		
【年齡的要因】						
1)新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				1 2 2 2 2		
2)幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				楽物治療字皿 薬物動態学 I		
3) 高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【生理的要因】						
1) 生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。				苯物心库停用		
2)授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。				未物石原于皿		
3)栄養状態の異なる患者(肥満など)に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【合併症】						
1) 腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
2)肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。				楽物治療字皿 薬物動熊学 I		
3) 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。						
【投与計画】						
1) 患者固有の薬動学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)						
2) ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。			生物薬剤学エ	医核结异学		路在茶香幣館 1
3)薬動力学的パラメーターを用いて投与設計ができる。(知識・技能)						瞄床架物 <b>期</b> 態子 I
4)薬物作用の日内変動を考慮した用法について概説できる。				薬物治療学皿		

4. CT       4. CT       6. Selection       1. J.	1 4 1 1	松	当本目	
####################################	条字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) 楽字教育モデル・コアカリキュラム(SBOs) しゅん	ε	4年	6年
####################################	[医薬品をつくる]			
####################################				
	(1)製剤材料の性質			
の政策と対象できる。	【物質の溶解】			
600年に対していた説明できる。	1) 溶液の濃度と性質について説明できる。			
	2)物質の溶解とその速度について説明できる。	1 女		
の政権に対して説明できる。	3)溶解した物質の膜透過速度について説明できる。			
	4)物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。			
	[分散系]			
6年8月 (2017年 1978年 1987年 198	1) 界面の性質について説明できる。			
	2)代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。			
### 1995 # 19		物理薬剤学		
60年度上 (2015年度 2015年度	代表的な分散系を列挙し、			
の機能         (4年度) しかから、「水色的なモデルについて説明できる。         物温素別学         確認品科学           中の構造として記明できる。         ・ (本色的をご用して記明できる。         ・ (本色の表で記述を対して記明できる。         ・ (本色の表に記明できる。         ・ (本色の表にこいて記明できる。         ・ (本色の表に言いて記明できる。         ・ (本色の表に表記を表記と表記について説明できる。         ・ (本色の表に表記を表記について説明できる。         ・ (本色の表に表記を表記を表記といて説明できる。         ・ (本色の表記を表記について説明できる。         ・ (本色の表記を発展できます。 (本色の表に言いて説明できる。         ・ (本色の表に言葉の表の表記をのままのよいて説明できる。         ・ (本色の表に言葉の表の表に言葉の表に言葉の表に言葉の表に言葉の表の表記をのままのまできる。         ・ (本色の表に言葉の表を表とのよの表に表しまのまとを表していて説明できる。         ・ (本色の表に言葉の表に表に表していて説明できる。         ・ (本色の表に言葉の表に表に表していて説明できる。         ・ (本色の表に言葉のままのまできる。         ・ (本色の表に言葉の表に表に表していて説明できる。         ・ (本色の表に表記を表していて説明できる。         ・ (本色の表に表記を表していて説明できる。         ・ (本色の表に表記を表していていて説明できる。         ・ (本色の表に表記を表しまとのまとなる。         ・ (本色の表に表記を表しまとなると表しましまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなると表しましまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなると表しまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなる。)         ・ (本色の表に表しまとなる。)         ・ (本色の表に表し				
を変形 (レイロジー) の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。	【製剤材料の物性】			
	流動と変形(レオロジー)の概念を理解し、	物理薬剤学		
が設すて汎用される高分子の物性について説明できる。	2) 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。	拉		
の性質について説明できる。         物理薬剤学           と契剤材料の安定性に影響する歌回、安定化方法を列挙し、説明できる。         素剤学!           と契剤材料の安定性に影響する歌回、安定化方法を列挙し、説明できる。         熱理薬剤学           材料の他性を測定できる。(技能)         物理薬剤学           材料の他性を測定できる。(技能)         物理薬剤学           的な半回形契剤の種類と性質について説明できる。         物理薬剤学!           的な半回形契剤の種類と性質について説明できる。         薬剤学!           的な主他の種類と性質について説明できる。         薬剤学!           的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。         薬剤学!           的な製剤の有効性と安全性肝価法について説明できる。         薬剤学!           的な製剤の有効性と安全性肝価法について説明できる。         薬剤学!           財体を組み合わせて代表的製剤機械について説明できる。         薬剤学!           放射         主体る容器、包装の種類や特徴について説明できる。           放力         企業の経費や特徴について説明できる。           施力の数剤に関連する試験なを利率できる。         薬剤学!           薬局方の数剤に関連する試験なを対域できる。         (技能)           薬局方の数剤に関連する状態がを表態し、品質管理に適用できる。(技能)         素剤学!           薬局方の数剤に関連する状表的が試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)         素剤学!           薬局方の数剤に関連する状表的が試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)         素剤学		1		
は		物理薬剤学		
と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。 X線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。 様力くる 動力 的な単版を説明できる。(技能) 的な中国形製剤の種類と性質について説明できる。 的な中国形製剤の種類と性質について説明できる。 的な無質数剤の種類と性質について説明できる。 的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。 かブール剤とその類似製剤に可すとは関切できる。 がイル剤とその類似製剤に関連するは関切できる。 は存在組み合わせて代表的製剤を調製できる。 は作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。 は作る組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能) たれる容器、包装の種類や体型について説明できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		薬剤学Ⅰ		
	薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、	4 医 世界		
<b>検判の物性を測定できる。(技能)</b>		ナルキギル		
<b>製剤</b>	製剤材料の物性を測定できる。		薬剤系実習	
#	(2) 剤形をつくる			
的な剤形の種類と特徴を説明できる。       薬剤学 I         的な型剤の種類と性質について説明できる。       薬剤学 I         的な半面形製剤の種類と性質について説明できる。       薬剤学 I         的な無置製剤の種類と性質について説明できる。       ※剤学 I         的な製剤の有効性と安性評価法について説明できる。       ※剤学 I         的な製剤の有効性と安生性評価法について説明できる。       ※剤学 I         化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。       ※剤学 I         株を組み合わせて代表的契剤を調製できる。(技能)       薬剤学 I         薬の予し受験を発送、包装の種類や特徴について説明できる。       薬剤学 I         薬園方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       (技能)         薬局方の製剤に関連する試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連するは該験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I	【代表的な製剤】			
的な固形製剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         的な米型剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         的な次状製剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         かな製剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         かな製剤の種類と性質について説明できる。       会別します。         かな製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。       本剤学 I         他の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。       薬剤学 I         本の事態、包装の種類や特徴について説明できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       素剤学 I				
的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         的な無意製剤の種類と性質について説明できる。       本剤学 I         かの本無意製剤の種類と性質について説明できる。       本別報告         かのな製剤の種類と性質について説明できる。       本別報告         めな製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。       本別報告         他の単位操作および別用される製剤機械について説明できる。       本別報告         様作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)       本別学 I         される容器、包装の種類や特徴について説明できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       本別等理に適用できる。(技能)       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I				
的な液状製剤の種類と性質について説明できる。       薬剤学 I         的な無慮製剤の種類と性質について説明できる。       薬剤学 I         ソール剤とその類似製剤について説明できる。       本のな製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。         的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。       本の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。         様作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)       薬剤学 I         される容器、包装の種類や特徴について説明できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I         薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I			薬剤系実習	
的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。       **ハナ1         ガール剤とその類似製剤について説明できる。       **ハナ1         的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。       **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		拉		
ゾール剤とその類似製剤について説明できる。       本剤学工         的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。       本剤学工         他の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。       薬剤学工         操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)       薬剤学工         される容器、包装の種類や特徴について説明できる。       薬剤学工         薬局力の製剤に関連する試験法を列挙できる。       薬剤学工         薬局力の製剤に関連する試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学工         薬局力の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学工		1 十三米		
的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。(大型)(本型) <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				
的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。業剤学 I化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。薬剤学 I操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。薬剤学 Iされる容器、包装の種類や特徴について説明できる。薬剤学 I薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。薬剤学 I薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)薬剤学 I	7)代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。			
化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。薬剤学 I操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)薬剤学 Iされる容器、包装の種類や特徴について説明できる。本の名容器、包装の種類や特徴について説明できる。法】業局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)薬剤学 I	8)代表的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。			
単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。薬剤学 I手を組み合わせて代表的製剤を調製できる。(技能)薬剤学 Iこる容器、包装の種類や特徴について説明できる。A方の製剤に関連する試験法を列挙できる。A方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)薬剤学 I	【製剤化】			
き組み合わせて代表的製剤を調製できる。       薬剤学 I         こる容器、包装の種類や特徴について説明できる。       (技能)         カの製剤に関連する試験法を列挙できる。       (技能)         カの製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I	1)製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。			
いる容器、包装の種類や特徴について説明できる。         1方の製剤に関連する試験法を列挙できる。       薬剤学 I         カの製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)       薬剤学 I	単位操作を組み合わせて代表的製剤を調製できる。	薬剤学 I	薬剤系実習	
3方の製剤に関連する試験法を列挙できる。 3方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)				
日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。 日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)	【製剤試験法】			
日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。(技能)		1 业		
	日本薬局方の製剤に関連する代表的な試験法を実施し、品質管理に適用できる。	1 F!K*	薬剤系実習	

(3000) 7中「十二十八」・「北十年春秋		討 計	科目		
米十後ョウンド・コングントラングのログン	1年 2年	3年	4年	5年	6年
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム)					
[DDSの必要性]					
1)従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。		薬剤学 I			
7 作 7 品 ポイン 7 上 支田 ル 4 ゆ 単 ラ 201 、 7		生物薬剤学工			
イン ppsの気がC 在 HITL Jos C Branco B O O		薬剤学 I			
【放出制御型製剤】					
1) 放出制御型製剤(徐放性製剤を含む)の利点について説明できる。		生物薬剤学工			
2)代表的な放出制御型製剤を列挙できる。		薬剤学 I			
3)代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。					
4)徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。		村			
5)経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる		1 十层米			
6) 腸溶製剤の特徴と利点について説明できる。					
[ターゲティング]					
		生物薬剤学工			
こと・ショインの例女に思裁にしていて記当にその。		薬剤学 I			
2) 代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。		薬剤学 I			
[プロドラッグ]					
1) 件事的 たづ 口 ご ラッグ 左 列 ※ 1		生物薬剤学工			
こうで数型なくすごくとく たびずし こうしんせい 日田 はこうごう 記述 こうこう ないずん コープン とび かんしょう はいましょう こうしょう		薬剤学 I			
[その他のDDS]					
1) 代表的な生体膜透過促進法について説明できる。		薬剤学 I			

			松	中		
薬字教育モデル・コアカリキュラム(SBO۶)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(17) 医薬品の開発と生産						
(1) 医薬品開発と生産のながれ						
【医薬品開発のコンセプト】						
1)医薬品開発を計画する際に考慮すべき因子を列挙できる。		<b>岩小薬</b>			医苯二腈杂硷	
2)疾病統計により示される日本の疾病の特徴について説明できる。		即来心于				
【医薬品市場と開発すべき医薬品】						
1)医療用医薬品で日本市場および世界市場での売上高上位の医薬品を列挙できる。						
2)新規医薬品の価格を決定する要因について概説できる。				薬事関係法規工	医苯二酯杂硷	
3) ジェネリック医薬品の役割について概説できる。			薬局管理学(医)		是光宝显米以 	
4) 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の重要性について説明できる。						
【非臨床試験】						
1)非臨床試験の目的と実施概要を説明できる。				薬事関係法規工		
【医薬品の承認】						
1)臨床試験の目的と実施概要を説明できる。						
2) 医薬品の販売承認申請から、承認までのプロセスを説明できる。						
3) 市販後調査の制度とその意義について説明できる。				薬事関係法規工	三元 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
4) 医薬品開発における国際的ハーモナイゼーション (ICH) について概説できる。						
【医薬品の製造と品質管理】						
1) 医薬品の工業的規模での製造工程の特色を開発レベルのそれと対比させて概説できる。						
2) 医薬品の品質管理の意義と、薬剤師の役割について説明できる。			薬局管理学(医)		医薬品開発論	
3) 医薬品製造において環境保全に配慮すべき点を列挙し、その対処法を概説できる。						
【規範】						
1) GLP (Good Laboratory Practice)、GMP (Good Manufacturing Practice)、GCP (Good Clinical Practice)、GPMSP (Good Post-Marketing Surveillance Practice) の概略と意義について説明 できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	
【特許】						
1)医薬品の創製における知的財産権について概説できる。					医薬品開発論	
[薬害]						
1)代表的な薬害の例(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど)について、その 原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)				薬事関係法規工	医薬品開発論	
(2) リード化合物の創製と最適化						
【医薬品創製の歴史】						
1) 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。		創薬化学			医薬品開発論	
【標的生体分子との相互作用】						
1)医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。					医薬品開発論	
2) 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。		;				
3) 立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。		創薬化学				
4)医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。						

文クリーニング]薬学教育モデル・コアカリキュラム (SBOs)1) スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。2) 代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。2) 代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。【リード化合物の最適化】1) 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。2) 生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。2) 生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1象となる化合物の起源について説明できる。 こング法を列挙し、概説できる。 3のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる バイオアイソスター)の意義について概説できる。						
1象となる化合物の起源について説明できる。 :ング法を列挙し、概説できる。   のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる   イオアイソスター)の意義について概説できる。						
:ング法を列挙し、概説できる。 ਗのパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる バイオアイソスター)の意義について概説できる。		排			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
引のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる バイオアイソスター)の意義について概説できる。 ・ビニッガギヸンション		<b>副梁化字</b>			医梁品部光谱	
定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる 生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。 薬物制能を考慮したビニッガデザンション・エ語がきまる						
生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義に 薬物動能を考慮したビラッガデザインについて超						
キツ 品種 インフリ・イ ボデザ ディッチ 一学 年 子 緑 車 梨 洋		創薬化学				
米乞型労みも悪うハニノンノーンとノアノごへ多思いの						
(3) パイオ医薬品とゲノム情報						
【組換え体医薬品】						
1)組換え体医薬品の特色と有用性を説明できる。			;		ゲノム科学工医薬品開発論	
2)代表的な組換え体医薬品を列挙できる。			遺伝子工字	ケノム科字 1		
3)組換え体医薬品の安全性について概説できる。					医薬品開発論	
【遺伝子治療】						
1)遺伝子治療の原理、方法と手順、現状、および倫理的問題点を概説できる。(知識・態度)						
【細胞を利用した治療】						
人名苏格兰 计图图分型分类点 计一型 经代记式计 电对多影对于共					ゲノム科学Ⅱ	
1) 中土区族の永年、乙茂C十県、始大、おその浦年町同路市で免別にきる。(AI親・珍茂)					医薬品開発論	
【ゲノム情報の創薬への利用】						
1)ヒトゲノムの構造と多様性を説明できる。		創薬化学				
					;	
3) 遺伝子多型(欠損、増幅)の解析に用いられる方法(ゲノミックサザンブロット法など)について 概説できる。			遺伝子工学	ゲノム科学 I	ゲノム科学エ	
4)ゲノム情報の創薬への利用について、創薬ターゲットの探索の代表例(イマチニブなど)を挙げ、 ゲノム創薬の流れについて説明できる。		創薬化学			医薬品開発論	
【疾患関連遺伝子】						
1)代表的な疾患(癌、糖尿病など)関連遺伝子について説明できる。					ゲノム科学Ⅱ	
2)疾患関連遺伝子情報の薬物療法への応用例を挙げ、概説できる。				ゲノム科学 I 	1 粒	
(4) 治験						
[治験の意義と業務]						
1)治験に関してヘルシンキ宣言が意図するところを説明できる。			2 田 英田 文田 英			
2) 医薬品創製における治験の役割を説明できる。			米荘氷天百	二年 二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	牙球口围及沙	
3)治験(第1、1、およびm相)の内容を説明できる。				米事法宗法法 山	<b>三元</b>	
4)公正な治験の推進を確保するための制度を説明できる。						
5) 治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性について討議する。 (態度)			薬理系実習			
6)治験業務に携わる各組織の役割と責任を概説できる。				薬事関係法規工	医薬品開発論	

(3000) プロ・ギニキグレ・デル 日本条件業		討 当	科目		
	1年 2年	3年	4年	5年	6年
【治験における薬剤師の役割】					
1) 治験における薬剤師の役割(治験薬管理者など)を説明できる。		薬理系実習			
2)治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。		薬局管理学(医)		医薬品開発論	
3) 治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる。		薬理系実習			
4) インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。(態度)					
(5) パイオスタティスティクス					
【生物統計の基礎】					
1)帰無仮説の概念を説明できる。					
2) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の使い分けを説明できる。					
3)主な二群間の平均値の差の検定法(t-検定、Mann-Whitney U検定)について、適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)					
4) χ2検定の適用できるデータの特性を説明し、実施できる。(知識・技能)			医療統計学		
5)最小二乗法による直線回帰を説明でき、回帰係数の有意性を検定できる。(知識・技能)					
6)主な多重比較検定法(分散分析、Dunnett検定、Tukey検定など)の概要を説明できる。					
7)主な多変量解析の概要を説明できる。					
【臨床への応用】					
1) 臨床試験の代表的な研究デザイン(症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験)の特色を 説明できる。		食品栄養学工			
2) バイアスの種類をあげ、特徴を説明できる。					
3) バイアスを回避するための計画上の技法(盲検化、ランダム化)について説明できる。			医療統計学		
4) リスク因子の評価として、オッズ比、相対危険度および信頼区間について説明し、計算できる。 (知識・技能)					
5) 其本的な牛存時間解析法(Kanlan-Meier曲線など)の特徴を説明できる。					

第2章				<b>济</b>	T		
	・コアカリキュラム	1年	2年	种 <b>双</b>	I 4		6年
(1995年) (199							
19.4年としての機能の19.4年としての機能的19.4年を設する。(株式)   19.4年を19.	(1) 禁犁(店太野口業/计争力组用						
(第2) 日本の (1992年 1992年 1993年	、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_					
				L		医療経済学	L
	薬剤師の医療の担い手としての倫理的責任を目覚する。				; ; ;		
	医療過誤、リスクマネージメントにおける薬剤師の責任と義務を果たす。						
同に指する法令の情点を説明できる。	【法律と制度】						
1992年202日を別学し、その内容を説明できる。	莱凶第一盟第十名注今个推引为部分并名						
(法の要定な項目を対学し、その内容を批別できる。 (所はの重要な項目を対学し、その内容を批別できる。 (所はの重要な項目を対学し、その内容を批別できる。 (所は 方面による副作的が生じたのので表別できる。 (所は 方面による副作的が生じたのので表別できる。 (所は 方面による副作的が生じたのので表別できる。 (所は 方面による副作的が生じたのので表別できる。 (所は 方面による副作的が生じたのので表別できる。 (所は 方面による副作的が生じたののである (別のできる。 (所は 方面による副作的が生じたののである (別のできる。 (別の 方面による副作的が生じたがられまめのできる。 (別の 方面による副作のできる。 (別の 方面による画を対象できる。 (別の 方面による副作のできる。 (別の 方面による副作のできる。 (別の 方面に対象 (別の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	米別師に割建りのぶつの構成を訪めてそる				臨床薬学I		
株式					薬事関係法規 I		
	薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる				薬事関係法規工		
					臨床薬学I		
(所に関わる医療法の研究を説明できる。	薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明でき				!		
(法、務付額的法、保健的助金術有額所法の保護の (2015) (201				管理学	薬事関係法規 I 臨床薬学 I		
協力による制作用が生じた場合の被害教所について、その制度と内容を概説できる。	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる						
##責任法を概認できる。    App 日本	医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、			管理学	五 日 六 2 日 平 年	Γ	
及び向精神薬取酵法を概比し、提制される代表的な医薬品を引挙できる。					- 米中医形式兔口		
	【管理薬】						
(株別さを概説できる。	規制される代表的な医薬品を列挙できる						緩和医療実践学
たおよびあんん法を概説できる。     薬品管理学(医)     本・別の にんだき     本・記述を     本・記述					東東間底注		
#他取締法を概説できる。					来事因际法院 1		
放射性医薬品を物で関する基準 (放射性医薬品基準など) および制度について概説できる。       維制化学         社会保障制度と素剤経済       (代表的な放射性医薬品を利達し、その品質管理に関する試験法を概説できる。       (	【放射性医薬品】						
代表的な放射性医薬品を利挙人 社会保障制度と薬剤経済 (保障制度)       (投酵制度)       (本事間係法規正 (本会保障制度のしくみを説明できる。       (本事間係法規正 計会保障制度のしくみを説明できる。       (本事間係法規正 計量保険制度のしくみを説明できる。       (本事間係法規正 (本書間を無保険の成り立ちと現状を説明できる。       (本事間係法規正 (医療保険の成り立ちと現状を説明できる。       (本事間係法規正 (医療保険の定分を説明できる。       (本事間係法規正 (医療保険の定分を説明できる。       (本事間係法規正 (医療保険の種類を利率できる。       (本事間係法規正 (本事間係法規正 (主事目の管理学(医)       (本事間係法規正 (主事目の管理学(医)       (本事間係法規正 (主事目の管理学(医)       (本事間係法規正 (主事目の管理学(医)       (本事間係法規正 (主事目の管理学(医)       (本書目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事目の主事	放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準(放射性医薬品基準など) きる。						
社会保障制度 と薬剤経済     本語機能       保障制度 ]     不護概論(医)     本語管理学(医)       社会保障制度のしくみを説明できる。     小護概論(医)     本語管理学(医)       介護保険制度のしくみを説明できる。     小護概論(医)     本語管理学(医)       高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。     本語機能     本語機能       医療保険の成り立ちと現状を説明できる。     医療保険の成り立ちと現状を説明できる。     本語機能       医療保険のしくみを説明できる。     本語機能は     本語機能は       医療保険の直接を列挙できる。     本語管理学(医)     本語関係法規正       国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。     本語管理学(医)     本語管理学(医)       国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。     本語管理学(医)     本語管理学(医)	代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試験法を概説できる						
・ 名社会保障制度のしくみを説明できる。       小護概論(医)       薬局管理学(医)       薬事関係法規工         ・ 収度制度のしくみを説明できる。       小護概論(医)       ・       ・         ・ 収度制度のしくみを説明できる。       ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
上本ける社会保障制度のしくみを説明できる。       介護概論(医)       本局管理学(医)       本事関係法規工         保険制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。       小護概論(医)       小護概論(医)       本事関係法規工         財医療保健制度のしくみを説明できる。       A       本事関係法規工         RIQO にくみを説明できる。       A       本事関係法規工         RIQO にくみを説明できる。       A       本事関係法規工         RIQO にくみを説明できる。       A       本事関係法規工         RIQO にくみを説明できる。       本事関係法規工       本事関係法規工	【社会保障制度】						
保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。       介護概論(医)       介護概論(医)       本事関係法規工         財政制度のしくみを説明できる。       (国力・)       (国力・)<						医多络沙兰	
保険制度のしくみを説明できる。介護概論(医)介護概論(医)来事関席及见当医療保健制度のしくみを説明できる。大説 (本)本 (本)本 (本)実験の成り立ちと現状を説明できる。本 (本)本 (本)本 (本)実験のしくみを説明できる。本 (本)本 (本)本 (本)実験の種類を列挙できる。本 (本)本 (本)本 (本)7日和健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。本 (本)本 (本)本 (本)	2)社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。	介護概論(医)			世界	医掠胜消子	
当医療保健制度のしくみを説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を説明できる。Appendix を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を記号を					米中医形式及口		
Righ の成り立ちと現状を説明できる。Righ の成り立ちと現状を説明できる。業局管理学(医)業事関係法規IIRigh の種類を列挙できる。東局管理学(医)の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。り福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。	4)高齢者医療保健制度のしくみを説明できる。					医療経済学	
医療保険の成り立ちと現状を説明できる。       (E)       (E	[医療保険]						
医療保険のしくみを説明できる。       薬事関係法規工         医療保険の種類を列挙できる。       薬局管理学(医)         国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。       本事関係法規工	医療保険の成り立ちと現状を説明できる						
医療保険の種類を列挙できる。 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。	医療保険のしくみを説明できる				薬事関係法規工	压成较冷却	
国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる						<b>上</b> 小型 (1)	
	4) 国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。						

			計	本		
薬学教育モデル・コアカリキュラム(SBOs)	<b>九</b>	o A	Ħ		л Ф	<b>Д</b>
	1年	2年	3#	4年	5年	6年
<b>[薬剤経済]</b>						
1) 国民医療費の動向を概説できる。						
2)保険医療と薬価制度の関係を概説できる。			薬局管理学(医)	4 日十公田早年	医康纶苯酚	
3)診療報酬と薬価基準について説明できる。				米事法法法况业	医掠性角子	
4)医療費の内訳を概説できる。						
5)薬物治療の経済評価手法を概説できる。					医核绞骨	
6)代表的な症例をもとに、薬物治療を経済的な観点から解析できる。(知識・技能)					区原性分子	
(3) コミュニティーファーマシー						
【地域薬局の役割】						
1) 地域薬局の役割を列挙できる。						
2)在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。			薬局管理学(医)	薬事関係法規工	在宅医療概論	
3)学校薬剤師の役割を説明できる。						
[医薬分業]						
1)医薬分業のしくみと意義を説明できる。			薬局管理学(医)		医療経済学	
2) 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。(知識・態度)				薬事関係法規Ⅱ		
3)かかりつけ薬局の意義を説明できる。			薬局管理学(医)			
【薬局の業務運営】						
1)保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。						
2)薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。				<b>苯</b> 重阻依注相 π		
3) 医薬品の流通のしくみを概説できる。				未ず法系法工	医療経済学	
4)調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。			薬局管理学(医)			
【016薬・セルフメディケーション】						
1) サばた Bの カニコメディケージュン・の ナダー 薬剤 防 が 甲ケ ナ 必割 女 計議 ナ ろ ( 能 申)	なる医皮 1			工学五字符	一般用医薬品学	
(昭)文/	<b>パロ   左   プロ</b>			がロビ派 エ	医療経済学	
2)主な一般用医薬品(01C薬)を列挙し、使用目的を説明できる。			楽局官埋字 (医)		一般用医薬品学	
3)漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。	統合医療 I			統合医療エ	一般用医薬品学	医薬品食品相互作用 学(健)
			食品栄養学工	機能性食品学(健)		

## (基礎資料3-2)実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目

[注] 1 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名または実習項目名を実施学年の欄に記入してください。

- 同じ科目名・項目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。
- 「(7)の事前学習のまとめ」において大学でSBOsの設定がある場合は、記入してください。必要ならば、行を適宜追加してください。

က

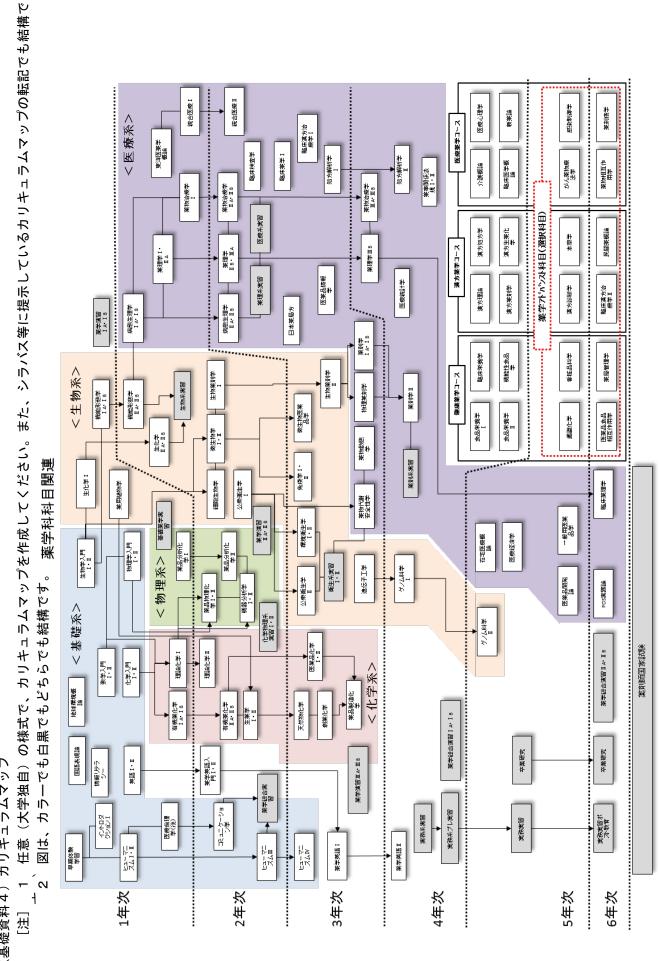
	- ) 0 3 (段影非典段串频串) / 11 - 十二十八丁,三计十段串频串		数 当 本 田	
	ュノン・イエング(天物大自中間十百)。ロ	3年	4年	5年
家 ロ	実務実習教育			
§ (I)	実務実習事前学習			
₫ (1)	事前学習を始めるにあたって			
《薬剤	《薬剤師業務に注目する》			
<u>–</u>	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。	中努中部上二		
2.	医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。	大分米目ノフ炎目		
3.	薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。(態度)		実務実習プレ教育	
r— <b></b>	一ム医療に注目する》			
4.	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。	中努中部二:		
2.	チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。	大気米ロノク炎耳		
.9	自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度)		実務実習プレ教育	
《医薬	《医薬分業に注目する》			
7.	医薬分業の仕組みと意義を概説できる。	実務実習プレ教育		
<b>§</b> (2)	処方せんと調剤			
《処方	《処方せんの基礎》			
<del>-</del>	処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。			
2.	処方オーダリングシステムを概説できる。			
ع.	処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。	中努中30元 - 华安		
4.	調剤を法的根拠に基づいて説明できる。	大分米目ノフ炎目		
5.	代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(知識・技能)			
.9	不適切な処方せんの処置について説明できる。			
《医薬	《医薬品の用法・用量》			
7.	代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。			
∞.	患者に適した剤形を選択できる。(知識・技能)			
9.	患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。	実務実習プレ教育		
10.	患者の特性に適した用量を計算できる。(技能)			
11.	病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。			

/ 旧山城土				
	+ 1 Lu /2 - 1 . % + - Lu   Ll /2 /2 /2   Lu /2   Lu /2   T /2   + + + + + + + + + + + + + + + + + +	۱°	_	
12.	服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。	実務実習プレ教育		
《調剤]	《調剤室業務入門》			
13.	代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。(技能)		実務実習プレ教育	
14.	処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。(技能)		(	
15.	処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。(技能)		実務実習プレ教育   実務系実習	
16.	調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。(技能)			
17.	処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。(態度)		実務実習プレ教育	
第(8)	疑義照会			
《疑義』	《疑義照会の意義と根拠》			
1.	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。	実務実習プレ教育		
			宝努宇河 "一" "	
3.	特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。(技能)		`	
4.	不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。	実務実習プレ教育		
《疑義!	《疑義照会入門》			
5.	処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。(態度)		実務実習プレ教育	
.9	代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。			
7.	代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。	   宝怒宝羽		
8.	代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。	大分大国ノア炎目		
.6	疑義照会の流れを説明できる。			
10.	疑義照会をシミュレートする。(技能・態度)		実務実習プレ教育	
(4)	医薬品の管理と供給			
《医薬品	《医薬品の安定性に注目する》			
1.	医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	一是		
2.	代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。	7		
《特別》	《特別な配慮を要する医薬品》			
3.	毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。			
4.	麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。			
5.	血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。	1		
.9	輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。	天幼天日ノア牧日		
7.	代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。			
8.	生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。			
9.	麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)		実務実習プレ教育	
10.	代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。	l î		
11	お野性医薬品の管理と問題に(投薬・廃棄など)にしいて説明たまる.	未労米国ノア牧目		

1.2 解析的 (2000年度、 記憶性を使んで (2000年度 ) (2000年度	《製剤	《製剤化の基礎》			
78章、調整上の手標を、品質を理ると「こついて説明できる。 779金が高型を表が、このではこうと、「知識、主題。	12.	調製上の手続き、品質管理などについて説明できる	安操 二十四年 经中		
実施発電子	13.		天伤天白ノレ殺月		
(	14.			実務実習プレ教育	
(	15.	原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。		実務実習プレ教育	
(金数が記記を化を列撃し、その原因を説明できる。 (金数化を検出を表現と表現とを表現と表現と表現とを表現ときる。(技能) (第2を管子業剤の種類と語のを説明できる。 (技能) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	16.	%		実務系実習	
	《注射	削と輸液》			
16変化を検出できる。(技能)  (RAS RE NEW 集集制の標準と適応を説明できる。 (RAS RE NEW A PRESENT RESPONDENCE A PRESENT RESPONDENCE RESPONDENC	17.	その原因を説明できる			
	18.				
(の通不足を判断して補正できる。(技能)         実務実置了           (の通不足を判断して補正できる。(技能)         実務実置了し教育           (第本の用途、使用濃度を説明できる。         実務実置プレ教育           (2/メント         (1990年度を設明できる。           (2/メント         (1990年度を表現する。           (2/メント         (1990年度を表現して表現の表別をできる。           (2/メント         (1990年度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度	19.	代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。		実務実習プレ教育 機能性食品学 臨床栄養学	
持業の用途、使用濃度を設明できる。	20.			実務実習プレ教育	
(海菜の用途、使用濃度を説明できる。	《消毒	<b>薬》</b>			
(2) カント         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本のメニリンが1         本の原因を認明できる。         実務実習ブレ教育         本の原因を認明できる。         実務実習ブレ教育         本の原因を認明できる。         本の原因を認明できる。         本の原因を認明できる。         本の原因を認明できる。         本のを定じていて説明できる。         本のを定じていて説明できる。         本のを定じていて説明を記述する。(態度)         本のを定じていて記述する。(態度)         本のを定じていて記述する。(態度)         本のを定じていて記述する。(態度)         本のを定じていて記述する。(態度)         本のを定じていて記述するを定じていて記述する。(態度)         本のを定じていて記述すべき生活指導項目を列挙できる。         本のを定じていて記述すべき生活指導項目を列挙できる。         本のを定じていて記述すべき生活指導項目を列挙できる。         本のを定じていて記述すべき生活指導項目を列挙できる。         本のを定じていた記述を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)         本のを定じていた記述を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)         本のに、記憶しないればならない注意点を列挙できる。         本のに、記憶しないは定点を可が挙できる。         本のに、記憶しないればならないは定点を可が挙できる。         本のに、記憶しないればならないは定点を可が挙できる。         本のに、記憶しないればならないは定点を可が率できる。         本のに、記憶しないればならないは定点を可が率できる。         本のに、記憶しないればならないは定点を可が率できる。         本のに、記憶しないは定点を可が率にある。         本のに、記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記	21.	使用濃度を説明できる	ľ		
ありまたトラー         ありまたとしていますが重要値を到達し、その原因を説明できる。         実務業習つし教育           「中では足力やすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。         実務業習つし教育           「中では足力やすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。         実務業習つし教育           「中では発表の単々できる。         実務業習つし教育           おりし頭別作用の効態症状と検査所見を具体的に説明できる。         実務業習つし教育           (中では関係を提案する。(態度)         実務業習つし教育           (本) 「カトス 「 コンセント、中秘義務などについて具体的に説明できる。         実務業習つし教育           (本) 「コンセント、中秘義務などについて具体的に説明できる。         実務業習つし教育           (本) 「当のな手順を経て服薬指導する。(機度)         実務業習つし、実施業習のな事にを含。           (支援、適度)         実務業習つし、実施を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)         実務業習つい、主題点を利率できる。           (政度)         実務業習つし、配しない注意点を列率できる。         実務業習つし、新年、主題のなりに、主意点を列率できる。	22.	消毒薬調製時の注意点を説明できる。	`		
5分       (の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。       実務実習フレ教育         (やすい投薬例を列挙できる。)       実務実習フレ教育         (本すい規薬例を列挙できる。)       実務実習フレ教育         (本すい規測例を列挙できる。)       実務実習フレ教育         (本すい期例のを列挙できる。)       実務実習フレ教育         (本すい期例を列挙できる。)       実務実習フレ教育         (本すい期例を列撃できる。)       (態度)       実務実習フレ教育         者情報 (報報)       実務実習フレント、守秘義務などについて具体的に説明できる。       実務実習フレ教育         本品の服薬指導する。(態度)       実務実習フレ教育       実務実習フレ教育         本上ド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務実習フレ教育       実務実習フレ教育         会選び、適切な手順を経て服薬指導する。(知識・態度)       実務実習フレ教育       実務実習フレ教育         安まび、適加な手頭を対すの多のい注意点を列挙できる。       (知識・態度)       実務実習フレ教育       実務実習フレ教育         職人、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       (知識・配慮しなければならない注意点を列挙できる。       実施に応しなければならない注意点を列挙できる。       実施に応しなければならない注意点を列挙できる。       実施に応しなければないない注意点を列挙できる。       実施に応しなければないない注意点を列挙できる。       実施を持つればれるいな言言の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表					
	《安全	<b>管理に注目する》</b>			
	1.	、その原因を説明できる			
に注目する)       に注目する)       実務実習 フレ教育         でネージメント入門》       業務業別し、額度)       実務実習 フレ教育         本ージメント入門》       単分を旦避するための具体策を提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法によいて提案する。(態度)       実務実習了し教育       実務実習了し教育         (表数的な産業品の服業指導する。(態度)       インフェームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務表習のな言葉を選び、適切な手順を経て服業指導する。(様能・態度)       実務表書習のな言葉を選び、適切な手順を経て服業指導する。(様能・態度)       実務表書習のな言葉を選び、適切な手順を経て服業指導する。(様能・態度)       実務表書のな言葉を選び、適切な手順を経て服業指導する。(技能・態度)       実務表書のな言語に示文、推抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       実務表書のな言語に示文、推抗感を持つ理しなはればならない注意点を列拳できる。       無名接題に際し、配慮しなければならない注意点を列拳できる。       無名接題に際し、配慮しなければならない注意点を列拳できる。       実施、企業の表表を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	2.		実務実習プレ教育		
(大き日する)       (大き日する)       実務実習ブレ教育         マネージメント入門》       東外東習ブレ教育       実務実習ブレ教育         東本が応起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について建株的に説明できる。       実務実習ブレ教育を担いて主意する生活指導項目を列挙できる。       大会的な意味を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)       実務実習ブレ教育       実務実習ブレ教育       実務実習ブレ教育       実務実習ブレ教育       実務実習ブレ教育       事務表習ブレ教育         で素的できる。(知識・態度)       事務表別プレ教育       事務表別できる。       (知識・態度)       事務表別プレ教育	3.	9			
マネージメント入門》       実務実習ブレ教育         マネージメント入門》       京本ージメント入門》         東本ージメント入門》       無限力を生にやすい調制側を列挙できる。         事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       素格導工を整備報         第五の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などに可慮する。(態度)       大表的な条準において注意すべき生活指導項目を列挙できる。       大力オームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務実習了し教育         インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       本のないま態度)       実務実習了し教育         第名を提出で表、抵抗認を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       素務実習了し教育         最者接通に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       大力・ない注意になりい注意点を列挙できる。       大力・ない注意になければならない注意点を列挙できる。       大力・ない注意になりい注意点を列挙できる。       東路接近に、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       大力・ないま意になりればするない注意になりればならない注意にある。       大力・ないままれ認定しなければならない注意にある。       大力・ないままれ認定しなければならない注意にある。       大力・ないままれるない注意になる。       大力・ないままれるない注意になりがはまるる。       大力・ないまままれるない注意になりがはまる。       大力・ないまままれるない注意になる。       大力・ないままままれるないままれるないままれるないままれるないままます。       大力・ないままれるないままれるないままれるないまます。       大力・ないままれるないままれるないままれるないまます。       大力・ないままれるないますなどのよったまます。       大力・ないままれるないまする。       大力・ないますないままれるないますなどのよったます。       大力・ないますないますなどのよったますなどのよったますなどのよったますなどのよったますなど	《副作	用に注目する》			
マネージメント入門》         関リを生じやすい調剤例を引挙できる。       競りを生じやすい調剤例を引挙できる。         リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)       事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)         事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       集務実習了         環境の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。       実務実習づい教育         代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。       実務実習づい教育         インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務実習づい教育         適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(枝能・態度)       実務実習づい教育         産薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       実務実習づい教育         患者接過に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       実務実習ブレ教育	4.	9	プレ教		
競りを生じやすい調剤側を利挙できる。       総度)       実務実習了         リスクを回避するための具体策を提案する。(態度)       実務実習了         服業指導と患者情報	<b>ペリス</b>	マネージメ			
以文を回避するための具体策を提案する。(態度)       無数が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       無数が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)       実務実習了と表表的権力、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。       実務実習了し教育       実務実習了し教育       生務集団を設定を定しませる。(態度)       生務などに配慮する。(態度)       生務集団を発く服業指導する。(機能・態度)       実務実習了       大ンフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務実習了の教育を発く服業指導する。(技能・態度)       実務実習了の教育を発く現抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       実務実習了と表表を表示とい注意点を列挙できる。       実務実習了い教育       実務実習了し教育	5.	誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。			
事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)事故が起こった場合の対処方法について提案する。(態度)事務駐場に必要な技能と態度》実務実習づし教育実務実習づし教育患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。実務実習づし教育実務実習づし教育代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。実務実習づし教育実務実習づし教育インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習づし教育実務実習づし教育適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)実務実習づ実務実習づ医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)実務実習づし教育実務実習づし教育患者後週に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。実務実習づし教育実務実習づし教育	.9	を回避するための具体策を提案する。		実務実習プレ教育	
取業指導と患者情報服業指導と患者情報駐車に必要な技能と態度》生活主税会別会別患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。実務実習プレ教育実務実習プレ教育代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。生活指導項目を列挙できる。実務実習プレ教育実務実習プレ教育インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習プレ教育実務実習プレ教育実務実習プレ教育適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)実務実習ブ実務実習ブ医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)実務実習ブレ教育実務実習ブレ教育実務実習ブレ教育	7.	った場合の対処方法について提案する。			
技能と態度》大能と態度》実務実習プレ教育:薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。 :薬品の服薬指導しの注意点を列挙できる。 :基において注意すべき生活指導項目を列挙できる。 :上ド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習プレ教育 実務実習プタンセント、守秘義務などに配慮する。(能度)実務実習プタンを表別を表別を表別を表別を表別を表別をする。(知識・態度)実務実習プロ教育:を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(知識・態度) :安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度) :際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。実務実習プレ教育実務実習プレ教育		服薬指導と患者情報			
患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。実務実習プレ教育代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。実務実習プレ教育代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。実務実習了し教育インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習ブロカインフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)実務実習ブロカインス・抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。知識・態度)患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。実務実習ブロ教育	《服薬	指導に必要な技能と態度》			
代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。実務実習プレ教育代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。実務実習プレ教育インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習プロな言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)実務実習プロな言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(知識・態度)医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)実務実習プロ教育患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。実務実習プレ教育	۲.	自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる			
代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。実務実習プインフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)実務実習プ 実務実習 実務実習 実務実習 実務、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)実務実習 実務実習 実務実習 実務実習 ま務 表場に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)実務実習 実務実習 ま者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。	2.	<b>段薬指導上の注意点を列挙でき</b>	実務実習プレ教育		
インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。(態度)       実務実習力         適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)       実務実習力         医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       実務実習力         患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       実務実習力し教育	3.	を列挙でき			
適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度) 実務実習	4.	<b>ームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。</b>		実務実習プレ教育	
医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)       知識・態度)         患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。       実務実習プレ教育	5.	適切な手順を経て服薬指導する。		実務実習プレ教育 実務系実習	
. 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。	9.	<ul><li>安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。</li></ul>		実務実習プレ教育	
	7.	,	実務実習プレ教育		

《患者	《患者情報の重要性に注目する》			
8.	服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。			
.6	患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。(技能)	実務実習プレ教育	実務系実習	
10.	医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。			
《服薬	《服薬指導入門》			
11.	代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。(知識・技能)		一	
12.	共感的態度で患者インタビューを行う。(技能・態度)		大切天自ノレ秋月	
13.	患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)		実務実習プレ教育 実務系実習	
14.	代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。(技能)		実務実習プレ教育	
(1) ₹	事前学習のまとめ			
			実務実習プレ教育	

(基礎資料4) カリキュラムマップ



(基礎資料5-1)語学教育の要素 平成23、24年度 薬学科(3コース制)カリキュラム

田												
開講年生	-	-	1	-	1	2	2	3	4			
科目名	英語 I	英語工	英会話	ドイツ語	程国中	薬学英語入門 I	薬学英語入門工	薬学英語 I	薬学英語エ			

[注] 要素欄は左記の識別区分にそって作成してください。

読み	루붙	〉阊	4 異

(基礎資料5-2) 語学教育の要素 平成21、22年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

 対目名
 開講年生
 要素

 英語 I
 1
 事業

 英語 I
 1
 事業

 本学英語 入門 I
 2
 事業

 薬学英語 J
 3
 事業

 薬学英語 I
 3
 事業

 薬学英語 I
 4
 事業

[注] 要素欄は左記の識別区分にそって作成してください。

読み	루붙	〉阊	45

(基礎資料5-3) 語学教育の要素 平成19、20年度 薬学科(3学科制)カリキュラム

 科目名
 開講年生
 要素

 英会話
 1
 「イン語
 1

 ドイツ語
 1
 2

 東学英語入門
 2
 2

[注] 要素欄は左記の識別区分にそって作成してください。



(基礎資料6-1) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				<u> </u>	成23年6月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	30日						
-	火	3 1 日						
-	水	1日						
	木	2日						
	金	3日						
	±	4日						
第2週	月	6日						
	火	7日						
	水	8日						
	木	9日						
-	金	10日						
	土	11日						
第3週	月	13日						
-	火	14日						
•	水	15日						
•	木	16日						
-	金	17日						
•	土	18日						
第4週	月	20日						
	火	2 1 日						
	水	22日						
	木	23日						
	金	24日						
	±	25日						
第5週	月	27日	S604講義					
	火	28日						
	水	29日				S202講義	S107講義	S201講義
	木	30日						
	金							
	土							

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-2) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				3	平成23年7月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	27日						
	火	28日						
	水	29日						
	木	30日						
	金	1日						
	±	2日	S102講義	S201講義	\$203講義			
第2週	月	4 日						
	火	5日						
	水	6日				S204講義	\$204講義	\$205講義
	木	7日						
	金	8日						
	土	9日	S203講義	\$209講義	S301講義			
第3週	月	11日						
	火	12日						
•	水	13日				S203講義	\$205講義	\$303講義
	木	14日						
	金	15日						
	±	16日	S305講義	S305講義	S205講義			
第4週	月	18日						
•	火	19日						
•	水	20日						
•	木	2 1 日						
	金	22日						
	±	23日						
第5週	月	25日			振替(	木日 (7月18日)		
	火	26日						
	水	27日						
	木	28日						
	金	29日						
	土	30日						

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-3) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				<u>1</u> 7	成23年10月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	26日						
	火	27日						
	水	28日						
	木	29日						
	金	30日						
	±	1日						
第2週	月	3日						
	火	4日						
	水	5日						
	木	6日						
	金	7日						
	±	8日						
第3週	月	10日						
	火	11日						
	水	12日						
	木	13日						
	金	14日						
	±	15日						
第4週	月	17日						
	火	18日						
	水	19日						
	木	20日			創立	2者記念日		
	金	2 1 日						
	±	22日						
第5週	月	2 4 日			振替休日	日(10月10日)		
	火	25日						
	水	26日				S209講義	\$105講義	\$602講義
	木	27日						
	金	28日						
	土	29日	S404講義	S405講義	S407講義			

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-4) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				平成	₹23年11月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	3 1 日						
	火	1日						
	水	2日						
	木	3 日			Ż	て化の日		
	金	4日						
	±	5日						
第2週	月	7日						
	火	8日						
	水	9日						
	木	10日						
	金	11日						
	±	12日						
第3週	月	14日						
	火	15日						
	水	16日						
	木	17日						
	金	18日						
	Ŧ	19日						
第4週	月	2 1 日						
	火	22日						
	水	23日			勤労	対感謝の日		
	木	2 4 日						
	金	25日						
	土	26日						
第5週	月	28日						
	火	29日						
	水	30日				S102講義	S301講義	S403講義
	木	28日						
	金	1日						
	土	2日						

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-5) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				<u> </u>	成23年12月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	28日						
	火	29日						
	水	30日						
	木	1日						
	金	2日						
	土	3日	S601講義	\$605講義	\$101講義			
第2週	月	5日						
	火	6日						
	水	7日				S303講義	\$107講義	\$105講義
	木	8日						
	金	9日						
	土	10日	S207講義	\$207演習	\$207演習			
第3週	月	12日						
	火	13日						
•	水	14日				S107講義	\$408講義	\$602講義
	木	15日						
	金	16日						
	±	17日	S208講義	\$208演習	\$208演習			
第4週	月	19日						
•	火	20日				S501講義	\$502講義	\$402講義
•	水	2 1 日				S303講義	\$303講義	\$504講義
•	木	22日						
	金	23日						
	土	24日						
第5週	月	26日						
	火	27日						
	水	28日						
	木	29日		•	•		•	•
	金	30日	1			冬期休暇		
•	±	3 1 日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-6) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				平	成24年1月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	2日		•	•	<i>₽</i> ₩ /+ ™	•	
	火	3日				冬期休暇		
	水	4日						
	木	5日						
	金	6日						
	土	7日						
第2週	月	9日				成人の日		
	火	10日						
	水	11日				S409講義	\$605講義	S413講義
	木	12日						
	金	13日						
	土	14日	S206講義	S206演習	\$206演習			
第3週	月	16日						
	火	17日						
	水	18日						
	木	19日						
	金	20日						
	±	2 1 日						
第4週	月	23日						
	火	24日						
	水	25日						
	木	26日						
	金	27日						
	土	28日						
第5週	月	30日						
	火	3 1 日						
	水	1日						
	木	2日						
	金	3日						
	±	4日						

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-7) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール(3年次開講分)

				平	成24年2月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	30日						
	火	3 1 日						
	水	1日						
	木	2日						
	金	3日						
	±	4日						
第2週	月	6日						
	火	7日						
	水	8日				S503講義	\$104講義	S104講義
	木	9日						
	金	10日	S504講義	S401講義	S412講義			
	±	11日			· 建	国記念日	•	•
第3週	月	13日						
	火	14日						
	水	15日						
	木	16日						
	金	17日						
	±	18日						
第4週	月	20日						
	火	2 1 日						
	水	22日						
	木	23日						
	金	24日						
	土	25日						
第5週	月	27日						
	火	28日						
	水	29日						
	木	1日						
	金	2日						
	土	3日			薬剤	師国家試験		

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-8) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				:	平成 2 4 年 4 月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	2日						
	火	3日						
	水	4日						
	木	5日						
	金	6日						
	±	7日						
第2週	月	9日						
	火	10日						
	水	11日						
	木	12日						
	金	13日						
	土	14日	S103演習	\$103演習	\$103演習			
第3週	月	16日						
	火	17日						
	水	18日						
	木	19日						
	金	20日						
	±	2 1 日	S103演習	\$103演習	\$103演習			
第4週	月	23日						
	火	24日						
	水	25日						
	木	26日						
	金	27日						
	土	28日						
第5週	月	30日			振替休日	日(昭和の日)		
	火	1日						
	水	2日						
	木	3日		•	憲	法記念日		•
	金	4 日			み	どりの日		
	土	5日				子供の日		

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-9) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				3	平成24年5月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	30日						
	火	1日						
	水	2日						
	木	3日		•	5	憲法記念日	•	•
	金	4 日			ć	みどりの日		
	±	5日				子供の日		
第2週	月	7日						
	火	8日						
	水	9日						
	木	10日						
	金	11日						
	±	12日	S106演習	S106演習	S106演習			
第3週	月	14日						
	火	15日						
	水	16日						
	木	17日						
	金	18日						
	±	19日	\$106演習	S106演習	S106演習			
第4週	月	2 1 日	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習
	火	22日	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習
	水	23日	S210復習	S210復習	S210復習			
	木	2 4 日						
	金	25日						
	±	26日						
第5週	月	28日	S606演習	\$606演習	S606演習	S606演習	\$606演習	8606演習
	火	29日	S606演習	\$606演習	S606演習	S606演習	\$606演習	8606演習
	水	30日	S606復習	\$606復習	S606復習			
	木	3 1 日						
	金	1日						
	±	2日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-10) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				<u>11</u>	成24年6月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	28日						
	火	29日						
	水	30日						
	木	3 1 日						
	金	1日						
	±	2日						
第2週	月	4日	S306演習	S306演習	S306演習	S306演習	S306演習	S306演習
	火	5日	S306演習	S306演習	\$306演習	S306演習	S306演習	S306演習
	水	6日	S306復習	S306復習	S306復習			
	木	7日						
	金	8日						
	±	9日						
第3週	月	11日						
	火	12日						
	水	13日						
	木	14日						
	金	15日						
	±	16日						
第4週	月	18日	S411実習	S411実習	S411実習	S411実習	\$411実習	S411実習
	火	19日	S411実習	S411実習	S411実習	S411実習	S411実習	S411実習
	水	20日	S411復習	S411復習	S411復習			
	木	2 1 日						
	金	22日						
	±	23日						
第5週	月	25日	S210実習	S210実習	S210実習	\$210実習	S210実習	S210実習
	火	26日	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習	S210実習
	水	27日	S210復習	S210復習	S210復習			
	木	28日						
	金	29日						
	±	30日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-11) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				平月	或24年7月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	2日	S211演習	S211演習	S211演習	S211演習	S211演習	S211演習
	火	3日	S302実習	S302実習	S411実習	S302実習	S302実習	S302実習
	水	4日						
	木	5日						
	金	6日						
	±	7日						
第2週	月	9日	S412実習	S412実習	S412実習	S412実習	S412実習	S412実習
	火	10日	S413実習	S413実習	S413実習	S413実習	S413実習	\$413実習
	水	11日						
	木	12日						
	金	13日						
	±	14日						
第3週	月	16日						
	火	17日						
	水	18日						
	木	19日						
	金	20日						
	土	2 1 日						
第4週	月	23日						
	火	24日			振替休Ⅰ	日(7月16日)		
	水	25日						
	木	26日						
	金	27日						
	±	28日						
第5週	月	30日						
	火	3 1 日						
	水	1日						
	木	2日						
	金	3日						
	土	4 日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-12) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				平月	成24年9月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	27日						
	火	28日						
	水	29日						
	木	30日						
	金	3 1 日						
	±	1日						
第2週	月	3日						
	火	4日						
	水	5日						
	木	6日						
	金	7日						
	±	8日						
第3週	月	10日	S406実習	\$406実習	\$406実習\$504講義	S406実習S504講義	S406実習	\$406実習
	火	11日	S410実習	S410実習	S410実習S414講義	S410実習S414講義	S410実習	S410実習
	水	12日	S505演習	S505演習	\$505演習	S505演習	S505演習	\$505演習
	木	13日						
	金	14日						
	土	15日						
第4週	月	17日				女老の日		
	火	18日						
	水	19日						
	木	20日						
	金	2 1 日						
	土	22日				火分の日		
第5週	月	24日	S506演習	S506演習	8506演習	S506演習	S506演習	8506演習
	火	25日	S507演習	S507演習	S507演習	S507演習	S507演習	S507演習
	水	26日	S603演習	8603演習	8603演習	8603演習	S603演習	8603演習
	木	27日						
	金	28日						
	土	29日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-13) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				<b>平</b> .	成24年10月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	1日	S401講義	S402講義	S414講義			
	火	2日				S403講義	\$404講義	S405講義
	水	3日				S407講義	\$408講義	\$501講義
	木	4日	S304演習	S304演習	S304演習	S304演習	S304演習	S304演習
	金	5日						
	土	6日						
第2週	月	8日	S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習
	火	9日	S701総合実習	S701総合実習	\$701総合実習	S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習
	水	10日						
	木	11日						
	金	12日				S701総合実習	S701総合実習	S701総合実習
	土	13日						
第3週	月	15日						
	火	16日						
	水	17日						
	木	18日						
	金	19日						
	土	20日			創3	立者記念日		
第4週	月	22日			振替休日(	学園祭:10月21日)		
	火	23日						
	水	24日						
	木	25日						
	金	26日						
	土	27日						
第5週	月	29日						
	火	30日						
	水	3 1 日						
	木	1日						
	金	2日						
	土	3日						

- [注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。
  - 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
  - 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

(基礎資料6-14) 4年次の実務実習事前学習「実務実習プレ教育」のスケジュール

				平	成25年2月			
(週)	(曜日)	(日)	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
第1週	月	28日						
	火	29日						
	水	30日						
	木	3 1 日						
	金	1日						
	±	2 日						
第2週	月	4 日						
	火	5日				S101講義・演習	S101講義・演習	S101講義・演習
	水	6日				S701演習	S701演習	\$701演習
	木	7日				S102復習	S102復習	S102復習
	金	8日				\$503実習	S503実習	\$503実習
	土	9日						
第3週	月	11日				国記念日		
	火	12日						
	水	13日						
	木	14日						
	金	15日						
	±	16日						
第4週	月	18日						
	火	19日						
	水	20日						
	木	2 1 日						
	金	22日						
	土	23日						
第5週	月	25日						
	火	26日						
	水	27日						
	木	28日						
	金	1日						
	土	2日						

<sup>[</sup>注] 1 4年次の実務実習事前学習のカリキュラムを例示に従い、実務実習モデル・コアカリキュラムの「学習方略」で用いられているLS番号(主となる)と学習方法を記入してください。表は月ごとに作成し、シートが足りない場合はシートのコピーで適宜追加し、作成してください。

- 2 大学行事、祭日等は、簡潔に記入してください。(例示:学祭、OSCE、予備日、祝日)
- 3 上記1の内容が記載されていれば、大学独自の様式の表を提出することができます。

	学科名	入試の種類		平成20年度入試 (19年度実施)	平成21年度入試 (20年度実施)	平成22年度入試 (21年度実施)	平成23年度入試 (22年度実施)	平成24年度入試 (23年度実施)	平成25年度入試 (24年度実施)	入学定員に対 する入学者数 の比率(6年間の平均)
			受験者数				147	231	375	
			合格者数				136	205	319	]
		一般入試	入学者数(A)				39	72	135	]
			募集定員数(B)				45	45	75	
			A/B*100 (%)				86. 7%	160. 0%	180. 0%	
			受験者数				167	232	311	
			合格者数				127	167	182	
		大学入試 センター入試	入学者数(A)				13	23	31	
		, ,,,,,,	募集定員数(B)				15	15	15	
			A/B*100 (%)				86. 7%	153. 3%	206. 7%	
			受験者数				27	19	42	
			合格者数				27	17	35	
		AO入試	入学者数(A)				23	16	32	
			募集定員数(B)				40	40	25	
			A/B*100 (%)				57. 5%	40. 0%	128. 0%	
薬	薬		受験者数				50	52	54	]
			合格者数				50	52	54	
学	学	指定校推薦	入学者数(A)				49	52	51	
			募集定員数(B)				70	70	50	
部	科		A/B*100 (%)				70. 0%	74. 3%	102. 0%	99. 7%
			受験者数				14	5	14	99. 7%
			合格者数				14	5	14	
		公募推薦入試	入学者数(A)				6	4	5	
			募集定員数(B)				20	20	10	
			A/B*100 (%)				30. 0%	20. 0%	50.0%	
			受験者数				_	0	0	
			合格者数				_	0	0	
		社会人入試 帰国子女	入学者数(A)				-	0	0	
			募集定員数(B)				_	若干名	若干名	
			A/B*100 (%)				_	_	_	
			受験者数				172	210	260	
		特待生	合格者数				172	210	239	
		スカラシップ	入学者数(A)				73	78	76	
		入試	募集定員数(B)				70	70	85	
			A/B*100 (%)				104. 3%	111. 4%	89. 4%	
			受験者数				577	749	1, 056	
			合格者数				526	656	843	
	学	科計	入学者数(A)				203	245	330	
			募集定員数(B)				260	260	260	
			A/B*100 (%)				78. 1%	94. 2%	126. 9%	

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
  - 2 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。 なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
  - 3 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
  - 4 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
  - 5 各入学(募集)定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
  - 6 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
  - 7 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)〇年次に・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は△△△名」と 注を記入してください。

## (基礎資料7-2) 学生受入状況について

健:健康薬学科 漢:漢方薬学科 医:医療薬学科

	入試の種類			20年度. 9年度実			21年度. )年度実			₹22年度. 1年度実		入学定員に対する入学者数の比
			健	漢	医	健	漢	医	健	漢	医	率(6年間の平 均)
		受験者数	312	331	335	216	208	238	17	24	122	
		合格者数	30	96	238	28	26	190	17	22	120	
	一般入試	入学者数(A)	12	45	89	14	16	74	9	5	44	
		募集定員数(B)	15	25	25	37	54	54	25	30	30	
		A/B*100 (%)	80.0%	180.0%	356. 0%	37. 8%	29. 6%	137. 0%	36.0%	16. 7%	146. 7%	
		受験者数	11	33	115	15	28	159	21	24	125	
	. w = - s	合格者数	13	28	78	23	23	98	19	23	100	
	大学入試セン ター入試	入学者数(A)	0	1	17	5	4	21	5	6	15	
		募集定員数(B)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		A/B*100 (%)	0.0%	20.0%	340. 0%	100.0%	80.0%	420.0%	100.0%	120. 0%	300.0%	
		受験者数	16	40	28	19	16	29	8	10	15	
		合格者数	15	40	29	18	16	29	8	10	15	
	AO入試	入学者数(A)	11	18	17	17	15	23	7	8	15	
薬		募集定員数(B)	20	30	30	20	30	30	16	22	22	
学		A/B*100 (%)	55.0%	60.0%	56. 7%	85. 0%	50.0%	76. 7%	43. 8%	36. 4%	68. 2%	
<del>-</del>		受験者数	3	23	30	15	23	36	18	17	44	
部		合格者数	3	23	29	15	23	36	18	17	44	
П	指定校推薦	入学者数(A)	2	11	22	15	23	36	17	17	43	
		募集定員数(B)	10	15	15	10	15	15	20	30	30	
		A/B*100 (%)	20.0%	73. 3%	146. 7%	150.0%	153. 3%	240.0%	85.0%	56. 7%	143. 3%	oo 00/
		受験者数	9	10	10	14	15	17	1	1	9	83. 2%
		合格者数	1	1	9	2	4	12	1	1	9	
	公募推薦入試	入学者数(A)	0	0	5	1	2	4	1	1	7	
		募集定員数(B)	30	45	45	8	16	16	4	8	8	
		A/B*100 (%)	0.0%	0.0%	11. 1%	12. 5%	12. 5%	25. 0%	25. 0%	12. 5%	87. 5%	
		受験者数	ı	ı	ı	ı	ı	-	6	14	43	
		合格者数	-	-	-	-	-	_	6	14	43	
	特待生入試	入学者数(A)	1	ı	_	ı	ı	-	3	6	14	
		募集定員数(B)	-	-	-	_	-	_	10	25	25	
		A/B*100 (%)	_	_	-	-	-	-	30.0%	24. 0%	56.0%	
		受験者数	351	437	518	279	290	479	71	90	358	
		合格者数	62	188	383	86	92	365	69	87	331	
学	科 計	入学者数(A)	25	75	150	52	60	158	42	43	138	
		募集定員数(B)	80	120	120	80	120	120	80	120	120	
		A/B*100 (%)	31.3%	62. 5%	125. 0%	65. 0%	50.0%	131. 7%	52. 5%	35. 8%	115. 0%	
		受験者数		1, 306			1, 048			519		
		合格者数		633			543			487		
学	部計	入学者数(A)		250			270			223		
		募集定員数(B)		320			320			320		
		A/B*100 (%)		78. 1%			84. 4%			69. 7%		

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
  - 2 実施している全種類の入試が網羅されるように「入試の種類」の名称を記入し、適宜欄を設けて記入してください。 なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
  - 3 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
  - 4 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
  - 5 各入学(募集)定員が若干名の場合は「若干名」と記入してください。
  - 6 6年制が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて記入してください。
  - 7 薬科学科との一括入試の場合は、欄外に「(備考)〇年次に・・・・を基に学科を決定する。なお、薬学科の定員は $\triangle \triangle \triangle$ 名」と注を記入してください。

(基礎資料8)教員・事務職員数

①設置基準において、必要な教員数	73 名
②設置基準において、必要な実務家教員数	10 名

				平成24年度		
(教員の部)	教授	准教授	增民講師	外	助手	備考
教養教育	0	2	11	0	0	13
語学教育	0	0	0	0	0	0
薬学基礎教育	66	13	y	c	1	L.
専門薬学教育	35	<u>2</u>	Þ	7	_	G G
実務実習教育	9	0	7	0	2	12
4小	38	15	17	ε	3	08
專任教員数		7	77			
(事務職員の部)	局長	部長	<b></b>	事務員	その他の職種	備考
大学業務関連			4(3)	31 (23)		35 (25)
法人業務関連	1 (1)		3 (3)	4 (3)		計 8 (7)
小計	1(1)		(9) L	35 (26)		( ) 嘱託数
事務職員数		43	43 (33)			

1 「①設置基準において、必要な教員数」には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入 してください。

主に担当する科目(業務)で算出し、重複しないように注意してください。

Ø

3 該当する場合は、( )内に見なし教員または特任等の数を記入し、「備考」欄にその内訳を記入してください。(例示:6(2)=6名のうち2名が特任)

4 該当する場合は、( )内に臨時・嘱託事務職員数を記入してください。 (例示:3(1)=3名のうち1名 が嘱託事務職員)

5 「その他の職種」の欄に記入した数については、「備考」にその職種名を記入してください。

6 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

(基礎資料9) 専任教員年齢構成

職位	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	+=
5. 光	0	26(1)	9 (1)	2	1	0	38 (2)
		(89)	(24)	(2)	(3)		100%
化粉柜	0	0	8 (2)	7	0	0	15(2)
<b>准</b> 教技			(23)	(47)			100%
市等工事	0	11	1	4	5(2)	0	21 (2)
4.江湖		(25)	(2)	(19)	(24)		100%
垛扣	0	0	0	0	3	0	3
<b>以</b>					(100)		100%
†≑∀	0	37 (1)	18 (3)	13	9 (2)	0	(1)(1)
		(48)	(23)	(11)	(12)		100%
定年年齡	教授 准教授以下	65歳 60歳					

[注] 1 上段には人数、下段には%を記入してください。

2 ( )に女性の数を記入してください。(例示:2(1)=2名のうち1名が女性)

3 「定年年齡」には、規定された定年退職年齡を記入してください。

(基礎資料10)専任教員の担当授業科目および時間数

										授業科目	# ====================================							H	
			ふりがな				田野寺万千日				١,	年调授業時間数	井間券	7			— 件 表		女沙麻巧700
所属学科	所属講座等	類	1	世別	年幣	就職年月日		科目名	講義	糀	t	演習	Ĭ		黑腦	総計	4 444		数が上げる。 学位称号
			大 各						前期	期	通年		後期〕	通年前	前期後期	+	間数	X.	
			そのつろ のえ					基幹実習(医療薬学)							8.0	0	8.0		
								早期体験学習	90.0							0.06	90		
+								薬学総合演習 I A				0.13				0.13	3	\ K	5大学
米P本 (維持25.4)	生命医療薬	花		H	Ö	2000年4日1日	ののの年1日1	薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12			薬学研究科
			土肥 敏博	ĸ		7009年4月1日		薬物治療学皿B		2							2.2		上課程 修了
Ì								薬理系実習							0	0.64 0.64	4:		5. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
								臨床医学概論	1								-		
								土肥敏博 集計	1.06	2	0.12	0.13			0.8	0.64 4.75	,2		
			あきた ひろゆき					実務実習プレ教育						0.12		0.12	2		
								薬学総合演習 I A				0.13				0.13	ဗ		
								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	2		
								薬学総合演習エ			0.12					0.12	2	九	N 小 小
薬学科(兼	薬品創製化	花		H	0	2010年1日1日	2010年4日1日	薬学総合実習(PBL)							ט	0.29 0.29			薬学研究科
		X X	秋田 弘幸	R		I - C++0107	T++0107	有機薬化学 I A	2								2.+		上課程 修了
								有機薬化学 I B		2							2	<b>账</b>	上   上
								有機薬化学IA	2								2		
								有機薬化学IB		2							2		
								秋田弘幸 集計	4	4	0.12	0.13	0.12	0.12	0	0.29 8.78	8,		
			いまむら よりしげ					実務実習プレ教育						0.12		0.12	2		
								生物薬剤学 I		2							2		
								生物薬剤学エ	1								-		3
#/至近								薬学演習皿A				0.23				0.23	23	九蓝州台	九三人孙斯亚的名
米十年(米 英姓[孙宪])	薬剤学分野	教授	はない。	黑	89	2010年4月1日	2010年4月1日	薬学総合演習 I A				0.13				0.13	3 2.01		F如光件 F望程 修了
\+;\ <del>\</del>			レー・一点ス					薬学総合演習 I B					0.12			0.12	2	● 操	ライボ マン 薬学体 サイド マンド はん はん はん はん はん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん
								薬学総合演習エ			0.12					0.12	2		
								薬学総合実習(PBL)							0	0.29 0.29	6		
								今村順茂 集計	1	2	0.12	0.36	0.12	0.12	0	0.29 4.01	11		
			やこう しげる					<b>エサズニケーェコ</b>		0.5						0	0.5		
								実務系実習							0	0.27 0.27	7.		
								実務実習プレ教育						0.12		0.12	2		
薬学科(兼	臨床薬学教	花		H	0	2010年1日1日	2010年1日1日	実務実習ポスト教育							0.11	0.11	-		星薬科大学 卒業
薬科学科)		次文	谷古宇 秀	R		T - 大 + 十 O I O 7	1 H + + O 1 O 7	早期体験学習	90.0							90'0			芦博士
								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	2		
								薬学総合実習(PBL)							ט	0.29 0.29	6		
					7			삼古宇秀 集計	0.00	0.5			0.12	0.12	0.11 0	0.56 1.47	1.7		

			+37								授業科目	思想						7 8			
	# # 		かんがぐ		<u> </u>			現職就任年月				伸	<b>毎週授業時間数</b>	時間数	Ϋ́			4 西村 古 田 田 田 田 田 田		歴及び	
		横 化	A Ø	(王別	5 <u>1</u> 年	死職牛万日  			科目名	講義	鱡		演習		241	実習	総計	1		学位称号	
			면 소							前期	後期	通年	前期	後期〕	通年 自	前期 後期	Э	目数			
			きただい す	すすむ					医療薬事関連法		1.5						1.5	10			
									実務実習プレ教育						0.12		0.12	~			
1	# # #								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	<u>ا د</u>			
楽予な(帯無性を)を	臨不業予数かれ、	教授	まるは	用	1 67		月1日 2	2006年4月1日 2006年4月1日	薬学総合演習工			0.12					0.12	2 2.93	3 九州大学	·学 卒業	
÷	M   M   M   M   M   M   M   M   M   M		1						薬事関係法規 I	2								2			
									薬事関係法規工		2						.,	2			
									喜多代晋 集計	2	3.5	0.12		0.12	0.12		5.86	10			
			みさわみ	みわ						-						-		L			
									早期体験学習	90.0							0.00	10			
									薬学総合演習 I A				0.13				0.13	~		;	
	4 所 所								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	<u>د</u>	東京 (1)	₩.	
米子女(米茶头多)	和 即 引 引	教授	則 I	町	19		月1日 2	2011年4月1日 2011年4月1日	薬学総合演習工			0.12					0.12	2 2.86		光杯 極了	
	+ ====================================		世 半日						薬学総合実習(PBL)							0	0.29 0.29	<u> </u>	かい 世典 世盤 単数 上型 単数 計画 対域 中華 対域	۸.	
									薬理学皿A		2						3	2	:		
									薬理学皿B	2							2	-			
									三澤美和 集計	3.06	2	0.12	0.13	0.12		0.	0.29 5.72	2			
			きむら まさ	# ተ ተ ተ ተ ተ ተ ተ ተ	_				绁	0.5						-	0.5	10	:		
#	# # #								創薬化学	2							-	2	北海海大学		
米子女(米茶生)	臨不 楽 予 数 加 4 、 4 )	教授	‡ +	町	99 1	2004年4月1日		2004年4月1日	薬学総合演習工			0.12					0.12	2 2.31		光本語 依了	
÷	۳ ۲		# ∃ ₹	Jı					薬品製造化学		2						3	2	地上地		
									木村正幸 集計	2.5	2	0.12					4.62	~	:		
			あきやま ゆきお	유 유					医薬品開発論	1								L			
									早期体験学習	90.0							0.00	16			
									微生物薬品学		2						2	2	東京大	孙	
	生命分子薬								薬学総合演習 I A				0.13				0.13			in in in in in in in in in in in in in i	
薬科学科)	<b>学</b> 分野	校	秋山 由紀雄	型型	8	7000年4月1日		7000年4月1日	薬学総合演習 I B					0.12			0.12	00.	0 修士課程 (	程 修了	
									薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	~	瀬 神 神 神	<del>  </del>	
									薬学総合実習(PBL)							0	0.29 0.29	6			
									秋山由紀雄 集計	1.06	2	0.12	0.13	0.12		0	0.29 3.72	2			

			1+3+ 1-1							授業科目	<u> </u>						左間式		
吊手	吊军業成年	車	4711.676	ž E	竹	中国人工口	現職款				毎週	<b>每週授業時間数</b>	寺間数				4 と と は は は は に は に は に は に は に は に は に は	最終学歴及び	
万禹十年	加馬哥姓中		A V	lt lt lt lt lt lt lt lt lt lt lt lt lt l	量	必要件プロ		科目名	講義	<b>排</b> 兆	於	演習		<b>₩</b>	実習	総計	板業時 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #		
			₽ 2						前期	後期	通年前	前期	後期通	通年 前期	期 後期		目数		
			なかむら かずお					POS実践論	1							1			
								医薬品情報学		1.5	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$		1.5			
								実務実習プレ教育					_	0.12		0.12			
								処方解析学 I		2						2			
# 7 1								処方解析学工	2							2		熊本大学	
米子女(帯法を)を	薬剤学分野	教授	‡	眠	65	2006年4月1日	目 2006年4月1日	薬学演習皿B				Ĕ	0.27			0.27	4.03	         	卒業
オナナボ			14年					薬学総合演習 I A				0.13	_	_		0.13	·	医学博士	
								薬学総合演習 I B				ľ	0.12	_		0.12			
								薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	·		
								薬剤系実習							0.8	0.8			
								中村和男 集計	3	3.5	0.12	0.13	0.39	0.12	8.0	8.06			
			てい むねてつ					漢方鍼灸治療		-						1		構浜市ウ大学	
	漢方薬学分			H		7005年1日41	2005年4日1	統合医療 I	1							1	-	_	
薬科学科)	插	效	一宗鐵	ĸ	CO	2005年4月1日	2005年4月1日	統合医療工	-	-				_		-	00:1	博士課程 修	<u> </u>
								丁宗鐵集計	2	-				-	_	3	-	医学博士	
			キナおい しげんき		l			衛牛系軍翌Ⅱ			l		l	-	0.64	4 0.64			
								五十六人口 中語 新格件形 1	٠	$\dagger$	t	$\dagger$	+	+	3				
								及玩用十十 1 面拉伸 上半 1	7	†	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	+	+	7			
									1	-			+	1	1				
								実務実習プレ教育					$\dashv$	0.12	_	0.12		3[ - - - -	
	年十十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十							薬学演習皿A				0.23				0.23		九二人子	
米十年(米	解尿汗巴尔斯尔克	教授	十十 飯井	眠	65	2006年4月1日	目 2006年4月1日	薬学演習皿B				)	0.27			0.27	3.32		<u> </u>
	ਜੋ ?  -							薬学総合演習 I A				0.13				0.13		がは、世界は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学	•
								薬学総合演習 I B				_	0.12			0.12		  -  -  -	
								薬学総合演習エ			0.12					0.12			
								薬物代謝安全性学	2							2			
								北村繁幸 集計	4	1	0.12	0.36	0.39 C	0.12	0.64	4 6.63			
			あおき きみこ					医薬品の適正使用 I		1.5				H		1.5		- H	
	1 1 1 1							鑑識化学	1							1	-	東京教育大字田光報	
承渉 ロン	不満にントずまま	教授	+	¥	65	2007年4月1日	目 2007年4月1日	薬物動態学	2							2	2.75	推了部 核十二二位 核7	_
	ナーナ・米く 		<b>├</b> ☆ <b>←</b> ■					薬物動態学工	-							1			
								青木公子 集計	4	1.5			_	_		5.5	·	<b>!</b> ₹	
			わたなべ やすお		l			薬学総合演習 I A		l		0.13	I	-	-	0.13			
								薬学総合演習 I B					0.12	_		0.12		作 十 日 十	
	生命医療薬			H		- H	- <del>-</del>	薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12		ポニハ 薬学研究科	
薬科学科)	学分野	数位	渡邉 泰雄	ıК	C0	2005年4月1日	日   2005年4月   日	薬理学 I	2				_	_		2	<u>.</u>		<u></u>
								薬理系実習							0.64	4 0.64	·	医学博士	
								渡邉泰雄 集計	2		0.12	0.13	0.12		0.64	4 3.01			

			77.87.13							授業科目	四極						1		
			かんかん				田野が九年日				伸,	年调授業時間数	牛間教				4 三 子 三 子		7.47
所属学科	所属講座等	類の	1	世祖	年幣	就職年月日	光境松江中	村村日名	講義	瓣	Ì	海部が	<u> </u>		実習	総計	以 京 宗 東 明 明 明	国际・おいて、日本のおり、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	5 X
			兄						前期	後期	通年	前期	後期通	年	前期 後期		間数		
			<u> </u>					化学·物理系実習 I							8.0	0.8			
								薬学演習IA				0.56				0.56			
								薬学総合演習 I A				0.13				0.13		東北大学	
	漢方薬学分			H		1 1 1 1 1 1 1 1	4年4月4日	, 薬学総合演習IB					0.12			0.12			本
薬科学科)	野	炎技	伏谷 眞二	ĸ	04	2004年4月1日	日   2004年4月   日	薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	70.7	博士課程 修	一参
								薬用植物学	2							2			
								薬用植物学		1.5						1.5			
								(代谷眞二 集計	2	1.5	0.12	69.0	0.12		8.0	5.23			
			イコギ こギらゆ					イントロダクション		7						2			
								基幹実習(医療薬学)							8.0	0.8			
	4 4							実務実習プレ教育						0.12		0.12		京都府立	医科大学
米子女(米茶生)	4 記 所 蒸 米 点 引 引 引 引 引 引 引 引 引	教授		黑	64	2006年4月11	2006年4月1日 2006年4月1日	I 薬学総合演習 I B					0.12			0.12	2.58	博士課程	一一
	Ħ 		수 가수 가 그					薬学総合演習工			0.12					0.12		医学博士	
								薬物治療学IA	2							2	-		
								村松信 集計	2	2	0.12		0.12	0.12	0.8	5.16			
			<i>ያወቂ</i>					実務系実習							0.27	7 0.27			
								実務実習プレ教育						0.12		0.12			
								実務実習ポスト教育						3	0.11	0.11			
薬学科(兼	臨床薬学教			H	7	010年1日1日	9010年4日1日 8010年4日1日	, 早期体験学習	90.0							0.06	0	昭和薬科大学	大学 卒
	育センター	数数	稲瀬 寛	R		11 5 4 4 0 102		華学総合演習IB					0.12			0.12		<u></u>	
								薬学総合演習エ			0.12					0.12			
								薬学総合実習(PBL)							0.29	9 0.29			
								稲瀬實 集計	90.0		0.12		0.12	0.12 0	0.11 0.56				
			つおんき こみん					スポーツ薬学	1							1			
								医薬品の化学 I		1.5						1.5		京都大学	
薬学科(兼	薬品創製化	牧村		Ш	63	2006年4日15	2006年4月1日 2006年4月1日		1.5							1.5	o c	薬学研究科	本
	学分野		金子 喜三好			7 - C + + 0007		実務実習プレ教育						0.12		0.12		博士課程	一一
								早期体験学習	0.00							0.06		※ 子博士	
								金子喜三好 集計	2.56	1.5				0.12		4.18			

			1447 11 11							授業科目	# ====================================						7 H	
14 14 14	计层单位体	車	かんりかん	<u> </u>	<b>↑</b>	日本	現職就任年月				毎汎	<b>毎週授業時間数</b>	扌間数				4 型 三 伸 計 河	最終学歴及び
万禹十年	四周再用中	姜 九	A Ø	刊 刊	11年	<b>党最中方口</b>		科目名	講義	鱡	, r.c	演習		実習	恕	総計	授業時間	学位称号
			ス 쇼						前期	後期	通年前	前期 後	後期通	年 前期	朝 後期		回数	
			ながおか まさお	稅				基礎薬学実習							0.64	1 0.64		
								機器分析学 I	2							2		
		_						機器分析学工		2						2		
								実務実習プレ教育					)	0.12		0.12		東北薬科大学
薬学科(兼	物理系薬学			H		2006年4日1日	10010年1日1日		0.00							0.06		薬学研究科
	分野	教技	長岡 正男	R	က	Z003年4万	10十十月	華学演習IIB				_	0.43			0.43	2.09	博士課程 修了
								薬学総合演習 I B					0.12			0.12		<b>瀬学博士</b>
								薬学総合演習エ			0.12					0.12		
								薬学総合実習(PBL)							0.29	9 0.29		
								長岡正男 集計	2.06	7	0.12		0.55 0	0.12	0.93	3 5.78		
			あまがや さかえ	え				漢方処方学	1							1		
	+ ;; + !							漢方理論		1						1		名古屋市立大学
不満に ンイギー 単地 単地	不添 アンイン 様性 学生	教授		田	63	2004年4月1日	1日 2004年4月1日	3 現代医療の中の漢方		1.5						1.5	1.81	架子钟光本 抽十韻铅 核乙
	サーナ米く		<del>长</del> 句 <u>密</u>					実務実習プル教育						0.12		0.12		平二 本一本一家一种心理
								雨谷栄 集計	_	2.5				0.12		3.62		- - - - - - - -
			ねぎし かずお	સ				遺伝子工学	2					_		2		
		_						衛生系実習 I						o.	0.53	0.53		
								実務実習プル教育						0.12		0.12	_	:
	子 マン オル	_						免疫学 I	2							2		東京大学
米子本(米茶学学学学)	H 記分十 洲小馬	教授	4年	町	63	2006年4月	2006年4月1日 2006年4月1日						0.27			0.27	2.65	果子好究本 二十二二十二二十二二十二二十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
	F .							薬学総合演習 I A				0.13				0.13		ずれば で 瀬が横井
		_						薬学総合演習 I B				)	0.12			0.12		
								薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12		
								根岸和雄 集計	4		0.12	0.13 C	0.39	0.12 0.	0.53	5.29		
			いけだ みつお	t				化学·物理系実習工							0.53			
								化学の基礎	0.75							0.75		
		_						基礎薬学実習							0.64	1 0.64		
								実務実習プル教育					)	0.12		0.12		
								早期体験学習	0.00							0.06		東京薬科大学
薬学科(兼	物理系薬学	村村		H	C	2010年4日1日	10010年1日1日					0.56				0.56	2 52	薬学研究科
	分野		光田 湘4	R		2010年4万	2010年4月1	_				0.13				0.13		修士課程 修了
								薬学総合演習 I B					0.12			0.12		薬学博士
		_						薬学総合演習エ			0.12					0.12		
								薬品分析化学 I		7						2		
		_						薬品分析化学工	2							2		
								池田満雄 集計	2.81	2	0.12	0.69	0.12 0	0.12	1.17	7.03		

所属構造等 観名         ADVIDIO (4)         性別 年齢 診職年月日         現職財任年月         科目名         前機 後期 高年 時分野 (4 まどし いんいち)           生命分子薬 教授 山岸 純一 (1 またの たくろう (2 を分子薬 を分子薬 教授 下川 修 下川 修 下川 修 下園 拓郎 (4 また)         男 62 2010年4月1日 2010年4月1日 (2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1437							授業科目	旦						九昌江		Г
Fig. 10   Fi			4	<b>₩</b>		現職就任年				(地	<b>毎週授業時間数</b>	間数				4 型 四 加 計	最終学歴及び	
生命分子薬 等分野 等分野 等分野 等分野 等分野 (上もかわ おさむ)         年度 しゅんいち (上もかわ おさむ)         月 62 2010年4月1日 2010年4月			H 元 元	<u>E</u>			科目名	韠	账		演習		実習	ēm.	総計	授業時間		
# 2010年4月1日 20		면 감									前期 後期	朝 通年	年 前期	明 後期		国数		
生命分子薬 学分野 学分野 等分野 等分野 等分野 (七かわ おさむ)         男 62 2010年4月1日 2010年1日 2010年1日 2010年1日 2010年1日日 2010年1日 201		やまぎし じゅんい	2				ゲノム科学エ	1							1			
生命分子薬 や分野 特別         数長 上もかわ あさむ 上もかわ あさむ 上もかり たくろう 本のできた しんで たくろう 本のできた しんと 本のできた しんと 本のが表すが 本のできた しんと 本のできた しんと 本のが表すが 本のできた しんと 本のできたしんと 本のできたした。 本のできたしんと 本のできたしたとしまさ 本のできたいとした。 本のできにいる 本のできにいる。 本のできたいとした。 本のできたいとした。 本のできたができにいる。 本のできたいとした。 本のできたいとした。 本のできにいる。 本のでをにないるのでをにないる。 本のでをにないるのでをにないる。 本のでをにないるのでをにないるのでをにないる。 本のでをにないるのでをにないるのでをにないる。 本のでをにないるのでをにないるのでをにないるのでをにないるのでをにないる。 本のでをにないるではないるのでをにないるではないるではないないるではないないないるではないないるではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない							ポストゲノム医療		0.33						0.33			
生命分子薬 や分野 学分野 学分野 学分野 等の 音にデッタ ・							衛生系実習 I						0	0.53	0.53		京都連科大学	
単分野         地岸 純一         男 62 2010年4月1日 20	1.						実務実習プレ教育					0	0.12		0.12		※ 学学 ない 単学 中代 ない まん はん	
車場体験学習         0.06           生命分子薬 教授 下間 括記         男 62 2005年4月日 2004年4月日 2004年4月1日 2004年4月日 2004年4月日 2004年4月日 2004年4月1日 20		1	町		2010年4月11	2010年4月1	食品・薬品のバイオテクノロジー		1.5						1.5	1.90	修士課程 修了	
集争終合演習 I A         無難終合演習 I A         0.12           生命分子薬 教授 下間 和助							早期体験学習	90.0							0.06		乗り 単一 サート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
集争総合演習工         加工機の上標目         1.06 1.83 0.12           生命分子薬         教授         下川 修         月 62 2005年4月1日 2005年4月1日 微生物学工         2 2           中分野         下川 修         月 62 2005年4月1日 2005年4月1日 微生物学工         2 2           南佐東学学会演習工         0 12         下川修集時間         0 12           東半島副製化         教授         下園 拓助         月 62 2006年4月1日 2006年4月1日 東海東巴海道 1 A         0 12           東島副製化         教授         下園 拓助         月 62 2006年4月1日 2006年4月1日 東海東巴海湾 1 A         0 12           東島副製化         教授         上心で 上心に         下園 拓助         2 2 0.12           東島副製化         教授         所山 信次         日 61 2004年4月1日 2004年4月1日 東洋総合演習 1 A         0 0.2           東島副製化         教授         所山 信次         日 61 2004年4月1日 2004年4月1日 東洋総合演習 1 A         0 0.2           東島副製化         教授         所山 信次         日 61 2004年4月1日 東洋総合演習 1 A         0 0.2           東京教育学習 1 A         上心で 大山 6 0.5 0.12         上で 7 二人山 6 0.5         0 0.2           東京教育学習 2 A         上で 7 二人山 6 0.5         1.5         1.5           東東 2 A         新木 敏正         月 61 2004年4月1日 東洋総合演習 1 5         1.5         1.5           東京教育学習 2 A         1.5         1.5         1.5         1.5											0.13				0.13		医字博士	
生命分子薬 特別       執授 中分野 (しもかわ おさむ)       日 62 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2006年4月1日 2006年4月1日 2006年4月1日 2006年4月1日 2006年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2000年4月1日 2004年4月1日 2							薬学総合演習エ			0.12					0.12	•		
生分野       大川 修       男 62 2005年4月1日 2005年4月1日 報生物学工 2 2 0.12         単分野       下川 修       男 62 2005年4月1日 2005年4月1日 報生物学工 2 2 0.12         麻灰薬学数 数段       下周 拓郎 集計 2 2 0.02         東路条連告演習工 0 0.12       下周 拓郎 集計 2 2 0.02         東路条連告演習工 0 0.12       東路系東灣台演習工 0 0.12         東路条連門、教授 8:山 信次 1 0 0.12       東路条連門・教育 1 0 0.12         東路・日本 0 0 0 0 0.12       東路・日本 0 0 0 0 0.12         東路・日本 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								1.06	1.83	0.12	0.13	0	0.12 0.	0.53	3.79			
# 2 0005年4月1日 2005年4月1日 2005年5日 2 012 2			£ο				衛生系実習 I						Ö	0.53	0.53			
生分野         秋程         下川 修         男 62 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2005年4月1日 2000年4月1日 2004年4月1日 200							実務実習プル教育					0	0.12		0.12	•	:	
生の野学         教授         下川・修         男 62 2005年4月1日 2005年4月1日 微生物学工         2 2 012           産産産業等数         数投         下園 右郎         1 2 2 012         012           産品の製化         数投         下園 右郎         2 2 012         012           薬品創製化         数投         下園 右郎         2 2 012         012           薬品創製化         数投         上心と しんと         1 2 2006年4月1日 2004年4月1日 2004年4月	,.						微生物学 I	2							2	•	北海道大学	
産産産産       本学総合演習IA       0.12         原本総合演習IA       0.12         下園 拓郎       9 62 2006年4月1日 2010年4月1日 度素に情報学       2 2 0.12         東路会演習IV教育       0.12         東路会演習IV教育       0.12         東路会選別       10 0.12         東路会習IV教育       0.02         東路会園製化 数段 船山 信次       61 2004年4月1日 2004年4月1		Ξ	町		2005年4月11	2005年4月1	微生物学工		2						2	2.45	架子付完存 由于 單程 像了	
臨床薬学物 特優 下園 折郎 学の たくろう (2000年4月1日)       第 2010年4月1日 (2010年4月1日)       2010日 (2010年4月1							$\vdash$				0.13				0.13		W	
たい										0.12					0.12			
臨床薬学教 育センター 育センター (主か)         本授 (本)         田田 (本)         田田 (本)         大田 (本)         1 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>下川修 集計</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0.12</td> <td>0.13</td> <td>0</td> <td>0.12</td> <td>0.53</td> <td>4.9</td> <td></td> <td></td> <td></td>							下川修 集計	2	2	0.12	0.13	0	0.12	0.53	4.9			
臨床薬学教 育センター 育センター 素品創製化 素特 学分野 を保ビジネ 数授 新木 敏正         中国 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島		しもぞの たくろ	Ċ				医薬品情報学	2							2			
臨床薬学教 育センター (中ンクー)         教授 (中ンクー)         下園 折郎 (本)         用 (2)         2006年4月1日         2010年4月1日         実務実習が入ト教育 (本)         10.12 (本)           薬品創製化 (本)         新大 椒正 (本)         新大 椒正 (本)         期 (5)         2000年4月1日         2010年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>実務系実習</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.27</td><td>7 0.27</td><td>•</td><td>馬</td><td></td></td<>							実務系実習							0.27	7 0.27	•	馬	
青センター         秋径         下園 拓郎         カムできしんじ         エンのの44月1日         まが実習ポスト教育         0.12           薬品創製化 学分野         松伊 船山 信次         男 61 2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         0.05         0.12           医療ビジネ 表準や当業         地山 信次         日 2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         0.05         0.12           大薬科学科         教授         新木 敏正         月 61 2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         0.05         0.12           大薬科学科         教授         新木 敏正         月 61 2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         0.05         0.12         0.05         0.12         0.13         0.12 <td< td=""><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td>0000年4日</td><td></td><td>実務実習プレ教育</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0.12</td><td></td><td>0.12</td><td></td><td>薬学研究科</td><td></td></td<>			B		0000年4日		実務実習プレ教育					0	0.12		0.12		薬学研究科	
薬品創製化 学分野       教授 船山 信次 教授       期 61 2004年4月1日 東学総合演習IB       1000 東学総合演習IB       0.00 東学総合演習IB       0.00 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB         医療ビジネ 教授       新木 敏正       月 61 2004年4月1日 東学総合演習IB       10004年4月1日 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB       0.01 東学総合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院合演習IB       0.01 日本学院会演習IB       0.01 日本学社人工医療       0.01 日本学社人工医療       0.01 日本学社       0.01 日本学院		下	R		7000年4月1 1		実務実習ポスト教育						0.	0.11	0.11	ა. 	修士課程 修了	
東品創製化 学分野       報授       報告       B       61       2004年4月1日       1004年4月1日       1004年4月1日       1004年4月1日       1004年4月1日       1000年4月1日       1000日       100							薬学総合演習エ			0.12					0.12		医字博士	
薬品創製化 学分野       執授 船山 信次       明 61 2004年4月1日 2004年4月1日 東学総合演習 LA 2004年4月1日 東学総合演習 LA 2004年4月1日 東学総合演習 LA 2004年4月1日 東学総合演習 LB 2004年4月1日 東学院 LB 2004年4月1日 東米 2004年4月1日 東米 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 東州 2004年4月1日 2004							下園拓郎 集計	2		0.12		0	0.12 0.	0.11 0.27	7 2.62			
薬品創製化 学分野 学分野 学分野 学分野 を施にジネ 教授 新木 敏正       期 61 2004年4月1日 2004年4			ت ت				I ケズニケーェコ		0.5						0.5			
薬品創製化 学分野 学分野       教授 船山 信次 別       第 61 2004年4月1日 2004年4月1日 薬学総合演習IA 薬学総合演習IB       工会総合演習IA 薬学総合演習IB       0.02         医療ビジネ ス薬科学科 ス薬科学科 表表科学科 表表科学科 表表科学科 表表科学科       第 61 2004年4月1日 2004年4月1日 2004年4月1日 2004年4月1日 度化学       1.5							実務実習プレ教育					0	0.12		0.12			
薬品創製化 学分野 船山 信次 と分野							早期体験学習	90.0							0.06		# - - -	
楽品 (大) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元							天然物化学	2							2		東北大平	
本学総合演習 I B     薬学総合演習 I B       基学総合演習 I D     第字総合演習 I D       Expensive A Min I D     10.12       B を としまさ A Min I D     10.12       Expensive A Min I D     10.12       A Win I D     1.5			眠		2004年4月1	2004年4月11	薬学総合演習 I A				0.13				0.13	1.67		
医療ビジネ 本薬科学科 教授 新木 敏正       サビン・ 株 大 		く ロ 日 日					薬学総合演習 I B				0	0.12			0.12		1 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	
医療ビジネ 入薬科学科       数授 新木 敏正       新木 敏正       日本							薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12			
医療ビジネ 本薬科学科       数授 新木 敏正       新木 敏正       日本							薬学総合実習(PBL)							0.29	9 0.29			
E療ビジネ     数授     新木 敏正     男 61     2004年4月1日     2004年4月1日     2004年4月1日							船山信次 集計	2.06	0.5	0.12	0.13	0.12 0	0.12	0.29	3.34			
医療ビジネ     教授     新木 敏正     男 61     2004年4月1日     2004年4月1日     2004年4月1日			tu				ヒューマニズムⅡ		0.5						0.5			
医療ビジネ         教授         新木 敏正         男 61         2004年4月1日         2004年4月1日         2004年4月1日         実務実習7・教育         2004年4月1日							ポストゲノム医療		0.33						0.33		F	
ス薬科学科         新木 敏正         カ old         2004444月1日 2004444月1日 会化学         全化学IIA         2			H		00004年4日4日	2004年4日1	実務実習プレ教育					0	0.12		0.12		品 本 学 学	
2		新木	R		2004年4月1	2004年4月1	食化学		1.5						1.5	2.23		
1							生化学エA	2							2		1	
集計 2	_		_				新木敏正 集計	2	2.33			0	0.12		4.45			刁

			74%7 11 7								授業科目	四						1		
	吊甲基合金		かんがん	**************************************	¥ H	计平位		現職就任年月				伸	毎週授業時間数	時間数	<u>,</u>			★ 本 本 本 は は は は は は は は は は は は は は は は		最終学歴及び
灯馬子件	<b>加馬</b> 開 上 中	善 英	A Ø	H 75	量	<b>兆 大 子 子 日</b>		ш	科目名	講義	鱡		演習		11111	実習	総	授業時書		亭
			4							前期	後期	通年	前期	後期	通年前	前期 後期	销	国級	×	
			あんざい かずのり						化学·物理系実習II							0	0.53 0.53	8		
									実務実習プレ教育						0.12		0.12	2		
									数学・物理の基礎	1.5							1.5	2		
									薬学演習IIB					0.43			0.43	က	東京大	孙
薬学科(兼	物理系薬学	牧市		H	09	2010年7日1日		0010年7日1日	薬学演習皿A				0.23				0.23	3	薬学研究科	究科
	分野		安西 和紀			2010447			薬学総合演習 I A				0.13				0.13			程 修了
									薬学総合演習エ			0.12					0.12	8		+
									薬品物理化学工		2							2		
									理論化学 I		2							2		
									安西和紀 集計	1.5	4	0.12	0.36	0.43	0.12	0	0.53 7.06	ဖ		
			しぎはら あつし						物理薬剤学		7					_		2		
									薬学総合演習 I A				0.13				0.13	က		
* * *									薬学総合演習 I B					0.12			0.12	8	#	
※字本(帯 新姓を表)	薬剤学分野	教授		毗	60 2	2011年4月1日		2011年4月1日	薬学総合演習エ			0.12					0.12	2 2.59	59 無楽な人子	*************************************
\ <del>+</del> \+\+\\			温原 泽						薬剤学 I B		2							2	<u>₽</u>  -  -  -	1
									薬剤系実習							8.0	0.8	œ		
									鴫原淳 集計		4	0.12	0.13	0.12		8.0	5.17	7		
			おおやま よしはる						医療統計学		1.5						1.5	2		
									漢方鍼灸治療		1							_	東北大	孙
医療ビジネ	医療ビジネ	水加		H	60	2007年7日1日		2007年7日1日	実務実習プレ教育						0.12		0.12	2	薬学研究科	究科
ス薬科学科			大山 良治	R		1 + + + ood			薬剤疫学	1								1		報 修了
									臨床薬学 I	2							,	2	操 上 性	H
									大山良治 集計	3	2.5				0.12		5.62	2		
			ውልወ ともみ						イントロダクション		90.0						0.06	9	九州大学	赴
薬学科(兼	漢方薬学分	花		‡	2	2006年7日1日		2006年4日1日	ヒューマニズム I	90.0							0.06	9		究科
	掻		姫野 友美	Χ		7 + + nnn3			臨床漢方治療学 I	1									地 博士課程 修	報 修了
									姫野友美 集計	1.06	90.0						1.12	2	到) 工 量	丢)
			かわくぼ ひろむ						医薬品化学 I	2								2		
									医薬品化学工		2						,	2	-	3
	本口合土								化学の基礎	0.75							0.75	2	大	₩.
米十年(米村生)	米品三数几秒久開	教授	15 57 4111	町	58 2	2012年4月1日	11日 2012	2012年4月1日	早期体験学習	90.0							0.06	6 2.53		光本   報子   一個
	H C L								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	2	が 土 姓 土 性 土 強 小 雄 木 雄 木 雄 木 雄 木	
									薬学総合演習エ			0.12					0.12	2		
					$\dashv$				川久保弘 集計	2.81	2	0.12		0.12	_	-	5.05	2		

			1	4		-					授業科目	** ==									
#	计写错符件		もんだんぐく		<u> </u>		1 世世	現職就任年月				伸	毎週授業時間数	時間数	Д			4 本 を 一 を 一 の の は に が に が に が に が に が に が に が に が に が に		最終学歴及び	
万禹十年	加馬哥座中	姜 <b>占</b>			<u>中</u> 同	· · ·	調子プロ		科目名	講義	鱡		演習		Edv	実習	総計			位称号	
-			다 다							前期	後期	通年	前期	後期	通年前	前期	後期	<u> </u>	XX		
			きょうがしま	まもる					ストレス学	1								-			
_									医薬学英語		0.75						0.7	0.75			
									緩和医療実践学	1								-	į	3	
	サ イ く り は								実務実習プレ教育						0.12		0.1	0.12	価币	<b>信州大学</b> 所述书研	
米子女(米树龙沙	中 記 り の 関	教授	- - - - -	ш,\ -	男 2	57 20	2011年4月1日	3 2011年4月1日	生物系実習							0.64	0.6	0.64	2.63 居	计好光本计算组 核乙	
	Ä F			<del>-</del>					微生物と生体防御	1.5							1	1.5	<u>t W</u>	医学样性 多二苯甲基甲基	
									薬学総合演習 I A				0.13				0.1	0.13	<u>l</u>	<u> </u>	
									薬学総合演習工			0.12					0.12	12			
									京ヶ島守 集計	3.5	0.75	0.12	0.13		0.12	0.64	5.2	5.26			
			さとうた	たくみ	_	_			基幹実習(医療薬学)							8.0	0	8.0	-		
									病態解析学	0.5							0	0.5			
_									薬学演習皿A				0.23				0.5	0.23	<u>₩</u>	北薬科大学	
薬学科(兼	生命医療薬						· 4年4日4日	0004年4日1	薬学総合演習 I A				0.13				0.13			学研究科	
	学分野	炎	佐藤 卓美		с К	)07 /c	2004年4月1日日日		薬学総合演習エ			0.12					0.1	0.12	季: 68.7	博士課程 修了	
									薬物治療学 I		2							2	<b>                                    </b>	学博士	
									薬物治療学IB		2							2			
									佐藤卓美 集計	0.5	4	0.12	0.36			8.0	5.7	5.78			
			い つみ判	いずみ					実務実習プレ教育						0.12		0.	0.12			
_									早期体験学習	90.0							0.0	90.0			
_									病態解析学	0.5							0	0.5	-	: - [	
	千分斤								病態生理学IA	2								7	光 🎚	北里大学新品的社	
张子存(联 域起[形])	计号区点米例令器	教授	#	1	9	53 200	2005年4月1日	2005年4月1日	病態生理学IB		2							2	2.79 無	4千切光存4十二里程 修了	
	H 7 H								薬学総合演習 I A				0.13				0.1	0.13	≥ 採	1 本本社 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
									薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	12			
_									薬理系実習							0	0.64 0.64	94			
									林泉 集計	2.56	2	0.12	0.13		0.12	0	0.64 5.57	27			
			まつだ むし	よしかず					トューマニズム		2							2			
									実務系実習							0	0.27 0.27	27			
									実務実習プレ教育						0.12		0.1	0.12	:	;	
	# #								実務実習ポスト教育							0.11	0.11	Ξ	<del></del>	1年大平	
米子本(米特と小学	臨不無予数をある。	教授	14年		9	53 200	)8年4月1E	2008年4月1日 2011年4月1日	病態生理学IA	2								2	3.45   操	架字好光科 体十重铅 体了	
	\ \ I			 Z					病態生理学IIB		7							2	壁		
_									薬学演習皿B					0.27			0.27	27			
_									薬学総合演習 I B					0.12			0.12	12			
									松田佳和 集計	2	4			0.39	0.12	0.11 0	0.27 6.89	89			

	毎週授業時間数 中間半 お毎週 最終学歴及び	実習総計	年   前期   後期   通年   前期   後期	0.64 0.64	0.53 0.53	2	0.12 0.12 熊本大学	1 2.83 操于部分	0.12 0.12 は一時 10.13 は	0.24		0.24 0.12 0.12 0.53 0.64 5.65	2	2	0.12		0.00   2.60   法子前犯   0.00   1.60	(坐) 十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	0.12 0.12	0.12	0.12 0.13 0.12 0.12 0.64 5.19	0.75 東京大学		0.12	0.12 0.13	3.6 4.77 4.46 3 8.64 8.86 181	0.27 0.27	0.12 0.12		2 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	₩₩ 108.1 1.80 1.80 1.80 1.80 1.80 1.80 1.8	
授業科目		業	後期 通					-		0		1		2						O	2	0.75		0	0.75 0.	70.2				2	0.75	
		講義	前期			2					-	3	2				90.0				2.06					77.3						
		科目名		衛生系実習工	基幹実習(健康薬学)	公衆衛生学工	実務実習プレ教育	生活習慣病予防学	薬学総合演習 I B	薬学総合演習工	臨床栄養学	樋口敏幸 集計	機能形態学IA	機能形態学 I B	実務実習プレ教育	生物系実習		薬学総合演習 I A	薬学総合演習 I B	薬学総合演習Ⅱ	櫻田誓 集計	生命をミクロに理解する	薬学総合演習 I A	薬学総合演習工	都築稔 集計		実務系実習	実務実習プレ教育	実務実習ポスト教育			薬学演習皿A
	現職就任年月							目 2011年4月1日									目 2011年4月1日						1 年 1000	日   5003   日							Z010年4月1日   Z010年4月1日 	
		3 就職年月日						2006年4月1日									2004年4月1日							7003十4万日日								
$\vdash$		性別 年齡						男 48									男 48					_		8 K							۸ ا	
4	ふりかな		大 在	ひぐち としゆき				##	置し 要件				さくらだ ちかい				<u></u>	一 過 田 學				つづき みのる	ш.	都築 稔			ありとみ けいこ				有富 桂子	
	村	類						教授									教授							投友		教授 集計				74 H7 150	准教技	
	出 品 品	<b>叶属講座等</b>						無 事 会 問	十刀割							‡ † !- <	和 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	十刀到					生命分子薬	学分野						臨床薬学教	育センター	
	ត់ (1 (1)	<b><u></u> 小属字科</b>						米P本(米米型を)									米子本(米米生)							薬科学科)							薬科学科)	

			×+3+11 ×							授業科目	田恵						左間示		
吊军举行		車	かいろいぐ	<u>†</u>	4 四 一 七 報	日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	現職就任年月				無	<b>毎週授業時間数</b>	<b>寺間数</b>				+ セ 西 田 田 田 田	最終学歴及び	స
馬哥姓		琴 在	A V	H H M	<u></u>	必要十五日	ш	科目名	灩	講義		海恩		実習	細	総計	西 業 課	学位称号	
			무 소						前期	後期	通年 自	前期後	後期 通	6年 前期	期 後期	1	国数		
		<u>د</u>	いいづか あきら					漢方薬効解析学	1							1			
								実務系実習							0.27	7 0.27	_		
								実務実習プレ教育						0.12		0.12	01		
								実務実習ポスト教育						0	0.11	0.11		早薬科大学	
臨床薬学		17		8			Ţ.	早期体験学習	90.0							0.06			
育センター		<b>准教授</b> 飯	飯塚 晃	ĸ	09	2005年4月1日	1 2005年4月1日	民間薬概論	_				_				 	博士課程	修了
								薬学総合演習 I B					0.12	_		0.12	lai	薬学博士	
								薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	lai		
								薬学総合実習(PBL)							0.29	9 0.29	1-		
								飯塚晃 集計	2.06		0.12		0.12	0.12 0.	0.11 0.56	3.09	10		
	_	~	くぼた ようこ					基礎薬学実習				-	<u> </u>	_	0.64	0.64	L		
								実務実習プレ教育					F	0.12		0.12	101		
								数理演習					1.5	_		1.5	l <sub>10</sub>		
								薬学演習IIB					0.43			0.43	I	武庫川女子	小
物理系薬	孙	ZH +7#		1		7000年4日4日	0000年4日	薬学総合演習 I A				0.13				0.13			
分野	Ë	年教校 	雅田 洋子	×	/6	2000年4月1日	2000年4月1日	薬学総合演習 I B				Ė	0.12			0.12	2.93	6 修士課程 修了	<b>修</b> 了
								薬学総合演習エ			0.12					0.12	0.1		
								薬剤系実習							8.0	0.8	<u>~</u>		
								薬品物理化学 I	2							2	0.1		
								窪田洋子 集計	2		0.12	0.13	2.05	0.12	0.8 0.64	5.86	9		
		١J	こばやし まきる					栄養素の化学		1.5						1.5	10		
								実務実習プレ教育						0.12		0.12	0.1	: - !	
A で デ								生物の基礎	1.5							1.5	10	光里大学第4条	<del></del>
区域にノボスが対対		准教授	海 料 w	眠	22	2004年4月1日	3 2004年4月1日	_	2							2	4.56	南エナツラ体・単独	54. 条7
F K	<u>+</u>	<u>-                                    </u>						生物学入門工		2						2	0.1	を は 単性 単生	- M
								臨床検査学		2						2	0.1		
								小林賢 集計	3.5	5.5				0.12		9.12	0.1		
		HU.	きむら みちお					ポストゲノム医療		0.33						0.33	<u>~</u>		
								衛生系実習 I						0	0.53	0.53			
								細胞生物学	2							2	0.1	-	
1	ŧ							実務実習プレ教育					_	0.12		0.12	0.1	九三人名	
子 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的	₩ ₩	准教授	十年 法十	眠	26	2006年8月1日	2006年8月1日 2006年8月1日		1							1	3.11	五子 有 五十 一 一	*     
i C		7						薬学演習 I B(生物)		2						2	0.1	が、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は、世界は	- M
								薬学総合演習 I B					0.12			0.12	0.1	•	
								薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12	0.1		
								木村道夫 集計	3	2.33	0.12	_	0.12 0	0.12 0.	0.53	6.22	0.1		

	24				•	fiL	*   	-						<u>\</u>					ſiL	*   	-						11/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1		_					Æ)		<u> </u>	
	最終学歴及び	产位称号				8川医科大学	5字钟究科 11十二节组 体	平上 茶柱 一多一条学样	] ?			r 陸大学	薬学研究科	多士課程 修	(米)			: : !	甲戶工業大写:崇祖帝	1.字好究存	# H W H H M H M H M H M H M H M H M H M H						言山医科薬系	薬学研究科	草士課程修了	<b>製学博士</b>				5北薬科大学	薬学研究科	第七課程 修	#十(米)
	4 四 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	受業時 温	三数		-	<u> </u>	3.06	T KIN	ı			Т\	· HXIN		<del>Pr</del>				<del>1.</del> √	6.25	<u>r                                    </u>						Jiut	17KT	ري دي دي دي دي دي دي دي دي دي دي دي دي دي	HKIT.				ТШХ	2		<u></u>
	計 权.	総計器	- 	0.75	0.5	2	2	0.12	0.75	6.12	1.5	1.5	2	2	0.64	7.64	1.5	1.5	4	1.5	2	2	12.5	1.2	0.12	2	2	90.0	2	0.23	0.13	0.12	7.86	2	0.12	0.12	2.24
		雑	後期												0.64	0.64																					_
		実習	前期 個																					1.2									1.2				
	2	E-IV	通年間					0.12		0.12															0.12								0.12				
	毎週授業時間数		後期〕																																0.12		0.12
	周授業	演習	前期																											0.23	0.13		0.36				
田	争;		通年																													0.12	0.12			0.12	0.12
授業科目		413	後期〕	0.75			2		0.75	3.5		1.5	2			3.5	1.5	1.5				2	2				2		2				4	2			2
		講義	前期		0.5	2				2.5	1.5			2		3.5			4	1.5	2		7.5			2		0.06					2.06				
																	_							٤)													
		科目名				ΥI	IB	教育	≤働き	集計	)作用	ξ I				+	ースキル		ı	ı	I 际	工長	官計	基幹実習(漢方薬学	教育			回	既論	1	日日	工屋	集計		国 国	口區	二十二
		奉		医薬学英語	医療倫理学	機能形態学工	機能形態学工B	実務実習プレ教育	人体の構造と働き	吉久 绚	医薬品とその作用	疾病と治療薬 I	AΠΑ	ÄΠΒ	<b>系実習</b>	脇能広 集計	コンピューター	医療情報学	情報リテラシ	情報リテラシ	情報処理演習 I	情報処理演習工	村井保之 集計	官習(漢	実務実習プレ教育	Ή. LI	řΠ	早期体験学習	東洋医薬学概論	薬学演習皿A	8合演	8合演		漢方薬剤学	薬学総合演習 I B	薬学総合演習Ⅱ	高野文英 集計
				医薬学	医療作	機能用	機能用	実務될	人体の	奈佐吉久	医薬品	疾病と	薬理学ⅡA	薬理学IB	薬理系実習	脇能	コンピ	医療情	情報!	情報!	情報处	情報处	村井	基幹多	実務多	生薬学 I	生薬学工	早期6	東洋图	薬学源	薬学総合演習 1/	薬学終	山路就一	漢方勇	<b>薬中</b>	<b>莱</b> 丁%	高野.
	任年月	_					4月1日													4月1日															1 1 1		
	現職就任年	Ш					2005年4月1						0010年1日1	1						2010年4月1								9010年7日1	1						2012年4日1	ļ	
	事 九	25颗十九口					2005年4月1日						2005年4日1日	- - - - -						2006年4月1日								2005年4日1日	- - - -						2012年4日1日	+	
_							55 200						200							52 200								700							49 201		
	4 四 一 件 被	# 					三						<u> </u>							9																	_
4				よいしょ			1	<u> </u>			そのつず						トゆき			-1	J			せいいち					1					ふみひで		蛅	
37	ふりがん	A 6	Қ Ф				+ +							能広			むらい やすゆき			+ 10 1									各 耽-							5 女斑	
		<u></u>		なな			数大	ĬŔ.			わき		直	陌			むら			数###	Ē			やまじ				直	五四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四					たかの	直	· 一 一	
	車						推教授						并对							推教授	<u> </u>							7 本教拉	<b>新</b>						7	ή է	_
	吊军举行	10世代				1	不添 アントレ 潜き 予告	+ + +					医療ビジネ	5科学科					+ * *	<b>不添にンそっ 対数を</b>								漢方薬学分							漢方薬学分		
$\vdash$	<u>Н</u>	<u> </u>																																			$\dashv$
	· 证	な十里区				1 % 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	不添にントが渡りが	₩ <b>X</b>					医療ビジネ	ス薬科学科					1 1 1		-  -							薬学科(兼	薬科学科)						薬学科(兼	薬科学科)	

	最終学歴及び	学位称号				城西大学		博士課程 修了	博士 (医)						;	東京薬科大学	架子好光件 插十重矩 体了	「 単 は 十 性 世 性 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世	<u>}</u>					国二大学	薬学研究科	博士課程 修了	(漢)				東北薬科大学	薬学研究科	博士課程 修了	(業) 工量		
左門亦	4 型型 电电阻 电阻阻阻阻 电阻阻阻阻	授業時間報	目数					3.00									3.04								1 2/							000				
		総計		1	0.12	0.11	2	0.64	0.12	2	5.99	0.53	0.12	2	0.56	0.23	0.27	0.13	0.12	0.12	2	80.9	8.0	0.12	0.12	2	0.64	3.68	0.5	0.8	2	2	0.13	0.12	0.29	5.84
		***	後期									0.53										0.53					0.64	0.64							0.29	0.29
		実習	前期			0.11		0.64			0.75												8.0					0.8		0.8						0.8
	₩		通年		0.12						0.12		0.12									0.12														
	<b>毎週授業時間数</b>		後期						0.12		0.12						0.27		0.12			0.39		0.12				0.12								
	週授業	演習	前期												0.56	0.23		0.13				0.92											0.13			0.13
皿	伸		通年																	0.12		0.12			0.12			0.12						0.12		0.12
授業科目		羝	後期				2				2										2	2							0.5			2				2.5
		講義	前期	1						2	က			2								2				2		2			2					2
		科目名		機能性食品学	実務実習プレ教育	実務実習ポスト教育	生化学 I	生物系実習	薬学総合演習 I B	薬剤学IA	中島孝則 集計	化学·物理系実習II	実務実習プレ教育	日本薬局方	薬学演習IA	薬学演習皿A	薬学演習皿B	薬学総合演習 I A	薬学総合演習 I B	薬学総合演習エ	薬品分析化学 I	荒井健介 集計	基幹実習(医療薬学)	薬学総合演習 I B	薬学総合演習エ	薬物治療学皿A	薬理系実習	井上俊夫 集計	I イズニケーェコ	化学·物理系実習 I	化学入門 I	化学入門工	薬学総合演習 I A	薬学総合演習エ	薬学総合実習(PBL)	安田高明 集計
	現職就任年月 日							2004年10月1日									1 2004年4月1日								1 2011年1日1日	11 54+1107						0011年4月1日	L L + + L I O Z			
		<b>祝</b> 爾牛月日					7,4000	2004年10月1日									2004年4月1日								2007年4日1日	1   K ++ /007						2006年4日1日	1   K ++ cooz			
		量 十 二						4/									46								76							75				
$\vdash$	一性別年齢			'n			H	#R				1					町						钇		Ħ	R			₩			Ш	R			
**************************************	ふりがな 田 田名 田名		R T	なかじま たかのり				中島 孝則				あらい けんすけ					4 4						いのうえ としお			井上 俊夫			やすだ たかあき				安田 高明			
	14th 27	两					**	准教授									准教授								<b>并</b> 籽 拉	/E-5X1X						计学拉	/E-3X1X			
	H H H H						臨床薬学教	育センター								1 科 月 县 县		Ħ Z							生命医療薬	学分野						薬品創製化	学分野			
	i 1	<b>加馬子</b> 枠					薬学科(兼	薬科学科)								排/ <u>3.5.</u> 计	新 対 対 が が が が が が が が が が が が が	\t.\t.\							薬学科(兼	薬科学科)						薬学科(兼	薬科学科)			

いりがな	ふりがな
· Action	
まし つよし	むらはし つよし
教 2 2001 十 2 2001 十 3 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	H - C(++++007 S+ EC
: じゅんいち	ますだ じゅんいち
	国 65 2008年4月1日
第一 2 2000 十17 11	
11/1/11/11	ままたに 7.1/5.だ
E	E
:英夫   男  64   2010年4月1日   2010年4月1	第 64 2010年4月1日
はべ ひろし	わたなべ ひろし
00000年	00000年
博   50 04   70 04 4 7 1 1   70 1 0 4 4 7 1 1	8 04 2010年4月1日
<b>つとむ</b>	
	64 2010年4月1日
(A)	
たひでお	たきた ひでお
天主   男   64   2009年4月1日   2009年4月1	男 64 2009年4月1日
やし ひろし	こばやし ひろし
	# B 64 2009年4月1日
<u> </u>	中 ***
たいつじ	とよた じつじ
1 1	1 1
実司   男   04   2003年4月1日   2003年4月1	1 04 2003年4月1日

	歴及び	ПÞ		4大学	理学研究科	逞 修了	{  	イン・オード・オード・オード・オード・オード・オード・オード・オード・オード・オード	K	ĸ	子 5. 女	K H	学校	<b>克科</b>	译 修了			李 李 李	汽车 留一	<b>「</b> 塗	ì				4 大学	薬学研究科	居 修了	( <b>米</b>					4 4 4 4	光本 画 <b>家</b> 人	海上器件 廖 上華士(医)		
	最終学歴及び	学位称9		東京理科	理学研3	修士課科	# #	果尔坦科人子田学的	¦ ├ ╫	1 	加工人子由了多数	<u>.</u>  -  -	<b>坊衛大</b>	物理研究科	<b>修士課</b>			東北薬科大学	来子女公司十二章	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	<u> </u> 				神戸薬科	薬学研究	車上課	世					名古屋店	为子女公司十二十二十二二十二二十二二十二二十二二二十二二二十二二二二二二二二二二二二	平平 (医)	: 	
		板業時 電	目数		2.00	,		1.50	<u>.                                     </u>		2.00	<u>.                                      </u>		2.00					0.84							20.5	50.7	•						1.34			
		総計		2	2	4	1	2	3	2	2	4	2	2	4	0.27	0.12	0.11	90.0	0.12	-	1.68	0.53	0.12	0.64	0.56	0.13	0.12	2	4.1	0.27	0.12	0.11	90.0	2	0.12	Ī
		<u>₩</u>	後期													0.27						0.27	0.53							0.53	0.27						İ
		実習	前期															0.11				0.11			0.64					0.64			0.11				İ
	χ.		通年														0.12					0.12		0.12						0.12		0.12				—— 	1
	時間数		後期〕																																		1
	<b>毎週授業時間数</b>	演習	前期																							0.56	0.13			69.0							1
目	毎,		通年																	0.12		0.12						0.12		0.12						0.12	1
授業科目		神炎	後期〕		2	2		2	2		2	2		2	2																				2		1
		講義	前期	2		2	1		1	2		2	2		2				90'0		1	1.06							2	2				90.0			1
							()	()										KIE.					]										km				Ĭ
		科目名				集計	I A(化学)	薬学演習 I B(化学)	集計	I	П	長計	L	п	長計		教育	実務実習ポスト教育	SIII	三三		長計	美習工	教育		7	習IA	工层		集計		教育	実務実習ポスト教育	EMII		田	
		本		旧川	門工	H	育習 1 ≠	智習IE		物理学入門 I	物理学入門工	鈴木幸男 集計	物理学入門 I	物理学入門工	佐藤文治 集計	冬寒習	実務実習プレ教	₹쫩ポ?	<b>卜</b> 験学習	薬学総合演習Ⅱ	译型口	松村久男 集計	化学·物理系実習	実務実習プレ教育	冬実習	薬学演習ⅡA	薬学総合演習	薬学総合演習	が日		冬寒習	実務実習プレ教育	言習ポ	早期体験学習	Π	薬学総合演習Ⅱ	
				数学入門	数学入門皿	田村栄·	薬学源	薬学源	美軍素猛	物理学	物理学	鈴木≘	物理学	物理学	佐藤,	実務系実習	実務身	実務身	4 附	薬学総	臨床薬学工	松村	- 本羽	実務身	生物系実習	薬学源	薬学終	薬学終	理論化学工	土田和徳	実務系実習	実務身	実務身	早期位	免疫学工	薬学終	
					月1日			月1日			月1日			月1日					Ш								_							月1日			
	現職就任年	Ш			2009年4月1			2012年6月1			2010年4月1			2010年4月1					2008年4月1							2005年7日1								2010年4月1			
		Π																																			_
	背野介口口	英 十 二			2009年4月1日			2009年4月1日			2010年4月1日			2010年4月1日					2008年4月1日							2005年4日1日	Γ †							2010年4月1日			
													_																								_
		<u>+</u>			男 64			男 64			男 64		_	男 63		_			男 53							72								男 42		—	_
		<u> </u>		,15	1 <b>1</b>		なおみ			ゆきお			ب			ひさお							hω			ш					たけし						
2.1.148.47	かれる	五女	ξ Φ	5 えいいち	  }			世		计例	#		<b>うぶんじ</b>		大 归					<b>火</b>			<u>:</u>				和徳								H 配		
	হ			たむら	‡ B	∓ H	のざわ	斯留		केकें	<del> </del>	타 타	さとう	+ #	女 茶	まつむら				₹ <u>†</u>			つちだ				田				かわむら				<u>-</u>		
	車	奏 <b>6</b>			講師		‡		XIX		講師			講師					講師	_						華師			_			_	_	講師			
	t 立	_ 作 世		Į.	× 同 カ		1   	× 同 カ		<u> </u>	× 同 カ		<u> </u>	× 国 ロ				¥	子が	ļ						5瀬坪							1	4.7数	<u> </u>		
	吊军举办华	古里		<b>拉斯林</b>	教徴教育で シター	^ \	作業が	教徴教育で、74年	`	非一件	教徴教育で、74年	`	# 1/4 1/4	教徴教育で、カー	\ \ \			4 子	語不米 予数がかり かんしん	ב ה /						物理系薬学	分野						# { 	臨不無予数があった。	ת ה י		
	4. 4.	+																																			
	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	- 图 三		· 注	米子女(米	¥	礼	米子女(米米学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	<u></u>	‡ 1	米子女(米	¥ ¥	‡ †	米子な(米)	**			₩ 1	米子女(米妆生)	*						薬学科(兼	<b>蒸料</b>						† ‡	米子本(米妆生)	¥ F		

			\+3T \ \							授業科目							左眼亚		
片	吊票等成单	車	かいんぐ		竹恭	背野介口口	現職就任年	E			毎週	<b>毎週授業時間数</b>	間数				+ 乜 三 伸	最終学歴及び	
Ē		奏 6	年夕	H H	E EI	近十五 七	ш 	科目名	講義	神动	演	演習		実習	Еπ	総計	授業時間	学位称号	
			戌 4						前期	後期通	通年 前期	期 後期	浬	年 前期	月 後期		回数		
			さこ けんいち	.0				医療統計学	2							2			
								実務系実習							0.27	0.27			
								実務実習プレ教育					0	0.12		0.12	-		
	‡ †							実務実習ポスト教育						0.11	-	0.11		東京薬科大学	
米子女(米 語物學系統)	臨不樂予数ガイン	講師		眠	42	2006年4月1日	2006年4月1	日 生物薬剤学 エ	-							1	2.81	米子车汽车	
	ا آ آ		佐口 業一					薬学総合演習工			0.12		_			0.12	_		
								臨床薬学工	-							1		<u></u>	
								臨床薬物動態学	-							1			
								佐古兼一 集計	2		0.12		0	0.12 0.11	11 0.27	5.62			
-			こが かずたか					化学 物理系実習 I			-				0.8	0.8			
								薬学演習IB				0	0.43			0.43	_		
								東学 本学 本学 本学			0	0.23				0.23		<b>東島大</b> 学	
薬学科(兼 薬 薬	薬品創製化業の調整	講師		田	41	2005年4月1日	2005年4月1	日 薬学演習ⅢB					0.27		L	0.27	2.87		
	(九)		五質 和隆	l		•	•	_	2							2			_
								有機薬化学TB		2						2		\ <del>\</del> <del>\</del> <u>+</u>	
								计码书除 催毕	c	١٥		0 00	7 0		0 0	E 73	-		
1	1	Ī			ı			口具加隆 来引	7	7	2		7.7	1	o.	0.73			Ī
			いとかず ななえ	J				一般用医薬品学	-							1			
								漢方処方学	-							1			
								基幹実習(漢方薬学)						1	1.2	1.2		; - - <del> </del>	
								実務実習プレ教育					0	0.12		0.12		東京大平	
架子本(兼 ) 海线型 海线电池	漢力楽字分馬	講師	タギ 十	Ħ	39	2009年4月	2009年4月1日 2009年4月1日	日 東洋医薬学概論	-	2						3	3.78	医子姓光科 插十二二 多人	
								薬学総合演習 I B				0.	0.12			0.12		本十年(本) 一連十(本)	
								薬学総合演習エ			0.12					0.12		Ì	
								臨床漢方治療学工		1						1			
								糸数七重 集計	3	3	0.12	0.	0.12	0.12	1.2	7.56			
			つらな くそいき					ゲノム科学 I		2						2			
								衛生系実習 I						0.53	53	0.53			
								基幹実習(健康薬学)						0.9	0.53	0.53			
								実務実習プレ教育					0	0.12		0.12			
	1							実務実習ポスト教育						0.11	Ξ	0.11	_	東京薬科大学	
※字本(等 語 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	福不米 子教	講師		町	39	2004年4月	2004年4月1日 2004年4月1日	日 早期体験学習	90.0							0.00	3.80	<b>楽字钟究科</b>	
	アンダー		温縣 译						2							2	_		_
								薬学英語入門工		2			_			2		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
								薬学総合演習 I B				0	0.12			0.12	_		
								薬学総合演習Ⅱ			0.12					0.12			
								齋藤博 集計	2.06	4	0.12	0	0.12	0.12	1.17	7.59			

								修了						<u></u>	_					1 × 1	<u> </u>							参し	<u>.</u>							<b>修</b> 了			
	最終学歴及び	学位称号				九州大学	薬学研究科	修士課程	薬学博士			:	京都大学	果字好究本 插十二节	一种一样(种)十种	<del>}</del>		;	東邦大学	<ul><li>※</li><li>※</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li><li>が</li>&lt;</ul>		)   				; ; !	<b>表記人事</b>	米子母光存物十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		)   				1000年十十年	薬学研究科	修士課程	<b>修士</b> (薬)		
左開ボ	4 る 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	授業時間業	目数				9	7.00						0.68						3.06								0.80							Ġ	0.82			
		総計		0.53	0.53	0.12	0.56	0.13	0.12	2	3.99	0.12	0.11	0.12	-	1.35	8.0	0.64	0.12	0.56	2	2	6.12	85.5	0.53	0.64	0.12	90.0	0.12	0.12	1.59	0.12	90.0	0.13	0.12	0.12	0.29	8.0	1.64
		***	後期	0.53							0.53							0.64					0.64	2.45	0.53	0.64					1.17						0.29		0.29
		実習	前期		0.53						0.53		0.11			0.11	0.8						0.8	5.58														8.0	0.8
	数		通年			0.12					0.12	0.12				0.12			0.12				0.12	1.08			0.12				0.12	0.12							0.12
	<b>毎週授業時間数</b>		後期																					0.94					0.12		0.12				0.12				0.12
	週授業	演習	前期				0.56	0.13			0.69									0.56			0.56	2.17										0.13					0.13
田林	伸		通年		ļ				0.12		0.12			0.12		0.12								96.0						0.12	0.12					0.12			0.12
授業科目		義	後期							2	2											2	2	35															
		肄業	前期												1	1					2		2	37.3				90'0			90.0		90'0						90.0
		科目名		化学·物理系実習II	基幹実習(健康薬学)	実務実習プレ教育	薬学演習IA	薬学総合演習 I A	薬学総合演習エ	理論化学 I	高城徳子 集計	実務実習プレ教育	実務実習ポスト教育	薬学総合演習Ⅱ	薬剤学工	土肥弘久 集計	化学·物理系実習 I	基礎薬学実習	実務実習プレ教育	薬学演習IIA	有機薬化学IA	有機薬化学 I B	高山博之 集計		化学·物理系実習II	基礎薬学実習	実務実習プレ教育	早期体験学習	薬学総合演習 I B	薬学総合演習エ	久保光志 集計	実務実習プレ教育	早期体験学習	薬学総合演習 I A		薬学総合演習Ⅱ	薬学総合実習(PBL)	薬剤系実習	岩瀬晴信 集計
	現職就任年月						2010年1日1日	2010年4月1日						2012年4月1日						2010年4月1日								2004年4月1日							, 1	日1日4世6002			
	就職年月日現職						0006年7日1日	好/±cnnz						2012年4月1日						2004年4月1日								2004年4月1日							- L	2003年4月1日			
	千							χχ						37						34								37								တိ			
-	一性別年齢			ij			+	×				tu		眠			₩			町								町				፧፟፟፟፟			B	K			
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	<ul><li>ふりがな</li><li>氏名</li></ul>			たかじょう とくこ				高城 徳子				どい ひろひさ			THE 34X		たかやま ひろゆき				が 田間				くぼこうし			7 招光十	シアドン			いわせ はるのぶ				岩瀬 晴信			
	車	奏 占					二十 十二	自生						講師						講師				講師 集計				助教							14	四级			
	<b>叶层</b> 華 広							分野					‡ ;	臨天楽予数がも、	ת ה י				神口の無に	新品吧 第公司				和在			排列田生	多苗米米 文語	Ħ C							米利子グ野			
	北	は上来に					薬学科(兼	薬科学科)					* * *	米P本(帯無数を)を	イサーサンド					米子女(半茶生)								米子存(米树起)							薬学科(兼	薬科学科)			

·χ	ふりがな						- <del>44.</del>	授業科目		10 11	775			年間平	
			期	就職年月日 男	現職就任年月			}	毎週授	每週授業時間数	数			Т	週最終学歴及び
外				I :	Ш	科目名	講義		演習			実習	総計		
T.							前期後	後期 通年	年 前期	後期	通年	前期 後	後期	H X	×
うらまる なおと						衛生系実習I						0.53	0.53	93	
						衛生系実習エ							0.64 0.64	4	
						実務実習プレ教育					0.12		0.12	2	田二大学
E	ç			7		早期体験学習	90.0						0.06	90	薬学研究科
WW 浦丸 直人   ヵ   52   2003年4月1日   2003年4月1	35		τ Γ Ξ	Ń	Ī	薬学総合演習 I A			0.13				0.13		00 修士課程 修了
						薬学総合演習 I B				0.12			0.12	2	修士(医薬)
						薬学総合演習エ		0	0.12				0.12	2	
						浦丸直人 集計	90.0	0	0.12 0.13	0.12	0.12	0.53	0.64 1.72	.2	
助教 集計							0.18	0	0.36 0.26	0.36	0.36	1.33	2.1 4.95	5 2.48	81
				i											
中村有貴    2007年4月1日 2007年4月1	2007年4月1日 2	2007年4月1日 2	4月1日 2		Ш	実務系実習							0.27 0.27	7	
						実務実習プレ教育					0.12		0.12	2	
						実務実習ポスト教育						0.11	0.11	1	
中村有貴 集計											0.12	0.11	0.27 0.	0.5 0.25	55
	2011年9月1日	2011年9月1日	9月1日	7	Ш	衛生系実習エ							0.64 0.64	71	
				Ī		実務実習プレ教育					0.12		0.12	2	
						生物系実習						0.64	0.64	7:	
						早期体験学習	90'0						0.06	90	
渡部容子 集計							90.0				0.12	0.64	0.64 1.46	16 0.73	73
野本裕樹子	2008年4月1日	2008年4月1日	4月1日		2008年4月1日	実務系実習							0.27 0.27	7	
						実務実習プレ教育					0.12		0.12	2	
						実務実習ポスト教育						0.11	0.11	1	
野本裕樹子 集計				Ш				$\vdash$			0.12	0.11	0.27 0.	0.5 0.25	25
助手 集計				$\vdash$			90'0	$\vdash$			0.36	98.0	1.39 2.67	2.5	
総計				$ldsymbol{ldsymbol{\sqcup}}$			154	143 6	6.12 9.1	8.92	9	21.5	19 368	88	

	崛	学位教	
午間亚	キ 女 西 伸 一 囲	授業時間	至
		総計	
	数	実習	通年 前期 後期
科目	毎週授業時間	演習	通年 前期 後期
授業		講義	前期 後期
		科目名	
	現職就任年月	Ш	
	<b>計解作日</b> 日	24年十二	
	千木	<u> </u>	
	ξ	<u> </u>	
743417	かいろん	五夕	무 소
	車	奏 占	_
	吊军業の年	出来	
	北	┡ Æ	

[注] 1 「所属学科」には、( )に兼担の学科名を記入してください。

2 「所属講座等」には、所属講座または研究室、センター名などを記入してください。

「授業科目」欄については、セメスター制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してくださ ო

ŝ

「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、実質時間数を記入してください。(例:1コマ90分授業の場合の実質時間数は1.5時 4

当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。 1 授業科目を複数の教員で担当する場合は、 Ŋ

「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。 ဖ

## (基礎資料11) 卒業研究の配属状況

5年生の在籍学生数 153 名

6年生の在籍学生数 193 名

	配属講座名	指導教員数	5年生	6年生	合計	配属学生1名当たりの研究室の
		71 (7 37/2027)	配属学生数	配属学生数		広さ (m <sup>*</sup> )
1	漢方薬学	3	14	22	36	7. 49
2	健康生命科学	3	14	26	40	6. 96
3	生命医療薬学	6	29	38	67	6. 26
4	生命分子薬学	5	24	27	51	5. 98
5	物理系薬学	7	25	23	48	5. 92
6	薬剤学	3	10	22	32	7. 68
7	薬品創製化学	5	21	19	40	6. 68
8	臨床薬学教育センター	10	16	16	32	11. 72
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25					_	
26						
27						
28						
29						
30						
	合 計	42	153	193	346	

[注] 卒業研究を実施している学年にあわせ、欄を増減して作成してください。

備考		講義室・パソコンルームと兼用		P C特込み利用1室(自習室兼用)	情報処理学習と語学学習は兼用		OSCEに利用している。							
利用学生 1 人当 たり面積 (㎡) (A/B)	2. 93													
利用学生 総数 (B)	1, 338													
収容人員 (総数)	3, 390	(830)	406	138	222									
専用・共用の別	車用	車用	車用	自自	自	自自	自自	車用	車用	自自	自	車用	自自	自
総面積 (㎡) (A)	3, 919	(098)	828	230	230	330	099	330	330	330	330	330	330	172
ト	25	(3)	19	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1
講義室等	講義室	学生自習室	演習室	パソコンルーム・情報演習室	コンピュータ室 (GBT室)	模擬薬局(DI室・無菌室)	多目的実習室	物理系実習室	漢方·医療薬学系実習室	衛生化学・健康薬学実習室	薬理・生物系実習室	薬剤学実習室	中央機器室	機器室
	無無	東室	Ņ	1000	#				実験	• ₩	医黑			
スパンセキ							1°:'\1 + + '-+	くこうととはこうし						

※学生総数は平成24年5月1日現在 ()内数字は、内数

6年制薬学教育において使用するキャンパスごとに記入してください。 全学で全ての施設を共用している場合は、「キャンパス」欄に「全学共通」と記入してください。 共有・全学共通の場合は備考欄にその学部名(学生数)を記載し、「利用学生総数(B)」欄にも 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。 例示のように適宜行を追加して作成してください。 - 0 0 4 0

妞

(基礎資料13) 学生閲覧室等の規模

龍			
その他の自習室の整備状況	情報処理末端 16	情報処理末端 2	情報処理末端 18
その他の 自習室の座席数	0	0	Ü
その他の 自習室の名称	0	0	O
収容定員に対する 座席数の割合(%) A/B*100	22. 4	22.2	22.4
学生収容 定員数(B)	1, 560	06	1 650
学生閲覧室 座席数(A)	350	20	370
図書室(館)の名称	日本薬科大学図書館	お茶の水図書室	<del>1</del> 1111

「学生収容定員(B)」には、当該施設を利用している全ての学部・大学院学生等を合計した学生収容定員数を記入してください。

世

「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部・大学院等ごとに記入してください。

「その他の自習室の整備状況」欄には情報処理末端をいくつ設置しているか等を記載してください。 ი ი

(基礎資料14) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

光华、中国	 	図書の冊数 (数)	定期刊行 (種	定期刊行物の種類 (種類)	視聴覚資料の	   大部   一   大   十   大   1	過去3年	過去3年間の図書受け入れ状況	入れ状況	
凶書郎の名称	図書の冊数	開架図書の 冊数(内)	内国書	外国書	<u></u> 加威致 (点数)	ナルの裡類 (種類)	平成19年度	平成20年度	平成23年度	闸
日本薬科大学図書館	31, 953	31, 953	198	99	1, 309	165	1, 168	405	633	
お茶の水図書室	1, 772	1, 772	4	0	0	0	0	1, 535	177	
냳	33, 725	33, 725	202	<u> </u>	1, 309	165	1, 168	1, 940	810	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

開架図書の冊数(内)は、図書の冊数のうち何冊かを記入してください。

N

視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、 CD-ROM等を含めてください。 ო

電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。 4

5 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

教育およる	び研究活動の業績	責一覧
大学名 日本薬科大学 講座名 生命医療薬学	職名 教授	氏名 土肥敏博
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概  要
1 教育内容・方法の工夫	平成21年~現在	薬物治療学111後期(4年次必修):
(授業評価等を含む)		コアカリC14(1),(3),(4), C15(2),(3)に関する講義 アレルギー・免疫疾患と薬物療法、症候と検査値、耳鼻咽喉の薬物療法、生殖器疾患の薬物療法、テーラーメイド薬物療法について講義した。パワーポイントスライド原稿問題の回答を提出させて講義内容を理解せるように努めた。平成23年度学生による授業評価では標準であった。
		臨床薬理学(4年次必須):臨床薬理学総論、薬物相互作用、医薬品の安全性、救急医療鎮痛薬・中枢神経作用薬・循環器系作用薬の臨床薬理について講義した。パワーポイントスライド資料とまとめ・演習問題を講義のつど配布した。臨床現場に即した内容とした点は学生に好評であった。
		臨床医学概論: (4年次医必須、健康・漢方選択):臨床医学総論、疾患各論(感染症、免疫異常性、生活習慣病、循環器系疾患の診断(心電図)、脈管系疾患、脳神経・運動系疾患、口腔疾患と全身疾患、消化器系疾患につ変患と全身疾患、消化器系疾患にであるよこで必要な知識を重点に解説した。各講義時間毎に小テストを実施し、理解を深めるが習りがある。学生には、これまでに無い知識が習得できた点好評であった。
	在、平成23年 ~現在	医療薬学実習 I (医薬品情報および症例解析) の補助、薬理学実習の補助
	平成21年~現 在	薬学総合演習 I (4年) 、E2総合薬学演習 (5年) 、薬学総合演習 II (6年) :薬理学および薬物治療学の演習を行っている。
2 作成した教科書、教材、参考書	平成21年~現在	薬物治療学Ⅲ、臨床薬理学、臨床医学概論
		講義・演習プリント
		薬学総合演習プリント
		NEW薬理学改定第6版 執筆
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	ㅠchoo ケ	体自上兴华兴 ***********************************
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	平成22年 平成22年 平成22年~現 在	徳島大学歯学部非常勤講師 福島県立医科大学非常勤講師 岡山大学歯学部非常勤講師
	平成22年~ 23年	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪 問指導
	平成22年~ 現在	5~6年ワーキンググループ(教務委員会)
Ⅱ 研究活動		
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(論文) Glycine transporter inhibitors as a novel drug discovery strategy for neuropathic pain.	共著	2009年 Pharmcol. Ther.,123, 54-79.

(論文) Nicotine stimulates tra activity of the human dopamine gene.		共著	2010年	Neurosci., Lett., 471, 34–37.			
(論文) Expression and function human catecholamine transporter fifth transmembrane region enco	s lacking the	共著	2010年	PLoS ONE., 5, e11945.			
(著書) NEW薬理学 改定第6版		共著	2011年	南江堂			
(論文) Spinal astrocytes contr circadian oscillation of glutam cyclooxygenase-1 and clock gene spinal cord of mice.	ine synthase,	共著 2012年		Neurochem Int.60:817–26.			
Ⅲ 学会等および社会における主な	よ活動						
平成21年	平成21年度科学研	研究費委員会専門委員(第2段審査委員)					
平成22年	平成22年度科学研	T究費委員会専門	委員(第2段審査委員	1)			
平成23年	平成23年度科学研究費補助金(特別推進研究)審査意見書作製委員						
平成23年7月	第24回日本顎関節学会・第2回アジア顎関節学会 イブニングセミナー講演						
平成24年4月~現在	薬剤師国家試験問	围検討委員会委	員(薬理)				
		·					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育およ	び研究活動の業績	一覧						
大学名 日本薬科大学 講座名	薬品創製化学分野	職名 教授	氏名 秋田弘幸						
I 教育活動									
教育実践上の主な	業績	年 月 日	ħ	既要					
1 教育内容・方法の工夫(授	業評価を含む)	平成22年4月より	有機薬化学I(1年次必修:IA;前期,IB;後其						
		現在	教科書を中心にして	[板書(又は書画)にて講義					
		授業評価は平均(3.							
				次必修:IA;前期,IB;後期)					
		現在 		[板書(又は書画)にて講義					
			授業評価は平均(3.						
		平成22年後期 	楽字演省IIB: I 年。 問題演習を行った。	次の講義内容について					
		立成22年後期 トル		(4年-6年次:有機系C4(2)					
		現在		に問題演習を行っている。					
2 作成した教科書、教材、参				基本有機化学(第3版)					
	- <del>-</del>	現在	適宜プリントで補充						
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等	平成23年6月25日	一年生対象薬学セミ	:ナーで「クスリの"かたち"					
			と"ききめ"一光学	<sup>1</sup> 異性体の違いでクスリの					
			作用は異なる。						
4 その他教育活動上特記すべ	き事項(FDを含む)	平成22年4月より	教務委員会委員						
		現在							
			22年4月より  FD委員会委員						
		現在							
Ⅱ 研究活動		Γ	Γ	T					
著書・論文等 <i>の</i> 名 称	)	単著・ 共著の別	発行または発表の 発行所、発表雑調 年月(西暦でも可) (巻・号数)等の						
(総説) 生体触媒による物質変換	を基盤とした天然	単著	平成23年2月	薬学雑誌, 131, (2), 269-					
物合成				284 (2011)					
(論文) Total Synthesis of (+) and Z.		共著	平成21年3月	Tetrahedron Asymmetry, 20, (2009) 298-304.					
(総説)Recent Advances in the Biologically Active Natural Pr		単著	平成21年7月	Heterocycles, 78, No 7, 1667-1713 (2009).					
Biocatalyst	5- <del></del>	224 <del>-1.t.</del>	TE #10 # 5 F	+ 1/4 A - P. J. 24 14 A = 1 - AF					
(総説) 加水分解酵素による物質 た天然物合成	复変換を基盤とし	単著	平成19年5月	有機合成化学協会誌, 65, 783-794 (2007)					
(著書) "Future Direction in B		単著	同 年10月	Elsevier B. V. London and					
Chapter 11, Synthesis of natur β-D-glucopyranosides based on				Amsterdam, 2007. pp. 253- 290					
glucosidation using β-glucosid	-								
ed. by Matsuda T									
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動								
平成4年4月~現在まで	日本大学大学院生	産工学研究科非常	勤講師						
平成10年1月~現在まで	生体触媒化学シン	ポジウム学会幹事							
平成13年4月~平成22年3月	厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員								
平成15年4月~平成22年3月	有機合成化学協会	·関東支部評議員							
平成21年1月~現在まで	香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会学会幹事								
17021年171 30日8 0	  月〜現在まで   東京理科大学理学部化学科2部非常勤講師								

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本薬科大学	講座名	薬剤学分野	職名	教授		氏名 今村 順茂	
I 教育活動			•				
教育実践	上の主な業績	±	年	月	日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成 在	22年	~ 現	生物薬剤学 I (2年次必修): コアカリC13(1)-(4) に関する講義 本講義では、薬物の生体内動態、すなわち基の吸収、分布、代謝および排泄に関するあられた。とを目的として配付いる。 あ教書をまとめたプリントを配付にのる。また練習問題のプリントを配け明を記している。 教試、客においるのでは各節が終了したで学生に講練でいる。解説を加え理解を深めていよいると、解説を加え理解を深めている。 教材プリアを得している。 教材プリアを得方との配付については概ね好評を得るのでは概な好評価(評価15項目の平均値以上であった。		
			在	22 年	~ 現	生物薬剤学 II (3年次必修): コアカリC13(4)およびC16(3)に関する講義 15コマの講義の6コマ分を担当し、薬物相互作 および薬物送達システム(DDS)について講 た。方法は、前述の生物薬剤学 I と同様に行 た。	
			平成2	3年		薬剤系実習(4年次必修): 医薬品の用途に応じた適切な剤形を調製する めの基礎知識と基本的技能を修得するための 習を行った。	
			平成:在	24年		PBL実習 (2年次必修): 薬剤師に求められる情報収集能力を高めるこを目的にワークショップ形式、発表形式、構解析形式の実習を行った。	
			平成	22年·	~ 現	薬学総合演習(4年~6年次): 薬物の生体内動態に関する内容、コアカリC13(1)-(4)の講義を演習形式で実施している	
2 作成した教科書、	教材、参考	書	平成2			生物薬剤学 I 講義用プリント  生物薬剤学 I 練習問題プリント	
			平成2	現	在	生物薬剤学 II 講義用プリント 生物薬剤学 II 練習問題プリント	
			平成2	· 2年~	在	薬剤系実習書 薬学総合演習(4年~6年次)プリント	
			平成2			 環境毒性学、朝倉書店(共著)	
4 その他教育活動上	特記すべき	事項(FDを含む	) 平成2	3年		  実務実習訪問指導:  実務実習先の薬局へ出向いての訪問指導	
			平成2		在	FD委員会委員	
			平成2	2年~		0SCE委員会委員	
			平成2	4年~		4年ワーキンググループ(教務委員会)	
I 研究活動							
著書•	論文等の 称			単著・ 著の別	ıl	発行または発表の 発行所、発表雑誌 年月(西暦でも可) (巻・号数)等の名称	
石 (論文) Several distin 0α-hydroxysteroid de ouse liver and kidney	nct enzymes ehydrogenase			<del>有00 //</del> 共著	<u>.1</u>	平成19(2007)年7月	

(論文) Molecular basis for peroxisomal localization of tetrameric carbonyl reductase.	共著	平成20(2008)年3月	Structure, vol.16, 388- 397.			
(論文) Strain difference of cadmium-induced testicular toxicity in inbred Wistar-Imamichi and Fischer 344 rats.	共著	平成21(2009)年5月	Arch. Toxicol., vol. 83, 647-652.			
(著書)環境毒性学	共著	平成23(2011)年3月	朝倉書店			
(論文) Possible mechanism of superoxide formation through redox cycling of plumbagin in pig heart.	共著	平成24(2012)年3月	Toxicol. in Vitro, vol.26, 252-257.			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						

- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
- 5 「皿 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

## (基礎資料15-4) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧								
日本薬科大学臨床薬学	 教育	教授	谷古宇 秀					
I 教育活動								
教育実践上の主な業	<b>美績</b>	年 月 日	1	既要				
1 教育内容・方法の工夫 (授業評)	西等を含む)	H22~現在		と期実務実習に向けて薬剤師 いた知識、技術、態度の基本				
		H22~現在		-年生が将来どんな薬剤師を 見像するための職場見学を				
		H24~現在		心にした問題解決方法を学ぶ 元配置法を使い、課題に即し こ。				
2 作成した教科書、教材、参え	<b>芳書</b>							
3 教育方法・教育実践に関する	5発表、講演等							
4 その他教育活動上特記すべる	· 李事項	H22~現在		病院、薬局での指導薬剤師				
<b>.</b>	(FDを含む)		と学生の実習につい					
			L					
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称				
Comparison of Gastroretentaive and Sustained-Release preparati Teophylin Phamacokinetics		共著	2008	J. Pharm. Pharmacol., 60, 693—698.				
亜鉛キレート形成薬剤による褥創汁	台療過程への影響	共著	2008	日本病院薬剤師会誌, 44(7), 1071-1074.				
Evaluation and Optimization of Variales for controlled Release Microspheres prepared by Poor S Method	Floatable	共著	2008	Drug Dev. Ind. Pharm. 34(11), 1238-1245.				
球形吸着炭製剤の先発医薬品に対す 物理化学的性質と吸着性の比較	する後発医薬品の	共著	2008	医療薬学 34(12), 1077- 1085.				
Time Series Analysis of Clinica on Chemotherapy for Gastric Car		<u></u> 共著	2008	J. Pharm. Pharamaceut. Sci., 11(4), 83-89.				
Ⅲ 学会等および社会における主力	な活動		•	•				
H16年~H22 年	東京都薬剤師会常	常務理事						
H19年~現在	日本製薬工業協会	÷プロモーション	ノコード委員会外部委	員				
	t	日本製薬工業協会プロモーションコード委員会外部委員 						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧									
大学名 日本薬科大学	講座名 臨床薬学	₾教育センタ-	職名	教授		氏名 喜	多代	晋	
I 教育活動			l						
教育実践上の主な業績			年	月日	3		相	既	要
1 教育内容・方法の	工夫(授業評価	等を含む)	平成18	8年~1		関する講義 薬学を取り の管理薬に関	巻く法 する基 心にパ	律、制 本的知 ワーポ	): コアカリC18(1)  度、麻薬及び毒劇物  識について論じた。 パイントを活用して訪
			平成19	9年~2	20年	び(3)に関する 薬学を取り 局の役割と業 て論じた。	る講義 巻く社 務運営	会保障 に関す ワーボ	(ジ): コアカリC18(2) は制度と薬剤経済、薬 でる基本的知識につい ボイントを活用して診 であった。
			平成20	0年~ヨ		修): コアカ! 薬学を取り 務に関する基	JC18(1 巻く法 本的知 心にパ	), (2) 2 律、制 識につ プーポ	パイントを活用して訪
			平成20	0年~3		に先だっての 実務実習に い、法律及び 処方せんの疑 基本的知識に	基先制義つトを教っの会で中	育 て 面 、 い い 。 、 論 に た	~4コマ/年を使 、処方せんの基礎、 指導の意義に関する
			平成20	0年~3	現在		$(1) \sim (3)$	)を中/	·6年次): 薬学と社会 心に演習形式で、講 ·いる。
2 作成した教科書、	教材、参考書		平成18	8年~2	21年	薬事関係法規	及び薬	事関係	制度解説
			平成22	2年~3	見在	薬事関係法規	・制度	及び倫	<b>〕理 解説</b>
						薬学総合演習			
		-44	平成20	0年~3	見在	実務実習プレ	教育講	義プリ	ント
3 教育方法・教育実 	践に関する発表	、講演等							
4 その他教育活動上	特記すべき事項	(FDを含む)	平成20	0年~3	見在	OSCE評価者と	して:		なび城西大学のOSCE記 F価者として参加
			平成23	3年		5~6年ワーキ	ンググ	ループ	۴
			平成22	2年		薬剤師研修セ	ンター	認定薬	<b>ĕ</b> 剤師
Ⅱ 研究活動			•						
著書・ 名	論文等の 称			道著・ 著の別		発行または発 年月(西暦で			発行所、発表雑誌 巻・号数)等の名称
(著書)薬事関係法規及	び薬事関係制度	解説2008-09	;	共著		2008年4	月	薬事衛 社)	生研究会(薬事日報
(著書)薬事関係法規及	び薬事関係制度	解説2009-10	;	共著		2009年4	月	薬事衛 社)	生研究会(薬事日報
(著書)薬事関係法規及	び薬事関係制度	解説2010-11	;	共著		2010年4	月 —	社)	生研究会(薬事日報
(著書)薬事法規・制度	及び倫理 解説20	)11-12年版	-	共著		2011年4	月 一	社)	生研究会(薬事日報
(著書)薬事法規・制度	及び倫理 解説20	)12-13年版	;	共著		2012年4	月	薬事衛 社)	生研究会(薬事日報

Ⅲ 学会および社会における主な活動							
平成18年4月~現在	日本私立薬科大学協会 薬剤師国家試験問題検討委員会委員(法規・制度・倫理)						
平成18年4月~現在	薬学教育協議会 教科担当会議委員 「薬学と社会」						
平成22年~現在	埼玉県薬務課連絡会委員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教	育および研究活動の業	<b>美</b>
大学名 日本薬科大学 講座名 生命医療薬学分	分野 職名 教授	氏名 三澤 美和
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む	む) 平成23年〜現在	薬理学ⅢA(3年次必修): コアカリ C13(3)2 および C13(2)5 に関する講義消化器系薬理学および呼吸器系薬理学について論じている。欠席者、遅刻者のない授業の達成を願い、病気などでの最小限の欠席者と遅刻ゼロの授業を達成している。授業定刻から小テストを実施し、毎回の復習と理解をさせている。授業中学生に質問をしつつ授業を展開しているため、学生の理解度を確認しつつ授業を進められる一方、学生側としても緊張と興味をもって受講できている。質問者に対して丁寧に対応しているため、自室を訪れる学生の数は多数にのぼる。
	平成23年~現在	応用薬物治療学(6年次選択): コアカリ C10(3)、C13(2)、C13(3)、C14(2)、C14(3)、C14(4) および C14(5)という薬理学、薬物治療学に関する広範囲の内容を包含している。代表的な疾患症例のカルテを解析し、処方箋と処方された薬物の効果、副作用および薬物相互作用を総合的に把握すべく完全な質疑応答形式で授業をしている。最終学年である6年生の授業であり、卒業後の臨床現場でも実践的に十分役立つ意義のある授業にすべく、「一人ひとりの患者を見つめよ!」と伝えている。
	平成24年~現在	薬理学ⅢB(4年次必修): コアカリ C13(3)、C14(2)、C14(3)、およびC14(4)に関する内容を扱う。血液・造血器の薬理学、眼薬理学、骨粗しょう症の薬理学、糖尿病の薬理学を、それぞれに関連する疾患を薬がどのように治すかという視点で、理解しやすく教えている。命を預かる薬剤師としてふさわしい薬理学的力量を身につけさせるべく全学生が理解できるよう、上記薬理学ⅢAと同じ形式で授業している。多数の学生が質問のため、自室を訪れている。
	平成23年後期	機能形態学IIB (2年次必修)の一部: 腎臓の解剖学および生理学 (コアカリ C8(3)4を 内容とした。腎疾患、腎作用薬、腎に対する副作 用と関連するので、その流れにつながるように内 容を工夫して授業した。
	平成23年~現在	薬学総合演習 I、II (4年~6年次): 循環器系、呼吸器系、泌尿器系、悪性腫瘍疾患、 脳血管疾患に関する薬理学、薬物治療学、処方箋 解析学の授業を行っている。コアカリ C13(2)、 C13(3)、C14(2)、C14(3)、C14(5) に当たる。国家 試験問題やそれに関連した問題をプリント配布 し、質疑応答を交えながら、授業している。私語 もゼロで、学生は集中して興味深く受講している。
	平成24年~現在	Problem-Based Learning (PBL)実習 (2年次必修)の一部: A3、C8、C11、C13、C14など広範囲におよぶ学際的な実習である。学生自らがテーマを設定し、ディスカッションし、調査し、まとめ上げ、発表し、質疑応答を展開するという、自発的かつ対人的要素が高い興味深い実習に構成して、その展開を補佐する役割をしている。
2 作成した教科書、教材、参考書	平成23年~現在	薬学必修講座 薬理学 (薬の作用/薬の効き方)、 評言社 (監修および共著)
	平成23年~現在	新薬剤師国家試験対策 精選問題集 V 薬理(必須問題・理論問題・実践問題)、評言社(監修および共著)
	平成23年~現在	応用薬物治療学講義プリント
	平成23年~現在	薬理学関連・演習プリント(4年~6年次)
	平成23年~現在平成23年	薬物治療学関連・演習プリント(4年~6年次) 機能形態学講義プリント
	十八八八	放肥形忠子舑我ノリノト

3 教育方法・教育実践に関す	<b>する発表、講演等</b>	平成24年5月		期体験学習授業において1年生 とい教育を模索して」と題して
4 その他教育活動上特記すぐ	4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)			延研究会において、「星薬科大 長り返って」と題して講演
Ⅱ 研究活動			•	
著書・論文等の 名 称	)	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Glucocorticoids inhib hyperresponsiveness through d CPI-17 in bronchial smooth mu	ownregulation of	共著	2008年	Eur. J. Pharmacol., Vol. 591, 231-236.
(論文) Interleukin-13 augmen smooth muscle contractility w regulation of RhoA protein.		共著	2009年	Am. J. Respir. Cell Mol. Biol., Vol. 40, 159-167.
(論文) Down-regulation of mi contributes to up-regulation bronchial smooth muscle cells	of RhoA in	共著	2009年	Am. J. Respir. Crit. Care Med., Vol. 180, 713-719.
(論文) Effect of a matrix me 12 inhibitor, S-1, on allergi phenotypes in mice.		共著	2010年	Inflamm. Res., Vol. 59, 419-428.
(論文)Involvement of Src fa activation in angiotensin Ⅱ- hyperresponsiveness of rat br muscle.	共著	2010年	Peptides, Vol. 31, 2216-2221.	
Ⅲ 学会等および社会における	<b>上な活動</b>			
平成18年4月~平成23年3月	日本私立大学協会[	国家試験問題検討	委員会委員	
平成19年4月~平成20年3月	平成19年度国公私	立薬理学関連教科	担当教員会議委員長	
平成18年4月~平成24年3月	日本薬史学会常任3			
平成19年6月~平成24年3月	日本薬史学会広報			
平成19年8月			事に中国・北京市に招	3待される
平成19年10月~現在	応用薬理研究会理		41-1 H 3020 (11-12	114 6 40 0
平成20年3月	第81回日本薬理学			
平成20年4月~平成22年3月	日本薬理学会理事	<b>以一五反乃儿公</b> 莫·	<u> </u>	
平成20年4月~平成22年3月	日本薬理学会編集	五百二五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五		
平成20年4月40 平成22年3月	日本薬理学会関東		 会を開催	
平成20年6月	第10回応用薬理シ			
平成20年6月			ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
平成20年8月	第19回日韓薬理学			
平成21年2月			<u> </u>	
平成21年4月~平成23年3月	日本薬学会薬理学		·/-///	
平成22年3月	第38回日本薬理学		 委員	
平成22年4月~平成23年3月	日本薬理学会監事	2 1 2 区/7 采 田 五 .		
平成22年4月~現在	日本薬史学会総務	委員会委員長		
平成22年5月				 )仕事と生涯」と題して講演
平成22年8月			<u> </u>	/ L ナーエ/圧」 こ 極 し 〜 時 次
平成22年10月			ng Investigator's Av	ward 家杏悉昌
平成23年1月				逐王・星一の人と生涯」と題し
平成23年3月~現在	日本薬理学会名誉	会員		
平成23年7月~平成24年3月	日本薬学会・年表	(2006~2010) 作	成委員会委員	
平成24年4月~現在	日本薬史学会副会	 長		
平成24年9月	『新渡戸稲造の世』 金発行)に、「星-			記念号、財団法人新渡戸稲造基
平成24年7月~現在	日本薬史学会学術	賞選考委員会委員		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育およ	び研究シ	活動の業績	績一覧
大学名 日本薬科大学	講座名 臨床薬学教育センター	職名	教授	氏名 木村 正幸
I 教育活動	•	•		
教育到	実践上の主な業績		月日	概  要
1 教育内容・方法	<b>もの工夫 (授業評価等を含む)</b>	平成1年	8年~22	2 伝統医薬学(1年次、後期):コアカリC16(2)およびC17(3) に関する講義 医薬品の原点としての民族薬を例示し、未だ使い続けられている伝統医学、伝統薬物の高い信頼性を論じた。教科書、参考書等をまとめたプリントを配布し、図表等の説明にはパワーポイントを活用している。 平成22年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.27(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。
		平成1年	8年~19	受 医薬品化学(3年次・漢方薬学科、通年):コアカリC6(1)およびC6(2)に関する講義 医薬品を構造面から捉え、その物理的、化学的、さらには生物化学的性質等につき講義した。方法は、前述の伝統医薬学と同様に行った。平成19年度前期の授業評価は3.89(5段階評価)であり、ほぼ全体平均値であった。
		平成20	)年~22年	F 有機薬化学 I (1年生、通年) : コアカリC4(1) および C 4(32) に関する講義 有機化学と生命科学の一翼である薬学との結びつき講義した。授業方式は上述と同じであるが、毎回小テストを実施し、理解度の確認を行った。平成22年度後期の授業評価は4.19(5段階評価)であり、全体平均値よりやや上であった。
		平成23	3年~現在	E 創薬化学(3年生、前期):コアカリC17(2)およびC17(3)に関する講義 医薬品開発(創製)の流れを理解し、各プロセスにおける基本知識を修得させる。講義型式は上述に加え、随時、補足説明を学生がプリントに書き込ませている。平成23年度前期の授業評価は3.94(5段階評価)であり、ほぼ全体平均値であった。
2 作成した教科書	<b>書、教材、参考書</b>	平成1 年	8年~22	2 教材:伝統医薬学講義プリント 平成21年:伝統医薬学・生薬、南江堂(共著)
		平成1 年	8年~19	9 教材:医薬品化学講義プリント 教科書:NEW医薬品化学(廣川書店)(平成20年) 参考書:CBT対策と演習「医薬品化学」(廣川書店)(平成20年)
		平成20	)年~22年	F 教材:有機薬化学 I 講義プリント
		平成23	3年~現在	王教材;創薬化学講義プリント 参考書:薬剤師国家試験対策参考書「化学」(薬 学ゼミナール)(平成22年)
3 教育方法・教育	育実践に関する発表、講演等	特にな	: L	
4 その他教育活動	か上特記すべき事項	平成1 在	8年~現	記 自己点検・評価委員会の委員長として、機関別評価(日本高等教育評価機構)に受審に向けて、自己評価報告書を作成した(毎年)。
	(FDを含む)	平 成 1 在	8年~現	教員の研究および教育活動をまとめた「日本薬科 大学研究・教育年報の作成と発行業務に携わって いる(毎年)。
		平成2 在	22年~現	見学部長として、学内の教育、研究、運営全般につき統轄する業務を担っている。
Ⅱ 研究活動				

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(著書)NEW医薬品化学	共著	平成20年2月	廣川書店		
(著書)伝統医薬学・生薬	共著	平成21年5月	南江堂		
(論文) Synthesis of Highly Conjugated Arylpropenylidine-1,3-diazin-2-ones via Paterno- Buchi Reaction by Photoreaction of 5-Fluoro-1,3- dimethyluracil with 1-Methoxynaphthalenes.	共著	平成20年	Chemistry Letters, 37, 872 (2008)		
(論文) Synthesis and antiproliferative evaluation of N,N-disubstituted N'-[1-aryl-1H- pyrazol-5-yl]-methniumides.	共著	平成22年	Bioorganic & Mededicinal Chemistry Letters, 20, 6781- 6784(2010)		
(論文)Cyclization-carbonylation-cyclization coupling reactions of propargyl acetates and amides with palladium(II)-bisoxazoline catalysts,	共著	平成23年	Angew. Chem., Int. Ed. 50, 3912-3915 (2011).		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成22年4月~現在埼玉県薬剤師会	理事				
平成22年4月~現在薬学教育協議会	委員 病院・薬局実務実習関東地区調整機構(委員) 科目担当教員会議・有機化学系検討委員会儀(委員)				
平成22年4月~現在薬学共用試験センター	担当窓口責任者:学部長職業務				
平成22年4月~現在薬学教育評価機構	社員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

(基礎資料15-8) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本	本薬科大学	講座名	生命分子薬学分野	職名	教授		氏名 秋山由紀雄
I 教育活動	 助	ı					
	教育実践	上の主な	業績	年	. 月	日	概  要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成1	8年~2	20年	病態生理学(2年次必修): 平成19年度はコアカリ 014(1)~(5)をすべて講義。平成18、20年度は2名 で分担。 各疾患について、病因、症状を中心に解 説。講義プリントを配布し、パワーポイントを用 いて講義。授業の最後に国家試験の過去問題を紹 介し解説。		
				平成2	20年~	現在	微生物薬品学(3年次必修):コアカリC14(5)に関する講義。抗生物質等の化学療法剤について、生産方法、化学構造、作用機序、副作用、使用上の注意などについて解説。講義プリントを配布し、パワーポイントを用いて講義。授業の最後に関連する国家試験の過去問題を紹介。また講義2~3回に1回の割合で5分程度の小テストを行い理解を深めるようにした。平成21年度後期の授業評価アンケート(評価15項目の平均値)は4.09で、授業の進め方については概ね受け入れられていると考えられる。
				平成2	?1年~?	22年	臨床生化学 (3年次必修): コアカリC14(1)に関する講義。各疾患における検査異常値を示し、その発生メカニズム、臨床的意義について解説。講義プリントを配布し、パワーポイントを用いて講義。各講義の最後に関連する国家試験の過去問題を紹介し解説。
				平成2	22年~	現在	医薬品開発論(5年次必修):コアカリC 17(1)(2)(3)(4)に関する講義。医薬品の探索研究、非臨床試験、臨床試験、申請承認、市販後調査などの各ステージについて、企業での開発の経験談を織り交ぜて解説。各ステージにおける薬剤師の役割についてもわかりやすく言及した。講義プリントを配布し、パワーポイントを活用し講るように努めた。平成22年前期の授業評価(21年の平均値)は4.35で、授業の進め方については概ね受け入れられていると考えられる。
				平成2	?3年~∃	現在	薬学総合演習(4年、5年、6年次):4年次については薬物治療C14(2)を、5、6年次についてはC14(4)(5)を中心に演習形式で実施。6年次には医薬品の開発と生産C17も担当。可能な限り参加型形式(質問及び解答説明)に努めた。
				平成2	!3年~∃	現在	早期体験学習(1年次必修):製薬企業への施設見学の引率を担当。またSGDに参画。
2 作成	した教科書、	教材、参	参考書	平成1	8年~2	22年	病態生理学講義プリント
				平成2	20年~	現在	微生物薬品学講義プリント
				平成2	21年~2	22年	臨床生化学講義プリント
				平成2	22年~	現在	医薬品開発論講義プリント
_ ,	1.1 10 1	_ n b ·		平成2	22年~	現在	薬学総合演習プリント
3 教育	方法・教育第	ミ践に関す	<b>片る発表、講演等</b>				
4 その1	也教育活動」	-特記すぐ	<sup>、</sup> き事項(FDを含む	平成2	22年~	現在	薬学共用試験OSCE評価者
				平成2	23年~3	現在	就職厚生委員会委員
				平成2	20年~2	22年	埼玉医療福祉専門学校非常勤講師(生理学)
				. ,,,,,		•	- Company of the second of the

Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Enhancement of antigen-specific immunoglobulin G production in mice by co-administration of L-cystine and L-theanine.	共著	平成19 (2007) 年12月	J. Vet. Med. Sci., vol. 69, No. 12, 1263 - 1270.			
(論文) Combined administration of L-cystine and theanine enhances immune functions and protects against influenza virus infection in aged mice.	共著	平成22 (2010) 年2月	J. Vet. Med. Sci., vol. 72, No. 2, 157 - 165.			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学 講座名 薬剤学分	野 職名 教授	氏名 中村和男				
I 教育活動	•					
教育実践上の主な業績	年 月 日	概  要				
1 教育内容・方法の工夫	平成18年	臨床薬学 I (3年次、4年次必修):コアカリ I(2)、(3)、C18(1)に関する講義				
(授業評価等を含 	t)	チーム医療の一員としての薬剤師の役割と業務の 種類について講義した。				
		教科書、参考書をまとめたプリントを配布し、理解度 を高めるため、パワーポイントを用い解説した。				
		平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.1 (5段階評価)で、全体平均値とほぼ類似した。				
		教材プリントおよび授業の進め方については平均 的な評価であった。				
	平成18年	臨床薬学Ⅱ (4年次必修):コアカリC13(4)に関する講義				
		薬剤師として理解しておくべき重篤な副作用とその 発現機構および代表的薬物、さらに薬物相互作用 の発現機序および臨床例について講義した。				
		教科書、参考書をまとめたプリントを配布し、理解度 を高めるため、パワーポイントを用い解説した。				
		平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.1 (5段階評価)で、全体平均値とほぼ類似した。				
		教材プリントおよび授業の進め方については平均 的な評価であった。				
	平成18年	臨床薬剤学(4年次必修):コアカリC13(5)に関する講義				
		薬剤の体内動態を予測し、患者個人の投与計画を 立案できるために、投与後の薬剤の吸収・分布・代 謝・排泄とその変動要因について講義した。				
		教科書、参考書をまとめたプリントを配布し、理解度 を高めるため、パワーポイントを用い解説した。				
		平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.1 (5段階評価)で、全体平均値とほぼ類似した。				
	T-\$40E 784	教材プリントおよび授業の進め方については平均   的な評価であった。   ロカダイン   カーカップ   カーカーカーカップ   カーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ				
	平成19年~現在	処方解析学 I (3年次必修):コアカリ (14(2)、(3) および(4) に関する講義				
		薬物治療の適正化を図るために必要とされる、調剤業務、薬物の臓器への到達と消失(吸収、分布、代謝、排泄)、薬物動態解析、TDM(therapeutic drug monitoring)などを中心に、処方の解析の在り方について講義した。				
		教科書、参考書、その他の資料を参考に、病態ごとにオリジナル性の高いプリントを作成し、配布した。また、理解度を高めるため、パワーポイントを用い解説した。				
	亚成10年~珥力	平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.2 (5段階評価)で、全体平均値とほぼ類似した。 教材プリントおよび授業の進め方については平均 的な評価であった。 E処方解析学 II (4年次必修):コアカリ				
	T-10, 1944 - 2013	C14(2)、(3) および(4) に関する講義 3年次に講義していない病態について、重篤な副作 用とその発現機構および代表的薬物、さらに薬物 相互作用の発現機序および臨床例などを中心に講 義した。				

	平成19年	教科書、参考書、その他の資料を参考に、病態ごとにオリジナル性の高いプリントを作成し、配布した。また、理解度を高めるため、パワーポイントを用い解説した。 平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.2 (5段階評価)で、全体平均値とほぼ類似した。教材プリントおよび授業の進め方については平均的な評価であった。 実務系実習(4年次必修):コアカリI(2)、(4)、(6)を含む実習病院や薬局などの医療現場で調剤業務などがスムーズに取り組めるように、さらに調剤技術のみでなく患者との面談、接遇などを介したコミュニケーションをあり方についても修得し、薬剤師としての使命感、責任感などを培うために実習する。オリジナルの実習書を作成し、配布した。アンケートの結果、薬剤師の業務内容が理解できた、初回面談、薬剤監査などの重要性が分かったとの評価を
	   平成19年~現在	得ている。 薬剤系実習 (4年次必修) : コアカリC16(1)~
	7,50.0	(5) を含む実習 医薬品の製剤材料の性質、取扱いなどを修得し、 医薬品の用途に応じた適切な剤形の調製を実習す オリジナルの実習書を作成し、配布した。アンケート の結果、現在失われつつある薬剤師による薬剤調
	平成24年~現在	製の技術が体感できるとの評価を得ている。 POS実践論(6年次必修): コアカリC15(2) に 関する講義 POSの考えを取り入れることにより、患者が抱えて
		いる薬学的問題を抽出し、これらの問題を解決することができるより高度なレベルの服薬指導を修得す教科書、参考書、その他の資料を参考に、オリジナル性の高いプリントを作成し、配布した。また、理解度を高めるため、パワーポイントを用い解説し、必要に応じてスモールグループディスカッションを行っている。
	平成20年~現在	平成18年度後期授業評価(15項目の平均値)は3.1 (5段階評価)で 教材プリントおよび授業の進め方については平均 的な評価であった。 薬学総合演習 I、II (4年~6年次必修):薬 剤系コアカリ (2)、(4)、(6)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年	臨床薬学Ⅰ講義プリント
	平成18年	臨床薬学 I 演習問題プリント 臨床薬学 II 講義プリント
	平成18年	臨床薬学Ⅱ演習問題プリント 臨床薬剤学講義プリント
		臨床薬剤学演習問題プリント 処方解析学 I 講義プリント
	在 平成19年~現	処方解析学 I 演習問題プリント 処方解析学 II 講義プリント
	在	処方解析学Ⅱ演習問題プリント
	平成19年  平成19年~現	実務系実習実習書およびプリント 薬剤系実習実習書およびプリント
	平成20年4月	コアカリキュラム対応実践処方例とその解説、 株式会社じほう(共著)
	平成22年3月	本式云社しは了(共名)  コンパス調剤学、第2章C散剤、株式会社南江堂  (共著)
		図解臨床調剤学、株式会社南山堂(共著) POS実践論講義プリント
	平 成 24 年 ~ 現  在	F00美岐調神報フリント  臨床薬剤学演習問題プリント

3 教育方法・教育実践に関する		平成23年11月 19日~20日	務実習指導薬剤師者 区三大学合同)(会 クフォースとして				
4 その他教育活動上特記すべる	平成19年~現 在		(4年制4年次、6年制5年 D病院・薬局へ出向いての訪				
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
(著書)Heparin-induced thrombo	cytopenia.	共著	平成24年2月	InTech, Hematology- Science and practice, Charles H. Lawrie. eds. 1st ed., Croatia			
(論文) Effects of atorvastatin and aspirin combined therapy on inflammatory responses in patients undergoing coronary artery bypass grafting.		共著	平成18年11月	Cytokine, Vol 36, 201 - 210			
(論文) Taurine at early reperfusion significantly reduces myocardial damage and preserves cardiac function in the isolated rat heart.		共著	平成19年5月	Resuscitation, Vol 73, 287 - 295.			
(論文) Enhanced platelet responsiveness due to chilling and its relation to CD40 ligand level and platelet-leukocyte aggregate formation.		共著	平成21年4月	Blood Coagul. Fibrinolysis. vol 20 (3), 176 - 184.			
(論文) Involvement of NF- $\kappa$ B activation in the cisplatin resistance of humanepidermoid carcinoma KCP-4 cells.		共著	平成24年7月	Oncol. Rep., vol 28(1), 27 - 32.			
Ⅲ 学会等および社会における主な	は活動						
平成21年12月20日 平成21年度保険薬局講習会(埼玉県薬剤師会主催) 講演「日本薬科大学I ける薬学性実務実習事前学習の取組み」				講演「日本薬科大学にお			
平成22年2月11日	基礎知識一最近						
平成23年11月19日~20日	平成23年度第13回関東地区調整機構認定実務実習指導薬剤師養成ワーク  月19日~20日 ショップ(埼玉地区三大学合同)(会場:明治薬科大学) タスクフォースとして「目標」を講義。						
平成24年3月28日	平成23年度医薬 について」	<sup>译</sup> 品配置協研修会	<b>:(埼玉県医薬品配置</b>	置協会主催) 講演「医薬品			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

## (基礎資料15-10) 専任教員の教育および研究活動の業績

大学名 日本薬科大学 講座名	職名 教授	氏名 丁 宗鐵				
I 教育活動						
教育実践上の主な	 業績	年 月 日		概 要		
1 教育内容・方法の工夫		平成16年~現在	統合医療学 I (2年	<b>次</b> )		
(授業評価等を含む)			教科書、参考書等をまとめたパワーポイントで ントを配布し、学生がより理解しやすいよう図 を多く入れたパワーポイントスライドで講義を 行っている。 統合医療学Ⅱ (4年次) 教科書、参考書等をまとめたパワーポイントで シトを配布し、学生がより理解しやすいよう図 を多く入れたパワーポイントスライドで講義を 行っている。			
2 作成した教科書、教材、参		平成16年~現在				
			教材:講義プリント	`		
		平成16年~現在				
2、	特になし	教材:講義プリント	`			
3 教育方法・教育実践に関する 4 その他教育活動上特記すべき	付になし					
(FDを含む)						
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等 <i>0</i> 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(原著)Clinical effect and sat "ogonkei" for seasonal allerg conjunctivitis caused by poller	gic rhino-	共著	2008年	Jouenal of Traditional Medicines Vol.25,No.1		
(原著)Asthma-related environm fungus,Alternaria,activates der produces potent Th2 adjuvant ac	ndritic cells and	共著	2009年	J Immunol. 2009 Fed 15:182(4):2502-10.		
(原著)Lagerstroemia specios TNF -induced activation of nucl rat cardiomyocyte H9c2 cells	共著	2010年	Journal of Ethnopharmacology 128 (2010) 254-256			
(著書) 今日の治療指針 漢方製 い方 2012	分担	2012年1月 医学書院				
(著書) スキルアップのための漢 版	編著	2012年4月	南江堂			
Ⅲ 学会等および社会における主	Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
~現在	東亜医学協会 理事					
~現在	国際東洋医学会 理事					
~現在	未病システム学会 理事					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 [	日本薬科大学	講座名	健康生命科学分野	職名	教授	氏名 北村 繁幸
I 教育》						
	教育実践.	上の主な	業績	年	月日	概要
1 教育	育内容・方法の	工夫(授	業評価等を含む)	毎年4	-7月実施	環境衛生学 I (SBO C12(1)3-1~8、
						C12(1)5-1~6、C12(1)6-1~3) 3年次必修
						板書中心に、環境衛生学の有害化学物質、
						電離、非電離放射線の講義を行う。
				毎年9-	-1月実施	環境衛生学Ⅱ(SBO C12(2)1-1~6、2-1~8、
						3-1~4、4-1~4、5-1~5、6-1~2) 3 年次必修
						板書中心に、環境衛生学の生態系、地球環境、
						大気、水環境、廃棄物及び法規制を講義する。
				毎年4	-7月実施	薬物代謝安全性学(SBO C12(1)1-1~7、2-1~4、
						3-1~7) 3年次必修
						板書中心に、薬物代謝学、薬物安全性、中毒、
						裁判化学についての講義を行う。
						薬学総合演習 Ⅱ
				毎年実	ミ施	6年生対象の衛生薬学の補習授業を分担
						薬学総合演習 I Aおよび I B
				毎年実 	ミ施	4 年生対象の衛生薬学の補習授業を分担
						薬学演習ⅢAおよびⅢB
				毎年実		3年生対象の衛生薬学の補習授業を分担
				毎年実	<b>ミ施</b>	学生による授業評価
						学生の評価はどの科目も概ね平均点である。
					-14	出来る限り改善し、授業の向上を行っている。
				毎年実 	<b>ミ施</b>	教員による授業評価
0 //-	<u> </u>	+/L 1.1 - 4:	· + -	<i></i>	7.4 <i>L</i> -	教員の相互評価より授業を向上させている。
2 作月	成した教科書、	<b>教材、</b> 参	· 有書	毎年実	き他	授業用配布テキスト
				,	0002 /0 /25	担当授業の補足テキストを随時作成。 臨床薬物代謝化学(廣川書店)
				4	2003/8/23	臨床条物代謝化学(廣川書店)  臨床で役立つ応用的な薬物代謝学
					2007/4/1	職所では立う心用的な案例で翻子 最新 衛生薬学(廣川書店)
					2007/4/1	取利   南工米子 (原川音店)   衛生薬学を詳しく解説した教科書
3 教育	<u> </u>	践に関す	 <sup>-</sup> る発表、講演等	2006年	<u> </u>	上尾市民講演会
1 1	1/1/A TAIL	W1-[X] /	0元以(明天)	2000 1		元元明の時代な  環境問題について市民講演会を行った。
				20084	年7月21日	第6回かながわ実務実習指導薬剤師養成
					1 . / / 2 =	ワークショップ参加
4 そ(	の他教育活動上	特記すべ	: さ事項(FDを含む)	毎年実	 ≷施	担任業務
		-				各学年数名の学生を持ち、指導を行っている。
				2008年	<b>E~</b>	NR委員会 NR養成講座担当
				2009年	三、2011年	教務委員会3年生ワーキンググループ担当
				2012年	Ē	
				2010年	Ξ	教務委員会4年生ワーキンググループ担当
				毎年実	<b>ミ施</b>	薬局巡回指導
						毎年数名の薬局巡回指導を行っている。
				2008年	<b>E~</b>	12月実施のOSCEの評価者を行っている。
				1		<u> </u>

Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
CYP2C9-Catalyzed Metabolism of S 7-Hydroxywarfarin In vivo and Ir Chimeric Mice with Humanized Liv	共著	2008年	Drug Metab Dispos., 36, 2429-2433		
Aldehyde oxidase-catalyzed metab methylnicotinamide in vivo and i chimeric mice with humanized liv	共著	2008年	Drug Metab Dispos., 36, 1202-1205		
Nuclear hormone receptor actuvut polybrominated diphenyl ethers a hydroxylated and methoxylated me transactivation assays using Chi ovary cells.	共著	2009年	Environ Health Perspect., 117, 1210-1218		
Characterization of estrogen and receptor activities in 100 hydro polychlorinated biphenyls, inclu identified in humans.	共著	2011年	Toxicology, 289, 112-121		
Effects of polybrominated dipher (PBDEs) and their derivatives or disulfide isomerase activity and hormone release of GH3 cells.	共著	2012年	Chem. Res. Toxicol., 25(3), 656-663		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成7年4月~	日本薬物動態学会評議員				
平成23年11月	第26回日本動態学会実行委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本薬科大学 講座名 医	大学名 日本薬科大学 講座名 医療ビジネス薬科学科 職名 教授 氏名 青木 公子						
I 教育活動		<u> </u>					
	業績	年	月日			相	既 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成20	年~現在	なンをに関試験の	まりるたけった出たいませんがあった。	たプリ に明、ま は来 は と 監 と こ と と こ と と さ と り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	東薬学必修)教科書・参考書 ントを配布し、パワーポイ いる。鑑識化学に広く興味 義開始時に毎回「鑑識化学 を提出させ、さらに「最近 学に関連した事件など」を いる。教材プリントおよび ては概ね好評を得ている。
		平成21	年				F次必修)教科書をまとめた パワーポイントにより説明
		平成21	年~現在	モにげしポとデよ解てイを	による 説明し いる。 さ いるの文	動態解 たとに意味 にまきま で字を大	欠必修)1-コンパートメント 析の基本をパワーポイント 習問題(1~2題)をとりあ り講義内容を理解しやすく の強い学生からは、パワー きく、ゆっくり説明するこ 、その他は概ね良好な評価
		平成23	年~現在	単に復 た。問 トで示 年度か	習後、 ]題のみ した。 いらは講	できる ップリン 評価は <b>義</b> 義終了	欠必修)基本の動態解析を簡だけ多くの問題を演習したし、解答はパワーポイン概ね良好ではあったが、次後に問題解答をHIPLUS(学内へ登録することを予定して
		平成24	年	必修) 心にハ 時に毎	薬剤の パワーオ 回前回	DADME、 ペイント 回の講義	医療ビジネス薬科学科2年次 剤形、相互作用副作用を中 により説明した。授業開始 の重要なポイントについて テスト終了後に再度解説し
2 作成した教科書、教材、参え	書	平成20	年~現在	鑑識化	/学講義	長プリン	· <b>F</b>
		平成21	年	生物菜	<b>剤学</b> 請	構義プリ	ント
		平成21	年~現在	薬物動態学Ⅰ講義プリント			
		平成23	年~現在	薬物動態学Ⅱ講義・演習プリント			
		平成24	年	医薬品の適正使用 I 講義プリント			
3 教育方法・教育実践に関する	る発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべる	き事項	平成21	年~現在	薬学共	用試験	€0SCE評	価者
	(FDを含む)						
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称	0		著・		またはき (西暦で		発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(著書)薬毒物試験法と注解200 法		±	著	平成18	_ <b></b> 3年3月		東京化学同人
(論文) Immunohistochemical s experimental murine AA Amyloiso		#	著	平成18	3年4月		Protein Reviews Vol.4
(論文) Characterization of h chimeric mice using coumarin as mouse 2A5 probe	a human CYP2A6 and		著	平成18	3年8月		Drug Metab. Pharmacokinetl. Vol.21 No.4
(論文)Effect of Aminoguanid lipopolysacchride-induced chang transporter and transcription f	es in rat liver	井	著	平成20	)年3月		Biol. Pharm. Bull. Vol.31 No.3

(論文 Nitric oxide and peroxynitrite transporter transcription in rat liver	_	134 N 707 T 10 D	Biol. Pharm. Bull. Vol.31 No.10
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
平成6年4月~現在 日本法	学会監事		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本薬科大学	講座名 生命医療学分野	職名 教授	氏名 渡邉	泰雄				
I 教育活動								
	上の主な業績	年 月 日	概	要				
1 教育内容・方法 <i>の</i> む)	D工夫(授業評価等を含	平成17年~現在	抗炎症薬・抗リウマチュギーの教科書並びに参れませいの教育をはいる。項目ではいる。項目ではいるのではいる。項目ではいるのではいるのではいるのとにイントを作るようにはいる。取りの基礎的知識の取得が低いない。	よび(3) に関する講義 炎症・アレルギ・抗アレルディーとアを を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
		平成17年~現在	びC17(4,5)に含まれるP 薬理効果を実際の動物で る工夫を行った。動物愛	):コアカリC13(1,2)およ 内容の中で、机上で学んだ ごリアルタイムに理解でき 愛護の問題も有り英国薬理 エーターによるシミュレー				
		平成18年~22年	学生が、卒後の目標とた場所を幅広く紹介し、日重要性を実感させること	修):これから薬学を学ぶる薬学者としての活動の 引つ、社会における薬学のこを目標した。そのため、 れている薬学出身者の先生 食を実施した。				
		平成21年~現在	ける先端的な治療法を、いる臨床医や、新薬の講義をしてもらいなをしてもの示唆をしてのののは講義にではないでは、講義に積極のには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	療薬学科):現代医療にて 実際に現るというでは、 までは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 は				
		年	C14(5)に関して、分担で 担当者によって講義の名 達を可能な限り少基にした より講義資料を基にした らに、各項目の小テスト 学に慣れるみにも楽物の 用機序ならびに各作用に る様にして、作用からの	: C8 (1,3)、C13(2,3)、 ご講義を行った。各分担の 記講程度があるたび進のした。 であるたれので相当のした。 ではいいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、				
		平成18年~22年	に関して、分担で講義を によって講義内容の程度 能な限り少なくするため	: C13 (2, 3) 、C14(2,3) を行った。各分担の担当者 をおよび進行等の相違を可 り、各担当の項目により講 ストを作成した。さらに、 なした。				
		平成19年~現在	薬・抗炎症薬に関する国	中枢神経系・抗アレルギー 国家試験用の講義を行って つせ、解説を行っている。				
		平成19年~現在	薬学総合演習II:薬理学 ギー薬・抗炎症薬に関す 行っている。最初に問題いる。					

2 作成した教科書、教材、参考書 平成17年~19年 薬理学1講義プリントおよび小問題集 中枢神経、						
┃ 2 作成した教科書、教材、教 ┃ ┃	2 作成した教科書、教材、参考書 3		薬理学 講義プリン  抗炎症薬	トおよび小問題集 中枢神経、		
		平成19年~現在		りやすい薬の効くプロセス(ネ		
			オメディカル社出版 	<ul><li>シ編集ならびに項目担当著者</li></ul>		
	平成18年~現在	薬理学実習テキスト				
	平成18年~22年	早期体験学習報告書				
		平成18年~22年	薬理学IIB講義プリ	ント集		
		平成18年~22年	薬理学!! 講義テキ	スト		
		平成17年~現在		および抗炎症薬小問題集		
		平成22年~現在	薬理学IIB講義小問題			
		平成22年4月	薬理学川講義小問題	,.		
3 教育方法・教育実践に関す	トス&主 準定学	平成20年~現在 平成20年9月13日	薬学総合演習はよび	Ⅱ講義用ノリント集 務実習指導薬剤師養成ワーク		
3 教育力法・教育美践に関い	の光衣、碑凋寺	平成20年9月13日 ~14日	お3回埼玉県総定美術			
4 その他教育活動上特記すべ	ヾき事項(FDを含む	平成19年~現在		4年制4年次、6年制5年次): 薬局へ出向いての訪問指導		
		平成18年~22年		ンググループおよび委員会: :・講演者・計画の指向を行っ		
		平成22年~現在	運営委員会: 医療薬 関する重要会議に参	学科長として、本学の運営に 加している。		
		平成22年~現在	実習委員会:各実習	の準備ならびに実施のため		
		平成22年~現在	FD委員会:研究支援WGとして研究の推進を図っている。			
	平成22年~23年	NR委員会ならびに2年生WG:健康学科を対象としてNRの受験対策ならびに2年生全体の講義等潤滑を図る。				
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の	)	単著 •	発行または発表の			
名 称		共著の別	年月(西暦でも可)	(巻・号数)等の名称		
(論文) Increased nitric oxid GFAP expression in the brain A/NWS virus infected mice		共著	平成20(2008)年7月	Neurochem Res, vol. 33, 1107-1023.		
(論文) Low dosage of strepto		共著	平成20(2008)年10月	Pharmacometrics, vol.74,		
diet reduced rat liver insuli activities	n receptor			No. 1/2, 19- 26.		
(論文) Reduction of brain infarction induced a transient brain ischemia in mdr1a knockout mice		共著	平成21 (2009) 年3月	Neurochem. Res., vol 34, 1555 - 1561.		
(著書)皮膚のクスリが判る本		共著(編集)	平成(2009)年4月	地人書館		
(論文) Effects of Soy Protein Isolate Feeding on Severe Kidney Damage in DOCA-Salt- Treated Obese Zucker Rats		共著	平成24(2012)年3月	J. Agric. Food Chem. vol.60, 5367- 5372.		
Ⅲ 学会等および社会における∃						
平成18年9月	第8回応用薬理シンポジウム会長					
平成18年4月~現在	応用薬理 理事					
平成18年4月~現在		革新技術開発研究 <b>事</b>	   			
-	中国医科大学客坐					
平成19年代現在						
	薬物活性シンポジウム特別講演					
平成24年11月	First International Conference of Pharm and Food in Shizuoka Special Lecture					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧 										
大学名 日	本薬科大学	講座名	漢方薬学分野	職名	教授		氏名 伏谷 眞二				
I 教育活	動										
	教育実践.	上の主な第	美績		. 月		概要				
1 教育 む)	内容・方法の	)工夫(授	業評価等を含	平成1	8年~	20年	本草学 I (2年次、1単位、漢方薬学科基幹科目):コアカリC7(1)に関する講義。適切な教科書がないため、参考図書(本草書)の講義に必要な部分を抽出・再構成した資料を作成して授業を行った。				
				平成1	8年~	現在	薬用植物学(1年次、1単位): コアカリC7(1)に関する講義。教科書の内容と追加事項をまとめたプリントを作成・配布し、理解しやすいようにしている。また、植物写真等の説明にはパワーポイントを活用している。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値) で 4.06(5段階評価) であり、教材・配布資料および授業の進め方については良い評価を得ている。				
				平成1	8年~	現在	化学・物理系実習 I (2年次、1単位):コアカリ C4(3)、C5(1)および(2)、C7(1)および(2)関する実 習。独自の実習書・提出用レポート書式を作成して 実施している。平成24年度実習終了後、実習内容、 教員の取組みに関するアンケート調査を実施し、概ね良い評価を得ている。				
		平成2	20年~	23年	化学入門 I および II (1年次、各1単位) : コアカリ F3(8)、F4(1)、C1(1)、C4(1)および(2)、C6(1)、C2(1)に関する講義。教科書の内容と追加事項をまとめたプリントを作成・配布し、理解しやすいように努めた。また、図、表の説明にはパワーポイントを活用した。						
				平成2	20年~	現在	薬学総合演習 I 、II (4年~6年次):無機化学・錯体化学を中心に演習形式で復習・問題を解く練習を実施している(2~6コマ/1学年/年)。				
				平成2	21年~	現在	実務実習プレ教育分担(6コマ/年)				
				平成2	!2年~:	現在	薬学演習 II A (2年次) : 1年次の講義担当科目(薬 用植物学、化学入門 I 、 II ) の重要事項について演 習形式で復習させている(4~8コマ/年)。				
2 作成	した教科書、	教材、参	考書	平成1	8年~	20年	本草学講義プリント線習問題プリント				
				平成1	8年~	現在	薬用植物学講義プリント				
				平成1	8年~	現在	練習問題プリント  「化学・物理系実習 I 実習書」				
				平成2	20年~	23年	化学・物理系実習Ⅰ提出用レポート書式  化学入門Ⅰ、Ⅱ講義プリント  練習問題プリント				
				平成2	20年~	現在	無機化学・錯体化学まとめのプリント(薬学総合演習)				
				1b ^	10 <del>(=</del> -	т <b>□</b> <del>/-</del>	無機化学・錯体化学練習問題プリント(薬学総合演習)				
				半成2	22年~	垷仜	化学入門 I ・ II 、薬用植物学復習用まとめのプリン  ト				
0 #L <del>-/-</del>	+:+ #L <del>/-</del> -+	마소 / = BP 나	7 & 士 - 井 - 一				学入門Ⅰ・Ⅱ、薬用植物学練習問題プリント				
3 教育	力法・教育美	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る発表、講演等								
4 その	他教育活動上	:特記すべ	き事項	平成1	9年~	現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次): 実 務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導				
				平成1	9年~	現在	OSCE評価者: OSCEトライアル、OSCE本試験において 評価者として参加。				
					50						

(FDを含	平成23年~	教員研修、日薬研 のSCE委員会委員会 ター 図書委員会 書感想文コンティ 薬用植物園・漢	:授業評価アンケート、研究支援、 研究会、特別講演会 長:OSCEの実施、他大学OSCEモニ 会委員長:図書館の円滑な運営、読 スト 方資料室運営委員会委員長:薬用植 資料室の管理・運営			
	平成23年~	委員会、漢方学行 育研究予算委員会	ラスメント防止委員会、入学者選考 術交流委員会、教員選考委員会、教 会、将来計画委員会、人権委員会、 員会、個人情報保護委員会)			
	平成23年~	現在 高等教育評価機構	<b>搆評価委員候補</b>			
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の					
(論文) The liquid culture filtrates of entomogenous fungus Paecilomyces tenuip its glycoprotein constituent protects a anemia in mice treated with 5-fluoroura	gainst	平成20(2008)年8	3月 Biol. Pharm. Bull., vol.31, No.8, 1565-1573.			
(論文) Constituents of Rhodiola rosea showing inhibitory effect on lipase act in mouse plasma and alimentary canal	共著ivity	平成20 (2008) 年1	O月  Planta Medica, vol.74,   No.14, 1716-1719.			
(論文) Oral administration of Ren-Sher Yang-Rong-Tang 'Ninjin'yoeito' protect against hematotoxicity and induces imma erythroid progenitor cells in 5-fluorou induced anemia.	cts ture	平成21 (2009) 年2	2月 Evidence-based Complementary and Alternative Medicine, vol. 6, No. 2, 247-256.			
(著書)伝統医薬学・生薬学	共著	平成21(2009)年5	5月 南江堂			
(論文) Inhibitory effects of Atractylog lanceae rhizome and Poria on collagen- o thromboxane A2-induced aggregation in ra platelets.	or	平成21 (2009) 年5	5月 Biol. Pharm. Bull., vol 32, No.5, 856-860.			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
平成18年4月~現在 鶴岡工業	鶴岡工業高等専門学校講師:集中講義「薬学概論」担当(隔年実施)					
平成21年~22年 けんかつ:		「身近な薬用植物」(2 「身近な薬用植物を上す				
平成22年度 伊奈町公		健康に役立つ身近な植物 漢方に使われる植物」	<b>勿とサプリメント</b> 」			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	<del></del> 教	育および研	究活	動の業績	<b>績一</b> 覧		
大学名 日本薬科大学	講座名 生命医療薬	学分野	<b></b>	教授	氏名 村松	信	
I 教育活動		•					
教育実践	上の主な業績	左	∓ 月	日		概	要
1 教育内容・方法 <i>の</i>	)工夫(授業評価等を含		<b>成18年</b>	三~20年	(3) および(4) に関 腎臓・尿路疾患、 アレルギー・免犯	引する講義 代謝性疾 を疾患、呼 申疾患およ	コアカリ C14(2), 心臓・血管系疾患、 患、骨・関節疾患、 吸器・胸部疾患、神 び内分泌疾患の薬物
		平月	<b>龙18</b> 年	≅~19年	よび(4)に関する 器疾患および眼が 行った。情報量の 義内容に即したが	講義 消化 実患の薬物 り多い授業 うかりやす ごまとめる	コアカリ C14(2) お 器疾患、血液・造血 対療について講義を 内容であるため、講 い資料を作成し、ま 時期として、中間試 水沢を作った。
		平月	成19年	≅~20年	(3) および(4) に限 腎臓・尿路疾患、 患の薬物治療につ 多い授業内容でも かりやすい資料を	関する講義 代 いる が で た に た に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	コアカリ C14(2), 心臓・血管系疾患、 患および骨・関節疾 を行った。情報量の 講義内容に即した分 また、学期の中間で 試験を実施し、学習
		年	成21年	<b>E~</b> 22	よび(4)に関する 患および精神疾患 行った。情報量の 義内容に即したが	講義 代謝 息の薬物治 り多い授業 うかりやす ごまとめる	コアカリ C14(3)お 性疾患、神経・筋疾 療について講義を 内容であるため、講 い資料を作成し、ま 時期として、中間試 が状況を作った。
		平月	<b>艾23年</b>	₹~24年	よび(4)に関する患および精神疾患行った。情報量の養人ではいたが、情報量のため、学期の中間で験を実施し、学習	講義 引多かまといる かましいといる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる で	ショアカリ C14(3)お 対性疾患、神経・筋疾 療について講義を 内容であるため、講 い資料を作成し、ま い時期として、中間試 が状況を作った。平成 にの一最高5.0の評点
		在	<b>成22</b> 年	≅~現	B(1)に関する講 多種類の情報を担 項目ごとにいくて トを実施すること ている。平成23年	義 学生( 是供するた つかに分け こにより学 F度の授業	欠必修) コアカリ ことっては、目新しい め、全体を関連する 、それぞれの小テス 生の理解向上を図っ 評価は、最低0~最高 平均3.7であった。
		平月	<b>龙23</b> 年	Ξ	情報量の多い授業 即した分かりやす 用問題を与え、党	分泌系につ	いて講義を行った。 るため、講義内容に 作成し、また、自習 い状況を作った。授 の評点で、2クラスに
		在		~現	物治療系C14(2)、 式で行うため、 ている。	(3)および 当問題と	〜6年次):病態・薬 び(4)を中心に演習形 資料を使用して行っ
		平 <sub>月</sub> 年	成18年 ———	E~24	活用した調査、ク	員する実習 ブループで 手を行うこ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚

平成18年~19 年 中成18年~19 年 中成18年~19 年 中成18年~19 年 中成18年~19 東物治療学Ⅱ (3年次必修) 授業14回の資料 年 中成18年~20 年 中成23年~22 平成21年~22 平成21年~22 平成21年~22 平成21年~22 平成21年~24 平成23年~24 平成23年~24 平成23年~34 提能形態学Ⅱ (3年次必修) 授業15回の資料 年 中成23年~24 平成21年 イントロダクション(1年次必修) 授業15回の資料 在 中成23年 平成18年~現 在 中成23年 平成18年~現 在 中成19年6月17 教育改革Ⅱ 17 オントロダクション(1年次必修) 授業15回の資料 在 中成26年~現 在 中成19年~18 医療薬学実習Ⅱ (3年次必修) 授業15回の資料 と演習問題と資料 在 中成19年6月17 教育改革Ⅱ 17 オントロダクション(1年次必修) 授業16回の資料 年 中成19年~18 (2年次)授業3回の資料と演習問題と資料 在 中成19年6月17 教育改革Ⅱ 17 オーラム参加 (受講) 中成19年6月17 教育改革Ⅱ 17 オーラム参加 (受講) 中成19年6月17 教育改革Ⅱ 17 オーラム参加 (受講) 中成19年~21年 (下記書) 「印委員会として「成長するティインス主生授業デザインのための秘教業」を教員の授業計画を実施し、学生の意見と教員のの教業計画を教育の形理を報告 (17 活動) 「印委員会として「学生の意見と教育の形理・主教育の経験業」を教員・中成19年~21年 教育の日本教育の表とを教自の授業計画を実施し、学生の意見と教育の考えを与りて公開することにより、より分かりやすし・授業の支援を教育の実施(17 活動) 「印委員会 して、収集制の実施・保予プーンのための教験業」を教員・中成19年~21年 教育間の授業・参観の実施・作り活動)「印委員会」(下述教育の美員会して、21年 「日本学、21年 教育間の授業・参観の実施・作り活動)「日本会員会) 「中成19年~21年 教育間の授業・参観の実施・経済の表情を発展を関ロの表情を表現の表情を表現の表情を表現の表情を表現の表情を表現の表情を表現の表情を表現の表情を表現して、21年 のーキンググループ委員長(教務委員会) 「日本学に発素の 発行所、発表雑誌 (巻・号教)等の名称 早前(四暦でも (巻・号教)等の名称 単著 中成19年~22年 「中アキンググループ委員長(教務委員会) 「中間19年 「四月19年 (四月19年 1月27年  年	物物物 ン ン 能学療薬育 6シ国受まFD先に教委施る図員 新療療 療 ロ ロ 態 合 学情 単 エプ I と で が 学 学 ず 学 す で で で で で で で で で で で で で で で で で で	必修)授業14の資料 必修)授業14の資料 必修)授業13回の資料 必修)授業13回の資料 、必修)授業15回の資料 、欠必修)授業15回の資料 、欠必修) 授業15回の資料 、付益、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、資質、	
年成19年~20 年 中成19年~20 年 中成19年~20 年 中成19年~20 年 中成19年~20 年 中成21年~22 年 中成21年~22 年 中成21年~22 年 中成21年~24 東 教治療学 I (3年次必修) 授業15回の資料 年 中成22年~現 平成22年~現 4 イントロダクション(1年次必修) 授業3回の資料 平成23年	年 で成19年~20 年 平成21年~22 葉 平成23年~24 年 平成23年~24 年 平成22年~現 イ 平成22年~現 程 平成20年~現 種 平成20年~現 在 平成19年6月17 智 平成20年7月15 日 平成19年~21年 (	物物 ン ン 能 学 療薬 育 6シ国受 まFD 先に教委施る図員	必修)授業14の資料 必修)授業13回の資料 必修)授業15回の資料 欠必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可習 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の可認 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次の表別の資料 (1年次の表別の意味の表
年	## 中成21年~22 東 中成21年~24 東 中成21年~24 東 中成21年~24 年 中成21年	物 ン ン 次 で 第 で で で で で で で で で で で で で で で で で	必修)授業13回の資料 な必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業3回の資料 (1年次必修)授業3回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)研究15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)研究15回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)の資料 (1年次必修)の資料 (1年次必修)の資料 (1年次必修)の資料 (1年次の資料 (1年次必修)の資料 (1年次必修)の資料 (1年次の資料 (1年次必修)の資料 (1年次必修)の資料 (1年次の資料 (1年次必修)の資料 (1年次の資料 (1
年 平成23年~24	年 平成23年~24 年 平成21年 イ イ 平成22年~現 在 平成23年 機 機 平成23年 機 機 平成23年 標 20年~現 平成19年6月17 教 平成20年7月15 全 (望 31日 平成19年~21年 年 21年 平成19年~21年 平成19年~22年 11 研究活動 著書・論文等の名 教 単著・典者の別 (総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動向 (総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動向 (総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動向 単著 平成19年~22年 14 東 2 東 3 東 3 東 3 東 4 東 4 東 4 東 4 東 5 東 5 東 5 東 5 東 5 東 6 東 5 東 6 東 7 東 7 東 7 東 7 東 7 東 7 東 7 東 7 東 7	物 ン ン 次 海 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	欠必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業3回の資料 (1年次必修)授業15回の資料 (1年次必修)授業15回の資 (1年次必修)授業15回の資 (1)授業3回の資料と演習問題と資料と (1)授業3回の資料と演習問題を資料との (2)資料と資料とのの資料とのの資料をできる。 (3)の資料をできる。 (3)の資料をできる。 (3)のの資料をできる。 (4)のの資料をできる。 (5)ののでは、(5)のの資料をできる。 (5)のののののできる。 (5)ののののできる。 (5)のできる。 (5)のできる。 (5)のできる。 (5)のできる。 (5)ののできる。 (5)のでき。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)ので。 (5)
年 平成21年	年 平成21年 イイ	ン	1年次必修)授業3回の資料 1年次必修)授業15回の資 1年次必修)授業15回の資 1年次必修)授業15回の資 1年次必修)授業15回の資 1年次必修)資料と演習問題と資料 次度療薬学スト 2を療薬学スト 2を変響を表するがある。 3を変響を表する。 5をできる。 2をでき
平成22年~現在 平成23年	平成22年~現在 平成23年 機機 平成20年~現在 平成18年~現在 平成18年~現在 平成19年6月17 教在 平成20年7月15 全 平成20年7月15 自 平成19年~21年 平成19年~21年 平成19年~21年 平成19年~21年 平成19年~21年 平成19年~21年 平成19年~22年 13 研究活動 著書・論文等の名 称 共著の別 単著・共著の別 「総説)よタボリックシンドローム治療薬創出の動向 (総説)メタボリックシンドローム治療薬創出の動向 (総説)の GSK-3 inhibitors:Recent Developments and Therapeutic Potential.	ン (3年) と (3年)	1年次必修)授業15回の資 注)授業3回の資料と演習問 演習問題と資料 次医療薬学科必修)のうち が分かい(受講) 多事を表表のでは、 多事を表表をである。 ののでする。 ののでのである。 ののである。 ののでる。 ののでのでのでのでのでので。 ののでのでのでのでのでのでのででのででのででのででのでででででででででで
在 平成23年 機能形態学 IB(2年次) 授業3回の資料と演習問題 平成20年~現在 在 平成18年~現 医療薬学実習 I (3年次医療薬学科必修)のうす 在 医療薬学実習 I (3年次医療薬学科必修)のうす 医薬品情報に関する部分のテキスト 平成19年6月17 教育改革 ITフォーラム参加(受講)	在	(計画 大学) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(注) 授業3回の資料と演習問 演習問題と資料 次医療薬学科必修)のうち 部分のテキスト 仏参加(受講) 務実習指導薬剤師養成ワー 大多な発表会に参加 を当まるの形ではある。 では、のを表えている。 では、のでは、では、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
理成20年~現在 平成18年~現在 平成19年6月17 日	題	学総 京 (3年) 宗 (3年) 京 (3年) 宗 (3	東習問題と資料 次医療薬学科必修)のうちいかのテキスト 公参加(受講) 発実習指導薬剤師養成ワー 情) 方法研究会発表会に参加 ため参考書の活用を推進ッ員を といための秘訣集」を教員のためのといたの実施(FD活動) による全教員の授業評価を
在 平成18年~現 在 医療薬学実習 I (3年次医療薬学科必修)のうち 在 医薬品情報に関する部分のテキスト 平成19年6月17 教育改革ITフォーラム参加(受講)日 平成20年11月2 第6回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(受講)日 平成20年7月15 全国大学IT活用教育方法研究会発表会に参加日 平成19年~21年 望ましい授業実施のため参考書の活用を推進 (FD活動) FD委員会として「成長するティッコス先生 授業デザインのための秘訣集」を教員点に配布した。 平成19年~21年 中の意見を対して「成長するティッコス先生 授業デザインのための秘訣集」を教員点に配布した。 全教員の授業評価アンケートの実施(FD活動) FD委員会として学生による全教員の授業評価を実施し、学生の意見を数員の授業評価を実施し、学生の意見を数員の授業部価を実施し、学生の意見を数員の授業の実施を図った。 平成20年~21年 り委員会として学生による全教員の授業の実施で教員間の授業参観の実施(FD活動) FD委員会として教員間の授業参観を薦め、授業改善を図った。 平成19年~21年 FD委員会 副委員長 平成19年~21年 FD委員会 副委員長 平成19年~21年 FD委員会 副委員長 平成19年~21年 FD委員会 副委員長 平成19年~22年 「年ワーキンググループ委員長(教務委員会)	在 平成18年~現 医 医 医 医 で	療薬品報 I (3年 療薬品報 フォララ 実に関する では、 実に関する では、 実に関する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	次医療薬学科必修)のうちいかのテキスト 公参加(受講) 発実習指導薬剤師養成ワー 構) 方法研究会発表会に参加 こめ参考書の活用を推進 こめのを表表にあか ことのための秘訣集」を教員の にしための実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
在 医薬品情報に関する部分のテキスト 教育改革ITフォーラム参加 (受講) 日 平成19年6月17 日 平成20年11月2 ~3日 平成20年7月15 日 平成20年7月15 日 平成19年~21年 望ましい授業実施のため参考書の活用を推進 (で)活動) FD委員会として「成長するティッコス先生 授業デザインのための秘訣集」を教員・全教員の授業評価でと、平成19年~21年 日本のにより、より分かりやすい授業の実施し、学生の意見と教員の授業評価でというすることにより、より分かりやすい授業の実施し、学生の意見と教員の授業の実施 「FD活動」 FD委員会として学生による全教員の授業評価でと、平成20年~21年 収入のための秘訣集」を教員で記載した。 平成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~21年 中成19年~22年 中成19年~22年 中成19年~22年 中成19年~22年 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。 中成19年~22年 中の十ングループ委員長(教務委員会) 「日本の法書を図った。	在 医	薬品情報に関する語 東品情報に関する語 南では、 南では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	部分のテキスト 公参加(受講) 务実習指導薬剤師養成ワー 構) 方法研究会発表会に参加 こめ参考書の活用を推進 ことして「成長するテオリー のための秘訣集」を教員全 シケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等  中成20年11月2 (23日 平成20年7月15 日 中成20年7月15 日 中成20年7月15 日 中成20年7月15 日 中成19年~21年 望ましい授業実施のため参考書の活用を推進 (万5元動) 「Po委員会として「成長するティップス先生 授業デザインのための秘訣集」を教員に配布した。 平成19年~21年 全教員の授業評価アンケートの実施 (FD活動) 「Po委員会として「生による全教員の授業での方と教員の考えを学内で公開することにより、より分かりやすい授業の実施 (FD活動) 「Po委員会として「生による全教員の考えを学内で公開することにより、より分かりやすい授業の実施を図った。 中成20年~21年 和 教員間の授業参観の実施 (FD活動) 「Po委員会として教員間の授業参観を薦め、授業改善を図った。 中成19年~21年 「Po委員会 副委員長 平成19年~21年 「D委員会 副委員長 平成19年~21年 「Po委員会 国委員長 平成19年~22年 「中本ンググループ委員長 (教務委員会)  「財 研究活動 「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会)  「財 研究活動 「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会)  「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会)  「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本ワーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「中文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキングループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会) 「本文19年~22年 日本アーキンググループ委員長 (教務委員会)	3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等       日平成20年11月2~3日平成20年7月15全日平成19年~21年望(ストライン・フェール・フェール・フェール・フェール・フェール・フェール・フェール・フェール	「6回埼玉県認に ショップ 「国大学IT活 「国大学IT活 「国大学IT活動で 「東京活力でである。 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生ででは、 「大生でできる。」 「大生でできる。」 「大生でできる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でできる。」 「大生でのいる。」 「大生でできる。」 「大生でのい。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。」 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「たっとでのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「たっとでのい。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「大生でのいる。 「たっとでのい。 「大生でのい。 「大生でのいる。 「大生でのい。 「大生でのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たったっとでのい。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのい。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「たっとでのいる。 「している。 「たっとでの。 「たっとでの。 「たっとでの。 「たっとでの。 「しての。 「してい。 「たっとでしてい。 「してい。 「してい。 「している。 「してい。 「してい。 「してい。 「してい。 「してい。 「してい。 「してい。 「してい。 「し、 「してい。 「して、 「してい。 「して、 「してい。 「し、 「してい。 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、 「し、	条実習指導薬剤師養成ワー構) 方法研究会発表会に参加 ため参考書の活用を推進 として「成長するティップ のための秘訣集」を教員全 レケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
マルス   マ	マルス20年7月15 全 ()   平成19年~21年 望 ()   平成19年~21年 望 ()   平成19年~21年 野 ()   平成19年~21年 野 ()   平成19年~21年 野 ()   平成19年~21年 野 () 平成19年~21年 野 () 平成19年~21年 野 () 平成19年~21年 野 () 平成19年~22年 対 () 日本 () () () () () () () () () () () () ()	ショップ参加(受調 (受講) (国大学IT活用教育) (同様) (同様) (FD活動) FD活動 授業上のの (FD活動) 業に (大型では、 (本のでは ) (本のでは  構) 方法研究会発表会に参加 こめ参考書の活用を推進 ことして「成長するティップ のための秘訣集」を教員全 ンケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を	
平成20年7月15 日   全国大学IT活用教育方法研究会発表会に参加 (受講)   平成19年~21年	平成20年7月15 全 (	国大学IT活用教育な (受講) (ましい授業実施のないでは、 (FD活動) FD委員会 (FD活動) FD委員会 (FD活動) FD委員会 (FD活動) FD委員会 (FD活動) FD委員会 (大型の授業を (関係を (国のででである。 (国のででは、 (国のででは、 (国のででは、) (国のでである。 (国のででは、) (国のでは、) (国	方法研究会発表会に参加 ため参考書の活用を推進 として「成長するティップ のための秘訣集」を教員全 ンケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
4 その他教育活動上特記すべき事項	4 その他教育活動上特記すべき事項	(FD活動) FD委員会 先生 授業デザイン に配布した。 教員の授業評価アニ 教員会として意見。 があことにより でいることに でいることに は関節の授業参観の では、	として「成長するティップ のための秘訣集」を教員全 ンケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
ス先生 授業デザインのための秘訣集」を教員会員に配布した。	本 での他教育活動上特記すべき事項	先生 授業デザインに配布した。 教員の授業評価アニシ委員会として学生の意見。 かることにより、よりでした。 で図った。 は関の授業参観の	のための秘訣集」を教員全 ンケートの実施(FD活動) こよる全教員の授業評価を
平成20年~21年を図った。 教員間の授業参観の実施(FD活動) FD委員会 を図った。 平成19年~21年 FD委員会 副委員長 平成19年~現	平成20年~21年 を教した。 平成19年~21年 FD 平成19年~21年 FD 平成19年~現 査	·図った。 〈員間の授業参観の	
平成19年~現在実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次): 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導平成19年~22年1年ワーキンググループ委員長(教務委員会)II 研究活動単著・ 発行または発表の 年月(西暦でも 7) 年月(西暦でも 7) 年の名 本の名 本の名 本の名 本のの名称発行または発表の 年月(西暦でも 7) 年の名称(総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動向単著 平成19年 薬学雑誌、127, 27-30, 2007.	平成19年~現在 字次問 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平		実施(FD活動) FD委員会と
平成19年~現在実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次): 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導平成19年~22年1年ワーキンググループ委員長(教務委員会)II 研究活動単著・ 発行または発表の 年月(西暦でも 7) 年月(西暦でも 7) 年の名 本の名 本の名 本の名 本のの名称発行または発表の 年月(西暦でも 7) 年の名称(総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動向単著 平成19年 薬学雑誌、127, 27-30, 2007.	平成19年~現在 字次問 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平成19年~22年 14 平	)委員会 副委員長	
Ⅱ 研究活動  著書・論文等の 名 称 単著・	田 研究活動 著書・論文等の名	発実習訪問指導(4 ():実務実習先の	
著書・論文等の名	著書・論文等の名	年ワーキンググルー	プ委員長(教務委員会)
者書・論又等の 名 称	名 称		
(総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動 単著 平成19年 薬学雑誌、127, 27-30, 向 2007.	(総説) メタボリックシンドローム治療薬創出の動 単著 中 向 (総説) GSK-3 inhibitors:Recent Developments 共著 and Therapeutic Potential. (論文) 1980年~2009年の30年間における新有効成 共著 平	月(西暦でも	
(総説)GSK-3 inhibitors:Recent Developments 共著 平成20年9月 Current Signal	and Therapeutic Potential.  (論文) 1980年~2009年の30年間における新有効成 共著 平	成19年	
			Transduction Therapy, 3,
(論文) 1980年~2009年の30年間における新有効成 共著 平成23年4月 薬学雑誌、131、603-619、 分含有医薬品 - その標的分子および生化学的特徴の変化-			
(論文) Gタンパク質共役型受容体を標的とした新 有効成分含有医薬品の特性と創出の推移 -1980年~2009年の30年間における承認医薬品での 検討-	(論文) Gタンパク質共役型受容体を標的とした新 共著 平 有効成分含有医薬品の特性と創出の推移 -1980年~2009年の30年間における承認医薬品での		
(論文) 1980年~2009年の30年間における新有効成 分含有医薬品(NAIs) 一標的酵素の反応特性とNAIs創出の推移 共著 平成24年6月 薬学雑誌、132、733-752、 2012.	分含有医薬品(NAIs)	成24年4月	151, 2012.
	Ⅲ 学会等および社会における主な活動	成24年4月	薬学雑誌、132、733-752、
<b>川 字会等およひ社会における王な活動</b>	昭和56年3月~ 日本薬理学会学術評議員	成24年4月	薬学雑誌、132、733-752、

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

#### (基礎資料15-16) 専任教員の教育および研究活動の業績

	教育および	び研究	活動の業	績一覧			
大学名 日本薬科大学 講座名	臨床薬学教育センター	職名	教授	氏名	稲瀬 實		
I 教育活動							
教育実践上の主	な業績		月 日			概 要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成2	2年~現	での実務 注射剤混	に即した教	長期実務実習へ向 対育ができるよう 刊混合等について ⊂。	配慮した。
				に関係す 、製薬工 進むべき	る職場見当 場等々を身 進路への追	型間もない新入生 対体験を実施した 対近に体験するこ 対標になることに いらの薬剤師に必	。病院、薬局 とにより将来 配慮した。
2 作成した教科書、教材、:	<u> </u>				ン能力を高配慮した。	らめることを主眼	とした実習に
3 教育方法・教育実践に関	する発表、講演等	平成2	4年7月	栃木県立 <sup>:</sup>	宇都宮中夕	そ女子高にて進路	指導
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)			2年~現	に赴き、	指導薬剤師	長期実務実習先 ずと教育内容につ 対する指導を行っ	いて意見交換
				にあたり	多くのS F	CE参加するSP Pを獲得できた。	
			3年~現	年の就職を得て	相談会は活	扰職、厚生に関し 5況を呈し学生、 √的にも学生から る。	企業からも好
Ⅱ 研究活動							
著書・論文章 名 者	等の 称		≦著・ 著の別 	発行また年月(西)	- は発表の 暦でも可) -	発行所、発表執 号数)等	
Ⅲ 学会等および社会における:	 主な活動						
平成22年4月~	(一社) 栃木県病院	薬剤師	5会顧問				
平成23年4月~	(一社)埼玉県病院	薬剤師	5会生涯硕	₩センター	−評価委員		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

- 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
- 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育は	および研究活動の業績	<b>責一覧</b>
大学名 日本薬科大学	医療ビジネス薬科学科	職名 教授	氏名 金子 喜三好
I 教育活動		•	
教育実践		年 月 日	概要
1 教育内容・方法の	の工夫	平成16年~17年	日本薬局方(4年次必修):通則、一般試験法、確認試験などを丁寧に説明した。
	(授業評価等を含む)	平成16年~17年	医薬品化学(3年次必修):薬剤師として知っておくべき医療用医薬品の構造と作用の関係をわかりやすく解説した。
		平成18年10月~ 12月	2年生の基礎学力を向上させるために、有機薬化 学Ⅱセミナーを開催した。
		平成18年~23年	有機薬化学II(2年次必修):有機化学の基本的な 事項を電子の動きを動きを通して理解できるよう説明した。
		平成21年1月	国家試験対策として、第15改正日本薬局方 (確認試験を中心として)の演習を行った。
		平成21年5月	薬学総合基礎演習として、第15改正日本薬局方
			(第 I 追補対応)(確認試験を中心として)の演習を行った。
		平成23年~現在	スポーツ薬学(4年次必修):薬物の効果を中心に、ドーピングとして禁止される理由を解説した。
		平成23年10月~ 24年3月	化学の補習(医療ビジネス薬科学科1年次自由科目): 化学を不得意とする学生を対象に、化学の基本事項を丁寧に説明した。
		平成24年4月~9月	  医薬品の化学  (医療ビジネス薬科学科2年次必修): 登録販売者として知っておくべき主要な-  般用医薬品の構造と効果の関係をわかりやすく
		平成24年8月~9月	解説した。  登録販売者受験対策として、「3章・主な医薬   品とその作用」についての特別演習を行った。  (医療ビジネス薬科学科)
		平成24年10月~ 25年3月	医薬品の化学 I (医療ビジネス薬科学科1年次必修):登録販売者として知っておくべきな主要ー般用医薬品の構造と効果の関係をわかりやすく解説した。
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成16年~17年	日本薬局方講義プリント
		平成16年~17年	医薬品化学講義プリント
		平成18年10月~ 12月	2年生有機薬化学Ⅱセミナー資料
		平成18年~23年	有機薬化学Ⅱ講義プリント
		平成21年1月	第15改正日本薬局方資料(確認試験を中心として)
		平成21年5月       平成23年~現在	薬学総合演習基礎第15改正日本薬局方資料  (第1追補対応)(確認試験を中心として)  スポーツ薬学講義プリント
			へか フ来子哨教ファント       医薬品の化学Ⅱ講義プリント(医療ビジネス薬
			科学科)   登録販売者受験対策演習プリント (医療ビジネ
		平成24年	ス薬科学科) 医薬品の化学 I 講義プリント(医療ビジネス薬
3 教育方法・教育	実践に関する発表、講演等	 平成23年1月15日	科学科)     高校理科教員のための実践化学教室:講演・指   導
			<del>च</del>

4 その他教育活動上特記すべき	平成19年~23年	亞成19年~23年 実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての 問指導					
<u>ਬ</u>		平成21年~22年		会委員長:薬剤師国家試験			
	平成22年~現在	学生部長:学生生活(学習、生活態度、課外活動など)の支援					
	平成22年~現在	年~現在 ハラスメント防止委員会委員長:各種/ ントの防止対策					
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(著書)NEW医薬品化学	共著	平成20年2月	廣川書店				
(論文) An efficient one-pot synthe ketones from endo glucal via hyper	共著	平成22年11月	Tetrahedron Lett. , <b>2010</b> , 51 , 5996-5999				
(論文)New investigation of Vilsm using pyrazolones with various amid	共著	平成23年7月	Tetrahedron Lett., <b>2011</b> , 52, 3786-3792				
(論文) Synthesis and antiprolifera 3,5-disubstituted 1,2,4-triazoles con flurophenyl and trifluoromethanepho	共著	平成23年10月	Bioorg. Med. Chem. Lett., <b>2011</b> , 21, 5358-5362.				
(論文)Palladium-catalyzed dehal 5-halopyrazoles.	共著	平成24年1月	J. Heterocycl. Chem., <b>2012</b> , <i>4</i> 9, 183-189				
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動						
平成18年4月1日~現在	日本陸上競技連盟	BA級公認審判員					
平成18年4月1日~現在	新潟陸上競技協会	会医科学アドバイザー					
平成21年10月1日~5日	<b>、会陸上競技審判員</b>	員(ドーピング検査係	主任)				
平成24年4月1日~現在	(公財)日本高等	<b>等教育評価機構評価員</b>					
平成24年4月1日~現在	スポーツファーマ	マシスト認定 (認定番号12160008)					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

(基礎資料15-18) 専任教員の教育および研究活動の業績

	教育および研究活動の業績一覧										
大学名	日本薬科大学	講座名 物理系薬学分野	職名 教授	氏名 長岡 正男							
I 教	育活動		1								
	教育実践.	上の主な業績	年 月 日	概   要							
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成17年~現在	機器分析学 I、I(2年次必修):コアカリC1(1),C2,C3,C4を含む機器分析法全般にわたる講義。電磁波を利用する分析法、分離分析法や放射線を利用する方法などを含み、教科書、参考書等をおとめたプリントを配布し、説明にはパワーポントを活用して、随時、補足説明を学生がプリントに書き込んでいくことで内容を深めている。平均値以下であり、全体平均値以下であり、全体平均値以下であり、全体平均値以下でありについては概ね好評を得ているが、授業の基礎となる他の基礎科目の終了よりも開講時期が早いなる他の基礎科目の終了よりも開講時期が早いなる地の基礎科目の終り、常に授業の改良に努力をしている。								
			平成18年~19年	日本薬局方(3年次漢方薬学科必修):コアカリB(1)5-1, C2(2)1-1,2,3などを含む講義。日本薬局方の一般試験法の化学系試験、また純度試験・確認試験の化学的試験をまとめたプリントを配布しパワーポイントを活用して測定原理や判定法また規則などを論じた。							
			平成20年~現在	薬学総合演習 I、II (4年~6年次):コアカリC3,C4の化学系、物理系のスペクトルを用いる構造解析について演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。							
			平成17年~23年	物理・化学系実習 I (2年次必修) : コアカリ C2,C4,C5,C7などを含む実習において化学系を分 担。							
			平成20年~22年	衛生化学実習Ⅱ(3年次必修):コアカリC2,C11,C12などを含む実習。原子吸光分析法やHPLC分析を利用する実習を分担。							
			平成23年~現在	基礎薬学実習(1年次必修):コアカリC1(1)3-5,C2(2)5-2,5-3、C4(3)1-5などを含み2年次以降の実習の円滑な導入を図る。							
			平成24年~現在	薬学総合実習(PBL)(2年次必修):コアカリA(3)1-1,2,3, C(4)4-2,3,4,5,6,7 スペクトルを利用する構造解析を通じて、SGDを行いながら化合物の構造解析の力を養い、発表・質疑応答の練習を行う。							
2 1	作成した教科書、	教材、参考書	平成17年~現在	機器分析学Ⅰ、Ⅱ講義プリント							
			平成17年~現在	機器分析学Ⅰ、Ⅱ練習問題プリント							
			平成18年~19年	日本薬局方講義プリント							
	₩ <b>★</b> ┺┴ ₩ ★	7021_88_8 7 50 +	平成23年~現在	基礎薬学実習書							
3 4	<b>叙</b> 育万法・教育実	ミ践に関する発表、講演等	平成20年11月2日  ~3日	第6回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワーク ショップ参加(受講)							
4	その他教育活動上	:特記すべき事項(FDを含む	平成19年~現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次): 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導							
			平成20年 平成20年~現在 平成21年~現在 平成22年~現在 平成21年~現在 平成21年~現在	FD委員会 2年生ワーキンググループ(教務委員会) 中央機器運営委員会責任者 情報システム委員会責任者 実務実習事前教育(プレ教育)担当 0SCE評価者							

Ⅱ 研究活動									
著書・論文等 <i>の</i> 名 称	)	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称					
(論文) Mass spectrometric a androst-4-ene-3,6,17-trione, substrate of aromatase, by pl microsomes. Isotope effect an	a suicide acental	共著	平成19(2007)年3月	J. Steroid Biochem. Mol. Biol. 107, 220-227.					
(論文) Mechanistic aspects of rearrangement 共著 平成20(2008)年7月 Steroids 73, of 16α-hydroxy-17-keto steroids to the 17β-hydroxy-16-keto isomers.									
(論文) Aromatization of andr $16\alpha$ -hydroxyandrostenedione in microsomes. Kinetic analysis the 19-oxygenated and 3-deoxy	human placental of inhibition by	共著	平成20 (2008) 年12月	Steroids 73, 1262-1269.					
(論文) 6β,19-Bridged androst as aromatase inhibitors.	enedione analogs	共著	平成21(2009)年9月	Steroids 74, 884-889.					
(論文) 4-and 6-(p-Sulphamoylphenyl)androst- enedione: Studies of aromatase inhibitor- based oestrone sulphatase inhibition.									
Ⅲ 学会等および社会における主な活動									
平成22年4月~平成23年3月	薬学協議会 科目	担当教員会議委員	(分析化学系教科検討	委員会)					
平成22年4月~平成23年3月	薬剤師国家試験問	題検討委員会委員	(基礎部会 化学系)						
平成23年4月~現在	薬学協議会 科目	担当教員会議委員	(放射薬学教育検討委	員会)					
平成24年1月14日	平成23年度理科教	員のための実践教養	· 大学 表講座(日本薬科大学	主催)講義と実習担当					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学 講	大学名 日本薬科大学 講座名 医療ビジネス薬科学科職名 教授  氏名 雨谷 栄							
I 教育活動								
—————————————————————————————————————					概 要			
1 教育内容・方法の工	<del>,</del>	平成18	年~22年	東洋医薬学概論(19	年生必修) コアカリC17(3)に			
(	授業評価等を含む)				学理論、代表的な漢方処方の			
					品布し、さらにパワーポイント			
				を使用。漢万医字へ    を説く。授業評価で	の薬剤師のかかわりの重要性			
		平成18	<b>年~</b> 22年		「は主体中均値以工。 「学科必修)。コアカリC17(3)			
		1 /9010	7 22 1		「処方の最近明らかになってき			
					よび漢方理論に従った薬能を			
				説明。教科書、プリ	ント、パワーポイントを使い			
				わけて分り易く説明				
		平成23	年~24年		学科必修、他学科選択)			
					]する講義。漢方処方の薬理 ≧論に従った薬能を説明。教科			
					:されていた楽化を読め。教科 !ーポイントを使い分けて分り			
				易く説明。学生評価				
		平成23	年~24年	漢方理論(漢方薬学	*科必修) コアカリC17(3)に			
				関する授業。漢方処	方を使いこなすために必要な			
					(科書、プリント、パワーポイ			
					説明。学生評価は高い。 ************************************			
2 作成した教科書、教材、参考書			午~現仕		方薬理学、漢方処方学、漢方 パワーポイントを毎年作成			
 3 教育方法・教育実践	に関する発表、講演等			平成18年以降無し				
4 その他教育活動上特	記すべき事項	平成19	年~22年	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次)				
	(FDを含む)	平成18年~22年 就職厚生部長						
				実験動物運営委員会委員長				
		平成18年~現在 漢方学術交流委員会委員長						
Ⅱ 研究活動	*A+#* A	334	<del></del>	T	30.7 30.++U=+ / MA			
者音· 1 名 1	論文等の 称		著・ 善の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・ 号数)等の名称			
(著書) よくわかる漢方処	方の服薬指導	井	<b>共著</b>	平成23年2月	秀和システム			
(論文) A naturally occu	rring rexinoid, honokiol	#	<b>共著</b>	平成24年	Biol. Pharm. Bull.			
can serve as a regulator	r of various retinoid x				35(1), 1-9			
receptor heterodimers.								
(論文) Pueraria flos al	leviates metabolic	井	<b>共著</b>	平成24年	J. Nat. Med.			
diseases in Western die	t-loaded, spontaneously				66 (4) 、622-30			
obese type 2 diabetic mo	odel mice.							
(論文) Astaxanthin func	tions differently as a	井	<b>共著</b>	平成24年	J. Biochem. Pharmacol。			
selective peroxixome pro	oliferator-activated				84 (5) , 692–700			
receptor Y modulator in	adipocytes and							
macrophage.								
(論文) Inhibition of in	vasion and migration by	ļ	<b>共著</b>	平成24年	Anticancer Res.			

newly synthesized quinazolinone MJ-29 in human 32(7), 2895~903							
oral cancer CAL27 cells throug	h suppression of						
MMP-2/9 exprerssion and combin	ed down-						
reguration of MAPK and AKT sig	naling.						
<ul><li></li></ul>							
平成19年4月~現在	日本薬学会評議員						
平成18年9月	日本生薬学会第53年会運営委員長						
平成18年~現在	日本生薬学会評議員・役員						
平成19年~現在	和漢医薬学会評議員・編集担当理事、学会賞・貢献賞・奨励賞選考委員長						
平成16年~現在	日本未病システム学会評議員						
平成17年~現在	日本臨床中医学会幹	日本臨床中医学会幹事					
平成20年	第8回日本臨床中医学	第8回日本臨床中医学会学術大会長					
平成21年~現在	厚生労働省一般用漢方薬のパイロット使用実態調査研究AUR(Actual Use Research)実行委員						
平成21年~現在	独立行政法人医薬品	医療機器総合機构	構専門委員				
平成20年~現在	JLOM (日本東洋医学	JLOM(日本東洋医学サミット会議)委員					
平成24年~現在	富山大学和漢医薬総	合研究所外部評価					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-20) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧										
大学名 日本薬科大学 講座名 生命分子薬学分野				教授	Ž	氏名			根岸 和雄	
I 教育活動										
教育実践上の主な業績			年	月	日			概  要		
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			平成1	9年~		コアカリ 遺伝子操 じた。教 し、iPad	作技術の 科書参考  を用いて	17(3)につ 基本とそ 書をまと 講義をっ	ついての講義 の基礎となる知識を論 めたプリントを用意 ている。ほぼ1回おき 出させている。	
			平成2	2年~		コアカリ 分子とめた 行ってい 平均とほ	ニズムを プリント る。授業	ついての 中心に論 を用意し 評価の平 ある。ほ	講義免疫機構の基礎を じた。教科書参考書を 、iPadを用いて講義を 均値は約3.7で全体の ぼ1回おきに課題を与 る。	
			平成2	20年		心に演習	形式で、 業評価の	講義の復	~6年次):生物系を中 習や問題演習を行って 約3.7で全体の平均と	
2 作成した教科書、	教材、参考	書	平成1	9年~	·現在	遺伝子工	学講義プ	゚リント		
			平成2	2年~	·現在	免疫学I	構義 プリン	ント		
3 教育方法・教育3	践に関する	発表、講演等								
4 その他教育活動」	上特記すべき	事項	平成1	9年~					年次、6年制5年次):	
			在					・楽局へ	出向いての訪問指導	
		(FDを含む)	平成2	•		OSCE委員			- /# <i>7</i> - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	
			平成2	•					壬(教務委員会) エ(教教委員会)	
			平成2 平成2	•		-		レー ノ土1:	壬(教務委員会) 	
n 70分工手			十八2	J, Z	+	CBT委員	長			
Ⅲ 研究活動 ──────			I			発行す†	とは発表の	ח		
著書 名	・論文等の 称		共	道著・ 著の)	引	年月(	- は光級。 西暦でも 引)	9	発行所、発表雑誌 巻・号数)等の名称	
(論文) Template p cytosine analogues i	•	~	;	共著		2006	年10月		ic Acids Res. Vol. 438-6449	
(論文)Effects of nydrophobic group on nutation induction a nctivity	ribavirin	base on	;	共著		2008	3年1月	J. Med 159-10	d. Chem. Vol. 51, 36	
(論文) Binding of MutS protein to oligonucleotides containing a methylated or an ethylated guanine residue, and correlation with mutation frequency (論文) Influence of neighbouring base sequences on the mutagenesis induced by 7,8-dihydro-8-oxoguanine in yeast			;	共著		2008	3年4月	Mutat 107-1	ion Res. Vol. 640, 12	
			;	共著		2008	3年4月	Mutag 313	enesis Vol. 23, 509	
(論文) Bisulfite- cytosine in DNA unde conditions			;	共著		201	1年4月		and Environment, 33, 66-70	
Ⅲ 学会等および社会に	 こおける主な	 :活動								
							Editoria			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-21) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学	講座名 物理系薬学分野	職名 教授	氏名 池田満雄					
I 教育活動		-						
教育実践	上の主な業績	年 月 日	年 月 日 概 要					
1 教育内容・方法の工夫		平成21年~現在	塩基、化学平衡、気 て論じた。教科書: びパワーポインを月 足資料を作成し配布	び(2)に関する講義として酸 定量の基礎、容量分析につい : 自作のテキスト、板書およ 用いて講義した。また随時補 市した。平成23年度前期の授 目の平均)で3.8,平成24年度				
		平成23年 (医療ビジネス 薬科学科)	道、濃度、酸・塩基	D基礎(化学結合、電子軌 基反応、酸化・還元反応)を 作のプリントとパワーポイン				
		平成24年 (医療ビジネス 薬科学科)	た。教材は自作ので 講義した。平成24年	と学とその応用について論じ プリントとパワーポイントで F度前期の授業評価は(評価18 と全体平均を上回っていた。				
		平成22年~現 在	基礎薬学実習; 大学1年に入って初めての実習のため、実 行うにあたり必要とする実験の基礎(器具の り扱い、数値の取り扱い、安全対策)を教 た。					
		平成21年~現 在	薬学総合演習 I 、 II (4年~6年次): 薬品分析化学系の教科(コアカリC2(1)および(2))を中心に演習形式で講義した。随時補足 料を作成し配布した。					
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成21年~現 在	薬品分析化学Ⅱ (自作のテキスト毎年改訂)、 日本薬局方解説書					
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等	平成23年	神奈川県認定実務排「ショップ受講	<b>旨導薬剤師養成ワーク</b>				
4 その他教育活動上	特記すべき事項			特になし				
Ⅱ 研究活動								
著書 · 名	論文等の 称	単著・ 共著の別	発行または発表の年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
(論文) Effects of Die Tea Plyphenols on Adip Fatty Acid Metabokism Diet		共著	2006年	Journal of Oleo Science				
(論文)Analytical separ and food-related polyp counter-current chronm		共著	2006年	Journal of Cromatography				
by ION Chromatography Electron Spin Resonand	um(V) in Water Sample in Combination with	共著	2011年	機能水研究				
Ⅲ 学会等および社会に	おける主な活動							
		特になし	<del></del>					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本	薬科大学	講座名	生命分子薬学分野	職名 教授		Ę	氏名 山岸 純一
I 教育活動			!				
	教育実践	も しゅうしょ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しょう しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	業績	年	月	日	概要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成2	2年~	·現在	早期体験学習(1年次必修): コアカリB(2)1~4に関する講義を行っている。 外部講師による薬剤師の役割についての講話と病院、調剤薬局、福祉施設、製薬企業などの社会見学の二本立てで行っている。毎回レポートを提出させると共に、講義最終日にスモールディスカッションを実施し、知識の整理と情報の共有化を図っている。本科目の内容や教員の取り組み方に関する評価アンケートの結果は、概ね好評を得ている。		
				平成2	2年~	·24年	感染症予防学 (4年次健康薬学科必須): コアカリC8(4)6-1, C10(3)2-1, C11(3)3-1~6に 関する講義を行った。感染症の基礎知識、感染症 制御法、感染症法などについて授業を行った。講 義プリントを配布し、パワーポイントを用いて説 明した。新聞記事を用いた感染症の最新トピック スの紹介を行った。授業評価は、全体平均値以上 であった。講義プリントおよび授業の進め方につ いては、好評であった。
				平成2	2年~	·現在	ゲノム科学 II (5年次必修): コアカリC(2)1~3, C17(3)1~5に関する講義を 行っている。遺伝子操作の基礎知識を復習した 後、ゲノム科学の医療分野への応用について授業 を行っている。教科書や参考書をまとめた講義プリントを配布し、主としてパワーポイントを用い て説明している。新聞記事を用い、最先端のゲノム科学の情報を紹介している。授業評価は、毎回、全体平均値以上であった。特に、新聞記事を 用いたトピックス紹介は好評である。
				平成2	3年~	·現在	ポストゲノム医療 (5年次選択): コアカリC17(3)4に関する講義を行っている。 ゲノム情報と創薬に関して、3コマの講義を担当 している。ゲノム創薬の原理、技術ならびに応用 について、参考書をまとめた講義プリントやDVD を用いて講義している。講義終了後、課題レポー トを提出させている。授業評価は、毎回、全体平 均値以上であり、講義プリントおよび授業の進め 方については、概ね好評を得ている。
				平成2	4年~	·現在	食品・薬品のバイオテクノロジー (2年次医療ビジネス薬科学科必修): 分子生物学の基礎知識の復習に引き続き、DNAクローニングなどのバイオテクノロジーで用いられる技術とその原理について講義を行っているもに、その応用として組換え医薬品や遺伝子組換え植物、遺伝子診断、遺伝子治療ならびに再生医療を概説している。教科書としてパワーポイントを配布し、主としてパワを理・展開を開いて説明している。また、知識の整理・展開を目指して、応用微生物学、遺伝学、感染症学などのDVDを使いながら講義を進めている。
				平成2	3年~	·現在	薬学総合演習 I 、II (4年次、6年次必修): コアカリC9(6)1~3, C17(3)1~5に関する内容、 即ち遺伝子操作およびゲノム科学関連を中心に演 習形式により、講義の復習や問題演習を行ってい る。

		平成23年~現在	衛生系実習 I (3年次必修): コアカリC(8)2,6,7およびC14(5)2に関する 即ち代表的な微生物取扱い知識・技術を中 た実習を行っている。				
2 作成した教科書、教材、参考	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成22年~現在					
		平成22年~24年	  感染症予防学講義プ	プリント			
		平成22年~現在	ゲノム科学Ⅱ講義フ				
		1	ポストゲノム医療請				
		平成24年~現在		·ネ・・・ -テクノロジー講義プリント			
			薬学総合演習 I 、 □				
			衛生系実習 I 実習書				
		一成25年で現在 					
3 教育方法・教育実践に関する	3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			機構主催認定実務実習指導薬 リップ参加			
4 その他教育活動上特記すべき	手事項 (FDを含む)	平成23年~現在	  実務実習訪問指導  実務実習先の薬局へ	: ・出向いての訪問指導			
		平成23年~現在		と: €の運営管理、早期体験学習の ☑を立案し実施する。			
Ⅱ 研究活動		<u> </u>	<u> </u>				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・ 号数)等の名称			
(論文) Topoisomerase mutations associated with fluoroquinolone <i>Enterococcus faecalis</i> .		共著	平成18年10月	J Med Microbiol. 55(10):1395-1401.			
(論文) A New screening method inhibitors of the Lol(Localizat lipoproteins) system, a Novel at target.	ion of	共著	平成19年3月	Microbiol Immunol. 51(3):263-270.			
(論文) Mechanism of inhibition by ES-1273, a Novel DNA gyrase 口		共著	平成19年10月	Microbiol Immunol. 51(10):977-984.			
(論文) Cell wall thickness: Popof acriflavine resistance in me resistant <i>Staphylococcus aureus</i>	thicillin-	共著	平成21年4月	J Med Microbiol. 58:331-336.			
(論文) Mechanisms of action of Electron microscopic study of co induced by acriflavine in <i>Staph</i> aureus by acriflavine.	共著	平成21年5月	Microbiol. Immunol. 53(5):481-486.				
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動						
平成12年4月~現在	日本化学療法学会評議員						
平成23年4月~現在	薬剤師国家試験問題検討委員会委員 (生物)						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学 講座名 :	生命分子薬学分野	職名 教授	氏名 下川修					
 I 教育活動								
	 <b>美績</b>	年 月 日	概要					
1 教育内容・方法の工夫 (授業評(	西等を含む)	平成18年4月~ 22年3月	微生物学(2年次必修・通年科目):コアカリ C8(4) およびC10(3)に関する講義。微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)の基礎知識と病原微生物の生物学的特徴と代表的な疾患について。教科書を使い、微生物の写真など視覚的な図表はパワーポイントを使って説明している。パワーポイントの資料はプリントにして配付している。					
		平成22年4月 ~現在	微生物学IとII (2年次必修・ともに半期科目):コアカリC8(4)およびC10(3)に関する講義。微生物学Iで微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)の基礎知識、微生物学IIで病原微生物の生物学的特徴と代表的な疾患について。教科書を使い、微生物の写真などの視覚的な図表はパワーポイントを使って説明している。パワーポイントの資料をプリントにして配付している。授業評価での学生の意見を参考にして授業の改善に努めている。					
		平成18年4月 ~現在	衛生系実習I(旧衛生化学実習・微生物系)(3年次必修・学生実習):コアカリC8(4)7【検出方法】無菌操作やグラム染色などの微生物を取り扱う技能を修得する実習。実習後の学生アンケートでは好評を得ている。					
		平成20年4月 ~現在	薬学総合演習I(4年次),II(6年次):微生物 および感染症について演習形式で、講義の復習 や問題演習を行っている。					
2 作成した教科書、教材、参	考書	平成18年4月~ 現在	微生物学、微生物学I, IIの講義プリント					
		平成18年4月 ~現在	教科書として「わかりやすい薬科微生物薬品学」(微生物学)、「ポイントがわかる薬科微生物学」(微生物学I,II)					
		平成18年4月 ~現在	衛生系実習Iの実習書					
3 教育方法・教育実践に関する	る発表、講演等	平成22年1月 10- 11日	第9回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(受講)					
4 その他教育活動上特記すべる	き事項	平成19年4月~ 現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導					
	(FDを含む)	平成18年4月 ~21年3月	学生実習委員会委員長					
		~23年3月	教務委員会2年生学年主任					
		平成23年4月 ~現在	教務委員会委員長					

Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
(著書) わかりやすい薬科微生物	7薬品学(第2版)	共著	平成19(2007)年3月	廣川書店		
(著書) 戸田新細菌学(改訂33版	<u>(</u> )	共著	平成19(2007)年5月	南山堂		
(著書) ポイントがわかる薬科機	<b>姓物学</b>	共著	平成21 (2009) 年4月	京都廣川書店		
(著書) ポイントがわかる薬科機	姓物学(第2版)	共著	平成24(2012)年3月	京都廣川書店		
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動					
平成22年4月~平成23年3月	日本薬学会「Biological and Pharmaceutical Bulletin」論文審査員					
平成22年4月~平成23年3月	薬剤師国家試験問題検討委員会委員(基礎薬学)					
平成24年4月~現在	成24年4月~現在 日本高等教育評価機構評価員					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学 講座	至名 臨床薬学教育センター	職名 教授	氏名 下園 拓郎					
I 教育活動								
教育実践上	の主な業績	年 月 日	概要					
1 教育内容・方法の工夫	: (授業評価等を含む)	平成18年~22年	物理薬剤学(C16(1)-1, 2, 3):製剤の関連した基礎知識の分散系、レオロジー、 粉体、界面活性剤などについてわかりやすいプリントを作成して講義した。					
		平成19年~現在	医薬品情報学(C 1 5 (1), (2)):医薬品情報の種類や情報の集め方、利用法などについてわかりやすいプリントで講義した。					
			薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ:単なる講義ではなく演習 形式でより実践的な興味のもてる内容にした。					
		平成19年~現在	薬剤学実習(C13,C16):講義で習った ことを実際に実習を行うことにより、現場で応 用できる確実な知識にした。					
		平成19年~20年	医療薬学実習Ⅱ実習:医療に直結する技能を身に付けさせる実習を行った。					
		平成19年~現在	実務実習プレ教育:今まで習ったことを復習し、実務実習での知識・技能・態度をしっかりと身に付けさせた。さらに服装・みだしなみ・態度教育に力を入れた。					
			OSCE:わかりやすい写真を入れた解説を作成し説明を行った。					
		平成22年~現在	実務系実習(DI):実際の現場で必要な技能 や態度教育について実習を行った。					
2 作成した教科書、教材	、参考書		物理薬剤学参考書(自費出版)					
		' '''	薬剤学実習実習書					
			医療薬学実習 II 実習書					
			医薬品情報学参考書(自費出版)					
			薬剤系実習実習書					
			薬学総合演習Ⅰ、Ⅱプリント CBT, OSCE対策プリント					
			ひらす, ひらしと対象フリント    実務実習事前学習プリント					
			実務系実習実習書					
			/////// P					
3 教育方法・教育実践に	関する発表、講演等		大学におけるPOS教育 第4回埼玉薬学研修会 POSに基づく薬剤管理指導教育 POS医療学会					

4 その他教育活動上特記すべき	き事項 (FDを含む)	平成19年~現在	実務実習訪問指導			
	平成19年~現在	3年生委員会委員				
		平成19年~現在	OSCE委員会委員			
	平成19年~23年	国家試験対策委員会	:(薬剤学、実務担当)			
			実務実習プレ教育委			
			実務実習委員会委員			
		平成22年~現在	ポスト教育委員会委	員		
Ⅱ 研究活動						
┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	ח	単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌 発行所、発表雑誌		
名称		共著の別	年月(西暦でも 可)	(巻・号数)等の名称		
(著書)医薬品情報学		共著	平成21年4月	南山堂		
(著書) 医学大辞典第2版		共著	平成21年4月	医学書院		
(論文) わが国における医療関連 学 (病院薬学), 薬剤学	論文の推移-医療薬	共著	平成21年4月	医療薬学,835 - 850, (2009)		
(著書) 製剤化のサイエンス		共著	平成24年3月	ネオメディカル		
(著書)薬学用語辞典		共著	平成24年3月	東京化学同人		
Ⅲ 学会等および社会における主な	よ活動					
平成18年4月	薬剤学教科担当委員					
平成18年~現在	指導薬剤師(日本医療	聚学会)				
平成18年~現在	生涯研修認定薬剤師	(日本病院薬剤師	i会)			
平成18年~現在	生涯研修認定薬剤師	(薬剤師研修セン	<b>/</b> ター)			
平成18年~24年	上尾市夜間診療支援					
平成19年~22年	埼玉県薬剤師会試験も	ンター委員				
平成20年9月	ゆめくる祭り講演会	(伊奈町)				
平成20年11月	上尾市民講座講演会					
平成20年~現在	埼玉県薬事委員					
平成20年	明治薬科大学OSCE	評価者				
平成20年~現在	横浜薬科大学OSCE	評価者				
平成21年3月	渋川市民講座講演会					
平成21年7月	出前授業(長野吉田高					
平成22年~現在	薬剤師国家試験問題核	全 会討委員会委員 (	(実務)			
平成22年~現在	医薬品情報学教科担当委員					
平成22年10月	伊奈町学校開放講座講演会					
平成23年11月	薬物乱用講演会 鴻巣高校					
平成23年12月	薬物乱用講演会 鴻巣	女子高校				
平成24年11月	薬物乱用講演会 久喜	 高校				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-25) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学 講座4	S 薬品創製化学分野	職名	教授		氏名 船山信次	
I 教育活動						
教育実践上の主	な業績	1	₹ 月	日	概  要	
	1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		8年~	~23年	日本薬局方(3年次必修):コアカリ、B (1)、C12(2)に関する講義、教科書、 まとめのプリント使用。教科書には、廣川書 店『薬局方試験法』使用。また、毎回の講義 にまとめと復習のプリント配布。授業評価は 4点代で平均以上。	
		平成 <sup>-</sup>	8年~	∼現在	漢方生薬化学(3年次選択):コアカリB (1)、C7(1)に関する講義。教科書、毎回、まとめと復習のプリント使用。教科書には、自著の『アルカロイドー毒と薬の宝庫』 (共立出版)を使用。授業評価は4点代で平均以上。	
		平成 -	8年~	∼現在	薬学総合演習(PBL)(2年次必修):コアカリA(3)、C(4)に関する実習で、必要に応じてプリントを配布しているが、主たる実習は学生同士のディスカスとまとめとなる。	
		平成 2	20年~	∙現在	薬学総合演習 I、 I I (4年~6年次必修): 化学系のコアカリC4(1)~(2)を中心に担当。教科書は、薬学ゼミナール編集『化学』(薬ゼミ情報教育センター)を使用。講義ごとにまとめのプリントも使用。	
		平成2	2 2 年~	∙現在	ヒューマニズム2(1年次必修):コアカリA(2)に関する講義で、オムニバス形式。 船山は講義15コマのうち3コマ担当。教科書には、日本薬学会編『ヒューマニズム・薬学入門』(東京化学同人)使用。その他、毎時間、プリント配布。	
2 作成した教科書、教材、	参考書	平成 -	8年~	∼現在	漢方生薬化学講義プリント 同、復習プリント 教科書『アルカロイド』第3刷(平成18年 9月)/第4刷(平成19年3月)	
		平成1	8年~2	23年	日本薬局方講義プリント、および復習用プリント	
		平成2	0年~	現在	薬学総合演習I, II(4年~6年次必修)講義プリント、および学習問題プリント	
		平成2	2年~	現在	ヒューマニズム2講義プリント	
3 教育方法・教育実践に	関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記で (FD	すべき事項 を含む)	平成 -	9年~	→現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次):実務実習さきの病院・薬局へ出向いての訪問指導	
		平成2	2 1 年~	₹現在	FD委員、学生委員	

Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Machilin G and Four Neolignans from Young Fruits of <i>Magnolia denudata</i> Show Various Degrees of Inhibitory Activities on Nitric Oxide (NO) Production		共著	2008年10月	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 72 巻 10 号		
(著書) 毒と薬の世界 史	単著	2008年11月	中央公論新社(中公新書)			
(著書)アミノ酸	単著	2009年7月	東京電機大学出版局			
(論文) Anti-Influenza Virus Pr Muehlenbeckia hastulata	(論文) Anti-Influenza Virus Princeples from Muehlenbeckia hastulata		2010年1月	Journal of Natural Medicines, 64 巻		
(著書) 〈麻薬〉のすべて	(著書)〈麻薬〉のすべて			講談社(講談社現代新 書)		
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動					
平成18年4月~現在	Pharmaceutical Biology 副編集長					
平成22年4月~現在	日本薬学会英文学会誌編集委員					
平成24年4月~現在	日本薬史学会評詞					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

		教育お	よび研	Ŧ究活動σ	の業績	一覧	
大学名 日本	薬科大学	講座名 医療ビジネス薬科学 科	職名	教授	F	氏名    新木	敏正
I 教育活動			•		•		
	教育実践	上の主な業績	年	月日	3	概	要
1 教育内	容・方法の	)工夫(授業評価等を含む)	平成1	8年~現在		学習・生涯学習について ズ1の内容に沿って講義 イントを使って実施し、 している。 研究活動に関しては、 使った講義も行っている	(5) に関する講義 5 こころ構えならびに自己 5 スタンダード薬学シリー を展開。授業は、パワーポ 講義資料は印刷して配布 自身の研究生活と成果を 6 自己学習・生涯学習の ほについてその資格取得を
				9年~現在	在	生化学 I (2年次必修) I (2年次のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	C9(5)およびC8(3)に関す 担う遺伝子、ヌクレオチ シメカニズム、遺伝子の複 スプチドおよびステロイ 養を行っている。教科書と 用し、授業はパワーポイン 自己学習用のプリントを配 ではいての活性化経 の話、ビタミンの活性化経 の経緯、入れている。
			平成2	4年~現在	4 判 月 フ え	持に癌、糖尿病などの乳 療薬の選択について講 用した創薬、ヒトゲノム ならびにプロテオームに	るとして、ゲノムと疾患、 発症に関連する遺伝子と治 意。また、ゲノム情報を利 公の多様性による薬剤選択 こついて講義を実施してい ポイントを使用しその回の
			平成2	0年~22年	C		事教育): )、C9(4)、C9(5)および ナール青本生物を用いて、
			平成2	1年~22年	) (		受業範囲(コアカリC9(1)、 よびC8(3))を薬学ゼミナー
			平成1	9年~20年	ノラ馬を住	ルコースの性質、役割な 定量試験法の他、C9(3) 験法を実施できる。代表 きる。酵素反応速度論に	生物系実習では、C9(1)グ よらびに糖質の定性および タンパク質の定性、定量試 長的な酵素の活性を測定で こついて説明できる。代表 E説明できるに関する実習
			平成2	1年~22年	· 7.	グルコースの性質、役害 び定量試験法の他、C9(	ミ習(1年次)では、C9(1) 別ならびに糖質の定性およ 2)タンパク質の定性、定量 也、測定器具の取り扱い方 5。
			平成2	2年~23年		プレ教育:プレ教育のリ において、PBL教育のチ	Jスクマネージメント入門 ューターを担当。

_					
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年~現在	生化学 II A講義プリ:	ント(2年次)		
	平成19年~現在	NEW生化学教科書(24	<b>丰次</b> )		
	平成20年~現在	ヒューマニズム II 講義プリント(1年次)			
	平成18年~現在	生物系実習書(2年次	)		
		平成21年~22年	基礎薬学実習書(1年	次)	
		平成24年~現在	ポストゲノム医療講	義プリント	
3 教育方法・教育実践に関する発	表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事	項(FDを含む)	平成18年~20年	CBT委員会:共用試験	 験の実施	
		平成22年	5年次ワーキンググル	レープメンバーとして教育活動	
		平成23年2月19日	田園調布雙葉高等学	校 出前授業	
		平成23年3月6日	第一高等学院 出前	授業	
		平成23年~24年	FD委員会 : 学内に加	於けるFD活動	
Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の		単著•	発行または発表の	発行所、発表雑誌	
名称		共著の別	年月(西暦でも可)	(巻・号数)等の名称	
(論文) Analogs of $\alpha$ , Z5-dinyaro; with high potency in induction of	(yvitamin D <sub>3</sub>				
osteoclastogenesis and prevention		人 共著	平成18(2006)年7月	Bioorg Med Chem.	
cell differentiation: synthesis amevaluation of 2-substituted 19-nom		八百	7,3010 (2000) 1771	Vol. 14: 4645-56.	
analogs	VICAIIIII D				
(論文) Characterization of rat am		人 共著	平成18(2006)年10月	Steroids.	
CYP2J enzymes as Vitamin D 25-hyd		7,6	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Vol. 71: 849-56.	
(論文) Mitogen-activated protein mediate interleukin-1β-induced re				I Dariadantal Dag	
activator of nuclear factor- $\kappa$ B I	i gand	共著	平成19(2007)年8月	J Periodontal Res. vol.42: 367-76.	
expression in human periodontal l	igament				
(論文) Involvement of Tiam 1 in a induced by bufalin in HeLa cells.	apoptosis	共著	平成19(2007)年1-2 月	Anticancer Res. vol.27: 245-9	
(著書) 知っておきたい薬物治療		共著	平成20(2008)年3月	東京化学同人,295-307	
(著書)新薬剤師国家試験対策 精選	共著	平成23(2011)年6月	評言社		
Ⅲ 学会等および社会における主な活	動				
平成22年12月18日 OSCE評価者 横浜薬科大学					
平成23年10月29日 第2回 公開講座 骨を丈夫にするカルシウムの上手な摂り方 日本薬科大学お茶の水 キャンパス					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧									
大学名 日本薬科大学 講座名 物理系薬学分野 月			職名	教授		氏名 安西	和紀		
I 教育活動									
—————————————————————————————————————	 上の主な第	 <b></b>	年	月日	3		 概   要		
1 教育内容・方法 <i>の</i>	工夫(授	業評価等を含む)	平成2	2年~耳		び(4)に関する講義	年必修)コアカリC1-(3)およ。 。プリントを配付し宿題を課 の授業評価はほぼ平均点。		
						化学物理系実習 II 物理化学に関する9			
			平成2	3年~其	見在	実務実習事前教育 ・放射性医薬品に関 ・配合変化に関する	関する講義		
			平成2	3年~其		数学と物理の基礎 修)	(医療ビジネス薬科学科1年必		
							を講義。宿題を課した。H23年 はほぼ平均点。		
2 作成した教科書、	教材、参	考書				薬品物理化学Ⅱ講			
			平成2		見仕	化学物理系実習Ⅱ3	€省書 学系の数学入門」講談社(共		
	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	7.84 - # 冲放	1 /20,2			者)			
3 教育方法・教育実	・氐に関す	る笼衣、講演寺							
4 その他教育活動上	:特記すべ	き事項(FDを含む)	平成2	2年~月		実務実習訪問指導 薬局へ出向いての記	(6年制5年次) : 実務実習先の f問指導		
			平成2	3年		2年学年主任	31-314-37		
			平成2	3年~月	見在	学生実習委員会委員	長		
Ⅱ 研究活動							1		
著書・   名	論文等の 称			≦著・ 著の別		発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・   号数)等の名称		
Substituted tetramethy with Respect to Protec	(論文) Comparison of Stable Nitroxide, 3- Substituted tetramethylpyrrolidine-N-oxyls, with Respect to Protection from Radiation, Prevention of DNA Damage and Distribution in			共著		2006年4月	Free Radic. Biol. Med. 40, 1170-1178.		
(論文) Heat-Treated M Post-irradiation Radio	protecto	r		共著		2008年5月	J. Radiat. Res. 49, 425- 430.		
(論文) Modification of tumorigenesis by tocop (TMG) administered aft and rats	herol-mo	no-glucoside		共著		2009年10月	Radiat. Res., 172, 519- 524.		
(論文) Effectiveness X-rays and a Phosphoir Inhibitor, ZSTK474, or cells in vitro and in	nositide n Prolife	3-kinase	;	共著		2011年6月	Cancer Science 102, 1176- 1180.		
(論文) Fukushima Dai accident: facts, envir possible biological et countermeasures	onmental	contamination,	:	共著		2012年1月	J. Clin. Biochem. Nutr. 50, 2-8.		
Ⅲ 学会等および社会に	おける主	な活動							
平成10年1月~平成23年6	6月	日本酸化ストレス	マ学会記	評議員					
平成12年1月~現在		日本放射線影響学	全会発行	うのJ.	Rac	liat. Res.のassoci	ate editor		
平成15年4月~現在		日本酸化ストレス	《学会》	関東支	部世	:話人			
平成17年1月~現在		α リポ酸研究会世話人							
平成18年1月~平成19年 平成22年1月~平成23年									
平成20年1月~平成21年12月 電子スピンサイエンス学会会長									
平成20年1月~現在 日本酸化ストレス学会発行のJ. Clin. Buichem. Nutr.のexective editor					r. Oexective editor				
平成22年1月~現在	~現在 ビタミンE研究会幹事								
平成23年2月~現在	平成23年2月~現在 日本薬学会代議員								
平成23年7月~現在 日本酸化ストレス学会理事									

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-28) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 日本薬科大学 講座名 薬剤学分野	職名 教授	氏名 鴫原 淳		
I 教育活動	•			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法の工夫	平成23年~現在	薬剤学IB (3年次必修) :		
(授業評価等を含む)		コアカリC16(2)および(3)に関する講義		
		各剤形の製造方法と、一般試験法について講義している。教科書を基本とし、板書中心に授業を行なっている。パワーポイントは画像が必要な場合以外は使用していない。平成23年度の授業評価平均値は4.00(5.00満点)だった。期末試験の結果(平均点77.4、標準偏差15.3)から見て、学生の理解度・満足度は低くないと考えている。		
	平成23年~現在	物理薬剤学 (3年次必修):		
		コアカリC16(1)に関する講義		
		溶解速度、拡散、分散系、レオロジー、分解速度等について講義している。教科書を基本とし、板書中心に授業を行なっている。パワーポイントは使用していない。平成23年度の授業評価平均値は4.03(5.00満点)だった。学生にとって学びにくい科目ではあるが、期末試験の結果(平均点73.1、標準偏差20.8)から見て、学生の理解度・満足度は低くないと考えている。		
	平成23年~現在	ッ。 薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ (4年~6年次) :		
		物理化学、分析化学、薬剤学に関する項目を担当し、問題プリントを作成して演習を行った(4年生 2時間、5年生 3時間、6年生 15時間)。		
	平成23年	薬学演習Ⅲ(3年次):		
		機器分析に関する項目を担当し、問題プリントを作成して演習を行った(8時間)。		
	平成23年~現在	薬剤系実習 (4年次必修):		
		コアカリC16に関する実習		
		1. pH分配仮説、2. 調剤業務、3. 顆粒剤の製造・溶出試験、4. 製錠と錠剤の品質評価、5. 粒子・粉体の性質、6. 疑義照会、7. 軟膏剤の製造方法の7課題のうち、3と5を担当している。		
2 作成した教科書、教材、参考書		製剤化のサイエンス (共著 ネオメディカル、2012年)		
		薬剤系実習 実習書 (2012年)		
		薬学総合演習I, II, 薬学演習Ⅲ 問題プリント		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし		

4 その他教育活動上特記すべき	き事項	平成23年~現在	強化セミナーの開催	:
	(FDを含む)		な物理化学、分析化学、製剤学の内容で加人数は、学年と時20名から100名くらいは合計50時間実施しは他の教員が担当しは好評だが、本来目	1する補習であり、担当可能 は学、物理薬剤学、薬物動態 が不定期に開催している。参 があれて異なるが、1回に いが参加している。23年度に た。化学、薬理学について でいる。参加した学生から にいるが、10 にいるがあれている。23 はないるが、10 にいるの必要
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(論文) An acylated cyanidin 3,7-diglucoside in the bluish flowers of Bletilla striata 'Murasaki Shikibu' (Orchidaceae)		共著	平成22年2月	J. Japan Soc. Hort. Sci., vol. 79, No. 2, 215-220 (2010).
(論文) Malonylated anthocyanidin 3,5-digluco-sides in the flowers of the genus <i>Disa</i> (Orchidaceae)		共著	平成23年3月	Biochem. Systl Ecol. vol. 39, 220-224 (2011)
(論文) The blue anthocyanin pigments from the blue flowers of <i>Heliophila coronopifolia</i> L. (Brassicaceae)		共著	平成23年9月	Phytochemistry, vol. 72, 2219-2229 (2011).
(論文) 7-0-Methylated anthocyanidin glycosides from the reddish purple flowers of <i>Catharanthus Roseus</i> 'EQUATOR LAVENDER'		共著	平成23年10月	Heterocycles, vol. 83, No.12,2803-2810 (2011).
(著書) 製剤化のサイエンス 改訂5版		共著	平成24年3月	ネオメディカル
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
平成23年~現在	薬学CBT問題管理委員			
平成23年~現在	薬剤師国家試験問題検討委員会委員 (薬剤学)			

- 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。 |注| 1

  - 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧				
大学名	日本薬科大学	講座名 医療ビジネス薬	科学科 職名 教授	氏名 大山 良治	
I 教	育活動		•		
	教育実	践上の主な業績	年 月 日	概要	
			平成19年~20年	実務実習(4年次健康薬学科・漢方薬学科・医療薬学科必修):薬学生にに医療人としての使命感、倫理観を持たせることが必要不可欠であり、医療を理解させ、薬剤師の立場と果たすべき役割を把握させるために、医療現場での薬学生実務実習を行った。病院実習は4年次の4週間および薬局実習2週間である。病院薬局実習は、卒業後の進路にかかわらず、薬剤師としての社会的責任と義務を認識するにはふさわしいカリキュラムである。	
			平成20年~21年	生物薬剤学 II (3年次健康薬学科・漢方薬学科・医療薬学科必修):コアカリC13(4)(5)に含まれる到達目標(SBOs)に関して担当した。薬物と臓器への到達と消失(代謝・排泄・相互作用、薬物動態の解析について、教科書等をまとめたプリントを使用し、図表との説明にはパワーポイントを使用した。なるべく学生に答えさせて質疑応答で学生の参加を促している。	
			平成22年	実務系実習(健康薬学科・漢方薬学科・医療薬学科必修): コアカリI2およびI6 に関する実習であり、模擬薬局、薬剤学実習室およびOSCEルームを用いて、病院や薬局実習に必要な知識態度、技能を要請することを目的にしている。	
			平成22年~23年	薬剤学Ⅱ (4年次健康薬学科・漢方薬学科・医療薬学科必修):コアカリC15(2)C18(3)に含まれる到達目標(SBOs)に関して担当した。模擬患者を設定し、入院から退院までを記録し、POSによって、SOAPなどの形式で患者記録を作成させた。またチーム医療での退院時サマリーを説明できるようにして、地域医療の薬剤師の役割をしっかりと理解させた。また、作成した問題と初期計画についてスモールグループディスカションをとおして議論させてプロダクトを発表させた。	
			平成22年~24年 在	現 鍼灸漢方治療学(5年次健康薬学科・漢方薬学科・医療薬学科選択):コアカリ07(3)に含まれる到達目標(SBOs)に関して担当した。漢方の基礎理論を元に実際に疾患における鍼灸治療を行うにあたっては、症状に応じた視診、聴診、打診、触診などの診察を行い、得られた結果を総合して障害部位や病体についての判断をする。これらの診察法と鍼灸治療について実際に体験させながら基本的な知識を習得させた。実技実習および授業の進め方については概ね好評を得ている。	
			平成22年~24年 在	現 臨床薬学 I (4年次健康薬学・漢方薬学選択): I2、C18などに含まれる到達目標(SBOs)に関して担当した。処方せんに基づいて正確な調剤ができるようにするために、処方内容を理解して、最適な薬物療法を考えることができるようになるように、できるだけ現場の実際の話を交えて講義した。教員の取組み方等に関する評価アンケート調査の結果、概ね良い評価を得ている。	

		在	どに含まれる到達目 た。人の集団におけ に影響する事象をと 定因子をみつけ薬に 応用する薬剤疫学の	療薬学科必修): C15 (1)な標(SBOs)に関して担当しる健康の状況あるいは健康りあげ、その分布および規関連する健康問題の制御に知識と技能を修得する。授は概ね好評を得ている。
2 作成した教科書、教材、参	考書	平成22年~23年	薬剤学Ⅱ講義プリン	,
		在	薬剤疫学講義プリン 薬剤疫学講義 ブリン 漢方鍼灸治療学講義	
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等	平成23年11月18日 ~20日		機構認定実務実習指導薬剤 プ参加(タスクフォース)
			第4回関東地区調整	機構主催認定実務実習指導薬 ップ参加(タスクフォー
4 その他教育活動上特記すべ	き事項(FDを含む)	平成19年~ 平成23年	次):実務実習先の 問指導	(4年制4年次、6年制5年 )病院・薬局へ出向いての訪
		平成21年~ 平成22年		会およびワーキンググルー ・評価と改善計画に参画し
		平成21年~ 平成22年	学生実習委員会にお	いて学生実習担当
		平成23年~現在	就職委員	
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Hemoglobin A1c for diabetes; a follow-up study using rourtine clinical data in a Japanese university hospital.		共著		Translational Rsearch, 149, 196-204
(著書) 第3版新薬理学テキスト		共著	平成23(2011)年3月	南江堂
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動	•		•
平成23年12月19日	平成23年度 薬物乱用防止講演会(日本薬科大学主催) 埼玉県立狭山清陵高等学校			
平成19年~平成21年	埼玉県薬剤師実務実習委員会委員			
平成18 年~現在	日本薬剤疫学会監事			
平成23年~現在	NP0日本医薬品安全性ユニット監事			
平成23年~現在	薬剤師国家試験問題検討委員会委員(薬剤学)			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-30) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 日本薬科大学 講座名 漢方薬学科	職名 教授	氏名 姫野友美		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日	札	既要	
1 教育内容・方法の工夫	平成18年~現在	製剤について解説しいて解説しいて解説した。治療を製作のなれてどにからではいるでは、明日に、明日に、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	生、前期/後期) に実際の疾患に用いる漢方 た。各疾患別に、西洋使患別 を疾患別に本事で 較して本事で の用法、症例を が が した。症の が で が が が で が が で が が が が が で が が が が	
(授業評価等を含む)	平成24年		生、前期) ・患者関係、エゴグラム・ 説した。生徒からの評価は	
	平成24年	イントロダクション コーチングについて 好評であった。	(1年生、後期) 解説した。生徒からは大変	
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年~現在	山堂) 参考書:「心療内科 い」(青春出版)「症 中出版)「漢方でみん	のファーストステップ」(南 に行く前に食事を変えなさ 例でわかる漢方薬入門」(日 んな元気!」(主婦の友)	
	平成24年		ズム講義プリント る心療内科」(金原出版) ムのすべて―SGEマニュア	
	平成24年		うション講義プリント ためのコーチング活用術」	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成19年~ 平成22年	日本薬科大学オーフ を毎年行った。	『ンキャンパスにて夏の講演	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)	平成23年~現在		リア推進センター長とし 活動に携わっている。	
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(著書)恋愛ハッピー方程式	単著	平成22年6月	イーストプレス	
(著書)心療内科に行く前に食事を変えなさい	単著	平成22年7月	青春出版社	
(著書)成功する人は缶コーヒーを飲まない――「すべてがうまく回りだす」黄金の食習慣	単著	平成23年4月	講談社	
(著書)心が折れそうになったら	単著	平成23年6月	PHP研究所	
(著書)図解 成功する人は食べるものが違う!	単著	平成24年6月	KKベストセラーズ	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動			
平成12年~現在	日本心身医学会	評議委員	
平成15年~現在	日本心療内科学会	評議委員	
平成23年~現在	日本抗加齢医学会	評議委員	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 日本薬科大学	講座名 薬品創製化学分野	職名 教授	氏名 川久保 弘	
I 教育活動			•	
教育実践		年 月 日	概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成21年前期	北里大学薬学部大学院特論前期過程非常勤講師対話形式の『私の医薬開発経験談』について薬学部の大学院1年生を対象に論じた。 旭化成における医薬品開発をパワーポイントを活用し説明した。一方的な講義では無く学生さんに対話及び質問しながら進行したので、概ね好評を得ている。	
		平成23年後期	日本薬科大学御茶ノ水校医療ビジネス薬科学科後期過程非常勤講師 1年生の医薬品の化学 I の5講義を担当し講義を 施。パワーポイントを活用し説明し、計4回の小 テストを実施し、学生さんの理解度を確認しな ら授業を進行した。後期テスト結果は不合格生 名であり、学生の自由意見の中に「川久保先生 は、プリントがとてもこっていて、例をだしませ しえてくれたのでわかりやすかったです!!とて しえてくれたのでわかりやすかったです!!とて の意見を問にそって考えることによっしかっ の意見をりました。講義とてもたのしかってい す。」等のコメントもあり、概ね好評を得てい る。	
		平成24年前期	日本薬科大学 薬学科 医薬品化学 I (3年必修)コアカリ06(1)及び(2)に関する講義 医薬品の化学構造に焦点を絞り、医薬品化学構造及び生体機能の関連性を説明し、医薬品化学について講義を実施。教科書を纏めたプリントを配布し、パワーポイントで説明した。また随時重要な箇所を学生にある。また学生の理解度を確認する為に計7回の小テストを実施し、理解度を確認しながら授業を進めた。補講も自主的に2回実施した。平成24年度前期の授業評価(評価20項目の平均値)で3.91(5段階評価)で全体平均値以上であった。教材プリント及び授業の進めたに関しては概ね好評を得ている。	
		平成24年前期	日本薬科大学 薬学科 医療 で全体では概ないでは、   一本薬科大学の基礎に関して 7 講義を前半に実施し、後半された。   原子の結合等化学の基礎を前半に実施して 7 講義を前半に実施して 7 講義を前半に実施して 7 講義を前半に実施して 8 書 で 8 表 で 9 本薬科大学 薬学科 E2総合薬学演習 (6(1) 及び(2)を中心に演習形成で講及び(2)を中心に演習形成で講義及び問題演習を実施。   日本薬科大学 薬学科 医2総合薬学演習 (6(1) 及び(2)を中心に演習形成で講義及び問題演習を実施。	

		平成24年後期	コアカリC6(1)及び(日本薬科大学 薬学C6(1)を中心に演習f ている。 日本薬科大学 薬学C6(1)を中心に演習f ている。 日本薬科大学 薬学 ている。 日本薬科大学 薬学		
			習を行っている。		
2 作成した教科書、教材、参考	書	平成21年前期	旭化成における医薬	品開発について自己資料作成	
		平成23年後期	大学生の有機化学(	(三共出版) に参考にして医薬	
			品の化学 I 講義プリ	ント	
		平成24年前期	1. NEW医薬品化学	(廣川書店) に参考にして医薬	
			品化学 I 講義プ	゚リント	
			2. 化学への誘い(	(廣川書店) に参考にして化学	
			の基礎講義プリ	ント	
		平成24年5月	早期体験学習委員会	:担当し、2会社に1年生引率	
3 教育方法・教育実践に関する	<b>免表、講演等</b>	平成24年11月	第15回関東地区調整	機構認定実務実習指導薬剤師	
		3~4日	養成ワークショップ	<sup>?</sup> 参加(受講)	
4 その他教育活動上特記すべき	事項	平成24年~現在	実務実習訪問指導(6年生5年次)		
		平成24年~現在	CBT委員会担当		
Ⅱ 研究活動					
 著書・論文等の 名 称		単著・	発行または発表の	発行所、発表雑誌 (巻・	
Ⅰ 名 杯		共著の別	年月(西暦でも可)	号数)等の名称	
名 杯  (著書) Pharmaceutical Process Cl Towards Development of I Process Chemistry Edited by The Japanese So Process Chemistry Process Explosive Reactions	Pharmaceutical ociety for	共著の別 共著	年月(西暦でも可) 2011年	号数)等の名称 出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380	
(著書) Pharmaceutical Process Chemistry Edited by The Japanese Services Chemistry Process Chemistry Process Chemistry Process Chemistry Process	Pharmaceutical ociety for s Research with			出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA	
(著書) Pharmaceutical Process Cl Towards Development of I Process Chemistry Edited by The Japanese Sc Process Chemistry Process Explosive Reactions	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine	共著	2011年	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380 Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477-	
(著書) Pharmaceutical Process Class Towards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of the Phosphonium derivative transformation of tri	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot ohenylphosphine hosphine eduction of	共著	2011年2011年2011年3月31日	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477- 5479.  Tetrahedron 2011, 67,	
(著書) Pharmaceutical Process Clarowards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schemistry Process Chemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of the phosphonium derivative transformation of tripoxide into triphenylph (論文) TMSCI-Promoted Electrore Triphenylphosphine Oxide	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine hosphine eduction of e to ohenylphosphine hine in the	共著	2011年 2011年3月31日 2011年5月17日	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477- 5479.  Tetrahedron 2011, 67, 5825-583.	
(著書) Pharmaceutical Process Clarowards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schrocess Chemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of tophosphonium derivative transformation of tripoxide into triphenylphosphine  (論文) TMSCI-Promoted Electrore Triphenylphosphine Oxide Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosph	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine hosphine eduction of e to phenylphosphine hine in the thylsilane	共著共著	2011年3月31日 2011年5月17日 2011年8月11日	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477-5479.  Tetrahedron 2011, 67, 5825-583.  SYNLETT 2011, 4, 582-584.	
(著書) Pharmaceutical Process Chowards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of tophosphonium derivative transformation of tripoxide into triphenylphosphine  (論文) TMSCI-Promoted Electrore Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine hosphine eduction of e to phenylphosphine hine in the thylsilane	共 著 著 著	2011年3月31日 2011年5月17日 2011年8月11日 2011年9月21日	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477- 5479.  Tetrahedron 2011, 67, 5825-583.  SYNLETT 2011, 4, 582- 584.  SYNTHESIS 2011, 24, 4091- 4098.	
(著書) Pharmaceutical Process Chowards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of tophosphonium derivative transformation of tripoxide into triphenylphosphine  (論文) TMSCI-Promoted Electrore Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine  エ 学会等および社会における主な  平成21、23、24年5月	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine hosphine eduction of e to phenylphosphine hine in the thylsilane  活動 財団法人 岡山工		2011年 2011年3月31日 2011年5月17日 2011年8月11日 2011年9月21日 研究助成申請審査委	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477- 5479.  Tetrahedron 2011, 67, 5825-583.  SYNLETT 2011, 4, 582- 584.  SYNTHESIS 2011, 24, 4091- 4098.	
(著書) Pharmaceutical Process Chowards Development of Process Chemistry Edited by The Japanese Schemistry Process Chemistry Process Explosive Reactions  (論文) Formal Total Synthesis Oseltamivir Phosphate  (論文) Electroreduction of tophosphonium derivative transformation of tripoxide into triphenylphosphine  (論文) TMSCI-Promoted Electrore Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine  (論文) Electroreduction of Tripoxide to Triphenylphosphine	Pharmaceutical ociety for s Research with of (-)- etra-coordinate es; one-pot phenylphosphine hosphine eduction of e to phenylphosphine hine in the thylsilane  活動 財団法人 岡山工		2011年3月31日 2011年5月17日 2011年8月11日 2011年9月21日	出版社 STMS Books Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA Chapter 18 363-380  Journal of Organic Chemistry 2011, 76, 5477-5479.  Tetrahedron 2011, 67, 5825-583.  SYNLETT 2011, 4, 582-584.  SYNTHESIS 2011, 24, 4091-4098.	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学	講座名 生命分子薬学分野	職名 教授	氏名 京ケ島 守				
I 教育活動							
—————————————————————————————————————	 上の主な業績	年 月 日	概  要				
1 教育内容・方法 <i>0</i> む)	0工夫(授業評価等を含	平成23年~現在	ストレス学(6年次)専門教育科目(健康薬学科基幹科目):ストレス社会に生きる現代人の健康増進に貢献するため、まず生理学的な観点から(関連コアカリC8)ストレスにつき概説し、具体的な疾患と社会生活とのかかわりを示しながら解説している(C11, 14)。参考書や資料をもとにしたプリントを配布し講義形式で行っている。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値) は4.25(5段階評価)であった。				
		平成23年~現在	緩和医療実践学(6年次)選択科目(アドバンス科目): 2007年4月の「がん対策基本法」の施行により、従来の早期発見・早期治療とともに早期からの緩和ケアの重要性がクローズアップされてきている背景を、緩和ケアの歴史的成り立ちから現時点での問題点、及び将来像まで概説している(関連コアカリA, C11, C14, C18)。参考書や資料をもとにしたプリントを配布し講義形式で行っている。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値) は 4.47 (5段階評価) であった。				
		平成23年~現在	早期体験学習(1年次必修):早期学習委員会担当 教員の一人として見学施設への引率、レポートの 指導などを行っている。				
		平成23年~現在	薬学総合演習Ⅱ(6年次):生物系C8を中心に演習 形式で、講義の復習や問題演習を行っている。				
		平成24年~現在	総合薬学演習(5年次):生物系C8を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。				
		平成24年~現在	薬学総合演習 I (4年次) : 生物系C8を中心に演習 形式で、講義の復習や問題演習を行っている。				
		平成24年~現在	生物系実習(2年次):生物系C8(1)(3)、およびC9(1)(3)などを含む実習				
		平成24年~現在 平成24年~現在	微生物と生体防御(医療ビジネス薬科学科2年次必修):診療上管理士テキスト、診療情報管理Iと図譜を中心としたプリントを配布し講義形式で行っている。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)は3.67(5段階評価)であった。医薬学英語 (医療ビジネス薬科学科2年次必修):診療上管理士テキスト、診療情報管理IIと図譜を中心としたプリントを配布し、講義形式で				
 2 作成した教科書、	教材、参考書 	   平成23年~現在	科目の一部を分担している。  ストレス学講義プリント				
	· · · · - <del>-</del>	平成23年~現在 平成24年~現在	緩和医療実践学講義プリント 微生物と生体防御講義プリント(4年生、医療ビジネス薬科学科)				
		平成24年~現在	医薬学英語講義プリント(4年生、医療ビジネス薬 科学科)				
	<b>ミ践に関する発表、講演等</b>	平成24年4月29日 ~30日	第1回関東地区調整機構主催 認定実務実習薬剤 師養成ワークショップ(慶大薬学部)参加(受				
4 その他教育活動」	上特記すべき事項(FDを含む	平成23年~現在	委員 FD活動を行う。				
		平成23年~現在	学生委員会:委員 学生の学習、生活、課外活動 などの指導				
		平成24年~現在	実務実習訪問指導(5年次): 実務実習先の薬局へ 出向いての訪問指導				
		平成24年~現在	FD委員会の研究支援ワーキンググループメンバー				

Ⅱ 研究活動						
著書・論文等 <i>0</i> 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Serum sulfatides as a for cardiovascular disease in end-stage renal failure.		共著	2007年12月	Glycoconj J, vol. 24, No. 9 565-571		
(論文) Transcriptional regul sphingomyelinase 2 gene expre breast cancer cell line, MCF- the anti-cancer drug, daunoru	ession of a human 7, induced by	共著	2009年11月	Biochim Biophys Acta. Vol. 1789 No.11-12, 681-690		
(論文)Sulfatides are associ neointimal thickening after v		共著	2010年7月	Atherosclerosis. vol. 211, No.1, 291-296		
(論文)Quantitative transcri of branching in a glycosphing biosynthetic pathway.	olipid	共著	2011年8月	J Biol Chem. Vol. 286, No.31, 27214-27224		
(論文) Role of down-regulate ceramidase during all-trans r induced neuronaldifferentiati neuroblastoma cells.	共著	2012年6月	J Biochem vol. 151, No. 6, 611-620			
Ⅲ 学会等および社会における言	<b>主な活動</b>					
平成19年11月			science Society, ases." (招待講演)	Invited Speaker		
平成20年2月	Pan-Pacific International Partnership Conference on Pharmaceutical and Life Sciences Invited Speaker "Chemical and apoptotic properties of hydroxy-ceramides containing long-cha bases with unusual alkyl chain lengths." (招待講演)					
平成20年12月	第31回日本分子生物学会年会 第81回日本生化学会大会 合同大会(BMB08) バイオテクノロジーセミナー(ランチョンセミナー)講師 「疾患バイオマーカー/生理活性脂質としてのスフィンゴ脂質の分子種多様性の探索」					
平成22年6月	第52回日本脂質生化学会(ランチョンセミナー)講師 「スフィンゴ脂質の分子種多様性・疾患バイオマーカーとしてのスフィンゴ脂質につい て」					
平成24年1月~現在	日本脂質生化学会	幹事				
平成24年4月~現在	スフィンゴ・テラ	ピー研究会アドバィ	´ザー			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名	日本薬科大学	講座名	生命医療薬学分野	職名	教授	氏名 佐藤 卓美
I 教育	 活動					+
	教育実践.	 上の主な訓	 <b></b> 集績	年	月 日	概要
1 教			業評価等を含む)			年 薬物治療学 I (3年次通年必修)
				平成19	年~現	
				平成20	年~22	年 薬物治療学Ⅱ (3年次後期必修)
				平成23	年~現	在 薬物治療学ⅡB (3年次後期必修)
				平成23	3年~現	現在、薬物治療学 I はC14-2-2(心臓・血管系疾患)、C14-3-1(腎臓・尿路疾患)、C14-2-3 (骨・関節疾患)、薬物治療学 II BはC14-2-3 (血液・造血器疾患)、C14-2-4(消化器系疾患)、C14-3-4(内分泌疾患)を網羅している。 「講義は基本」が持論であり、デジタは 機器は基本的に使用しない。平成21年度からは 講義内容、右頁は学生に講義ノートを作成した。早開きの左直との授業評価(評価15項目の平均値)は、C3年度物治療学 I Bが4.23(5段階評価)で、すべての項目で全体平均値以上でいる。教材サブノート及び授業の進め方については概ね好評を得ている。 病態解析学(6年次前期医療薬学科必修)
						内容は病態生理と薬物治療を総合的な観点から見直すもので、アドバンスト科目であるため、意識して国家試験のためのトレーニングというスタンスの講義を行った。平成24年度後期の授業評価(評価15項目の平均値)は4.49(5段階評価)で、すべての項目で全体平均値以上であった。
				平成18	年~現	在 医療薬学実習 I (3年次医療薬学科必修)
						医療薬学科の基幹実習であり、①救急医療、②地域医療、③終末医療を三本柱として実習を組み立てた。①では伊奈町消防署の救急救命士による救急救命講習及びAEDを使用した実習、②では在宅医療をチームで行っている医師・看護師・薬剤師による座学とSGD、③では埼玉県立がんセンター緩和ケア科医師による座学とSGDを行っている。
2 作	成した教科書、	教材、参	考書			年 薬物治療学Ⅰ・薬物治療学Ⅱ講義用プリント
						在薬物治療学Ⅰ講義用サブノート
						年薬物治療学Ⅱ講義用サブノート
						在 薬物治療学ⅡB講義用サブノート 対応能報に登講義用サブノート
						在病態解析学講義用プリント
						在基幹実習(医療薬学実習Ⅰ)実習書 を対象では、エロプリント
3 教	育方法・教育実	建に囲す	ス発表 護定室 <u></u>		)年~現 )年6月9	在 薬学総合演習 I ・ II 用プリント ■ 第2回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワーク
	<sub>日刀仏</sub> ・	以にぼり	で 元 公 、	日	, <del></del> ∪Д3	ショップ参加(受講)
				平成19 2日~4	年11月 日	第3回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(タスクフォース)
					年11月	第6回埼玉県薬剤師会認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(タスクフォース)
				平成22 日	2年1月9	第9回埼玉県薬剤師会認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(事務局)
				平成22 日	!年8月1	埼玉県薬剤師会アドバンストワークショップ (タスクフォース)
				平成22 24日	!年1月	第11回薬学教育改革大学人会議アドバンスト ワークショップ参加(受講)

4 その他教育活動上特記すべき	÷事項 (FDを含む)	1日~3日 平成23年11月 18日~20日 平成21年4月~ 現在 平成20年3月 平成21年4月~ 平成21年4月~ 平成21年 平成21年 平成23年 平成23年 平成23年~現在 平成23年~現在 平成23年~現在	師第13回関東地区 13回関東地区 13回関東地区 13回関東地区 13回東地区 13回東 14 東北 14 東北 14 東北 14 東北 14 東北 15 東北 15 東京 16 東京 1	会薬理学教科検討委員会委 会薬剤師国家試験問題検討 療部会委員 :委員長 ググループ (WG)責任者 :対策WG) 委員			
		平成23年	学教育研修会(主催				
		平成24年	第12回(4月7日)埼	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
Ⅱ 研究活動		I	Γ				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
(著書) Pharmacotherapy改訂版		共著	平成20(2008)年3月	ネオメディカル			
(著書)新薬理学テキスト第3版		共著	平成23(2011)年3月	廣川書店			
(論文) Possible involvement of release via $\mu$ 1-opioid receptor antinociception of endomorphin-2	on supraspinal	共著	平成20 (2008) 年9月	Peptides. 29 (9):1554-60			
(論文) Suppressive effects by operation of the protease inhibitors on naloxone withdrawal jumping in morphine—	-precipitated	共著	平成22(2010)年1月	Neuropeptides. 44(3):279- 283			
(論文) Involvement of mouse $\mu$ receptor splice variants in the spinal and induced by the dermorphin tetral amidino-TAPA.	ntinociception	共著	平成23(2011)年1月	Eur. J. Pharmacol. 651 (1-3): 66-72			
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動						
平成18年4月~現在	日本薬理学会学術	<b>訂議員</b>					
平成18年4月~現在	医薬品相互作用研	T究会評議員					
平成18年9月27日	24 N 18 T U D / 1 H		つけ薬剤師育成研修会特別講演 とくすり~古くて新しい話題」				
平成19年1月9日				ば薬剤師会研修会特別講演 とくすり~古くて新しい話題」			
平成20年2月10日	 薬剤師オープンセ	ミナー特別講演「妊	婦・授乳婦とくすり」				
平成20年7月6日	平成20年7月6日 上尾ふるさと大学						
平成23年6月10日	伊奈町木犀学級に	て講演「クスリ	のつきあい方」				
平成23年7月25日	埼玉県南部高等学 「医薬品について	学校等保健会養護教員部会上尾地区夏期研修会にて講演 C」					
平成23年7月~現在	或23年7月~現在 薬物乱用防止講演			寅会(高等学校への出張講義)にて講演(23年度7校)			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 生命医療薬学分野	職名	教授	氏名 林 泉		
 I 教育活動		ļ				
—————————————————————————————————————	 上の主な業績	年	月日	概要		
 1 教育内容・方法の				病態生理学(平成17年~平成22年3月:2年次)		
, skill mad	ーへ (授業評価等を含む)			病態生理学IA・IB:		
			020   7 7 3	(平成22年4月~平成23年7月:2年次)		
				講義プリントを使用し、書画カメラでプリント		
				を投影し、プリントに書き込み、また重要な箇		
				所は線を引き、学生も講義中に作業を行い、能		
				動的に授業に参加させる。疾患の定義、発症機		
				構についての理解に努める。		
		平成23		病態生理学 I A・ I B (2年次) :		
		1,7%20		書画カメラではスクリーンが暗いという意見が		
				講義テキストを全てPDF化して、PCで投影		
				する。PDF-Viewerというソフトを利用し、画面		
				で書き込みながら講義を実施する。		
				また講義の一部ではワークシートを使用する。		
		平成23	3年4日~	病態解析学(6年):		
		' '		講義プリントを配布し、略図やフローチャート		
			-50 III	を板書し、学生がノートにする。薬剤師に必要		
				な患者ケアの知識を深める。		
		 平成18	3年~20年	生生物系薬学実習(2年):		
				in vivoとin vitro実験の概念を理解する。		
		   平成19	9年~23年	基礎薬学実習(1年):		
				実験動物 (in ivo) を使用し、薬学生としてそ		
				の意義・倫理について理解を深めさせる。		
		   平成19	9年~現在	薬理学実習(3年):		
				  臨床試験を行うことで、実験動物からヒトにお		
				  ける前臨床試験からの一連の流れと薬剤師の役		
				割について理解を深める。		
		平成21	年~現在	実務実習プレ教育(4年):		
				病棟における服薬指導、注射剤の混注などの手		
				技と理論を個別指導する。		
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成1		病態生理学Ⅰ講義プリント		
		平成23	3年~現在	病態生理学IA・IB講義テキスト		
		平成23	3年~現在	病態解析学講義プリント		
		平成21	年~現在	薬学総合演習Ιプリント		
		平成22	2年~現在	卒業実習教育E2総合薬学演習処方せん		
		平成23	3年~現在	薬学総合演習Ⅱプリント		
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等	平成20	0年9月	第5回埼玉県実務実習指導薬剤師養成		
		14	4・15日	ワークショップ		
		平成21	年8月9日	平成21年度第1回アドバンスワークショップ		

4 その他教育活動上特記すべき	事項	平成18年~	教務委員会委員	Į		
		平成20年4月	第3学年副主任			
	(FDを含む)			第4学年主任		
		平成23年4月	第5・6学年主任			
		平成24年4月	卒業延期生主任	£		
		平成23年度	薬学協議会 疨	<b>対態検</b> す	查関連教科検討委員会	
		平成23年度	FD委員会委員			
		平成21年~現在	薬学共用試験03	SCE評信	<b>西者</b>	
		平成19年~現在	実務実習訪問指	旨導		
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表 年月(西暦で 可)		発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(著書) プロスタグランジンによ 可能性		共著	平成18年4月	i	炎症と免疫, 14巻, 75-81	
(論文) Neuronal system-depender of tumor angiogenesis and tumor calcitonin gene-related peptide.		共著	平成20年9月		Proc Natl Acad Sci U S A, vol.105(36), 13550-13555	
(論文) Bone marrow-derived EP3-expressing stromal cells enhance tumor-associated angiogenesis and tumor growth.		共著	平成21年5月		Biochem Biophys Res Commun, vol.382(4), 720-725	
(論文) Roles of prostaglandin E2-EP1 receptor signaling in regulation of gastric motor activity and emptying.		共著	平成22年11月	l	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol, vol.299(5), G1078-1086	
(論文) Microsomal prostaglandir enhances bone cancer growth and related pain behaviors in mice.	共著	平成23年4月		Life Sci, vol.88(15-16), 693-700		
	Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成2年3月~	日本薬理学会学術評議員					
平成3年7月~	日本炎症再生学会評議員					
平成19年11月 上尾市教育委員会・公民館 健康講座 「健康と薬剤師」						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

(基礎資料15-35) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育	<b>美績一覧</b>			
大学名 日本薬科大学 講座名 臨床薬学教育 センター	職名 教授	氏名 松田 佳和		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)	平成20年~現在	病態生理学 II (3年次必修): コアカリC14(2)(3)(4)に関する講義 臨床症例から見た病態生理学を論じた。 教科書中心の講義として配布物は極力控えている。これにより、学生は勉強の焦点を教科書に集中することができる。講義中は学生にできる限り質問を行い、学生との一体感を目指している。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.20(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。授業の進め方については概ね好評を得ている。		
	平成24年~現在	ヒューマニズムⅢ (2年次後期必修) : コアカリ A3(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に含まれる到達目標 (SBOs)に関して5コマを担当した。臨床現場における"考えさせる事例"を紹介し、学生が感じたことを文章にまとめ、意見交換する講義とした。"何かを感じて考える"薬学生を目指した講義とし、学生も積極的に取り組んでいた。		
	平成20年~22年	薬学総合実習(2年次必修):コアカリA3、C4にする実習で、PBL及びワークショップ形式のチュターを担当した。自己学習の重要性やコミュニケーションの必要性を認識させる実習となっている。		
	平成22年~現在	実務実習プレ教育(3・4年次必修) : 実務実習の事前教育として、実務実習モデル・コアカリキュラムに沿った知識・技能・態度教育を目的としている。3年次は外部講師及び本学教員による集中講義、4年次前期はSGDを中心とした態度教育、4年次後期は技能教育を中心とした内容となっている。		
	平成22年~現在	実務系実習(4年次必修): 実務実習プレ教育で習得した知識・技能・態度について、さらに高いレベルでの完成を目指し、実務全般に関する実習を行っている。		
	平成22年~現在	実務実習:実務実習全般の運営・管理を担当している。実習期間以外においても、学生が良い環境で実務実習が受けられるように、実習施設の選択、実習内容の協議、トラブル後の事後処理を学内外と連携しながら環境整備に努めている。また、関東地区調整機構や埼玉県薬剤師会等と合同で指導薬剤師養成ワークショップを開催した(平成24年11月3・4日)。		
	平成20年~現在	実務実習ポスト教育6 (年次必修) : 実務実習の事後教育として、実務実習で習得した知識・技能・態度の応用力を養わせることを目的としている。平成24年度は、症例検討の他、バイタルサインの確認に関する実習を行った。		
	平成20年~現在	薬学総合演習 I 、II (4年~6年次):病態系 (C14)及び実務系 (DI)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。		

2 作成した教科書、教材、参考書	平成19年~現在		イカルのための救急医療マ
		ニュアル、エルセヒ  著) 	ア・ジャパン(編集協力・共
	平成20年~現在	わかりやすい薬の効 (共著)	くプロセス、ネオメディカル
	平成21年~現在	ベーシック薬学教科 同人 (共著)	書シリーズ16 薬理学、化学
	平成22年~現在		・ME機器でのアラームサイン 事日報社(編集協力・共著)
	平成22年~現在	長期実務実習-スタ- こと-、調剤と情報、	ートして気づいたこと・考えた . じほう (単著)
	平成23年~現在		で社会貢献に向けた日本薬科 シンターの取り組み、日本病院
	平成24年~現在	10年後の薬剤師像-薬剤師会機能(単著)	薬局版CDTMに向けて− 埼玉県
	平成24年~現在	実務系実習・実習書	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成20年9月14 日・15日	第5回埼玉県認定実表 ショップ(受講)	務実習指導薬剤師養成ワーク
	平成21年6月28日	認定実務実習指導薬	剤師養成講習会(受講)
	平成22年2月7日	第2回アドバンスワ-	ークショップ(受講)
	平成23年11月19 日・20日	第13回関東地区調整 養成ワークショップ	機構認定実務実習指導薬剤師 『(タスクフォース)
	平成24年11月3 日・4日		機構認定実務実習指導薬剤師 パ(サブチーフタスクフォー
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む	平成20年~現在		
		実務実習先の病院・	薬局へ出向いての訪問指導
	平成20年~現在		会およびワーキンググルー ・評価と改善計画に参画して
	平成22年~現在		ー・副センター長:臨床薬学 !・運営を担当
	平成22年~現在	実務実習委員会委員 方針を担当	長:実務実習の管理・運営・
	平成22年~24年	プレ教育委員会委員 立案・管理・運営を	長:実務実習事前教育の計画 担当
	平成24年~現在	教務委員会:教務全 して参画している。	般に関して、実務系の委員と
Ⅱ 研究活動			
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Potential of a novel safety evaluation of nanomaterials using a proteomic approach.	共著	平成21 (2009) 年3月	J. Health Sci., 55(3), 428-434.
(論文) Proteomics- based safety evaluation of multi-walled carbon nanotubes.	共著	平成22(2010)年7月	Toxicol. Appl. Pharmacol., 242, 256-262.
(論文) Toxicoproteomic evaluation of carbon nanomaterials on vitro.	共著	平成23(2011)年10月	J. Proteomics, 74, 2703- 2712.
(論文) The application of proteomics to PK-PD modeling and simulation.	共著	平成23(2011)年8月	J.Bioequiv.Availab., S2- 002, 6 pages.
(論文) Manufacturing Strategy for Multi- walled Carbon Nanotubes as a Biocompatible and Innovative Material.	共著	平成24(2012)年2月	J Nanotech., Volume 2012, Article ID 937819, 6 pages.

Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成元年~現在	日本病態生理学会評議員				
平成22年4月~現在	埼玉県薬剤師会広報委員会委員				
平成23年4月~現在	薬物乱用防止講演会(日本薬科大学主催)、地元市民大学講演会				
平成23年4月~現在	関東地区調整機構委員				
平成23年5月~現在	埼玉県社会保険診療報酬請求書審査委員会学識経験者審査委員選考協議会委員				
平成23年6月~現在	日本災害医療薬剤師学会理事				
平成24年4月~現在	日本薬理学会学術評議委員				
平成24年4月~現在	埼玉県薬剤師会特別委員会委員				
平成24年4月~現在	薬剤師国家試験問題検討委員会委員(実務)				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学	講座名 健康生命科学分野	職名 教授	氏名 樋口 敏幸			
I 教育活動			•			
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)	平成18年~現在	公衆衛生学 II (3年次必修): コアカリC11(2)および(3) に関する講義 保健統計、疫学、感染症、生活習慣病および職業病等の現状と予防対策について論じた。 教科書,参考書等をまとめたプリントを配布し、図表等の説明にはパワーポイントを活用している。また随時,補足説明を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法としている。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値) で 4.18 (5段階評価)であり、全体平均値以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。				
			基幹実習(健康薬学) (旧 健康薬学実習 I、Ⅱ): 生物系 C9(3)およびC10(2)、衛生系C11(1)(2)(3)な どを含む実習 平成24年度前期実習後、実習内容や教員の取組み方 等に関する評価アンケート調査の結果、概ね良い評 価を得ている。			
		平成19年~現在	衛生系実習Ⅱ(旧 衛生化学実習): 衛生系 C11(1)(2)(3)、C12(2)およびC2(3)などを含む実習			
		平成20年~現在	薬学総合演習 I 、Ⅱ (4年~6年次):衛生系C11(2) およびC11(3)を中心に演習形式で、講義の復習や問 題演習を行っている。			
		平成20年~22年	生態学(3年次健康薬学科必修): コアカリC12(2)に含まれる到達目標(SBOs)に関して2コマ担当した。生態系における微生物の役割と人間社会における微生物の利用について講義した。方法は、前述の公衆衛生学 II と同様に行った。			
			健康薬学概論(1年次健康薬学科必修): コアカリ C11およびC12 に関する内容に触れながら、これから薬学を学ぶ学生が、ヒトの健康に関わる衛生化 学・公衆衛生学上の基本的内容を理解できるよう概 説した。			
			実務実習事前教育(4年次):コアカリD1(4) 特別な配慮を要する医薬品(生物由来製剤、毒薬、 麻薬)等の取扱いを指導する。			
		平成24年~現在	生活習慣病予防学(5年次選択):公衆衛生学、病態・薬物治療学、生化学等の関連科目のSB0sを含む。			
			12コマの講義の後、総まとめとして生活習慣病予防における薬剤師の役割(C12(3)4)について、様々な薬剤師の立場でのテーマを与え、スモールグループディスカッションを行っている。平成23年度後期の授業評価(評価15項目の平均値)で 4.40(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。			
		平成24年~現在	臨床栄養学(4年次健康薬学科必修・選択):公衆衛生学、病態・薬物治療学、生化学等の関連科目の 09(4)、C11(1)(3)、C14(2)(3)(4)、D1(4)などを含む。薬剤師からみた臨床栄養学の教科書が市販されていないので(栄養士や看護師養成向け教科書のみ)、臨床栄養学分野において薬剤師がどのように関わったらよういかに注視した教材プリントを作成して論じた。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.29(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。			

■ 2 作成した教科書、教材、参	考書	平成18年~現在	  衛生関連・演習プリ	ント (3年~6年次)	
		   平成19年~現在	  衛生系実習Ⅱ(旧 衛	生化学実習) 実習書	
		平成20年~22年	  生態学講義プリント		
		平成20年~22年	健康薬学概論講義プリント		
			 実務実習事前教育 「特別な配慮を要する医薬品   (生物由来製剤) 」講義プリント		
		平成21年9月	× Y CBTこあかり、B		
		平成22年~現在	  生活習慣病予防学講	義プリント	
		平成23年4月	コンパス衛生薬学ー	健康と環境ー、南江堂(共著)	
		平成24年~現在	臨床栄養学講義プリン	<b>√</b> ⊦	
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等	平成21年9月22日		8実習指導薬剤師養成ワーク \	
	h ==== (50 ± A b )	~23日 ====================================	ショップ参加(受講		
4 その他教育活動上特記すべ	き事項(FDを含む)	平成19年~現在 		4年制4年次、6年制5年次):実 局へ出向いての訪問指導	
		平成19年~現在	自己点検・評価委員 大学全体の点検・評	会およびワーキンググループ: 価と改善計画	
		平成20年~現在		部・学生委員会において学生生 、課外活動など)支援担当	
		平成20年~現在	NR委員会:NR養成講		
		平成21年~現在	薬学共用試験OSCE評		
		平成23年		ループ(教務委員会)	
		平成23年~現在	将来計画委員会:薬学科(6年制)のカリキュラム改  編案作成に参画している。		
Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の 名 称	)	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(論文) Verotoxin-1 stimulatio like THP-1 cells up-regulates transcription through activati tyrosine kinase: Possible sign in tissue factor up-regulation	tissue factor on of c-Yes al transduction	共著	亚成19 (2006) 在7日	Biochim. Biophys. Acta, vol. 1762, 835 - 843.	
(論文) Sp1 is an essential tr factor for LPS-induced tissue in THP-1 monocytic cells, and represses the expression throu NF- $\kappa$ B, AP-1, and Sp1 activati	factor expression nobiletin gh inhibition of	共著	平成20(2008)年7月	Biochem. Pharmacol., vol.75, No.7, 1504 - 1514.	
(論文) Thrombomodulin suppresses invasiveness of HT1080 tumor cells by reducing plasminogen activation on the cell surface through activation of thrombin-activatable fibrinolysis inhibitor.		共著	平成21 (2009) 年2月	Biol. Pharm. Bull., vol 32, No.2, 179 - 185.	
(著書)コンパス衛生薬学ー健康と環境ー		共著	平成23(2011)年4月	南江堂	
(論文) Possible mechanism of superoxide formation through redox cycling of plumbagin in pig heart.		共著	平成24(2012)年3月	Toxicol. in Vitro, vol.26, 252-257.	
Ⅲ 学会等および社会における主	 な活動				
平成19年11月	上尾市教育委員会・公民館 健康講座 「健康日本21を考える」				
平成22年4月~現在	薬学協議会 科目担当教員会議委員 (衛生化学・公衆衛生学教科検討委員会)				
平成23年12月16日	平成23年度 薬物乱用防止講演会(日本薬科大学主催) 第10回 埼玉県立深谷高等学校				
平成23年~現在	日本高等教育評価機構との連絡窓口担当				
平成24年2月	平成23年度 子ども大学 あげお・いな・おけがわ (聖学院大学、上尾市・伊奈町・桶川市教育委員会共催) 講義「かぜってナニ?インフルエンザってナニ?」				
平成24年4月~現在	薬剤師国家試験問題検討委員会委員 (衛生)				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

(基礎資料15-37) 専任教員の教育および研究活動の業績

		教育は	ことが研究活動の業	<b>注積一覧</b>
大学名	日本薬科大学	講座名 生命医療薬学分野	職名 教授	氏名 櫻田 誓
I 教	 育活動			1
	教育実践.	上の主な業績	年 月 日	概要
1 <sup>‡</sup> む)	I 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含		平成18年~19年	生化学 I (1年次必修 1単位) : コアカリC9(1) および(2) に含まれる到達目標(SBOs)に関する講義を実施した。生体を構成する物質(糖質・脂質・タンパク質)の構造と機能の基礎および生命情報を担う遺伝子の基礎について講義を行った。教科書、参考書等をまとめたプリントを配布し、高校生物の橋渡しとなるような授業を展開した。
			平成18年~19年	生化学 II (2年次必修 2単位):コアカリC9(3)および(4)に含まれるSBOsに関する講義を実施した。酵素および生体内エネルギーに関する講義を行った。方法は、前述の生化学 I と同様に行った。
			平成18年~現在	生物系実習(2年次必修 1単位):機能形態学に 関する項目(SBO:C8(1),(2),(3))について担当し ている。マウスの解剖および骨格筋・平滑筋・心 筋の収縮に関する実習を行い、人体の構造と機能 に関する理解を深める。
			平成19年~22年	薬学総合実習(PBL)(2年次必修 1単位):生物系実習で学んだ項目を中心に、資料収集、発表要旨の作成、グループ内での発表練習・質疑応答を体験させた。また、プレゼンテーションを実施するためには、何が必要かを学ばせた。
			平成20年~現在	機能形態学 I A・I B (1年次必修2単位) (旧 機能形態学 I):コアカリC8(1)及び(3)に含まれるSBOsに関する講義を実施した。ヒトの成り立ちと生体の機能調節に関する講義を行っている。講義はすべて収録し、e-ラーニングで復習できるように環境を整えている。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)は、4.03(5段階評価)であり、全体平均以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については、概ね好評を得てい
			平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ (4年~6年次) : 生物系C8(1)およびC8(3)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。
			平成21年~現在	実務実習プレ教育(4年次):実務実習コアカリの 実務実習事前学習の一部(リスクマネージメント など)を担当している。
2 1	作成した教科書、	教材、参考書	平成18年~19年	生化学I講義プリント
			平成18年~19年	生化学Ⅱ講義プリント
			平成18年~現在	生物系実習 実習
			平成18年	機能形態学 改訂第2版、南江堂(共著)
			平成20年~現在	機能形態学IA・IB講義プリント 講義収録ビデオ(e-ラーニング用ビデオ)
			平成21年	動画マスター機能形態学、京都廣川書店(共著)
			平成22年	パザパ薬学演習シリーズ8 機能形態学演習、 京都廣川書店(共著)
3 -	教育方法・教育実	民践に関する発表、講演等	平成20年	第4回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(受講)
				<u> </u>

4 その他教育活動上特記すべ	くき事項 (FDを含む)	平成18年~22年	教務部長補佐:教務 関連業務の支援	部・教務委員会において教務			
		平成18年~23年	教務委員会 委員: ス を担当	カリキュラムの作成や教学全般			
	平成19年~現在		4年制4年次、6年制5年次): 薬局へ出向いての訪問指導				
		平成21年~現在	自己点検・評価委員会およびワーキンググループ:大学全体の点検・評価と改善計画に参画				
		平成21年~22年	実務実習プレ教育委 の支援	員会 委員:実務実習プレ教育			
		平成21年~22年	学生実習委員会 委員 の学生実習計画の立	員:学内での1年次〜4年次まで 案・支援			
		平成21年~現在 平成21年~現在	NR委員会 委員:NR表 OSCE評価者(日本薬	養成講座の支援 科大学、横浜薬科大学)			
		平成22年~現在	入試事務局長補佐: 会)	入学試験支援(入学試験委員			
		平成23年	  1年生学年委員会 学	年主任:1年生ワーキンググ 生の支援(学習、生活習慣な			
		平成23年	入学試験問題(生物	)作題委員			
		平成23年~現在	将来計画委員会:カリキュラム改編作成などに参 画				
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等 <i>の</i> 名 称	著書・論文等の 名 称		発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Intrathecal substance morphine-induced antinocicept relevance in the production o terminal fragments.	ion: possible	共著	平成21 (2009) 年9月	Peptides, vol 30, 1689- 1696.			
(論文) Spinal ERK activation pathway cotributes to nocicep induced by morphine-3-glucuro	tive behavior	共著	平成21 (2009) 年10月	Biochem. Pharmacol. vol.78, 1026-1034.			
(論文) Antinocieptive effect administered nociceptin/orpha $N$ -terminal fragments on capsa nocicepiton.	nin FQ and its	共著	平成21(2011)7月	Peptides, vol 32, 1530- 1535.			
(論文)Inhibition of ERK pho by substance P N-terminal fra capsicin-induced nociceptive	gments decreases	共著	平成23(2011)年9月	Neuropharmacology, vol 61, 608-613.			
(著書)Neuropeptides in Neur Neuroregeneration. 3.Neurope degradation related to the ex physiological Action of Neuro	ptide pression of the	共著	平成24(2012)年5月	CRC Press			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動							
平成18年~現在	日本薬理学会 学術評議委員						
平成21年~現在	都道府県職員採用	試験 薬剤師試験す	長員 (日本人事試験	研究センター)			
平成23年4月~現在	埼玉緩和薬物療法	研修会 世話人					
平成23年7月~12月	第3回:埼玉県立浦	乱用防止講演会(E 計和東高校、第6回: 『岡東高校、第14回	日本薬科大学主催) 埼玉県立芸術総合高 :埼玉県立八潮高校				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

## (基礎資料15-38) 専任教員の教育および研究活動の業績

	教育は	および研究活動の業績	横一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 生命分子薬学分野	職名 教授	氏名 都	(築 稔				
I 教育活動								
—————————————————————————————————————	上の主な業績	年 月 日		概要				
1 教育内容・方法 <i>の</i>	)工夫(授業評価等を含む)	平成18年~21年	て、オリジナルのサ 活用しながら、板書 担当した全年度で、 値)で 4.0 (5段階記	りに関する講義 須の「物質の代謝」につい ブノート(京都廣川書店)を 形式で講義を実施した。 授業評価(評価15項目の平均 評価)以上の点数であり、自由				
		平成23年~現在平成23年~現在	記述も概ね良好な評価を受けている。 生命をミクロに理解する(1年次必修): 生体の主要な構成物質である糖質・脂質・タンパク質の構造、性質および役割について学ぶとかという「代謝」について、動画やPrezi(プレゼンに成サービス)で導入部分を紹介しながら、主に板書形式で実施した。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.0(5段階評価)以上であり、自由記述も概ね良好な評価を受けている。薬学総合演習 I、I(4年~6年次):生物系C9(1)(3)(4)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。					
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成18年~21年	生化学Ⅱサブノート	化学Ⅱサブノート(京都廣川書店)				
		平成23年~現在	生命をミクロに理解	する 映像教材、講義プリント				
		平成23年~現在	薬学総合演習 I 、 II 講義プリント					
3 教育方法・教育実	民践に関する発表、講演等							
4 その他教育活動」	生特記すべき事項(FDを含む	)平成18年~現在	大学副学長・法人評議員:学長業務の補佐、大学 の管理運営業務、法人との調整業務					
		平成23年~現在		育研究費予算委員会、将来計 会、情報公開審査委員会、個				
		e 共著	平成23(2011)年11月	Appl. Environ. Microbiol.77, 7551-7559				
endoplasmic reticulum	eukemia WEHI-3 cells and	共著	平成24(2012)年5月	PLoS One. 7(5):e36831.				
(論文) Antitumor eff quinazolinone MJ-33: through the MAPK, AKT signaling pathways in cancer cells.	Inhibition of metastasis NF- $\kappa$ B and AP-1	共著	平成24(2012)年7月	Int J Oncol.doi: 10.3892/ijo.2012.1560.Epub ahead of print.				
methoxyphenyl)-6,7-me triggers cell apoptos oxidative stress and	thesized 2-(3-hydroxy-5- thylenedioxyquinolin-4-on is through induction of upregulation of the p38 y in HL-60 human leukemia	共著	平成24(2012)年10月	Oncol Rep. 28 (4):1482-90.				
(著書) わかりやすい薬	 『学系の数学入門	共著	平成22(2011)年11月	講談社				
Ⅲ 学会等および社会に	おける主な活動	•						
平成20年4月~現在	一般社団法人 日本	<b>本私立薬科大学協会</b>	(議決権を有する大学	·代表者)				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

				育およ	てび	研究活動	の業績一覧				
大学名	日本薬科大学	講座名	臨床薬学教育 センター	職名	准	教授	氏名	有冨	桂子		
I 教	 (育活動	<u> </u>		<u> </u>			<u> </u>				
	教育実践	上の主力	な業績	年月	7	日			概		要
1 む)	教育内容・方法	もの工夫	(授業評価等を含	平成2	2年	≃現在	アカリ(9)書はなりません。 中間 できません できまい できまい できまい できまい できない かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	に 里 し し し し り し り し り し り し り の に し の に る に る に る に る に る に る に る に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	る講義を指 車項を講を 車で 車で で で で で で で で で で で で で で で で で	うにあたし一は	して生体分子の代謝(コ ている。教科書や参考 した資料を作成し、学生 ジ式をとることで、集 ジるように工夫している 理解度をチェックする を作成している。授 4.0(5段階評価)であ か方については概ね好評
				平成2	:3年	∼現在	化学IIBの	)重要事   試験の	項を確認	<b>ر</b> ا	年生後期で学習した生 理解度を深めるため、 り上げて演習形式で実
				平成2	3年	□∼現在		師の実剤	8を中心に		: 代表的な症例を取り上 習形式で、復習や問題演
				平成2	2年	≅~現在	局実務実	習に向け	ナた基本的	知諳	必修):5年次の病院・薬 戦・技能・態度を習得す ジ式で実施している。
				平成2	:3年	≅∼現在	体験した	症例を取 グループ	なり上げ、	より	修):5年次実務実習で J理解を深めるために、 レョン(SGD)形式で実施
				平成2	:3年	Ē	対策など	、身近な を通じて	は問題を取 てコミュニ	リュ	): 大学生活や国家試験 Ŀげ、ワークショップ形 −ションの重要性を認識
				平成2	:3年	≅~現在	化学の知 め、分か 資料を作	識が不┤ りやすぃ 成してぃ する形ェ	├分な学生 ヽイラスト ヽる。重要 ぱをとるこ	や、 や図 事項 とて	制1年次必修): 生物・ 留学生にも対応するた 図を多く取り入れた講義 頁を空欄にし、記入しな で、集中力を維持し、参 こいる。
2	作成した教科書	<b>【</b> 、教材	、参考書	平成2	2年	∼現在	生化学III			解度	チェックシート、復習
				平成2	3年	<b>-∼</b> 現在			<del>"</del> 講義資料、	演習	3問題
				平成2	3年	∼現在	薬学総合	演習Ⅱ:	講義資料	、漳	寅習問題
				平成2	2年	∼現在	実務実習	プレ教育	育:講義資	料、	演習問題
				平成2	3年	Ē	PBL実習:	実習書			
				平成2	3年	₹∼現在	生命をミ	クロに理	里解する:	講霥	<b>養資料、演習問題</b>
				平成1	8年	-∼現在	看護学科:	学生用第	<b>长養学資料</b>	、淳	寅習問題
3 等			関する発表、講演	日			薬剤師養	成ワーク	フショップ	参加	
4 含む)	その他教育活動	<b>力上特記</b>	すべき事項(FDを	平成2	2年	~現在			<sup>拿(5</sup> 年次) f訪問およ		務実習先の病院・薬局 5問指導
				平成2	2年	Ē					よび横浜薬科大学のOSCE
				平成2	:3年	≅∼現在	0SCEステ 向けた準			評価	<b>西者の指導および試験に</b>
				平成2	2年	∼現在	実務実習 外部講師		育委員会:	講義	<b>遠・実習の計画・実施、</b>

		平成22年~現在	5年次実務実習施設(ントリーおよび調整	病院および薬局) 決定のためのエ 作業
		平成23年~現在		習の円滑な実施を目指した対策の
		平成23年~現在	OSCE委員会: OSCEの 討・実施・支援	円滑な実施を目指した対策の検
		平成23年~現在		ワーキンググループの一員とし に向けた対策の検討・実施および
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Effect of nutritiona sulfolipids metabolic turnov renal tubules from rat.		共著	2008年1月	Proc. Jpn. Acad., Ser. B, 84(1):24-29
(論文) Chemical and apoptot of hydroxy-ceramides contain bases with unusual alkyl cha	ing long-chain	共著	2008年6月	J. Biochem. (Tokyo), 144(1):95-106
(論文) Higher expression of sulfoglycolipids in marine m		共著	2008年11月	Glycoconj. J., 25:723-726
(論文) Development and appl system for seminolipid metab mouse seminiferous tubules.	共著	2010年1月	Glycoconj. J., 27:181-187	
(著書)未知物質発見の魅力		単著	2012年1月	埼玉県薬剤師会雑誌,38(1):18- 21
Ⅲ 学会等および社会における	主な活動			
平成23年11月···	一日薬剤師体験教	<b>教室(埼玉県保健医</b> 療	寮部薬務課主催)におり	ける実技指導
平成24年1月 ·	、験(小学生対象)における実技指導			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。

- 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
- 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧							の業績	<b>績一覧</b>
大学	名	日本薬科大学	講座名	臨床薬学教育センター	職名	准教	女授	氏名 飯塚 晃
Ι :	教育				•			•
		 教育実践	上の主な	 ì業績	年	月	B	概要
1	教	(文字の) (本語の)	工夫	(授業評価等を含む)	平成	8年~	→現在	E 民間薬概論 (漢方薬学科3年必須) コアカリC7(1)及び(3)に関する講義 薬として用いられる動植物・鉱物由来の生薬の 基本的性質を理解するため、それらの基原、性 質などについて基本的知識を講義した。毎時間 プリントを用意し、疾患別領域別に概説した。 図表などを説明するためにPOWER POINTを活用し ている。平成23年度の授業評価は4.0であった。
					平成	8年~	∼現在	E 漢方薬効解析学 (漢方薬学科5年必須) コアカリC7(3)に関する講義 現代医療で使用される生薬・漢方薬を理解する ために漢方医学の考え方代表的な漢方薬の薬効 評価方法を講義した。毎時間プリントを用意 し、疾患別領域別に概説した。図表などを説明 するためにPOWER POINTを活用している。 平成23年度の授業評価は3.7であった
					平成	8年~	~現在	E 漢方薬学実習 (漢方薬学科3年必須)(基幹実習) コアカリC7(3)に関する講義 現代医療で使用される生薬・漢方薬を理解する ために漢方医学の考え方に基づく生薬の修治・ 調剤に関する実習、動物に対する漢方薬の作用 を実習させた。本実習はわが国では本学でのみ 行われている貴重な実習であり、学生も漢方に 対する興味や理解をより深めることが出来たと 思う。
					平成2	23年~		E 薬学総合実習(全学科2年必須) コアカリA(3),C(4)に関する実習 発表形式、Work Shop形式などでSmall Group Discussionを行い、自己学習の重要性、コミュニケー ションの必要性を認識させた。実習後自己アンケー トの結果では5段階評価で平均4.3であり、大多 数の学生がPBLの必要性を感じることができた。
					平成2	23年~	∼現在	Eプレ実習講義(全学科4年必須) コアカリD1(2-6)に関する講義 病院実務実習・薬局実務実習に先立って、調 剤・服薬指導など薬剤師業務に必要な基本的知 識・技能・態度を習得するための講義、指導を 行った。
					平成2	23年~	∼現在	E実務系実習 (全学科4年必須) コアカリD1(2-6)に関する講義 病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学 内で行った事前学習の効果を高めるために、調 剤・服薬指導など薬剤師業務を総合的に実習させた。
2	作	₣成した教科書、	教材、	参考書	平成	8年~	∙現在	E 民間薬概論講義プリント
					平成	8年~	₹現在	E 漢方薬効解析学講義プリント
								E 基幹実習(漢方実習)実習書
								王 薬学総合演習講義 (薬理学) プリント
					平成2	23年~	∼現在	王薬学総合実習(PBL)実習書
3	教	対育方法・教育実	践に関す	する発表、講演等	平成1	8年2	月	日薬研究会研究内容講演
					平成1	8年8	月	学校開放講座講演
					平成2	20年1	0月	日本薬科大学大学祭前夜祭講演

4 その他教育活動上特記すべき	・事項(FDを含む)	平成18年~ 平成20年	入学前学習の指導()	<b>添削指導</b> )		
		平成19年	OSCEトライアルの評 (日本薬	· 価者 科大学、星薬科大学)		
	<u>z</u>			客員教授 (薬物療法学)		
		平成21年9月~ 平成22年4月	台湾中国医薬大学留学(薬学院)			
		平成21年~ 現在	OSCEの評価者(日本薬科大学、横浜薬科大学)			
		平成22年4月~ 現在	実験動物倫理委員会 (日本薬科大学におり 定の設定・運用の管	ナる動物実験に関する倫理規		
		平成23年~ 現在	早期体験学習引率 (1年生を病院	·薬局・製薬企業などに引率)		
		平成23年~ 現在		(4年制4年次、6年制5年次) 薬局に出向いて訪問指導		
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(論文) 漢方と抗酸化食品		単著	平成19(2007)年2月	漢方と最新治療 vol. 16, 107-110		
(著書) 登録販売者標準テキスト		共著	平成21 (2009) 年4月	薬事日報社		
(論文) Hispolon from Phellinus antiproliferative effects via M ERK1/2 activity in breast and b cells.	DM2-recruited	共著	平成21 (2009) 年8月	Food Chem Toxicol Vol.47, 2013-2021		
(論文) Two Novel 15(10→1) Abec Seaquiterpenes from Cosmos sulp		共著	平成22(2010)年4月	Helvetica Chemica Acta Vol.93, 753-756		
(論文) 生活習慣病患者の睡眠障害 防御系	と酸化バランス	共著	平成22 (2010) 年4月	ブルピデムの影響新薬と臨 床 Vol. 59, 645-649		
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動					
平成18年4月~平成21年3月	日本薬理学会 学	<b>华術評議員</b>				
平成18年4月~現在	日本動脈硬化学会	会員				
平成20年5月	Symposium for th	ne frontier of		aceutical Sciences. 中)特別講演		
平成20年6月~現在	日本伝統獣医学会	: 理事				
平成20年9月	The second academedicine.	emic conference		of traditional veterinary 北)特別講演		
平成20年9月~現在	日本臨床中医薬学	会 評議員				
平成20年11月~現在	日本未病システム	学会 評議員				
平成21年4月~平成22年9月	日本薬理学会 代	 :議員				
平成22年7月~平成24年10月	アジア伝統獣医学	全会 理事				
平成22年10月~現在	日本薬理学会 学	坐術評議員				
平成22年11月~平成23年9月	第5回緩和医療薬	英学会組織委員				
平成24年4月~現在	日本伝統獣医学会	誌 編集委員				
平成24年10月~現在	アジア伝統獣医学	会 常任理事				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育およ	び研究活動の業績	<b>績一覧</b>
大学名 日本薬科大学 講座名 物理系薬学分野	職名 准教授	氏名 窪田 洋子
I 教育活動	ļ.	
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 	平成18年4月~ 平成19年3月	4年制度4年生実務実習先の開拓およびエントリー作業等を行った。基幹実習(3年次前期医療薬学実習 I)、薬剤学実習(3年次後期)を行った。
	平成19年4月~ 平成20年3月	4年制度4年生実務実習先の開拓およびエントリー作業等を行った。基幹実習(3年次前期医療薬学実習 I)を行った。
	平成20年4月~ 平成21年3月	をパワーポイントを活用して行った。基幹実習 (3年生前期医療薬学実習 I)を行った。
	平成21年4月~ 平成22年3月	薬品物理化学(2年次前期必修);コアカリC1(2),C1(3)に関する講義を行った。教科書を中心に板書による説明をし、教科書等をまとめたプリントに書き込んでいく方法を行なった。
	平成22年4月~ 平成23年3月	薬品物理化学 I (2年次前期必修)、薬学演習 II B (2年生後期) 講義をパワーポイントを活用して説明し、教科書等をまとめたプリントに書き込んでいく方法を行なった。実務系実習 (4年次後期) を行った。
	平成24年3月	C1(2), C1(3), C1(4)に関する講義を教科書を中心にパワーポイントを活用して説明し、教科書等をまとめたプリントに書き込んでいく方法を行なった。数理演習(医療ビジネス薬科学科1年次後期必修)講義を説明用のプリントと演習問題用のプリントを配布し行った。薬剤学実習(4年次前期)を行った。
	平成24年4月~ 現在	薬品物理化学 I (2年次前期必修);コアカリ C1(2), C1(3), C1(4)に関する講義を昨年と同様に 教科書を中心にパワーポイントを活用して説明 し、教科書等をまとめたプリントに書き込んでいく方法を行っている。数理演習(医療ビジネス薬科学科 1年次後期必修)講義を昨年と同様に説明用のプリントと演習問題用のプリントを配布し行っている。薬剤学実習(4年次前期)および基礎薬学実習(1年次後期)を行っている。
	現在	実務実習事前学習(プレ教育実習, 4年生後期)を 行っている。
	平成21年4月~  現在 	薬学演習 IB(2年生後期):コアカリC1(2), C1(3),C1(4)を中心に演習形式で、講義の復習や 問題演習を行っている。
	平成23年4月~ 現在	薬学総合演習 I, II(4年~6年次):薬剤系C16(1) およびC16(2)を中心に演習形式で、講義の復習 や問題演習を行っている。
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年4月~ 現在	薬品物理化学Ι講義プリント作成
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成21年5月3 ~4日	第7回埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加(受講)

4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)	平成19年~現 在		4年制4年次、6年制5年次): 薬局へ出向いての訪問指導
	平成19年4月~ 平成23年3月	OSCE運営	
	平成23年4月~ 現在	OSCE評価者	
	平成23年4月~ 平成24年3月	CBTスタッフ	
	平成21年4月~ 平成22年3月	学生実習委員会にお なった。	いて学生実習の支援を行
	平成21年4月~ 現在	学生委員会において 課外活動等)の支援:	学生生活(学習、生活習慣、を行なっている。
Ⅱ 研究活動			
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Effects of Ginkgo biloba extract on blood pressure and vascular endothelial response by acetylcholine in spontaneously hypertensive rats.	共著	平成18 (2006) 年	J. Pharma. Pharmacol., 58(2), 243-249 (2006).
(論文) Effects of Ginkgo biloba extract feeding on salt-induced hypertensive Dahl rats.	共著	平成18 (2006) 年	Biol. Pharm. Bull., 29(2), 266-269 (2006).
(論文) Effect of vanadate on ATP-induced increase in intracellular calcium ion levels in human umbilical vein endothelial cells.	共著	平成22 (2010)年	Biol. Pharm. Bull. 2010;33(6):1060-2.
(論文) Ginkgo biloba extract attenuates warfarin-mediated anticoagulation through induction of hepatic cytochrome P450 enzymes by bilobalide in mice.	共著	平成24(2012)年1月	Phytomedicine, 19, 177- 182(2012)
(論文) Effects of short-term Ginkgo Biloba Extract Feeding on Hypotensive Action of Nicardipine in Rats.	共著	平成24(2012)年	Pharmacometrics, 82(1/2), 29-34(2012)
Ⅲ 学会等および社会における主な活動			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

			教育は	および研究	活動の業績	<b>績一覧</b>															
大学名	日本薬科大学	講座名	医療ビジネス薬科学	職名 準	教授	氏名 小林	賢														
I 教育	育活動			Į.		•															
	教育実践			年月			概	要													
1 4	教育内容・方法の	)工夫(招	受業評価等を含む)	平成18年		ている検体検 実施した。		owerPoint?	などに利用され を用いて講義を												
				平成18年		薬学演習Ⅱ 免疫に関する															
				平成18年	20年	つ体酸かしに媒伝しもス いでで が で が が が が ら り の と と て 理 イ と さ り い し 決 説 に り に り と て 理 う に り に り と り と り に り に り に り と り に り に り	内に高い A) A) A) A) A) A) A) A) A) A)	を と と と と と り り と 機 子 た 、 オ ( の し 、 常 に が 常 ら の に が 常 り し が に が っ に っ に っ に っ に っ し っ し っ し っ し っ し っ し	った。質こにのはノ)変互というで、質してのはノ)関相、ロ、係のはは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので												
				平成20年 平成		薬学総合演習 生体有機化合 する演習を実	合物の構造と 🏗	生質および	遺伝子工学に関												
								z								平成20年 平成			・ ・値、分散、 を にから計算で を		ついてマイクロ また、タンパク
								平成21年		医療関係者に	B(1)2−2)。ま	ıぞれの業績 た、先端医	務について講義 ☑療を支える医								
				平成21年 平成		薬学演習ⅡA 細胞と細胞膜															
			平成21年		構造とと動基礎のさいををしたのできた。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	E用した E用した Eま発解で、 E型の Eでで、 Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで Eでで	き、それに を学び、多 とうにした。 rningのHIF O点以上) <sup>-</sup> 尾施した。	て行い、細胞の 関係する物質の 細胞生物の生命 また、学習効 PLUSを通じてス で評価を行っ F(5)5-1~5-													
				平成21年		代謝、恒常性 うにした。ま learningHIPI 定期試験の成 た。また、追	月した講義を 生、遺伝 また、遺伝 また、子 は き き き き き き き き き き き き き き き き き き	態系につい <b>見を高める</b> なライド原 の点以上) <b>見施した</b> 。	行い、細胞内の て理解できるよ ために、e- 湾を配布した。 で評価を行っ F(5)4-2,4-3,												

			官・個体レベルでの 修得できるように、 た。 板書を中心として講 配布する。	つけるために、細胞・組織・器生命現象に関する基本的知識を講義を主体とした授業を行っ 議を行う。必要に応じて資料を 価:60点以上)により評価を 再試験も実施した。			
2 作成した教科書、教材、参考	<b>E</b>	平成18年	臨床生化学講義プリ	ント			
		平成18年	薬学演習 Ⅱ 演習用プ	゚リント			
		平成18年~平成20 年	生物学入門講義プリ	ント			
		平成20年~平成22	基礎科学実習実習書	の作成			
			薬学総合演習用プリント				
		年  平成21年	医歯薬系のための生	物学、講談社(編集者)			
		平成21年	イントロダクション	講義プリント			
		平成21年~平成23 年	薬学演習 Ⅱ A演習用 🗆	プリント			
		'	生物学入門 I 講義用	PDF資料			
		平成21年~現在	生物学入門Ⅱ講義用PDF資料				
3 教育方法・教育実践に関する教	<sup>2</sup> 表、講演等	平成19年	新潟県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ 参加(受講)				
4 その他教育活動上特記すべき	<b>事項</b>	平成18年~ 平成22年	実務実習訪問指導 (4年制4年次、6年制5年次) : 実 務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導				
(F	Dを含む)	平成21年~ 平成22年	1学年学年委員会				
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号 数)等の名称			
(論文)第9回HLA-QCワークショッ	プレポート	共著	平成18年1月	日本組織適合性学会誌(第13巻 第3号)			
(論文)第10回HLA-QCワークション	ップレポート	共著	平成19年1月	日本組織適合性学会誌(第11巻 第3号)			
(著書)最新臨床検査項目辞典		共著	平成20年4月	医歯薬出版			
(著書)医歯薬系のための生物学		共著	平成21年3月	講談社			
Ⅲ 学会等および社会における主な流	舌動						
平成18年~現在 日2	本組織適合性学会	会評議員					
平成18年~現在 日2	本組織適合性学 <b>会</b>	会認定制度委員会委	員 				
平成18年~現在 日2	本組織適合性学会	会認定制度委員会資	格審査部会部会長				
平成18年~現在 日本	本輸血・細胞治療	·····································					
平成18年 高村		爲市立高志高校)					
平成23年 高村		木学園女子高校)					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

1 37/ 5		教育および研究活動の業績一覧							
大学名	日本薬科大学	講座名 生命分子	P.薬学分野	職名	准教授	氏名 木	村 道夫		
I 教育	育活動								
	教育実践.	上の主な業績		年	月日	柑	既 要		
1 著	<b>教育内容・方法の</b>	工夫 (授業評価	5等を含む)		9年~ 見在	C9(1),(2),(5)を中がる講義を行った。毎し、それに沿った区トを作成し説明を行の平均であるが、講	必修):コアカリC8(2)、 心に細胞の構造と機能に関す 回8ページ程度の資料を配布 か表を含んだパワーポイン っている。授業評価は全体 義内容が難しすぎるとの評 、試験合格率もあまり良く に毎年努めている。		
				平成2 <sup>現</sup>	2年~ 見在	クスに関する説明を 行っている。疾患と	3コマを担当し、プロテオミパワーポイントを使って 絡めタンパク質のいろいろ てもらっている。概ね良好		
				平成2 現		に薬学専門教育の準 る。独自に作成した トを使って講義を行 は用意した問題を講 説を行っている。授	A、IB:コアカリF(5)を中心 i備となる講義を行ってい 資料をもとにパワーポイン っている。半分講義、半分 議中に解答させながら、解 業評価は平均をかなり下ま と対策を考えている。		
				平成1 平成2		基礎薬学実習:コア 量法などを行った。	カリ09(3)のタンパク質の定		
				平成1	9年		リC9(1),(3),(6)に関して D性質を調べる実習を行っ		
				平成2 年	1年、21	薬学総合実習:コア PBL形式で実習を行っ	カリA(2),(3)に関してSGD、 った。		
				平成2	0年 <b>~</b> 現在	衛生系実習 I:コア: 物実習を行った。	カリC8(4)を中心とした微生		
				平成2 現	0年 <b>~</b> 見在		(4~6年次) 生物系C9(5)生 ・ル分子に関して演習形式で		
2 1	作成した教科書、	教材、参考書		平成1	9年~現7	E 細胞生物学講義資料			
3 教	<b>教育方法・教育実</b>	践に関する発表、	講演等			特になし			
4 - ₹	その他教育活動上		:含む)			特になし			
Ⅱ 研算	究活動								
	著書 • 名	論文等の 称			≦著・ 著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
なし									

Ш	I 学会等および社会における主な活動				
		なし			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 ⅠⅢ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「皿 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						業績一覧 
大学	名 日本薬科大学	講座名 医療ビジネス薬科学	職名	准教	 (授	氏名 奈佐 吉久
I	教育活動					
	教育実践.	上の主な業績	年	月	日	概要
1	教育内容・方法の	工夫(授業評価等を含む)	平成18	3年~	現在	機能形態学I(2年次必修,通年,22年より前期IA・後期IB):コアカリC8(1)(3),C9(5),C10(1)よよびC13(2)(5)に関する講義.神経機能,受容体・チャネルや情報伝達系,循環器系,呼吸器系,必定論じた.教科書,参考書等を基本に,プリントを適宜配布し,図を中心に,独自に作成した動画におよびワーポイントを活用し,随時,補足説明を学生がプリントに書き込んでいく方法を用いている.前期,後期いずれも,補習で問題演習の解説,および中間試験を実施している.教科評を得ている.
			平成18	3年~	·23年	生物系実習(2年次必修,前期):コアカリC8(1)(3)に含まれる到達目標(SBOs)に関して4日分(12コマ)を担当した.生物系実習では生化学と機能形態学の2つの課目に関連した実習を行っており、機能形態学関連項目の実習を担当した.実習項目はマウスの解剖、カエル骨格筋標本、ラット摘出灌流心臓標本およびマグヌス管を用いた回腸標本であり、実習・レポート・試験を通じて自律神経、消化器系をはじめ、特に骨格筋・心筋・平滑筋を比較しながら機能・形態・神経機能の学習・理解に努めた.
			平成18	3年~	·19年	基礎薬学実習(1年次必修,後期):コアカリC8まよびC9に関する内容に触れながら,1年次の学生に薬学部の実習を早期に経験させるため,生命倫理や実験動物の取り扱いに関する講義,実験器具類の扱い方,初歩的なマウス解剖実習およびレポートの作成方法の解説などを行った.実習後のレポートや感想文より,生物系実習については高い好評を得ている。
			平成20	)年~	·23年	PBL実習(2年次必修、後期):コアカリA2およびA3の項目より、ヒューマニズムおよびコミュニケーションの関連科目のSBOsを含む PBL (Problem-Based Learning;事例や問題に基づいた学習)実習. 本実習では、第一に積極的な学習への参加態度で要求し、発表形式とワークショップ形式の2つの実習を通じて、自己学習の重要性、コミュニケーションの必要性の会得を目的とした。発表では、各自がスライドを用いて短時答をの明さな、各自がスライドを用いて短時答をの手では、各自がスライドを用いて短時答をの手では、各自のSGDを行い、その解決のための手段では、毎回SGDを行い、その解決のための手段では、毎回SGDを行い、その解決のための手段では、1問題点の抽出・順位付け・方策の模索)を学ぶ、実習後の感想文より、PBL実習については高い好評を得ている。
			平成23	3年~	·現在	医療倫理学(1年次必修, 医療ビジネス薬科学科前期): 医療倫理に関する知識, 医療人としての道徳的なモラルの取得を目的に, 医療の歴史から現在の医療行政制度などを解説した講義(90分授業15コマのうち8コマを担当). ペストやハンセン病を題材とした講義は, 学生からの反響も大きかった. 独自に作成した配布プリント, フライド画および授業の進め方については概ね好評を得ている.

	平成23年~現在	人体の構造と働き(1年次必修, 医療ビジネス薬科学科後期):生命のいとなみの基本を理解することを目標とした講義(90分授業15コマのうち8コマを担当).病気の原因や医薬品が効果を現す機序を理解しやすくするため, 基本的な解剖学, 組織学および生理学を解説した.独自に作成した資料を配布し, 画像解説を中心とした書き込み型の講義, および練習問題の反復学習を行っている.
	平成24年~現在	医薬学英語(2年次必修,医療ビジネス薬科学科後期):医療分野に携わる者の一般常識として,また診療情報管理士の業務として診療記録に記載された英語表現を理解出来るように,基本的な医学英語の知識の取得を目的とした講義(90分授業15コマのうち12コマを担当). 医学用語を日本語と英語で理解するため,書き込み式の画像を中心とした資料を作成し,演習形式を組み込みながら講義を行っている.
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年~現在	機能形態学II 講義プリント,演習問題プリント
	平成18年~21年	機能形態学テキストサブノート・生理学から薬理 学への橋かけ 小冊子
	平成18年~23年	生物系実習実習書(機能形態学実習編) レポート 用冊子
	平成18年~19年	基礎薬学実習 実習書および実験動物取扱いマ ニュアル
	平成20年~23年	PBL実習 実習書, 課題例およびレポート用冊子
	平成20年8月	薬学教育モデルコアカリキュラム対応 コアカ リ・マスター 生物系薬学・薬と疾病 薬学ゼミ ナール(共著)
	平成20年10月	動画マスター機能形態学,京都廣川書店(共著)
	平成22年3月	パザパ薬学演習シリーズ 機能形態学演習, 京都 廣川書店(共著)
	平成23年~現在	医療倫理学 講義プリント
	平成24年~現在	人体の構造と働き 講義プリント
	平成24年~現在	医薬学英語 講義プリント
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		ワークショップ(受講済)
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)	平成19年~23年	実務実習訪問指導(4年制4年次,6年制5年次): 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導
	平成18年~22年	実習運営委員会
	平成20年~22年	FD委員会
	平成22年~現在	教務委員会

Ⅱ 研究活動					
著書・論文等 <i>の</i> 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(論文) Two alpha1-adrenergic subtypes regulating the vasopr have differential roles in blo regulation.	共著	平成18 (2006) 年3月	Mol. Pharmacol., vol 67(3), 912 - 922.		
(論文) V1a vasopressin recept normal blood pressure by regul circulating blood volume and b sensitivity.	共著	平成18 (2008) 年7月	Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A., vol 103(20), 7807 - 7812.		
(論文) Decreased susceptibili induced hypertension in subtot nephrectomized mice lacking th V1a receptor.	共著	平成21 (2010) 年2月	Cardiovasc. Res., vol 87(1), 187 - 194.		
(著書) 動画マスター機能形態学		共著	平成20(2008)年10月	京都廣川書店	
(著書) パザパ薬学演習シリーズ	機能形態学演習	共著	平成22(2011)年3月	京都廣川書店	
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動				
平成18年~現在	日本薬理学会 評詞	義委員,代議委員			
平成18年~現在	日本心臓学会 評詞	義委員			
平成18年~現在					
平成18年~現在	1				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 医療ビジネス薬科学科	職名	准教持	受	氏名 脇 能広
I 教育活動				ļ	
—————————————————————————————————————	上の主な業績	年	月日	3	概  要
1 教育内容・方法 <i>の</i>	)工夫 (授業評価等を含む)	平成18	3年		薬理学 I (4年制2年次必修) : 総論、自律神経作 用薬、体性神経作用薬、オータコイド、心臓血 管系作用薬、利尿薬について講義を行った。
		平成18	3年~2		薬理学Ⅲ(4年制4年次必修):抗病原微生物薬、 抗腫瘍薬について講義を行った。
		平成19	9年~2		薬理学Ⅱ(2年次必修) :オータコイド、利尿 薬、心臓血管系作用薬について講義を行った。
					薬理学Ⅲ(4年次必修):抗病原微生物薬、抗腫 瘍薬について講義を行った。
					薬理系実習: コアカリ C13(1), C13(2), C17(4)およびC17(5)を含む実習を行った。
		平成22	2年~₹		薬理学ⅡA(2年次必修) : コアカリC8(1), C9(5)およびC13(2) に関する講 義
					人体の基本的構造、各器官系の構造と機能に関する知識を修得させ、自律神経系作用薬、体性神経系作用薬および生体内生理活性物質について論じた。
					教科書、参考書等をまとめたプリントを配布し、図表等の説明にはパワーポイントを活用している。また随時、補足説明を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法としている。
		平成23	3年~5		薬理学ⅡB(3年次必修) : コアカリC8(1), C13(2), C13(3)およびC14(5) に関する講義 人体の基本的構造、各器官系の構造と機能に関 する本修得させ、腎に作用する薬物、対る名に作用する薬物にが悪性新生物にである。 なのでは、ないる。またいでは、対している。がでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがでは、対しているがであり、全体平均値以上であいては概ね好評を得ている。
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成18	3年		薬理学I 講義プリント
		平成18	3年~1	9年	薬理学Ⅱ講義プリント
					薬理学Ⅲ講義プリント
		平成20	)年		わかりやすい薬の効くプロセス ネオメディカ ル(共著)
		平成23	3年		ん(ハー) 人体の構造と働き 講義プリント
		平成18	3年~2		薬理学実習 実習書 薬理学実習ノート
		平成24	4年		疾病と治療薬 I 講義プリント
		平成24	-		医薬品とその作用 講義プリント
0 <u> </u>	コロセ   一日日 -ナ 7 % - 士 - 二 - 生 '	平成22	⊻年~ў		薬理学ⅡA講義プリント 薬理学ⅡB講義プリント ************************************
3 教育方法・教育実 	民践に関する発表、講演等				特になし
4 その他教育活動上		平成18 在	3年~₹		東京医科歯科大学 歯学部 生体硬組織再生学 講座 硬組織薬理学分野 非常勤講師
	(FDを含む)	平成18 在			金沢大学大学院医学系研究科 医薬情報制御学 非常勤講師
		314			

	年 平成24年~現在	医療ビジネス薬科学働き」について講義 医療ビジネス薬科学 作用」について講義 医療ビジネス薬科学 エ」について講義を	を行った。 科2年次 「医薬品とその を行った。 科2年次 「疾病と治療薬		
Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも 可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文) Phosphodiesterase 4 inhibitor rolipram potentiates the inhibitory effect of calcitonin on osteoclastogenesis.	共著	平成18年	J Bone Miner Metab.;24:260-265.		
(論文) Selective drug delivery to bone using acidic oligopeptides.	共著	平成21年	J Bone Miner Metab.;27:1-8.		
(論文) Flammulina Velutipes(Curt.: Fr) Sing. Extracts and Its Contained Fatty Acid Complex on Decrease of Visceral Fat Assessed by Tsumura-Suzuki Obese Diabets (TSOD) Mice.	共著	平成21年	Oyo Yakuri, Pharmacometrics 77(3/4) 101-106.		
(論文) Protecting cisplatin-induced nephrotoxicity with cimetidine does not affect antitumor activity.	共著	平成22年	Biol Pharm Bull. ;33:1867-71.		
(著書)疾患別 薬物療法管理マニュアル	共著	平成22年	じほう		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成23年12月15日 医療ビジネス薬科学科地域活動:町会(三組弥生会)資源ゴミ回収支援ボランティア参加					
平成24年11月17日 文京ボランティア市民活動まつり参加					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 医療ビジネス薬科 学科	職名 准教授	氏名 村井 保之		
I 教育活動					
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法の	)工夫(授業評価等を含む)	平成18年~ 現在	情報リテラシー(1年次薬学科必修): コアカリF(7)に関する授業パソコンの基本操作、文書作成、データ処理、インターネットの利用など、パソコンの基本的な操作法を身につけるとともに、パソコンを利用していく上で必要な知識・考え方についての実習.		
			情報処理演習 I (2年次薬学科選択) :コアカリF(7)に関する授業 データ体 (大学などのでは、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など		
		平成23年~ 現在	習. 情報リテラシー(1年次医療ビジネス薬科学科必修) 国家試験で、社会人として必要なITの基礎知識を認定する「ITパスポート試験」の出題での授業・コンピュータの基礎知識についての要素・コンピュータスキル(1年次医療ビジネス薬科学科必修) 情報リテラシーに引き続き、国家試験で「ITパスポート対験」の出題範囲を中心に対験」の出題を中心で表している基礎知識をついての授業・医療情報学(2年次医療ビジネス薬科学科必修・診療情報管理士テキスト・診療情報管理団の第4章医療情報分野における情報技術につい		
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成18年~ 現在	情報リテラシープリント 情報処理演習 I プリント 情報処理演習 II プリント eラーニングシステムMoodleの導入と運用		
		平成23年~ 現在	情報リテラシープリント コンピュータスキルプリント 医療情報学プリント		
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等		特になし		
4 その他教育活動上	特記すべき事項 (FDを含む)		特になし		

Ⅱ 研究活動			
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称
(論文) Fast Placement Algorithm for Rectilinear Jigsaw Puzzles	共著	平成18年5月	Computational Intelligence and Intelligent Informatics 10巻3号
(論文) Concept of Distance Field Model for Space Representation	共著	平成19年12月	Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 11巻10号
平成15年4月~平成22年12月 特になし			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学	講座名 漢方薬学分野	職名 准教授	氏名 山路 誠一			
I 教育活動						
教育実践上の	の主な業績	年 月 日	概要			
教育実践上の主な業績  1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成18年~23年	生薬・I (2年次必修:旧生薬学I (2年次必修:旧生薬学IA, IB (平成22~23年)))る講示ででででででででででででででででででででででででででででででででででで			
		平成24年	を終ることで「本早書」の理解に必要な技能および態度を修得する。 対象課題が生薬なので、実物を漢方資料館や薬 用植物園に求めたほか、文献検索サイトからの 情報蒐集、プレゼンテーションソフトの円滑な 利用と操作が求められた. 授業評価は講義開始 初年は3.78だったが、プレゼン方法や講義内容 等の工夫で平成23年度は4.38となり、概ね好評 であった.			
			カリキュラム3年健康・医療薬学科必修):コアカリC7(1),(2)および(3) 関連科目. インドのアーユルヴェーダ,イスラムのユナニ,インドネシアのジャムーなど中国医学や漢方以外の伝統医薬学に関する総論的講義. 伝統医薬学の理論的な背景をはじめ,特徴的な理論,薬物利用を中心に解説するほか,医薬シーズとなった薬物をとりあげた.			
		平成18年~24年	基幹実習(漢方薬学)(旧漢方薬学実習,旧漢方薬剤学実習)基礎薬学F(5)および化学系(7(1),(2)および(3)を含む実習漢方薬学実習では植物組織の解剖・観察を通して細胞・組織構造の理解を促している.漢方薬剤学実習では生薬の修治および薬膳調理に取り組み,実際的な漢方薬の利用法に関する技能,態度の習得をはかった.授業評価では,特に印象深い実習であったとの感想が多数見られた.			

•		I = +00 + = +	###WA #1777 T		
		平成20年~現在		(4年次,6年次):化学 三然物化学系)を中心とした	
				に薬学総合演習Iでは、コ	
			ンピュータの機能を	活かした生薬の鑑別に関す	
				能教育の強化を図る目的で	
				多く行った.このように演 は対象外で,新制度ならで	
		はの技能教育導入を			
2 作成した教科書、教材、参考	2 作成した教科書、教材、参考書			第6版)』~南江堂	
			必修:旧生薬学[(平成18~		
			ZI年), 旧生楽字IA,  プリント	IB(平成22~23年))) ) 講義	
			本草学Ⅰ・講義プリ	ント	
		平成22年		対策パーフェクト・ナビ(化	
		 平成18年	字系楽字2(生楽系)  『薬用植物学(改訂)	)』~テコム薬学(共著)	
	<i>•</i>			=	
3 教育方法・教育実践に関する 講演等	0	4日	ショップ参加(受講		
		平成20年5月3日~4 日	埼玉県認定実務実習  ショップ参加(タス	指導薬剤師養成ワーク クフォース参加)	
		中成19年10月20日		部『植物観察会(日本薬剤	
			師会集合研修・講師	〕』(あきる野市)	
		平成20年6月14日	日本生楽字会関果文  師会集合研修・講師	部『植物観察会(日本薬剤 i)』(八王子市)	
		平成20年10月18日	日本生薬学会関東支	部『植物観察会(日本薬剤	
		平成21年10月17日		部『植物観察会(日本薬剤	
		平成22年5月29日	師会集合研修・講師	i <u>)』(あきる野市)</u> 部『植物観察会(日本薬剤	
			師会集合研修・講師	i)』(逗子市)	
		平成23年10月31日	薬局漢方製剤研修指 本漢方交流会)	導(有限責任中間法人・日	
4 その他教育活動上特記すべき	5事項	平成19年~現在	実務実習訪問指導(	4年制4年次、6年制5年	
			火):美務美省先の  問指導	病院・薬局へ出向いての訪	
	(FDを含む)	平成19年~現在			
			キンググループ:大  題対策に参画。	学における留年生、履修問	
		平成19年~現在	OSCEおよびOSCEトラ	イアル評価者(日本薬科大	
		平成23年~現在	学) OSCE評価者(横浜薬	到十二	
		平成23年~現在	2年ワーキンググルー		
		1 /2/20 -		· (M)) Q R A /	
著書・論文等の		単著・	34-++ 11-32 ± 0	% /= = = + # =+	
名 称		単者・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
(著書) 薬用植物学(改訂第6版	)	共著	平成18(2006)年4月	南江堂	
(著書) 新訂生薬学(改訂第6版	)	共著	平成19(2007)年4月	南江堂	
Ⅲ 学会等および社会における主な	 よ活動				
1) 学会等関連					
平成10年4月~現在	財団法人日本	中毒情報センター	専門家登録		
平成23年4月~現在	科目担当教員会議委	員(生薬学・天然	物化学教科検討委員会)		
2)社会的活動(講演)					
平成18年10月30日	上尾市教育委	員会·上尾公民館 環	境と健康講座 「漢方	から見た食べ物の話」	
平成18年11月11日	伊奈町教育委	員会 学校開放講座「	漢方薬を知ろう~作る	う,触れよう漢方薬」	
平成19年 7月14日	伊奈町教育委	員会 学校開放講座「	漢方薬を知ろう~作る	う,触れよう漢方薬」	
平成19年 9月19日	栃木県薬務課	!「薬草観察会」(日光	:市)		
平成20年 5月24日	栃木県薬務課	!「薬草観察会」(日光	:市)		
平成21年~現在	(財)いきいき塔	・	ンカレッジ」(講師)		
•					

平成23年11月 5日	伊奈町教育委員会 学校開放講座「作ろう、触れよう、漢方薬」
平成23年11月 9日	上尾市教育委員会・上尾公民館 健康講座 「作ろう、触れよう、漢方薬」
平成23年11月22日	(財)いきいき埼玉 「彩の国いきがい大学 漢方・健康科学の実際(1)」(講師)
平成24年10月18日	桶川市平成市民大学講座「五感で触れる漢方薬」(講師)
平成24年11月10日	伊奈町教育委員会 学校開放講座「漢方薬を作ってみよう」
平成24年11月22日	(財)いきいき埼玉 「彩の国いきがい大学 漢方薬とその利用の実際」(講師)
3) 社会的活動(記事掲載等)	
平成18年4月	「せんぶりをめぐる」,和漢薬4月号(通巻635号),株式会社ウチダ和漢薬(東京)
平成20年6月26日	「毒」入り季節感 ご用心」,読売新聞,社会面13版,(東京)
平成20年9月	「日本薬科大学のご紹介(3)~漢方薬学科」, 埼玉県薬剤師会雑誌9月号(通巻399号, さいたま)
平成21年10月	「日本薬科大学における薬剤師教育」, 九重(岐阜薬科大学同窓会誌)第74号(岐阜)
平成22年 2 月	「日本生薬学会関東支部主催・植物観察会」, 埼玉県薬剤師会雑誌2月号(通巻416号, さいたま)
平成23年6月	「国後島(北方領土)に薬用資源植物を訪ねて」、ファルマシア47巻6号(東京)
4) 社会的活動(その他)	
平成10年~現在	富山大学民族薬物資料館データベース作成(富山)
平成24年 2月18日	東北大学理学部標本庫震災復旧支援事業 (ボランティア参加(仙台))

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「皿 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

## (基礎資料15-48) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学 講座名 漢方薬学分野	職名 准教授	氏名 高野 文英				
I 教育活動	•					
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要				
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	平成24年~現在	漢方製剤学(3年次選択):コアカリB(1)、C7(1)(2)および(3)、D1(3)およびD2(1)~(4)に関連し、漢方薬を用いた漢方薬の治療理論や漢方構成生薬の品質管理や修治の方法、および変局製剤とての漢方について論じた。教科書や参考書等をまとめたプリントを配布し、図表等の説明にはパワーポイントを活用している。また随時、補足説明を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法としている。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。				
	平成24年~現在	基幹実習(薬理系実習): C13(1)、(2)、(4)、(5)およびC17(2)、(4)、(5)を含む実習 平成24年度後期実習後、実習内容や教員の取組 み方等に関する評価アンケート調査の結果、実習中最も良い評価を得ている。				
	平成24年~現在	薬学総合演習 I 、II (4年~6年次):薬理系 C13(3)を中心に演習形式で、講義の復習や問題 演習を行っている。				
2 作成した教科書、教材、参考書	平成24年~現在	漢方製剤学講義および演習問題プリント				
	平成24年~現在	基幹実習薬理学系実習(3年次)実習書と実習 ノート、実習概説用配布プリント				
	平成24年~現在	薬理関連・演習プリント(3年~6年次)				
	平成22年~現在	出張講義用プリント(身体に良い発酵食品)				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成21年11月3日~4 日	第15回関東地区調整機構実務実習指導薬剤師養 成ワークショップ参加(受講)				
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)	平成24年~現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導				
I 研究活動	•					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
(論文) Capsicum ethanol extracts and capsaicin enhance interleukin-2 and interferon-gamma production in cultured murine Peyer's patch cells ex vivo.	共著	平成19(2007)年7月   Life Sciences, Vol. 80, p1553-1563.				
(論文) Bioactive monoterpene glycosides conjugated with gallic acid from the leaves of Eucalyptus globulus.	共著	平成20(2008)年10月 Phytochemistry, Vol. 69, p747-753.				
(論文) Oral administration of Ren-Shen-Yang-Rong-Tang "Ninjin'yoeito" protects against hematotoxicity and induces immature erythroid progenitor cells in 5-fluorouracil-induced anemia.	共著	平成21年(2009)12月 Evid. Based Complement. Alternat. Med., Vol. 6, p247-256.				
(論文) Carotenoids modulate cytokine production in Peyer's patch cells ex vivo.	共著	平成22年(2010)6月 J. Agric. Food Chem., Vol. 58, p8566-8572.				
(論文) Stilbenoids from the melinjo (Gnetum gnemon L.) fruit modulate cytokine production ir murine Peyer's patch cells ex vivo.	共著	平成23年(2011)10月 Planta Medica, Vol. 77, p1027-1034.				

Ⅲ 学会等および社会における主な	舌動
昭和63年2月~現在	日本薬学会一般会員
平成4年~現在	和漢医薬学会一般会員
平成16年~現在	日本生薬学会一般会員
平成24年10月20日	平成24年度 浦学ユニバーシティー 講義 (浦和学院高等学校 身体に良い発酵食品)

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

1-44 -4- 4	教育および研究活動の ****	<b>耒績一</b> 覧 ┰━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
、学名 日本薬科大学 講座名 臨床薬学 センター		氏名 中島 孝則
教育活動	r	
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等	等を含む) 平成18年〜19年	生化学II (2年次必修): コアカリC9(1)(3)(4)に関する講義. 生体を構成する分子である糖質,脂質.タンパク質の構造と機能,これら成分の代謝について講義を行った.教科書,参考書をまとめたプリントを配付し,書画カメラで提示しながらプリントに書き込みを行い,能動的な講義を実施している.
	平成18年~現在	生物系実習(2年次必修) コアカリC8(1)(3)C9(1)(3)(6)C13(1)C14(1)の内容に関する実習.機能形態学と生化学に関する実習を実施し、生体の基本的構造と機能、糖や酵素、遺伝子に関する測定法について学ぶ、平成24年度前期実習後、実習内容や教員の取組み方等に関する評価アンケート調査の結果、概ね良い評価を得ている。
	平成20年~現在	生化学I(1年次必修):コアカリC9(1)(3)(5)に関する講義.生体を構成する分子である糖質,脂質.タンパク質の構造と機能,これら成分の代謝について講義を行っている.教科書,参考書をまとめたプリントを配付し,書画カメラで提示しながらプリントに書き込みを行い,能動的な講義を実施している.平成23年度後期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.11(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。
	平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ (4年~6年次) :生化学系C9および実務系の内容を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。
	平成21年~22年	薬学総合実習(2年次必修): コアカリA(2)(3)に関する実習: ワークショップ形式と調査発表形式を組み合わせ,自己学習の重要性,コミュニケーションの必要性に関して学ぶ
	平成21年~現在	機能性食品学(4年次健康薬学科必修, 漢方薬学科・医療薬学科選択): コアカリC11(1)(3)C13(4)C14((2)C18(3)D1(4)に関す内容. 日本薬科大学NR養成講座履修科目.機能性食品に関する正しい知識と消費者が摂取する上での注意点について講義を実施している. 教科書や参考書をまとめたパワーポイント教材を使用している. 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値) 4.20(5段階評価)であり、全体平均値以上であった。授業の進め方については概ね好評を得ている。
	平成22年~現在	実務実習プレ養育(4年次必修): コアカリD1の内容について,臨床薬学教育センター所 属教員を中心に講義,実習,演習を実施しており,そ の一部を担っている.
	平成22年~現在	実務系実習(4年次必修): コアカリD1に関する内容.調剤および服薬指導などの薬剤師職務に関する総合的な実習を臨床薬学教育センターが中心となって実施しており、その一部を担っている.
	平成23年度~現在	薬剤学IA(3年次必修): コアカリC1(2)I(4)に関する内容: 製剤の種類や特徴,製造法などについて講義を行っている.教科書や参考書をまとめたパワーポイント教材を使用している.平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で4.28(5段階評価)であり、全体均値以上であった。授業の進め方については概ね好評を得ている。

	平成23年度~現在	実務系実習ポスト教育(6年次必修): 実務実習アドバンスト教育として、実務実習で習得した知識と大能の終括、ホストストとして、近れ、アフトストストストストストストストストストストストストストストストストストストス
		らびにフィジカルアセスメントを実施している. PBL学習を取り入れており、臨床薬学教育センター教員がチューターとなり取り組んでいる. 機能, 糖や酵素,遺伝子に関する測定法について学ぶ. 平成24年度前期実習後, 実習内容や教員の取組み方等に関する評価アンケート調査の結果, 概ね良い評価を得ている.
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年~19年	生化学Ⅱ講義プリント
	平成18年~現在	生物系実習書
	平成19年	栄養科学イラストレイテッド生化学、羊土社
	平成19年	栄養科学イラストレイテッド演習版生化学ノート, 羊 土社
	平成20年~現在	生化学I講義プリント
	平成21年~22年	薬学総合実習PBL学習用教材,プリント
	平成21年~現在	機能性食品学講義プリント
	平成22年~現在	実務実習プレ教育実習教材、プリント
	平成23年度~現在	薬剤学IA講義プリント
	平成23年度~現在	実務系実習ポスト教育PBL学習用プリント
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等   	平成20年	OSCE時間管理におけるOSCEタイマーの有効性. 日本薬学会
	平成20年	第9回薬剤師のためのワークショップin長野への参加
	平成21年	ワンフロアー型専用施設によるOSCE試行とその運営上の問題点. 日本薬学会第129年会発表
	平成21年	OSCE評価集計におけるマークシート導入の有効性 につ
	平成21年	いて, 第19回日本医療薬学会年会発表 平成21年度 第1回アドバンスワークショップ(城西大学, 埼玉県薬剤師会)への参加
	平成22年	6年制薬学教育実務実習学生評価表の検証と病院-大学 (病学)連携の試み,日本薬学会第130年会発表
	平成22年	第9回埼玉県薬剤師会実務実習指導薬剤師養成ワーク ショップへの参加
	平成22年	第9回埼玉薬学教育研修会「実務実習第Ⅱ期への提言」 パネラー
	平成22年	平成22年度第11回関東地区調整機構認定実務実習指導 薬剤師養成ワークショップへの参加
	平成23年	薬学教育における学習意欲とコミュニケーション能力 向上に向けたワークショップ形式実習の評価, 日本薬 学会第131年会発表
	平成23年	低学年における文献検索・発表型実習の実施とその評価、日本薬学会第131年会発表
	平成23年	実務実習事前教育(プレ教育)における薬学生の経時 的な意識調査,日本薬学会第131年会発表
	平成23年	実務実習ポスト教育におけるフィジカルアセスメント 実習の実施とその評価, 第21回日本医療薬学会年会発 表
	平成24年	関東地区調整機構:第13回関東地区調整機構認定実務 実習指導薬剤師養成ワークショップ,タスクフォース 参加
	平成24年	実務実習事前教育における受講学生の経時的意識調 査, 日本薬学会第132年会発表
	平成24年	実務実習ポスト教育における症例検討の実施とその評価、日本薬学会第132年会発表

4 その他教育活動上特記すべき事項		平成20年	認定実務実習指導薬	経剤師養成講習会ア, イ, ウ, エ,		
(FDを含む) <sup>ュ</sup>		平成20年~現在	研修認定薬剤師(薬	経剤師研修センター)		
2		平成21年~22年	病院研修(さいたま赤十字病院、大宮共立病院)			
		平成20年~現在	NR委員会:NR養成請	<b>∮座担当</b>		
		平成22年12月	日本薬科大学0SCE運営担当			
		平成23年1月	城西大学0SCE評価者	ž I		
		平成23年12月	日本薬科大学0SCE選	<b>置</b> 営担当		
		平成24年1月	城西大学0SCE評価者	<u>v</u> 1		
平成						
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号 数)等の名称		
(論文)院内製剤としてのバルプ	口酸坐剤	共著	平成22年2月	PHARM TECH JAPAN, 26(2), 127- 129		
(論文)院内製剤ウリナスタチン 剤学的特性	膣坐剤の物理薬	共著	平成23年11月	YAKUGAKU ZASSHI, 131(11), 1639-1644		
(著書)臨床で求められる基礎知 めの臨床実習マニュアル	識,薬学生のた	共著	平成23年3月	医学評論社		
(著書)パートナー薬剤学改訂第2	2版	共著	平成24年3月	南江堂		
(著書)栄養科学イラストレイテ	ッド生化学	共著	平成19年11月	羊土社		
Ⅲ 学会等および社会における主	な活動					
平成21年11月	大学連携講座けん	んかつオープンカレ <sup>、</sup>	ッジ:「健康食品の記	<u></u> 適正な使用について」, 講師		
平成22年	薬剤学教科検討勢	<b>经員会委員</b>				
平成22年9月	伊奈町公開講座	わかりやすい基礎	薬学講座「健康食品(	の正しい選び方・使い方」,講師		
平成22年11月	上尾市立上尾公月	民館『健康講座』「個	建康食品の正しい選び	び方・使い方」,講師		
平成22年11月	大学連携講座けん	んかつオープンカレ <sup>、</sup>	ッジ:『健康食品』。	と生活習慣病,講師		
平成23年4月~現在	埼玉県病院薬剤館	市会生涯研修センタ-	一企画委員会委員			
平成23年10月	大学連携講座けん	んかつオープンカレ <sup>、</sup>	ッジ:「健康食品の	基礎知識」,講師		
平成23年10月	第11回埼玉薬学教育研修会,在宅での危険なおくすり事情~薬剤師の出番です~,運営,司会					
平成23年11月	彩の国いきがい力	ト学:漢方・健康薬 <u>・</u>	学の実際,「健康食品	品と生活習慣病」,講師		
平成23年11月	大学連携講座けんかつオープンカレッジ: 「特定保健用食品(トクホ)の現状」, 講師					
平成23年12月	大学連携講座けんかつオープンカレッジ:「補完代替医療としての健康食品」,講師					
平成24年1月	子ども大学「あげお・いな・おけがわ」,薬剤師の職業体験					
平成24年4月~現在	薬剤師国家試験問	薬剤師国家試験問題検討委員会委員(薬剤学)				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

			—————————————————————————————————————	育および	が研究活動の	業績一覧
大学名	日本薬科大学	講座名	物理系薬学分野	職名	教授	氏名 荒井 健介
I 教育						
 教育実践上の主な業績				年		概  要
1 教	な育内容・方法 <i>の</i>	)工夫(授	業評価等を含む)		0年~現在	薬品分析化学 I (1年次必修) : コアカリC2(1)と(2)、およびF(3)の一部に関する講義 分析化学の概念、定性反応、溶液内平衡論、酸塩基の理論について論じた。 教科書の記述を中心に、パワーポイントを活用した講義を進めている。また、その場で演習形式で練習問題を解かせ、学生の理解力を深めさせると同時に学生の理解度把握に役立てている。講義中に演示実験を多く取り入れるなどの工夫により分かりやすい講義を心がけている。 平成24年度後期の授業評価(評価15項目の平均値)は3.83(5段階評価)と、ほぼ全体平均値(3.86)と同じ点数であった。もともと本学の学生が化学や計算に弱く高評価が付きにくい科目であることを考慮すれば、評価としては悪くない数値であると考えられる。
				平成18	8年~23年	薬品分析化学 I(2年次必修): コアカリC2(1)と(2)、およびF(3)と(4)の一部に関する講義 容量分析法の概念と理論、各容量分析法の各論について論じた。 講義の進め方は薬品分析化学 I と同様である。 平成21年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)は 4.11(5段階評価)であり、ほぼ全体平均値(3.81)を上回る高い評価であった。自由記述には分かりやすい 講義との評価が多かった。
				平成24	4年~現在	日本薬局方(3年次必修):コアカリB(1)5-1、C2(2)およびC3(1)に関する講義 日本薬局方の意義と内容に加え、各試験法について論じた。ただし、各試験法については分析化学の内容であることから、1~2年次の分析化学系科目の総復習を兼ねた内容とした。 講義の進め方は薬品分析化学Iに準じるとともに、テキストの内容をまとめた講義プリントと練習問題プリントを毎回配布し、これらとリンクした講義を行った。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)は
				平成18	8年~現在	4.37 (5段階評価) であり、ほぼ全体平均値 (3.83) と極めて高い評価であった。自由記述にも分かりやすい講義との評価が目立って多かったので、学生の理解度、満足度は高かったものと思われる。  化学・物理系実習 II (旧 物理系実習) 分析化学実習(2年次必修):コアカリC2(2)を含む実習平成24年度前期実習後、実習内容や教員の取組み方等に関する評価アンケート調査の結果、概ね良い評価を得ている。
				平成2	1年~現在	実務実習プレ教育(4年次必修): 散剤、水剤、注射   剤配合変化
				平成2	1年~現在	薬学演習Ⅱ (2年次):薬品分析化学Ⅰの復習を行って
				平成24	4年~現在	いる。  薬学演習Ⅲ(3年次):機器分析学および薬品分析化学  Ⅰ・Ⅱの復習を行っている。
				平成20	0年~現在	薬学総合演習 I (4年次):物理系 コアカリC2(1)、C2(2)およびC3(1)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。
				平成20	0年~現在	薬学総合演習 I (6年次):物理系 コアカリC3(1)およびC2(2)を中心に演習形式で、講義の復習や問題演習を行っている。
2 作	F成した教科書、	教材、参	考書	平成18	8年~22年	薬品分析化学Ⅱ講義プリント
				平成2	3年~現在	分析化学の化学と科学、京都廣川書店(単著)
				平成24	4年~現在	なるほど分析化学―数字と仲良くする本、廣川書店 (共著)
				平成24	4年~現在	日本薬局方プリント
					1年~現在	薬学演習Ⅱプリント
					4年~現在	薬学演習皿プリント
					0年~現在	薬学総合演習 I プリント
					0年~現在	薬学総合演習Ⅱプリント
3 教	<b>対育方法・教育</b> 実	践に関す	る発表、講演等	平成19 4日	9年11月3日~	・ 埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加
4 3	の他教育活動上	:特記すべ	き事項(FDを含む)	平成18	8年~現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次):実務
						実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導

平成18年~20年 |教学運営委員会カリキュラムワーキンググループ:カ リキュラム、学則および履修規定の改定に関わる業務 平成20年 1年生ワーキンググループ(教務委員会) 平成24年~現在 3年生ワーキンググループ(教務委員会) 平成21年~23年 |4年生ワーキンググループ(教務委員会) 平成21年 OSCE委員会:SP養成WGの業務 平成24年~現在 OSCEステーション副責任者 平成21年、23年 CBT委員会 平成23年 FD委員会 平成22年、24年~ |自己点検・評価ワーキンググループ: 大学全体の点 検・評価と改善計画に参画している。 現在 平成24年~現在 将来計画委員会ワーキンググループ:薬学科(6年制) のカリキュラム改編案作成に参画している。 帝京高校体験学習 第一回「「蛍光」を調べてみよ 平成22年12月 う!」、第二回「見えないものを 「科学の眼」で 見 てみよう!」 平成24年1月 わせがく高校古河学習センター出張講義「『蛍光』の ひみつ ~見えないものが 科学の眼で見えてくる! Ⅱ 研究活動 著書・論文等の 単著・ 発行所、発表雑誌 発行または発表の (巻・号数) 等の名称 共著の別 年月(西暦でも可) 名 (論文) オープンウェル型マイクロチップを用いる 共著 平成18(2006)年5月 | 分析化学, 55(5), 313-316 酵素免疫測定法の開発 (著書)薬品分析の化学と科学 平成23(2011)年9月 京都廣川書店 単著 (著書) 分析化学用語辞典 平成23(2011)年10 オーム社 共著 (著書) パートナー分析化学 改訂第2版 平成24(2012)年3月 南江堂 共著 (論文) シャープペンシル芯を作用電極とする銅 (II)共存下におけるヒ素(III)の陽極ストリッピン 平成24(2012)年5月 | 分析化学, 61(5), 411-418 共著 グボルタンメトリーの環境水スクリーニング手法へ の適用 Ⅲ 学会等および社会における主な活動 平成18年4月~平成19年5月 |日本分析化学会第68回分析化学討論会実行委員会委員 平成18年4月~平成23年3月まで 日本分析化学会「分析化学」誌編集委員 平成19年~現在 OSCE評価者 平成20年4月~平成22年5月 |埼玉県薬剤師会雑誌発行委員会委員 平成20年9月~平成21年5月 第76回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会合同シンポジウム実行委員会委員 平成20年9月~平成23年3月 第42回国際化学オリンピック総務小委員会委員 平成20年9月~現在 日本分析化学会有機微量分析研究懇談会委員 平成22年11月~現在 |日本化学会化学だいすきクラブ小委員会委員 平成23年3月~現在 |日本分析化学会関東支部常任幹事 日本分析化学会「ぶんせき」誌編集委員 平成23年3月~現在 |埼玉県子ども大学あげお・いな・おけがわ(聖学院大学、上尾市・伊奈町・桶川市教育委員 平成23年3月~現在 会共催)実行委員長 平成23年5月~平成24年5月 |埼玉県薬剤師会試験センター委員 伊奈町教育委員会・学校開放講座「身のまわりの「化学」との付き合い方」 平成23年10月 平成24年5月~現在 埼玉県薬剤師会試験センター・情報センター委員

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-51) 専任教員の教育および研究活動の業績

	教育およ	び研究活動の業	績一覧
大学名 日本薬科大学	講座名 生命医療薬学分野	職名 准教授	氏名 井上俊夫
I 教育活動			
	 の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法のエ	夫		
		平成23年4-7月	薬物治療学ⅢA:科目責任者 1単位15時間 月曜2-3 限
(	授業評価等を含む)		全15項目の授業評価に対して5点満点中3.76-4.55の 評点であった。特に「毎回の授業のねらいは、その 都度明確に示されましたか?」という項目は全体平 均(3.9) に対して4.55の評価が得られた。この年 から各回の講義ではSBO項目を明確にしたコマシラ バスを作成し、1回あたりに学ぶ項目を双方で確認 しながら授業を進める方法採用しており、この効果 が表れているものと考えられた。
		平成24年4-7月	薬物治療学ⅢA:科目責任者 1単位15時間 月曜2-3
			限全15項目の授業評価に対して5点満点中3.60-4.60の評点であった。特に「毎回の授業のねらいは、その都度明確に示されましたか?」という項目は全体平均(4.0)に対して4.6の評価が得られた。平成24年度からは全学でコマシラバスを採用しており、全体平均も0.1ポイント上昇し、コマシラバスを活用している効果が継続して表れているものと考えられた。
		平成23年6月 平成24年6月	医療薬学実習:実習責任者 1単位45時間 水-土曜 4-6および1-3限開講
		平成23年4月~ 平成24年4月~	薬学総合演習 I :科目分担者
		平成23年4月~ 平成24年4月~	薬学総合演習 Ⅱ : 科目分担者
		平成23年4月~ 平成24年4月~	5年次E2演習∶科目分担者
2 作成した教科書、教	材、参考書	平成23年4月	医療薬学実習 I 実習書
		平成24年4月	医療薬学実習 I 実習書
3 教育方法・教育実践	に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特	記すべき事項	平成23年4月~ 平成24年4月~	実務実習訪問指導:分野配属学生5名の薬局実務実習に関する訪問指導を行った。
	(FDを含む)	平成23年4月~ 平成24年4月~	卒業研究:分野配属学生5年生5名、6年生3名の卒論 指導を実施。

Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(著書)登録販売者標準テキスト改	訂版	共著	平成22年4月	株式会社薬事日報社	
(著書) 化学療法学		共著	平成24年3月	廣川書店	
(論文) Involvement of chemical nasal allergic responses of HDC-KO		共著	平成19年7月	Eur. J. Pharmacol. 第567巻3号 (P245-251)	
(論文)Effect of Brazilian prop and nasal rubbing in experimental rhinitis of mice.	共著	平成21年5月	Immunopharmacol Immunotoxicol.第31巻4号 (P688-693)		
(論文) Prophylactic Effects of the Histamine H1 Receptor Antagonist Epinastine and the Dual Thromboxane A2 recptor and Chemoattractant Receptor-Homologous Molecule Expressed on Th2 Cells Antagonist Ramatroban on Alllergic rhinitis Model in Mice		共著	平成23年4月	Biol. Pharm. Bull. 第34巻4号 (P507-P692)	
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動			•	
平成11年8月~	日本薬学会 会員	Į			
平成11年5月~	日本薬理学会 会員				
平成11年6月~	日本アレルギー学会 会員				
平成16年1月~平成19年3月	岡山県生理活性物質研究会 幹事				
平成19年5月~	おかやまバイオアクティブ研究会 会員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧				<b>猿一覧</b>
大学名 日本薬科大学	講座名 薬品創製化学分野	職名	准教授	氏名 安田 高明
I 教育活動				
教育実践	上の主な業績	年	月日	概要
1 教育内容・方法の	工夫(授業評価等を含む)	年	18年~20	薬学英語入門(2年次必修):医薬品の国際的ハーモナイゼーションの流れの中、実務薬剤師にとって、外国文献等による医薬品情報の収の集・交換、また、臨床現場における場合とのようになるようになるようになることを目的レベルで実行できるようになることを目的として、化学系から臨床系の薬学専門分野全般とした種々の英文を解読させる記載を理解が支型等の基本的知識を理解できるよう概説した。
		平成年	18年~23	天然物化学(3年次必修): 天然物は医薬資源の 宝庫であり、医薬品原料となる可能性がある多 くの化学成分が存在している。天然物に含有さ れる化学成分の主な生物活性、生合成、立体化 学等についての基礎知識について講義した。
		平 成 在	21年~現	ヒューマニズムⅡ (1年次必修) : コアカリ A(2)1-1~1-3およびA(2)2-1~2-2に関する内容 について、医療人としての心構えについて概説 した。
		平 成 在	24年~現	化学入門 I (1年次必修): 薬学すなわち生命科学を学ぶ上で、その基盤となる化学的概念について習得することを目的に、リメディアル教育をも踏まえた将来学ぶ多くの分野、たとえば有機化学、分析化学、生化学などの理解に必要となる知識について概説した。
		平 成年	18年~22	基礎薬学実習(旧 基礎化学実習):各専門化学系および生物系分野で共通する基礎的実験、試験手技の習得を目指して行う実習。ガラス細工、各種体積計や天秤等の基本操作、並びに生物の臓器や組織の形態の観察等を実習体得させる。また合わせて、実習に対する心構えや実習で汎用される危険物等の講義を行った。
		平 成 在	20年~現	PBL実習(旧 生物系実習):コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力の醸成を目的とした実習。少人数グループに分け、SGDを取り入れて効果的に行った。
		平 成 在	23年~現	化学・物理系実習:生薬学実習において、日本薬局方に収載されている代表的な生薬の確認試験と純度試験を実施し、各生薬の主要成分の抽出方法と主要成分の化学的性質を理解させるための実習。
		平 成 在	22年~現	実務実習プレ教育(4年次):SGDのチューター として教育を行っている。
		平 成 在	20年~現	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ (4年~6年次):化学系 C7(1)および(2)を中心に演習形式で、講義の復 習や問題演習を行っている。
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成 年	18年~23	天然物化学演習問題プリント
			18年~22	基礎薬学実習書(旧 基礎化学実習)
		平 成 在	18年~現	分析系および化学系関連演習プリント (3年~6年次)
				医療を指向する天然物医薬品化学、廣川書店 (共著)
		平 成 在	24年~現	化学入門 I 講義プリント

3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等	平成20年5月3 日~4日	第4回埼玉県認定実 ショップ参加(受講	務実習指導薬剤師養成ワーク
4 その他教育活動上特記すべき			4年制4年次、6年制5年 病院・薬局へ出向いての訪	
		平成21年~23年	OSCE委員会:ステー 参画している。	ション責任者として運営に
			OSCE評価者:城西大 価者として参加して	学、慶應義塾大学でOSCE評 いる。
		平成22年~現在		献活動の一環として、上尾 康講座の運営・企画を担当
		平成20年~現在	NR委員会:NR養成講	座担当
		平成24年~現在	1学年主任:1年生「	フーキンググループ
		平成24年~現在	将来計画委員会:薬 改編案作成に参画し	学科(6年制)の初年次教育 ている。
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Metabolic fate of fraxir orally to rats.	n administered	共著	平成18 (2006) 年5月	J. Natural Products, vol.69, No.5, 755 - 757.
(論文) Anti-influenza virus principles from Muehlenbeckia hastulata.		共著	平成22 (2010) 年月	J. Natural Medicines, vol 64, No. 2, 206 - 211.
(著書) 医療を指向する天然物医薬 	品化学	共著	平成23(2011)年3月	廣川書店
(著書)「天然物への想い」	共著	平成23(2011)年9月	埼玉県薬剤師会雑誌, vol.37, No.9, 20 - 22.	
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動			
平成21年3月	伊奈町長寿クラブ連合会 役員研修会 「医食同源と薬膳」			
平成21年11月	埼玉県県民活動セ と化学」	ソンター・けんか	漢方・健康講座 「天然物	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

大学名 日本薬科大学 講座名 健康生命科学	学分野 職名 准教授	
	一刀打 帆石 准教技	氏名 村橋 毅
I 教育活動	<u>'</u>	•
教育実践上の主な業績	年 月 日	概  要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を	含む) 平成16年〜現 在	地球環境概論(1年次必修):コアカリF(8)とF(9)に該当する地球環境に関する講義を行っている。ビデオを活用している。授業評価は平均程度である。
	平成18~20年	生態学(3年次健康薬学科必修):複数教員担当科目で3コマを担当した。高校の生物IIの生態学に関する講義を行った。ビデオを活用した。
	平成18年~現 在	衛生系実習II(3年次必修):コアカリC11とC12の 実技に関する実習を行っている。
	'	薬学総合演習IとII(4、6年次必修):コアカリC11とC12の問題演習を行っている。
	平成21年~現 在	ヒューマニズムI(1年次必修):コアカリA(1)に該当する生命倫理等に関する講義を行っている。 ビデオを活用している。授業評価は平均程度である。
	平成22~23年	ヒューマニズムIII(2年次必修):コアカリA(3)に該当するコミュニケーション学・心理学等に関する講義を行った。SGD等を取り入れた。授業評価は平均程度であった。
	平成22年~現 在	環境衛生学II(3年次必修):コアカリC12(2)に該当する環境衛生に関する講義を行っている。15コマのうち11コマを担当している。
	平成24年	公衆衛生学I(2年生必修):コアカリC11(1)に該当する栄養素・食品衛生に関する講義を行っている。
	平成16年~現	  地球環境概論:プリント、ワークブック
	在 平成18~20年 平成18年~現	生態学:プリント 衛生系実習II:実習書
	在 平成19年~現	  薬学総合演習:問題プリント
	在 平成21年~現	ヒューマニズム!: プリント、ワークブック
	在 平成22~23年 平成22年~現	  ヒューマニズムIII: プリント、ワークブック  環境衛生学II: プリント
	在 平成24年	公衆衛生学Ⅰ:プリント
3 教育方法・教育実践に関する発表、講	演等	
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成19年~現 在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪 問指導
(FDを含	む)	linnina.

Ⅱ 研究活動			
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
Human Aryl Hydrocarbon Receptor Ligand Activity of 31 Non-substituted Polycyclic Aromatic Hydrocarbons as Soil Contaminants	共著	2007年	日本薬学会、 J. Health Sci.、53
Ⅲ 学会等および社会における主な活動	•		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 日本薬科大学	講座名 情報処理	職名 講師	氏名 増田 純一	
I 教育活動		•		
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成22年~現在	情報リテラシー(1年次必修) パソコンを用いて、データファイルの整理、レポート作成、データ集計、データ検索、プレゼンテーションスライド作成を学習する。パソコンの基本操作から応用動作までの操作方法を身につけるとともに、インターネットを用いて情報セキュリティやマナーを学習し、パソコンを利用していく上での必要な知識、考え方について学習する。	
		平成22年~現在	情報処理演習 I (2年次選択) 文書作成、表計算、データベース操作、プレゼン テーション作成の技能向上を目指す。文書作成では 論文や長文の作成に必要な機能、表計算では実務 でよく利用される関数やデータベース関数、データ ベースでは基本的な検索機能やデータベースの作 成、プレゼンテーションではアニメーションなどを 使ったスライドの作成について学習する。	
		平成22年~現在	情報処理演習 II (2年次選択) コンピュータプログラムの基本的な動作を理解し簡単なプログラムの作成(プログラミング)の方法を学習する。プログラミングを通して問題解決に必要な「論理的思考」を身につけるとともに「コンピュータの基本的な動作」を理解する。	
2 作成した教科書、	教材、参考書			
3 教育方法・教育実	<b>渓践に関する発表、講演等</b>	平成22年3月	スピーチタイトル「アップルが目指す教育革命 とは」於:デジタルハリウッド大学院大学	
4 その他教育活動上	:特記すべき事項(FDを含む	)平成20年~現在	大学の教育・研究の要である大学全体のネットワーク情報システムの実質的な企画・運用・管理全般を担っている。また、情報セキュリティについても日常的に監視を行い、情報システムの安心・安全な運用を行っている。(情報システム委員会)	
		平成20年~現在	情報システムを活用して大学教育・研究活動が 安定的に運用できるための情報システム研究	
		平成20年~現在	情報システムを活用して大学教育・研究活動が 安定的に運用できるための情報システム研究	
		平成22年1月	Microsoft Office Specialist(Excel/Word	
		平成22年2月	2003) Microsoft Office Specialist(PowerPoint 2003)	
		平成22年3月	IC3 Global Standard 3(GS3)-Living Online Internet and Computing Core Certification(IC3)	
		平成23年11月	Microsoft Office Specialist(Access 2003)	

Π	研究活動					
	著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
Ш	Ⅲ 学会等および社会における主な活動					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-55) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育およ	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	職名 講師	氏名 牧谷 英夫				
┃						
	年 月 日	概要				
1 教育内容・方法の工夫		」 英語 I (1年次必修)、英語 II 、(1年次必修)				
(授業評価等を含む)		英語 I 補修、 英語 II 補修 :				
		コアカリF(2)2-1及びF(2)2-1に関する講義				
		(演習を取りいれた形式)				
		薬学に関する論文・専門誌の読解や医療現場				
		で必要な英語の基礎を身に着けさせるために、				
		3クラスに分けた習熟度別講義を展開している。				
		最も習熟度が低いクラスの担当であるが、授				
		業参加促進のためにマイクをバトンに見立て、				
		「回答リレー」をさせるなど工夫をしている。				
		また、プリント、復習プリントを毎回配布し、				
		学習を習慣化させる工夫をしている。				
		パワーポイントやCDを使い視覚・聴覚				
		に訴えるように心がけている。毎回配布する				
		スライドシートには「Today's Points」を最初				
		に掲げ、目標を明確にしている。英語が不得意				
		な学生が多いので、様々な面で興味・関心を引				
		くような試み、授業に参加せざるを得ない状況 を作ることに力をいれている。				
		を作ることに力をいれている。 				
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年~現在	┃ 英語Ⅰ、英語Ⅱの「予習プリント」。				
		「復習プリント」、パワーポイントの				
		スライドシート。				
		後期英文法の授業用教材				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成22年~現在	osceにおいて医者・患者の役をやった。				
(FDを含む)	平成24年	1年生の実習引率を行った。				
Ⅱ 研究活動	<u> </u>					
著書・論文等の	単著•	発行または発表の発行所、発表雑誌				
名 称	共著の別	年月(西暦でも可) (巻・号数)等の名称				
Ⅲ 学会等および社会における主な活動	<u> </u>					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

			教育およ	び研究	に活動の	業績一覧 ————		
大学名	日本薬科大学	講座名	教養教育センター	職名	講師	氏名	渡辺 博	
I 教育	<b>育活動</b>			,				
	教育実践		業績		月日		概	要
1 1	教育内容・方法 <i>の</i>		評価等を含む)	平成	2 2 年~	き(が用臨映しい関座せ導すパし授評講時らプま像、る係にる上るワ復業価義制文リせ・英。性意上のこ一習評)し、単ンて英文特に味でピとホに価で	た関位トい文読に留を、ジがイ活(あお。係でをる・解英意把極ュでン用1りよ英詞の事。説演文し握めアきトさ5、び文、情前パ明習の文すてル、のせ項全授の接報にワののス頭る有化学スて目体業読続収配一要指クか方効は生ラいの平の解詞集布ポ点導リら法で、かイる平均進	アの、にしイを効一情をあ学らド。均値めかけにいる。 カ方冠関、ンス果ン報学る生のは平値以方の法詞 大のでは、 カ方冠関、カス果ン報学る生のは平値以方の 大に等義を用一大は示実う業もしない。 はで関とし体英を。に前5。概 を入り、にとし体英を。に前5。概 基文し予義図映っ語て得語担ま配期段教ね がは、にのいる。に がいたは、に際し参高学年ののでは、 ないのでは、 に図とし体英を。に前5。概 を関しない。 を関いる。 を関いる。 を関いる。 を関いる。 をあいる。 でのいる。 はでは、 でのいる。 でいる。 でい
				平成	2 2 年~	現 「	1年次院のでは、1年のでは、1年次には、1年では、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年では、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でのでは、1年でののでは、1年でののでは、1年でののでは、1年でののでは、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年	カリF(2)1-1,2に表 カリF(2)1-1,2に表 大き語で 大き語で 大き語で 大き語が 大き語が 大きで 大き語が 大きに 大きに 大きで 大きで 大きで 大きに 大きで 大きで 大きで 大きで 大きで 大きで 大きで 大きで
				平成	2 4 年~	きに位文のす図英英文る効学事臨生期価講つで章理る・文文頭方で生前まにので義いの構解方映読のか法あのにせ配授で、して正成に法像解スらをる授予で布業全	た。英なでは、大の確に基を英演が、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大い	コアカリG(1)1-1,3に基第コアカリG(1)1-1,3に基第のいて、文法さき、大きさいでは、またというでは、またのの理解をできる。またのでは、またいでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、また。

2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演			
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成22年~現	オスキーで医者役や	患者役を実施。
(FDを含む)			
Ⅱ 研究活動	•		
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
Ⅲ 学会等および社会における主な活動	•		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-57) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧				
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	職名 講師	氏名 宇田川 努		
I 教育活動				
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	平成22年~ 現在	英語 I (1年次必修):コアカリF(2)1-1,2及びF(2)2-1に関する講義と補習英語使用上の基礎的な文法事項を再確認するとともに、英文の読み方を中心に指導した。教科書を中心に授業を進め、教科書理解に参考となる事項をプリントで配布し、自学自習の助けとした。教科書の内容について学生に質問し、理解不足のところを詳細に説明する形で授業を進めた。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)では3.8であった。		
	平成22年~ 現在	英語 I (1年次必修):コアカリF(2)1-1,2及びF(2)2-1に関する講義と補習英語使用上の基礎的な文法事項を再確認するとともに、英文の読み方を中心に指導した。教科書を中心に授業を進め、教科書理解に参考となる事項をプリントで配布し、自学自習の助けとした。教科書の内容について学生に質問し、理解不足のところを詳細に説明する形で授業を進めた。平成23年度後期の授業評価(評価15項目の平均値)では3.9であった。		
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年~ 現在	英語 I 、Ⅱ講義用プリント 英語 Ⅱ 補修用プリント		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成22年	OSCEにおいて医師の役をした。		
(FDを含む)	平成23年	OSCEにおいて患者の役をした。		
Ⅱ 研究活動		1		
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-58) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	- 職名 講師	氏名 滝田 秀夫			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の工夫	平成21年~現在	薬学演習IA・IB(生物) (1年次必修)			
(授業評価等を含む)		コアカリ 薬学準備教育ガイドラインFに関する講			
		議。薬学専門科目と高校生物の接続を図っている。			
		教材は、冊子にまとめてサブノートとしている。			
		また、講義は、習熟度別授業とし、全員対象とした			
		補習(アップセミナー)を時間割にも位置づけ実施。			
		成果を上げている。平成24年度前期の授業評価(			
		評価項目15項目)で、4.27(5段階評価)			
2 作成した教科書、教材、参考書	平成21年度	薬学演習IA、IB講義プリント、補習プリント			
	平成22年度	薬学演習IA、IB講義プリント、補習プリント(改訂版)			
		薬学演習IA・B講義資料、補習資料(サブノート)			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演	<del>算</del>				
4 その他教育活動上特記すべき事項		1WG=入学前教育、初年次教育の効果的な実践と			
(FDを含む)		1年生委員会との連携を図る。			
		基礎科学教育委員として、薬学専門科目と初年次教			
		育の円滑な接続を図るための方策の企画実施を行う。			
Ⅲ   研究活動	<u> </u>				
著書・論文等の	単著・	発行または発表の発行所、発表雑誌			
名 称	共著の別	年月(西暦でも可) (巻・号数)等の名称			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
平成25年1月実施予定 日本薬科大学主催、県教委後援「理科教員のための実践教養講座」の企画運営					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-59) 専任教員の教育および研究活動の業績

	猜一覧					
大学名	講座名 教養教育センター	職名 講師	氏名 小林 博			
I 教育活動	I 教育活動					
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の	工夫(授業評価等を含む)	平成21年~現在	薬学演習 I (化学)(1年次必修):コアカリ薬学準備教育ガイドラインF(4)に関する講義。薬学専門科目と高校化学の接続を図っている。教材は冊子にまとめてテキストとしている。また、授業は、習熟度別授業(上位クラスを1組、下位クラスを2組)とし、全員対象とした補習(アップセミナー)を時間割にも位置づけて実施、効果をあげている。平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で3.70(5段階評価)であり、所属分類平均3.77に近いものの、改善するべき内容があり、今後の課題として受け止めている。			
2 作成した教科書、	教材、参考書	平成21年	薬学演習 I (化学) 講義プリント 補習(アップセミナー) プリント			
		平成22·23年	***   **			
		平成24年	基礎から学ぶ化学 薬学演習			
3 教育方法・教育実	践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上	特記すべき事項 (FDを含む)	平成22年~現在	初年次教育の実践 ・入学前教育(スクーリングにおける化学講義の実践) ・入学前教育(スクーリングにおける化学分野の課題添削) ・自己の探求セミナー指導			
Ⅱ 研究活動		T				
者書・ 名	論文等の 称 	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発子所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
平成21年8月(2日間)	伊奈町教育委員会	開放講座「夏	[休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当			
平成22年8月(2日間)	伊奈町教育委員会	<b>、開放講座「夏</b>	「休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当			
平成23年8月(2日間)	伊奈町教育委員会	<b>、開放講座「夏</b>	「休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当			
平成24年8月(2日間)	伊奈町教育委員会	<b>、開放講座「夏</b>	「休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当			
平成23年8月(1日間)	日本薬科大学主催	崔 「理科教員のか	ための実践教養講座」の企画運営と実施			
平成24年8月(1日間)	日本薬科大学主催	崔 「理科教員のか	ための実践教養講座」の企画運営と実施			
平成25年8月(1日間)	予定  日本薬科大学主催	崔 「理科教員のか	ための実践教養講座」の企画運営と実施			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-60) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧							
大学名 日本薬科大学 講座	名 教養教育センター	職名	講師	氏名 豊田	3 実司		
I 教育活動							
教育実践上の	主な業績		月日		概  要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成2	1年~現在	平成21~23年は「薬学性のための数学基礎講座:中下晃代[著]評言社」で講座を進めたが、楽年回、補尿のプリントを作成し、講義を進めた。数 I ~数終のプリントを作成し、講義とんど説明の時間の一般を表している。その計算のできたができた。である。 できるのでは一個である。 できる できたの できたの できたの できたの できたの できたの できたの できたの			
2 作成した教科書、教材	、参考書			著】	るの数学入学入門:講談社【共 ・ト、及び補習の計算資料		
3 教育方法・教育実践に	関する発表、講演等			なし			
4 その他教育活動上特記	すべき事項 (FDを含む)	平成2	3, 24年度	早期体験引率指導 入試委員会	(2回、4回)		
Ⅱ 研究活動		1		<b>I</b>	,		
著書・論文等の 名 称			≦著 • 著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(著書) わかりやすい薬学系の数学入門			共著	平成23年3月	講談社		
Ⅲ 学会等および社会におけ	Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
	なし						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

	 教育およ	び研究活動の業績一覧
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	職名講師	氏名 田村栄一
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要
1 教育内容・方法の工夫(事業評価等を含む)		
(1) 講義科目·補習(数学入門IⅡ一年次必付)	H21∼H23. 8	
	U02 0 U04	補習は当初3クラス合同から 1・2組担当
	ΠΖ3. 9~ΠZ4	H23後期から習熟度2クラス展開になり、1組担当 補習は、H23後期より、1組担当
(2)数学入門 I Ⅱ	H21. 4~H22. 3	・数学が苦手な学生多数、分かりやすい講義と学習習慣を身に
		付けさせわかる喜びを感じる展開を心がける。
		・講義時間70分の中で15分程度演習時間を確保するよう心がけた。
		・成績評価は小テスト(前2回、後1回)(30)、前定期(70)で評価
	H22. 4∼H23. 3	・薬学専門教科の授業参観(どの程度数学が使われているか)
		一・「薬品分析化学」、「生物薬剤学」等薬学専門科目使用教科書を読み
		数学入門で扱えるところを検討した。 ・「ポイントnew薬学計算」(廣川)、「薬学生のための医療統計学」
		「第一)を研究室に具え読み始めた。
		・青本を学年主任から借り、数学に関連ある部分を読み始めた。
		・成績評価は前後期とも小テスト2回(30)、定期(70)で評価
	H23. 4~H24. 3	・前期各グループ3講座から後期各グループ2講座展開に変更
		・過去2年間の薬学数学の知識をもとに、本学で使用する薬学数学の
		教科書作りを1年かけて、手がける。
		・引き続き専門科目につながる講義の展開に努める。  ・「ラプラス変換」(マセマ)を読み始める。
		・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・
		〇期の講義ででてくる」という言い方を可能な限りした。
		・成績の評価については、前年度と同じ
	H24.4~現在	・昨年出版した「わかりやすい薬学系の数学入門」を教科書として
		数学入門ⅠⅡの講義を開始した。他大学でも採用されている。
		・4年次前期「医療統計」で使われている「薬学統計解析」(廣川)
		│ を読み始める。 │・薬剤師国家試験対策担当の先生とも意見交換、模擬試験問題いただき
		目を通した。意外なところにも数学が役に立つこともわかった。
		・講義用に手持ちプリントを毎回印刷して学生に配布、学生の
		講義メモの負担の軽減に努めた。
		・成績の評価については、前年度と同じ
(3)補習	H21. 4~H22. 3	・第1回講義は3クラス合同で実施、このとき極端に学力の低い学生の
世 担当クラスの年度別補習出席率 前期 後期		存在を知り、当初5月連休明けから予定されていた補習を翌週   から実施することに変更した。
前期 後期 H22 72.9~88.1% 73.9~81.2%		から美施りることに変更した。  ·当初は3クラス合同で実施したが、学生の学力の実態をふまえ1·2組と
H23 62. 7%~98% 66. 9~81. 1%		3組の2講座展開に変更し、1・2組を担当することになった。
H24 79.3~92.3% 78.0%~87.5%		・補習の基本方針は、当日用意されたプリントが正解が出せたら
		終了という方式をとり、1時間を超えて終わらない者は、できる
		まで面倒を見た。
	H22 1~ U22 2	·学生がよく質問ルーム利用した。年間質問を受けた件数約250件  ·前年度は補習の対象者が希望者であったが、全員を対象とする
	1122. 4~1123. 3	・前年度は補首の対象省が布望省であったが、主員を対象とする   ように変更した。
		ように変更した。  ・補習内容も計算カアップと考える力養成の2つの部分にを組み合わ
		せ、参加者全員の到達目標をが計算力アップの部分までとした。
		・講義は最小限に留め、学生の解答を一人ひとり点検し、確かな学力
		の向上を目指した。補習時間が終了しても到達できない学生には
	H02 4404 0	納得に行くまで対応した。   終期から講義が1がまって異問から2屋間に亦事され、は翌十2屋間に
	ΠΖ3. 4 <b>~</b> ΠΖ4. 3	・後期から講義が1グループ3展開から2展開に変更され、補習も2展開に変わり、1組を担当した。
		変わり、「福を担当した。  ・補習内容を「提出(超基本)」「計算力アップ」「思考力養成」3段階に
		分け、全員の到達目標を「計算力アップ」までとし、時間を超えて指導
		・「提出」部分については、解答を付けて返却するとともに、成果の悪い
		学生は呼び出して個別指導した。後期からは、すべての演習問題の
I		解答を配布した。

(4)特別補習 特別補習参加者数 前期 後期 H22 20 H23 20 13 H24 50 ?	H21. 3~H22. 3 H22. 4~H23. 3 H23. 4~H24. 3	・昨学配年習前め、力実力実力を学を学を明確的にた上したのたと問うでは力施療期講がある。補朝問思学の内が内では力を強調をした。本のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	たま、補別の付り応に間のである。 は、補別の日のにのない。 で方法のの付り応に関び、 で方法の方法を関が、 の日のにのくり、 の日のにのくり、 の日のにののは、 の日のにののは、 のののは、 ののののは、 ののののは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののででは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、	でプリントして希望者に 習意欲向上のために、 た。参加学生の約8割が 時らしい解答が多数で る学生が飛躍的に増加 した。 、1日2.5時間程度の補習 補完と演習 、1日2.5時間程度の補習 補完と演習 かの補習を夏季(6日間)、 の補習の補完と演習及びいで解く方法)の講義 かの補習を夏季(5日間)、 の補習を夏季(5日間)、 の補習を夏季(5日間)、 のがあるラプラス変換
2 作成した教科書、教材、参考書	H21~現在	・毎時間ごとに講義こ		
		・毎時間ごとに補習こ	プリントの作成	
		·夏季·冬季特別補習		
			して「わかりやすい薬学	
- W		(共著)を講談社より	り出版、他大学で採用され	れるなど好評
3 教育方法・教育実践に関する発表、 講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌	(巻・号数) 等の名称
	+			
	I	1		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学 講座名	教養教育センター	職名 特命教授	氏名 野澤 直美	<u> </u>		
I 教育活動						
教育実践上の主な勢	<b>美績</b>	年 月 日		概  要		
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成21年~現在	講義。薬学専門科目 る。教材は冊子にま 義はテキストとパワ た、授業は、習熟度 クラスを2組)とし、 ナー)を時間割にもん る。 平成24年度前期の打 で 4.32 (5段階評価 あった。	教育ガイドラインF(4) に関すると高校化学の接続を図っていたとめてテキストとしている。講一ポイントを活用している。まご別授業(上位クラスを1組、下位全員対象とした補習(アップセミ立置づけて実施、効果を上げてい受業評価(評価15項目の平均値)であり、全体平均値以上で		
2 作成した教科書、教材、参	考書	平成21年	薬学演習 I 講義プリ  補習(アップセミナ-			
		平成22·23年 平成24年	薬学演習 I サブノー 基礎から学ぶ化学			
3 教育方法・教育実践に関す	る発表、講演等	平成23年12月6日	講演「危機管理と学 会)	校経営」(埼玉県北部中学校長		
		平成23年12月10日	  講演「高大接続の課	題」(理窓教育会)		
4 その他教育活動上特記すべ	4 その他教育活動上特記すべき事項		基礎科学教育委員会委員長:薬学専門科目と初年次教育の円滑な接続を図るための方策の企画と実施を図る。			
		平成22年~現在	教養教育センター長的な実践と1WGとのi	∶入学前教育、初年次教育の効果 連携を図る。		
		平成22年~現在	1WG:1年生教育活動の	の企画・実行		
		平成22年~現在		等の振興のため埼玉県高等学校 県教育委員会との連携に尽力		
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
(論文) 薬学教育における初年 みと効果の検証	欠教育の取り組	共著	平成24年9月	第5回初年次教育学会誌		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
平成22年5月~現在		長興財団評議員(国立和				
平成21年8月(2日間) 平成22年8月(2日間) 平成23年8月(2日間) 平成23年8月(2日間) 平成24年8月(2日間) 平成23年1月(1日間) 平成23年1月(1日間) 平成24年1月(1日間) 平成25年1月(1日間) 平成25年1月(1日間)予定 中奈町教員委員会 開放講座 「夏休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当 伊奈町教員委員会 開放講座 「夏休み親子理科教室」:実験の企画と講師を担当 日本「薬科大学主催「理科教員のための実践教養講座」の企画運営と実施 日本「薬科大学主催・埼玉県教育委員会後援「理科教員のための実践教養講座」の企画運営						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	職名 講師	氏名 鈴木 幸男			
I 教育活動	-	•			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	平成22年4月~平成22年8月	物理学入門 1年次必修 コアカリF(3)1,2,3に基づき講義した。基本概念、物体の運動、運動の法則、仕事とエネルギーについて基本的項目について講義した。教科書をまとめたプリントを配布し説明した。プリントは学生がただ講義を聴くだけでなく重要事項等を書き込むという作業を通して理解出来るようにした。講義と併せて問題演習のための補習を実施した。習熟度別クラス編成で基礎クラスを担当。			
	平成22年9月~平成22年3月	薬学演習 I B (物理) 1 年次必修コアカリC(2)1,2,3及びF(3)4,6,7に基づき講義した。熱と温度、気体と熱力学の法則、波動、電荷と電流、電磁気についの基礎を講義した。教科書をまとめたプリントを配布し説明した。プリントは物理学入門と同じ工夫をした。講義と合わせ問題演習のための補習を実施した。平成22年度後期の授業評価(評価項目15項目の平均値)は3.84であった。習熟度別クラス編成で基礎クラスを担当。			
	平成23年~現在	物理学入門 I 1年次必修コアカリF(3)1,2,3に基づき講義した。基本概念、運動、力と運動、仕事とエネルギー、科科里動、連続体の力学について講義する。3年との力学について講義するはパリントを配布し、説明には重要時では、10半年を記している。プリントは重要時では、10半年を記している。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。では、10半年を記憶がある。は、10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。10半年を記憶がある。11年次の修りでは、10半年を記憶がある。11年次の修りである。11年次の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の表現の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年のの作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年の作品がある。11年ののでののでののでののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの			
	平成23年~現在	物理学入門 II 1年次必修コアカリF(3)4,5,6,7,8及びC1(1)4及び(2)2,3に関する講義 波動、熱と温度、電荷と電流、電磁気学、光を電磁波、原子物理学、リリーには発生のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で			
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年4月~平成22年8月 平成22年9月~平成23年3月	物理学入門講義プリント 物理学入門補習プリント 薬学演習 I B (物理) 講義プリント			

		薬学演習IB(物理)	補習プリント	
	平成23年~現在	物理学入門 I 講義プ	リント	
		物理学入門 Ι 補習プリント		
	平成23年~現在	物理学入門Ⅱ講義プ	リント	
		物理学入門 Ⅱ 補習プ	リント	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成22年度~現在	OSCE試験で医者役や	患者役を担当 ■	
(FDを含む)				
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	
11 111	六省の別	十万(四届でもり)	(合・方数)寺の石柳	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育およ	び研究活動の業績	漬一覧			
大学名 日本薬科大学 講座名 教養教育センター	職名 講師	氏名 佐藤 文治			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績	年 月 日	概  要			
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)	平成22年度前期	物理学入門(1年次前期必修):コアカリF(3) 1~3に関する講義 基本概念、運動の法則及びエネルギー等につい て論じた。 教科書等をまとめたプリントを配布し、説明に はパワーポイントを活用した。また、随時、説 明の内容を学生がプリントに書き込んでいく方 法を基本的な授業方法とした。			
	立成22年度終期	  薬学演習 I B(物理)(1年次後期必修):コ			
	十风22千及该别	(十年次後期必修): コアカリF(3)4~7に関する講義 波動、レーザー、電荷と電流及び電場と磁場等について論じた。 教科書等をまとめたプリントを配布し、説明にはパワーポイントを活用した。また、随時、説明の内容を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法とした。			
	平成23年度 ~現在	物理学入門 I , II (1年次必修):コアカリF (3)1~8に関する講義 基本概念、力と運動、仕事とエネルギー、周期 運動、連続体の力学、波動、熱と温度、電荷と電流、電磁気学、光と電磁波、原子物理学及び原子核について論じた。 教科書等をまとめたプリントを配布し、説明にはパワーポイントを活用している。また、随時説明の内容を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法としている。			
	平成22年度 ~現在	物理学入門、薬学演習 I B (物理)及び物理学入門 I, IIの補習(1年次):講義の復習や問題演習を行っている。 講義の内容等の演習問題のプリントを配布し、説明にはパワーポイントを活用している。			
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年度前期	物理学入門講義プリント			
		物理学入門演習問題プリント 薬学演習 I B (物理) 講義プリント 薬学演習 I B (物理) 演習問題プリント 物理学入門 I. Ⅱ講義プリント			
	平成23年度 ~現在	物理字入門Ⅰ, Ⅱ講義ノリント  物理学入門Ⅰ. Ⅱ演習問題プリント			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	特になし	700年アハリエ、 単次日间燃ノソノド			
4 この山牧女江科 L 杜司ナジャ市で /FDナム・ハ	亚라OO左Oロ				
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)	平成22年8月 ~現在	弓道同好会の顧問及び監督として学生の指導に   当たっている。			
Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称			
特になし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
特になし					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「ш 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-65) 専任教員の教育および研究活動の業績

	教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 臨床薬学教育センター	職名 講師	氏名 松村 久男	ļ		
I 教育活動						
教育実践	上の主な業績	年 月 日	村	既要		
1 教育内容・方法の	工夫	平成21年~現在	臨床薬学Ⅱ(4年次)			
	(授業評価等を含む)	平成20年~現 在	薬物間および薬物-いて薬物動態学的相 観点から説明をする	(プレ教育) における教育に		
2 作成した教科書、						
	践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上			薬物乱用防止教室(			
	(FDを含む)	平成20年~現在   		(4年制4年次、6年制5年 )病院・薬局へ出向いての訪		
		平成20年~現在	OSCE評価者			
Ⅱ 研究活動						
名	論文等の 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
┃ (論文)トリアゾラム ┃アゾラム0.125mg錠におU	.0.25mg錠の半分割錠とトリーナー ける溶出挙動の違い	共著	2009年12月	Progress in Medicine Vol.29 No12(2009)		
	錠の溶出性に及ぼすpHおよ	共著	2010年4月	Progress in Medicine Vol.30 No4(2010)		
Ⅲ 学会等および社会に	おける主な活動	!		!		
	•					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日	本薬科大学	講座名	物理系薬学分野	職名 講師	氏名 土田 和徳	
[ 教育活	動					
教育実践上の主な業績			業績	年 月 日	概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成18年~現在平成18年~現在	理論化学 II (2年次必修): 物理系薬学コアカリC1(2) に関する講義 化学熱力学について、根本を理解させた。 教科書、参考書をまとめたプリントを配布し、 図表の説明にはパワーポイントを活用している。 講義毎に小テストを課し、また中間テストを4回、模擬試験を1回課して理解の向上をはかった。 上記試験は全て記述式とし、中間テストは70%以上正解出来なかったものは再試験を課した。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)で2.97(5段階評価)であった。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評を得ている。 化学・物理系実習 II (旧物理系実習)(2年次必修):分析化学系C2(2)、物理化学系C1(2)(3)(4)などを			
				平成23年~24年	含む実習 平成24年度後期実習後、実習内容や教員の取り組 み方に関するアンケートを行った結果、概ね 好評を得ている。 生物系実習(2年次必修):	
					機能形態学系C8(1)(3)·C13(1)·C14(1)、生化学系C9(1)(6)(9)などを含む実習 平成24年度後期実習後、実習内容や教員の取り組み方に関するアンケートを行った結果、概ね好評を得ている。	
				平成22年~現在	薬学演習ⅡA、ⅡB(2年次必修): 物理系薬学C1(2)を中心に演習形式で、講義の 復習や問題演習を行っている。	
				平成20年~現在	薬学総合演習 I 、II (4年次・6年次必修) 物理系薬学C1(2)を中心に演習形式で、講義の 復習や問題演習を行っている。	
				平成20年~現在	実務実習プレ教育(4年次必修): リスクマネージメント・チーム医療のスモールグ ループディスカッションのチューターを担当	
2 作成	した教科書、	教材、参	考書	平成18年~現在	理論化学 II 講義プリント 理論化学 II 小テスト・中間試験・模擬試験プリント	
				平成18年~現在	化学・物理系実習Ⅱ実習書 (旧 物理系実習) 化学・物理系実習Ⅱ 配布プリント	
				平成23年~24年平成22年~現在	生物系系実習実習書 生物系実習 レポート用冊子 薬学演習 II A・II B講義プリント	
				平成22年~現在	薬学総合演習Ⅰ・Ⅱ講義プリント	
3 教育	方法・教育実	ミ践に関す	- -る発表、講演等		第9回関東地区調整機構主催実務実習指導薬剤師 養成ワークショップ参加(受講)於·新潟薬大	
4 その	他教育活動上	-特記すべ	き事項(FDを含む)	平成19年~現在 351	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次): 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導	

_		•		_
		平成19年~現在	カリキュラムワーキ ・旧 教学運営委員会	ンググループ(教務委員会・
		教務委員会において	、基礎学力向上·学年歷·時間	
			割・履修規程・単位認	紀定・議事録を担当
		平成24年~現在	教授会運営委員会	
			教授会において、議	事録作成を担当
		平成21年~現在	  4年生ワーキンググ/	ループ(教務委員会)
		平成21年~現在	CBT委員会(旧 CBT運	[営委員会)
		平成24年~現在	0SCE委員会	
		平成20年~21年	入学前学習委員会(	日 教学運営委員会)数学担当
		平成18年~20年	2年生委員会(旧 教皇	学運営委員会)
		平成20年~21年	日本薬科大学0SCEト	·ライアル 評価者(第1回~3回)
		平成21年~現在	日本薬科大学0SCE [	<b>为部評価者</b>
		平成21年	城西国際大学OSCEト	・ライアル 外部評価者
		平成21年	横浜薬科大学OSCEト	·ライアル 外部評価者
		平成21年~現在	横浜薬科大学0SCE 名	外部評価者
Ⅱ 研究活動				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・ 号数)等の名称	
(論文) Radical scavenger can s allyl radicals complexed with l lower oxygen content.		共著	平成18(2006)年4月	Biochem. J. Vol.395, 303-309.
(論文) Intramolecular rearrang linolenate peroxyl radicals in reactions at lower oxygen conte	lipoxygenase	共著	平成19(2007)年4月	J. Lipid Res. Vol.48, 855-862.
(論文) Regulation of S-thiolat nitrosylation in the thiol/nitr by radical scavengers.	共著	平成19(2007)年5月	Nitric Oxide Vol.16, 356-361.	
(論文) Feedback activation of lipoxygenase during leukotriene coexisting linoleic acid.	共著	平成19(2007)年6月	J. Lipid Res. Vol.48, 1371-1377.	
(論文) Trapping of fatty acid a generated in lipoxygenase react biologicalfluids by nitroxyl ra	共著	平成22(2010)年7月	Biomed. Chromatogr. Vol.24, 794-797.	
Ⅲ 学会等および社会における主な	 i活動			
平成20年3月21日	科学新聞 日本薬	 薬学会128年会(ハイ	′ライトポスター)演	題名掲載
平成22年~現在	日本薬学会 物理	化学系教科担当教	員会議委員	

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧					
大学名 日本薬科大学	講座名 臨床薬学教育センター	職名	氏名 河村 剛至		
I 教育活動		!			
教育実践	上の主な業績	年 月 日	概要		
1 教育内容・方法の	)工夫	平成22年~平 成23年	免疫学(3年次必修):免疫学の後半を担当した。コアカリC10(1)および(2)に関する講義。宿主の防御機構、免疫不全症、アレルギー、たる一人の疾病患、移植、免疫疾患を当り、たる。とれて、力が多いのでは、質問に対している解答を対して、質問に対しているがある。対して、対して、対して、対対では、対して、対対では、対して、対対では、対して、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対で		
		平成22年~平 成23年	(5年次)薬学演習の中で日本薬局方通則、容器、試験等の製剤系の演習を担当した。教材プリントおよび授業の進め方については概ね好評であった。		
		平成22年~現 在	(4年次)実務実習事前教育 S701代表的な処方せん例の鑑査、初回面談、S606 服薬指導入門、S507リスクマネージメント入門、S406 特別な配慮を要する医薬品、S411製剤化の基礎、ケミカルハザード回避の基本的手技、S211調剤室業務入門、S306疑義照会入門に関してスモールグループディスカッション、ロールプレイを行った。災害医療、治験、文書作成講座の演習を行った。		
		平成22年~現 在	(4年次)実務実習事前教育 S203 処方せん の基礎の講義		
		平成23年~現在	免疫学 II (3年次必修): コアカリC10(1)および(2)に関する講義.宿主の防御機構、免疫不全症、アレルギー、自己免疫疾患、移着等をまとのクチン等を論じた。教科書、参考書等をおしたプリントを配布している。授業のはでは、質問に対する解答を地ができせてポインに関門に対する解答を進めた。パワーポイン理を表がら進めた。パプリントにつとが受生が考えることができながらにていく方法。教材である。との方については概ね好評を得ている。		
		平成23年~現 在	(6年次)実務実習ポスト教育 各症例に関してスモールグループデイスカッションを行った。		
		平成23年	(2年次)薬学総合実習(PBL)ワークショップ形式でスモールグループディスカッションと発表を行った。大学生活を充実させるためにはという題でKJ法、2次元展開により問題解決能力、コミュニケーション力を養成を行った。		
		平成23年	(5年次)薬学総合実習 呼吸器疾患 (COPD, 市中肺炎、間質性肺炎、肺結核など) に関して講義プリントと問題演習を用いて実施した。		
		平成24年~現在	(6年次)薬学総合演習 疑義照会に関する演 習・講義を行った。		

_			
2 作成した教科書、教材、参考書	平成22年~平 成23年	免疫学講義プリント	•
	平成22年~平 成23年	日本薬局方演習プリ	ント
		免疫不全症プリント	
	平成22年~現	処方せんの基礎講義	<b>ミプリント</b>
	车 平成22年~現在		·ト実務実習事前教育スモー
	平成23年	ルグループデイスカ 呼吸器疾患講義プリ	
		吁吸品疾忠調報フリ  免疫学Ⅱ講義プリン	
		処方せん解析演習フ	·
		疑義照会演習プリン	•
	平成24年3月		<u>'</u> 影響を与える実務実習の要因
5 教育方法 教育天践に関する元教、時候寺	十7次27年0万	好析: 日本薬学会第	
	平成24年3月	実務実習事前教育に	こおける受講学生の経時的意
		識調査. 日本薬学会	
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成22年~現 在	実務実習訪問指導: 出向いての訪問指導	実務実習先の病院・薬局へ
(FDを含む)		実務実習事前訪問指 局へ出向いての訪問	諸導:実務実習先の病院・薬 引指導
	平成22年~平 成23年	就職委員会	
	平成22年~現 在	0SCE委員会	
	平成22年~現 在	ハラスメント委員会	
	平成22年~現 在	のエントリー、実習 報告書、成果発表会	年次〜6年次)実務実習施設 計書作成、施設契約から成果 は、評価に至るまで、学生、 調整機構とのやり取りな 行った。
	平成22年~現 在		大学での講義や訓練だけで 大木一ム見学などを行い、 行った。
	平成23年~平 成24年	入試広報委員会	
	平成23年~平 成24年		「ループ:演習を組んで定期 学生の習熟度の向上に取り
		組んだ。	
Ⅱ 研究活動		Ī	1
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
(論文) Control of ER stress by a chemical chaperone counteracts apoptotic signals in IFN-gamma-treated murine hepatocytes.	共著	平成21 (2009) 年	Apoptosis 2009; 14(3):309-19
(論文) これからの薬学の発展について思うこと- 基礎と臨床の連携-	単著	平成22(2010)年	埼玉県薬剤師会雑誌37(3) 2010: 20-22
(論文) Toll-like receptor 4-dependent adjuvant activity of Kakkon-to extract exists in the high molecular weight polysaccharide	共著	平成23(2011)年	Int J Immunopathol Pharmacol., 2011;24 (1):43-54
(論文) The Application of Proteomics to PK-PD Modeling and Simulation.	共著	平成23(2011)年	J Bioequiv Availab 2011; (S2-002)

Ⅲ 学会等および社会における主な活動				
平成17年~現在	日本薬学会会員			
平成22年9月	Sp養成要請講習会/講師「免疫のしくみ(1)」			
平成23年9月	Sp養成要請講習会/講師「免疫のしくみ(2)」			
平成23年11月	宮前中学校薬剤師体験・実技指導 (中学生対象)			
平成23年11月	一日薬剤師体験教室(埼玉県保健医療部薬務課主催) · 実技指導			
平成23年~現在	埼玉緩和薬物療法研修会 世話人			
平成23年~現在	補体研究会会員			
平成24年1月	子ども大学「あげお・いな・おけがわ」 (薬剤師の職業体験(小学生対象)) ・実 技指導			

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

学名	3 日本薬科大学	講座名	臨床薬学教育センター	職名 講師	氏名 佐 古 兼 一
	 汝育活動	<u>I</u>			
		上の主	 な業績	年 月 日	概要
1	教育内容・方法の	の工夫(	授業評価等を含	平成21年~現在	生物薬剤学 II (3年次必修) : 全15回の後半9回を 当コアカリC13(5)に関する講義。薬物動態の解 について論じた。教科書,参考書等をまとめた リントを配布し,図表等の説明にはパワーポイトを活用している。
				平成23年~現在	医療統計学(3年次必修):コアカリC17(5)に関る講義。医薬の領域で多用されるbiostatisticのいて論じた。教科書、参考書等をまとめたプントを配布し、図表等の説明にはパワーポインを活用している。
				平成23年~現在	臨床薬物動態学(5年次選択):コアカリC13(5よびC15(3)に関する内容に触れながら、臨床薬学における薬物動態学の重要性を理解できるよ概説した。
				平成19年~20年	薬剤学実習(基幹実習):生物薬剤学の薬物速度の項目を担当。コンパートメントモデルの理解深められるよう、実験系および実験系から得らたデータをPCにより解析した。
				平成22年~現在	実務系実習(基幹実習):調剤、鑑査、服薬指導薬剤師業務全般に関する項目を担当。
				平成19年~20年	医療薬学実習(医療薬学科のみ): TDMの項目を 当。臨床の現場で実際どのようにTDMが行われて るのかを解説し、症例を提示してPCによる投与 計を行った。
				平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ (4年~6年次):薬剤系おび実務系を中心に演習形式で、講義の復習や問演習を行っている。
				平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ(4年~6年次):薬剤系おび実務系を中心に演習形式で、講義の復習や問演習を行っている。
				平成23年~現在	実務実習ポスト教育(6年次):実務実習を通してんだ経験を基にさらに現場で活かせる知識・技へ集約させる実習。演習形式で薬物投与設計の際に関して担当。
2	作成した教科書、	教材、	参考書	平成21年~現在	生物薬剤学Ⅱ(3年次)講義・演習問題プリント
				平成20年~現在	薬剤学、実務・薬学総合演習(4~6年次)プリント)
				平成23年~現在	医療統計学(4年次)講義・演習問題プリント
				平成23年~現在	臨床薬物動態学(6年次)講義・演習問題プリン I
				平成22年4月	做底解説薬物動態の数学―微積分と対数,非線用 廣川書店(共著)
3	教育方法・教育等	実践に関	する発表、講演等	平成23年11月19日 ~20日	埼玉県認定実務実習指導薬剤師養成ワークショプ(タスクフォース)
4	その他教育活動。	上特記す	べき事項(FDを含む	平成19年~現在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年次) 実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導
				平成22年~現在	情報システム委員会委員
				平成22年~現在	プレ教育委員会委員(臨床薬学教育センター内)

著書·論文等 <i>0</i> 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	
(論文) The Application of Pr PD Modeling and Simulation.	共著	平成23(2011)年9月	J Bioequiv Availab, 2011, S1 ,http://dx.doi.org/10.4172/ jbb.S2-002	
(学会) 肺炎患者におけるアミス 物動態解析	カシンの母集団薬	共著	平成23(2011)年6月	TDM 研究,28(3),148
(総説)医療機関と大学の連携るとしてのTDM を通して∹前編〉	(総説)医療機関と大学の連携とは−診療支援業務としてのTDM を通して−<前編>		平成22(2010)年9月	埼玉県薬剤師会雑誌, 36(9),16-17, 2010
(総説)医療機関と大学の連携るとしてのTDM を通して一〈後編〉	(総説)医療機関と大学の連携とは−診療支援業務 としてのTDM を通して−<後編>		平成22(2010)年10月	埼玉県薬剤師会雑 誌, 36(10), 12-14, 2010
(著書)徹底解説薬物動態の数学 ―微積分と対数、非線形		共著	平成22(2010)年4月	廣川書店
Ⅲ 学会等および社会における				
平成22年4月~現在 上尾市医師会平日		<b>夜間診療所当番</b>		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学	講座名 薬品創製化学分野	職名	講師	氏名 古賀	和隆			
I 教育活動								
教育実践	上の主な業績	年	月日	概	要			
1 教育内容・方法のむ)	の工夫(授業評価等を含	年 3月 および2 平3月	௺ 1年4月~24	づえ質教成ワた込23た概理び化とど講こて成 け、等科し一。ん年9(教好学に 理物い参れン随く別階リー をイたい後段が評学に本酸て学内書 が、じ等引いと、とうがはの が、とうがは、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	関品 では、 このでは、 こので			
		平成2 在		あい 有(2) (3) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(2)に含まれる内とのに含まれる内とのに含まれる内とのに含まれる内とのになりまたなりで利要でではないで、一次では一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では			
		平成1 在		のうち有機薬化学分を抗 C5(1)(2)、C6(2)および 平成24年度前期実習後、				
		平成1	9年~現在		年~6年次): 化学系 、C5(1)(2)およびC6(1)(2) 構義の復習や問題演習を			
		平成2	1年~現在					

	在	見 薬学演習 II B (2年次) : 化学系C4(1)(2)(3)( よびC5(1)(2)を中心に演習形式で、講義の復 問題演習を行っている。				
	平成21年~現在	実務実習事前教育 ( について分担担当。	(プレ教育):4年次のプレ教育			
2 作成した教科書、教材、参考書	年 3月 および 平成21年4月~24	医薬品化学 I、Ⅱ (旧 医薬品化学) 講義プリント、演習問題プリント 化学・物理系実習 I (旧 化学系実習)				
		実習書、レポート用 化学関連・演習プリ				
	平成24年~現在	化学関連・演習プリ	ント (2年~3年次)			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	平成21年9月20日 ~21日	第8回埼玉県認定実 ショップ参加(受講	務実習指導薬剤師養成ワーク ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む			4年制4年次、6年制5年次): 薬局へ出向いての訪問指導			
	平成21年4月~22 年3月	自己点検・評価委員会およびワーキンググループ:大学全体の点検・評価と改善計画に参画しいる。				
	平成21年12月6日 平成22年12月5日 平成23年12月4日	OSCE本試験評価者(学内評価者:日本薬科大学				
	平成21年8月4日 平成22年8月24, 25 日	CBT体験試験補助監督者(日本薬科大学)				
	平成22年1月29日 平成23年1月18,19 日					
	平成21年4月~23 年3月	学生実習委員会				
	平成21年4月~23 年3月	4年ワーキンググル-	ープ(教務委員会)			
	平成23年4月~24 年3月	5~6年ワーキンググ	・ループ (教務委員会)			
Ⅱ 研究活動						
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) The first topologically controlled synthesis of doubly bridged β-cyclodextrin dimers	共著	平成19(2007)年	Chemical Communications, 828-830			
(論文) Selective modification of β- cyclodextrin: an unexpected tandem reaction enables the cross-linking of C2A and C2B via a sulfur atom	共著	平成19 (2007) 年	Chemical Communications, 3157-3159			
(論文) Selective synthesis and ester cleavage property of 3A, 2B-anhydro-3B-deoxy- 3B-thio-	共著	平成19(2007)年	Tetrahedron Letters, 48 (42), 7493-7497			
(論文) Synthesis of Ammonia through Direct Chemical Reactions between an Atmospheric Nitrogen Plasma Jet and a Liquid	共著	平成22 (2010) 年	Plasma and Fusion Research, 5, 042			
(論文) Synthesis and binding behaviors of monomethyl cucurbit[6]uril	共著	平成23(2011)年	Tetrahedron Letters, 52, 4646–4649			

Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
平成22年8月7,8日 平成23年8月6,7日 平成24年8月4,5日	伊奈町学校開放講座「夏休み親子理科教室」					
平成23年1月15日 平成24年1月14日	理科教員のための実践教養講座 H22年度「機器分析の実際(IR・NMR)」 H23年度 実習②「核磁気共鳴スペクトルの利用」					
平成23年12月3日	伊奈町学校開放講座「生活(くらし)にかかわる糖のはなし」					
平成24年2月25日	平成23年度 子ども大学 あげお・いな・おけがわ(聖学院大学、上尾市・伊奈町・桶川市教育委員会共催) 実習「オリジナルのハンドソープをつくろう」					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-70) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学 講座名 濱	職名	講師	氏名	糸数七重				
I 教育活動	•							
教育実践上の主な業	績	年	月日		₹	既要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			1年~現在	担当U	し、修治による 生薬に特徴的な	漢方薬理学に関する実習を 生薬の生理活性の変化等、 な薬理作用についての実習を		
		平成22	2年~現在	自のこ みなり した際	プリントをまと らず、使用方法 祭に薬剤師とし	新教科書、参考書等から独 はめ、一般用医薬品の薬理の はや実際に店頭に顧客が来店 いて取るべきコミュニケー がに関しての講義を行なう。		
		平成23	3年~現在	療学和おして	斗)担当。教科 て独自のプリン ち)の概念の初	年次および3年次の健康・医  書および参考書をまとめないトを作成し、東洋医学(特別学者が新しい概念に馴染みいて講義を行なった。		
2 作成した教科書、教材、参考	書	平成2	2年	一般月	用医薬品学プリ	<b>リント</b>		
		平成23	3年	東洋區	東洋医薬学概論プリント			
3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等			特にな	特になし			
4 その他教育活動上特記すべき		平成22 在	2年~現		: 実務実習先の	(4年制4年次、6年制5年 )病院・薬局へ出向いての訪		
Ⅱ 研究活動								
著書・論文等の 名 称			道著・ 著の別		または発表の (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称		
よくわかる漢方処方の服薬指導			共著	平成2	2年4月	秀和システム		
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動							
平成21年9月~現在	員							
4 その他教育活動上特記すべき  I 研究活動  著書・論文等の名  なくわかる漢方処方の服薬指導  II 学会等および社会における主な	宇項 (FDを含む)	在 単 共	í著・ 著の別	実務等次)問指導発行	実習訪問指導 : 実務実習先の 算 :または発表の (西暦でも可)	)病院・薬局へ出向いての 発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧										
大学名	日本薬科大学	講座名	臨床薬学教育センタ-	職名	講師	E	氏名 齋藤	博		
I 教育	 育活動					<u> </u>				
	教育実践	上の主な	業績	年	月日	3		根	<del>T</del>	要
1 孝	1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		平成1	8年~2	二季し重打英支に単し登し付	こををさせてどいない、物に語単つ年で料る酸ア関を語いで簡プ授性レす受、てあ単り業雨ルるけ特プるにン評	2)す、ギ内入にリこ既ト価以にる糖一容れ科ンと説を(上関英尿、のや学トもす作評です文病イ英す英を鑑る成価あ	るをのン文い語作みたし15り講読検フによに製てめ配項、義解査ルつう独しそに布目薬	す機工いに特配れ、しの学る、かなじ中を行って、 ちょう と、 ない で で で で で で で で で で で で で で で で で で	
				平成1	8年~1	C 役 可 B で E と と と と と と と と と と と と と と と と と と	頁目4項目を 関する知識 けるための 習を実施し E物に関す	)内容を含習が 注担の実 を担っけを はた。 はた。 で で で で で で で で で で で で で で で で り で り	さり 東国 東国 東国 東国 東国 東国 東国 東国 東国 東国	
				平成1	8年~2	· C 俗物 気管 &	物を用いた ピする方法 育した。当	の本 内 の 基 り を り と り と り と り と り と り と り と り と り と	含習やい実安とましれ知すに	•
				平成1	8年~2	二支記行しなけっ間とる	丘娥云ハなさへ間出る年を子つど補の題題授急学工つに助モを内業に理、遺いリベ介で価	(2) 進解生伝てンーしあ(2) 歩す化子講トシ、る評おしる学治じをョるこ価よてこ、療た作ンジと15	<b>バいと細、。成向のを項6)るを胞ゲ学し上知示目な遺目生ノ生たの証しの</b>	ど伝的物ムの。一環では は は は は は は は は は は は は は は は は は は
				平成2	0年~2	21年 C 卵 直 配 配	数生物学実 8(4)などの 病原性微生 するため りとして実	習(3年次) 内容を会 物知を安 の別を担 を担当し	必修) 含む取り た取析 た。ま た。ま	: 扱い、かつ確実に滅 身につけることを目 実習項目に関する実 た、学生が安全に実
				平成:	20年~	C = 1:	12(2)に含 マ担当し	まれる到 た。生態 る影響な	達目標 系にお どにつ	必修):コアカリ (SBOs)に関して2〜3 ける遺伝子組み換え いてまとめた講義プ った。

平成21年~24年基幹実習(健康薬学)(3年次必修):

生物系 C9(3)およびC10(2)、衛生系

C11(1)(2)(3)などを含む実習

抗原抗体反応(ELISA法)に関する講義・実習を 担当。

### 平成21年~現在衛生系実習 I (3年次必修)

C8(4)などの内容を含む実習

病原性微生物を安全に取り扱い、かつ確実に滅 菌するための知識、技術を身につけることを目 的として実習を行っている。全実習項目に関す る実習書の作成を担当している。また、学生が 安全に実習を行えるように実習運営を行ってい る。平成22年より実習を履修している全学生の 承諾を得て、健常人ボランティアにおける薬剤 耐性菌の分布について検討を行い報告し、早期 に実習を通じて研究教育に触れられるよう工夫 を行っている。

平成21年~現在 ゲノム科学 I (4年次必修)

コアカリ09(2)および(6)などに関する講義 医療薬学科の基幹科目であったゲノム科学を全 学科対象にしゲノム科学 I とゲノム科学 II に2分 して開講された。ゲノム科学 I は主としてゲノ ム科学の内容を引きついでいる。ゲノム科学同 様、学生の理解を深めるために補助プリントを 作成した。また、学生の講義へのモチベーショ ン向上の一環として国家試験問題を紹介し、3年 次の知識で十分に対応できる出題内容であるこ とを示した。毎年実施している授業評価(評価 15項目の平均値) は毎年全体の平均値以上であ り概ね好評を得ている。

### 平成21年~23年 PBL実習(2年次必修)

問題解決能力などを培う参加型の実習として実 施。学生に対して資料の調べ方、プレゼンテー ション資料の作成方法、ならびにプレゼンテー ション方法などについて教育した。

平成22年~現在 薬学英語入門 I(2年次必修):

コアカリF(2)に関する講義

薬学に関係する英文を読解することを目的と し、紫外線、食物アレルギー、インフルエンザ 治療薬など薬学に密接に関する内容の英文につ いて講じている。学生が英語を受け入れやすい ように英文中に出てくる英単語、特に科学英語 に独特の訳をつける単語についてプリントを作 製し配布した。更には低学年であることも鑑み てそれぞれのテーマについて簡単に概説するた めに、日本語で作成した資料プリントを作成し 配布した。毎年実施している授業評価(評価15 項目の平均値)は毎年全体の平均値以上であ り、薬学英語教育の導入科目として概ね好評を 得ている。

平成22年~現在|薬学英語入門Ⅱ(2年次必修): コアカリF(2)に関する講義

> 薬学に関係する英文を読解することを目的と し、鳥インフルエンザ、ダイオキシン類など薬 学に密接に関する内容の英文について講じてい る。学生が英語を受け入れやすいように英文中 に出てくる英単語、特に科学英語に独特の訳を つける単語についてプリントを作製し配布し た。更には低学年であることも鑑みてそれぞれ のテーマについて簡単に概説するために、日本 語で作成した資料プリントを作成し配布した。 毎年実施している授業評価(評価15項目の平均 値) は毎年全体の平均値以上であり、薬学英語

教育の導入科目として概ね好評を得ている。

		実務実習プレ教育(4年次必修): 実務コアカリ I 〜皿に関する講義ならびに実習調剤、薬剤学に関する実習ならびに外部講師による講義により構成される教育であり、5年次における外部実習を安全に実施することを目的とした実習。初回面談の方法、疑義照会、軟膏調剤などの指導にあたり、また学生が書いたレポートを添削するなどの指導も行っている。
		実務系実習(4年次必修): 実務コアカリI〜皿に関する講義ならびに実習主として調剤技術、患者対応を身につけるための実習であり、直前に控えた外部実習(5年生)へ向けての最終調整を行うことを目的とする実習。初回面談、ベッドサイドにおける患者対応、注射薬の調製などに関する指導を担当している。
		実務実習ポスト教育(4年次必修): 実務コアカリI〜皿に関する講義ならびに実習5年次に行った外部実習を踏まえて、症例検討、バイタルサインのチェックなどについての知識、技能を修得する目的で実施する。ポスト教育の一部分を担当しており、実習計画立案、当該実習実施時の運営などを行っている。
2 作成した教科書、教材、参考書		薬学英語入門、薬学英語入門Ⅰ、薬学英語入門 Ⅱ講義プリント
	平成18年~現 在	ゲノム科学、ゲノム科学 I 講義プリント
	在	衛生化学実習、微生物学実習、衛生系実習 I 実習書ならびにレポート用冊子
	在	健康薬学実習I、基幹実習(健康薬学)実習書ならびにレポート用冊子
	年	生態学講義プリント
	平成24年~現 在	ゲノム科学 I 講義ノート (2012年版)
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	日~2日	実務実習ポスト教育におけるフィジカルアセス メント実習の実施とその評価(第21回日本医療 薬学会年会)
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む)		学生部長補佐:学生部・学生委員会において学生生活(学習、生活習慣、課外活動など)支援 担当
		防災安全委員会:危険物保安監督者として学内 の危険物の総量を管理している。危険物に関す る管理方法に関して定期的に全教職員に説明を 行っている。
		感染性廃棄物、一般有機、塩素系、重金属、酸 塩基廃液の回収廃棄を行っている。また年1度、 感染性廃棄物、産業廃棄物、有害廃液の処理工 場を視察し、本学から排出されている廃棄物等 が正しく廃棄されているかを確認している。
		入試事務局:オープンキャンパス運営、入試日 程調整など入試業務全般に関する業務を行って いる。平成23年度より入試関連情報のデータ ベース管理担当。
	在	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪 問指導
	平成20年~21年	入試事務局長補佐:入試業務全般において円滑 に業務が遂行されるように補助を行った。
		卒業延期生教育:卒業試験で合格とならなかった学生の指導にあたり、当該年度該当者全員を 卒業できる実力となるまでサポートした。

		平成20年~21年		臨床教育を担当するため、 て薬剤師として1年間の研修				
		平成20年~現在	NR委員会:NR養成講座担当					
	平成21年~現在	日本薬科大学同窓会代表:日本薬科大学同窓会 を発足させ、現在は同窓会会長を補佐し、年1回 の同窓会の企画運営を補助している。						
		平成22年~現在	実務実習委員会					
		平成22年~現在	実務実習プレ教育委	員会				
		平成22年~現在	実務実習ポスト教育	委員会				
		平成22年~現在	教授会運営:毎月行 を担当。	われる教授会の議事録作成				
			OSCE委員会:無菌調 OSCE委員会に参加。	剤の項目の責任者として				
		平成22年~現在	特定化学物質管理					
		平成23年~現在	4年生ワーキンググループ					
Ⅱ 研究活動								
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 年寿(西暦でも可) (巻・号数)等の名					
(論文) エノキタケ抽出物含有脂肪学的利用能: ラットおよびヒトでに血清中の安定性の検討		共著	2010年9月	応用薬理,81,(1/2)5-10 (2011)				
(論文) エノキタケ抽出物含有脂肪学的利用能(第3報) —ヒトでの吸動態の検討—		共著	2011年8月	応用薬理,79,49-54 (2010)				
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動							
平成18年4月~平成22年3月	薬剤師国家試験問題検討委員会委員(衛生)							
平成23年11月	指導薬剤師養成ワークショップ(明治薬科大学)							
平成24年11月	指導薬剤師養成ワークショップ(日本薬科大学)							
平成24年3月~現在	埼玉県病院薬剤師	師会生涯研修センター実施委員						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大学名 日本薬科大学	講座名 物理系薬学分野	職名	講師	氏名	高城	徳子		
I 教育活動				Į.				
教育実践	上の主な業績	年	月日			相	旡	 要
1 教育内容・方法の			コア 指数ど など せた。	I のみ を カリF ( 関数、対 を 教科 も ルント	を担当 6) に関 対数関の まを用い な事で りな配布	す、微分 て説り なた。	構義 分、積分、微分方程式 明を行い、問題を解か び問題の不足を補うた	
				配布 学生/ く方 年度 3.86	し、パワ よ随時報 去を基本 後期の搭 (5段階	フーポイ 捕足説明 ド的な授 受業評価 評価)で	ントで を ま で ま で あ で あ で あ っ で あ っ で っ の っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ	
		平成18	3年~現	実習)	物理系	系C1 (2) (	(3) (4)	次必修)(旧 物理系 などを含む実習
		平成18	3年~20	基礎 年 実習	薬学実習 各種体	留(1年) 本積計や	欠必修 天秤0	ら)物理系C1(1)を含む の基本操作などを行う
		平成22	2年~24	C10(2 平成2 組み2	2)、衛生 24年度前 方等に関	生系C11( 前期実習 員する評	1)(2) 後、 価アン	生物系C9(3)および (3)などを含む実習 実習内容や教員の取り ンケートの結果、概ね
				在 薬学( C1(1) 復習	総合演習 および や問題選	C3 (2) を 寅習を行	(4年 中心に ってし	
 2 作成した教科書、	<b>数</b>			在実務等				<sup>図頁)</sup> ント、問題プリント
	状物、がち目		年~現	在物理	系・演習	冒プリン	<b>ト</b> (2	マー、同盛フリント 2年次〜6年次) 学入門、講談社(共著)
3 教育方法・教育実	選問する発表、講演等	平成21 日~41	年5月3 日			認定実利		指導薬剤師養成ワーク
4 その他教育活動上	特記すべき事項(FDを含む)			の病	院・薬馬	島に出向	いての	の訪問指導
								》(教務委員会) * (領域1.患者.並是
				在 USUE 者応 年 図書	対)	・ノョノ	貝甘	者(領域1:患者・来局
		平成23				<b>首委員会</b>	物モ	<b>埋系</b>
			-					プ(教務委員会)
	・論文等の 称		著・ 著の別		iまたは (西暦で			発行所、発表雑誌 巻・号数)等の名称
	venger can scavenge lipid ked with lipoxygenase at		共著	平成1	8 (2006	)年4月	Bioch	
	lar rearrangement of dicals in lipoxygenase ygen content.	į	共著	平成1	9 (2007	)年4月		oid. Res., 48, 855-862
	of S-thiolation and S- thiol/nitric oxide system	Ė	共著	平成1	9 (2007	)年5月		ic oxide, 16, 356-361

(論文) Trapping of fatty acid a radicals generated in lipoxygenase in biological fluids by nitroxyl r	reactions		Biomed Chromatogr., vol.24, 794-797
(論文) Nitric oxide converts fa alkoxyl radicals into fatty acid a radicals.	•	平成22(2011)年12月	Arch. Biochem. Biophys., vol. 516, 154-159
Ⅲ 学会等および社会における主な活	動		

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-73) 専任教員の教育および研究活動の業績

	————— 教育お	よび研	究活動の業				
大学名 日本薬科大学 講座名 日	職名	講師	氏名 土肥 弘久				
I 教育活動	教育センター	ļ		ļ			
教育実践上の主な業	<b>美</b> 績	年	月日		概	要	
1 教育内容・方法の工夫				コアカリC15(2)にほのでありに15(2)にのできます。 でのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	整剤学Ⅱ(4年次必須) ロアカリC15(2)に関する講義 整物治療に必要な患者情報を理解し、POS(問題志 可型システム)の考え方に基づいた患者情報の入手 5法と記録の残し方、ならびに患者情報の取り扱い 5について講義した。教科書、参考書等を基に板書 こて講義を行っている。必要に応じプリントの配 「、図表等の説明にはパワーポイントを活用してい 「、図表等の説明にはパワーポイントを活用してい 「、で3.88(5段階評価)であり、全体としては平 質的であった。教材プリントおよび授業の進め方に のいては概ね好評を得ている。		
2 作成した教科書、教材、参え	<b>芳書</b>	平成24	4年~現在	薬剤学Ⅱ講義プリン	٢		
3 教育方法・教育実践に関する	る発表、講演等	平成2 <sup>-</sup> 5月3日	1年 1~4日	第7回埼玉県認定実 ショップ参加 (受講)	务実習指導	<b>真薬剤師養成ワーク</b>	
		平成22 1月10	2年 日~11日	第9回埼玉県薬剤師会認定実務実習指導薬剤師養成 ワークショップ参加 (タスクフォース)			
				平成24年度第14回関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (受講)			
		平成24年 11月3日~4日		平成24年度第15回関東地区調整機構主催 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ参加 (タスクフォース)			
4 その他教育活動上特記すべる	き事項	平成24	4年~現在	実務実習訪問指導( 病院・薬局へ出向い	ての訪問	指導	
		平成24		将来計画委員会:薬 改編案作成に参画し		F制)のカリキュラム	
		平成24	4年~現在	FD委員会教員研修ワ	ーキング	グループ	
		平成24	4年~現在	OSCE委員会			
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称			単著 • 著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、	発表雑誌 (巻・号 数)等の名称	
(論文) Chiral Ligand-Controlled Asymmetric Conjugate Amination of Enoates with Lithium Mesitylmethyl(trimethylsilyl)amide.			共著	平成18 (2006) 年8月	Tetrahe 62, 835		
(著書) The Application of Proteomics to PK-PD Modeling and Simulation.			共著	平成23(2011)年9月	J. Bioed S2-002.	qiv. Availab.	
Ⅲ 学会等および社会における主な	は活動	-			-		
平成24年~現在	埼玉県薬剤師会実	<b>養務実習</b>	图委員会委員				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

教育および研究活動の業績一覧								
大		講座名	薬品創製化学分野	職名	講師	氏名 高山博之		
Ι	教育活動					1		
	教育実践	上の主な	業績	年	月日	概  要		
	1 教育内容・方法 <i>0</i>	D工夫(拼	受業評価等を含む)	平成2	1年~22年	理論化学 I (1年次必修): コアカリC1(3) および(4) に関する講義 化学反応と平衡、酸と塩基、物質の状態と相転 移、溶液などについて論じた。 教科書,参考書等をまとめたプリントを配布 し,説明にはパワーポイントを活用している。 また随時,補足説明を学生がプリントに書き込んでいく方法を基本的な授業方法としている。 平成21年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)は健康・漢方クラス4.20,医療クラス4.04 (5段階評価)である。 平成22年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)はAクラス4.13, Bクラス4.51(5段階評価)である。		
				平成2	3年~現在	王 有機薬化学 I A(1年次必修) : コアカリC4(1) および(2) に関する講義 化学結合の仕組み、有機化合物の構造、酸、塩基の概念などについて論じた。習熟度により、上位を1組、下位を2組としてクラス編成を行い23年度は2組、24年度は1組を担当した。 講義方法は、前述の理論化学 I と同様に行った。 平成23年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)はAクラス4.23、Bクラス4.29(5段階評価)である。 平成24年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)はAクラス4.29、Bクラス4.33(5段階評価)である。		
				平成2	3年~現在	王 有機薬化学 I B (1年次必修) : コアカリC4(2) および(3) に関する講義アルケンの付加反応、立体化学、ハロゲン化アルキルなどについて論じた。習熟度により、上位を1組、下位を2組としてクラス編成を行い23年度、24年度ともに1組を担当した。講義方法は、前述の理論化学 I と同様に行った。平成23年度前期の授業評価(評価15項目の平均値)はAクラス4.21、Bクラス4.21(5段階評価)である。		
				平成1	8年~現在	E 化学・物理系実習 I (旧 化学系実習): 化学系 C4(3)、C5(1)およびC5(2)などを含む実習		
				平成1	8年~現在	王 基礎薬学実習(旧 基礎化学実習): 化学系 C2(2)、C4(3)およびC5(2)などを含む実習		
				平成2	1年~現在	E 薬学総合演習 I 、Ⅱ (4年~6年次) : 化学系 C4(1)およびC4(2)(3)を中心に演習形式で、講義 の復習や問題演習を行っている。		
				平成2	2年~現在	E 薬学演習ⅡA (2年次必修) 平成22年度は理論化学、平成23年度からは有機 化学の演習を4×2コマ担当		
				平成2	2年~現在	王 実務実習事前教育(プレ教育) 特別な配慮を要する医薬品、疑義照会の意義と 根拠など。		
	2 作成した教科書、	教材、参	参考書			F 理論化学 Ⅰ 講義プリント		
						王 有機薬化学 I A講義プリント		
						王有機薬化学 I B講義プリント		
						王薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ演習プリント 五薬労済羽 πΑ済羽プリント		
				平成2  369		E 薬学演習ⅡA演習プリント		

3 教育方法・教育実践に関する	発表、講演等		第6回埼玉県認定実務 ショップ参加(受講	務実習指導薬剤師養成ワーク			
4 その他教育活動上特記すべき	事項	平成21年~現在					
(FDを含む) <sup>3</sup>		平成21年~23年	1年ワーキンググループ(教務委員会)				
		平成22年~現在	実務実習訪問指導 ( の病院・薬局へ出向	(6年制5年次) : 実務実習先  いての訪問指導			
		平成22年~現在	防災安全委員会				
		平成23年~現在	中央機器委員会				
		平成24年~現在	5~6年ワーキンググ	「ループ(教務委員会)			
Ⅱ 研究活動							
著書・論文等の 名 称		単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称			
(論文) Cyclization-Carbonylati Coupling Reactions of Propargyl Amides with Palladium(II)-Bisox Catalysts.	Acetates and	共著	2011	Angewandte Chemie, International Edition. 50, 3912-3915			
(論文) New investigation of Vi reaction using pyrazolones with	• •	共著	2011 Tetrahedron Letters 3786–3792				
(論文) One-pot synthesis and antiproliferative evaluation of d]pyrimidine derivatives.	pyrazolo[3,4-	共著	2012	<i>Tetrahedron</i> . 68 9658- 9664			
(論文)Cyclization-carbonylati coupling reaction of propargyl palladium(II)-bisoxazoline cata	ureas with	共著	2012	<i>Molecules.</i> 17 9220-9230			
(論文)Palladium-catalyzed deh 5-halopyrazoles.	alogenation of	共著	2012	Journal of Heterocyclic Chemistry. 183-189			
Ⅲ 学会等および社会における主な	活動						
平成22年10月13日~15日	公害防止主任者資	<b>資格認定講習</b> 大	気 大気公害防止主	任者資格取得			
平成22年10月20日~22日	公害防止主任者資	<b>資格認定講習</b> 水	質 水質公害防止主	任者資格取得			
平成23年1月19日	理科教員のための	実践教養講座	I R実技				

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

大学名 日本薬科大学 講座名 物理系薬学分野			職名	助教	氏名 久保	 氏名 久保 光志			
I 教育活動			ļ		<u> </u>				
教育実践上の主な業績			年	月日		相	要 要		
1 教育内容・方法の工夫			平成18	3年~現在	実務実習事	前教育:	計量調剤		
	(授業評値	<b>西等を含む</b> )	平成22 成23年 平成18 成21年	2年~平 E 3年~平 E	E 化学・物理: およびF(4)3 化学・物理系 どを含む実習 基礎化学実 習 E 基礎薬学実	3-1などる 実習 I: 習 習:物理	を含む実習 化学系 C7 系 C1(1):	7(1)およびC7 3-5などを含	((2)な atむ実
					習 なし				
2 作成した教行音、	我们、多年	7 <b>=</b>			/4 C				
3 教育方法・教育実	践に関する	, 発表、講演等	平成20 日~21		第2回認定実 プin 栃木			養成ワーク	ショッ
4 その他教育活動上	:特記すべき	宇項 (FDを含む)	平成21 成平成22 17 平成22 平在 成20 平在 成21 8月 成23	年~平 3年12月 3年2月 3年~現 3年~現 4年3月~	OCSE評価者 OCSE評価者 OCSE評価者 中央機器運 早期体験学 教務委員会 DNA組換安全 防災安全委員	(横田 学 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	科大学)		
Ⅱ 研究活動			<u> </u>		1				
著書・論文等の 名 称				著・ 著の別	発行または 年月(西暦で			所、発表雑詞 号数)等の2	
(論文)エノキタケ抽出物および含有脂肪酸複合 体の内臓脂肪減少作用:Tsumura-Suzuki Obese Diabetes (TSOD)マウスを用いて			#	共著	平成21年		応用薬理	77 (3/4) , 1	01–106
(論文) In Vitro Physicochemical Properties of Neutral Aqueous Solutions (Water Products as Drinks) Containing Hydrogen Gas, 2- carboxyethyl Germanium Sesquioxide, and Platinum Nanocolloid, as Additives			÷	共著	平成22年		J of Heal 56(2),167		
(論文) エノキタケ抽出物含有成分である複合脂肪酸のメタボリック症候群モデルマウス (TSOD) ならびに対照マウス (TSNO) における体内動態の比較			ŧ	共著	平成22年		応用薬理	78 (1/2) , 2	1–26
(論文) エノキタケ抽出物含有脂肪酸混合物の生物学的利用能(第2報) - ヒトでの吸収ならびに血中動態の検討 -			‡	共著	平成23年		応用薬理	81 (1/2), 5	-10
(論文) Puerariae flos alleviates metabolic diseases in Western diet-loaded, spontaneously obese type 2 diabetic model mice			†	共著	平成24年		J Nat. me	d. 66 (4), 6	22–630
Ⅲ 学会等および社会に		 に活動							
平成20年4月~平成21:	平成20年4月~平成21年3月 日本分析化学会関			3 若手0	)会役員				
			_						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「 I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

# (基礎資料15-76) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学 講座名 薬剤学分野	職名 助教	氏名 岩瀬 晴信				
I 教育活動	ļ					
教育実践上の主な業績	年 月 日	概要				
1 教育内容・方法の工夫	平成18年~現在	薬剤系実習(旧 薬剤学実習):薬剤系 C11(1)(2)(3)、C12(2)およびC2(3)などを含む実 習				
(授業評価等を含む)	平成18年~平成20年 平成21年~23年	基幹実習(医療薬学)(医療薬学実習Ⅱ)実務 実務系実習				
	平成21年~現在 平成21年~現在 平成23年~現在	実務実習プレ教育 薬学総合演習 I、Ⅱ (4年~6年次):薬剤系 C11(2)およびC11(3)を中心に演習形式で、講義 薬学総合実習(PBL):A(2)(3)などを含む実習				
2 作成した教科書、教材、参考書	平成18年~現在	薬剤系実習(旧 薬剤学実習)実習書				
	平成18年~平成20年 平成21年~23年 平成21年~22年 平成21年~現在	医療薬学 II 実習 実習書 実務系実習 実習書 プレ教育 演習プリント 薬剤関連・演習プリント (4年~6年次)				
	平成20年7月20日~21	第2回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショッ				
	日 平成21年5月24日	プin栃木参加(受講) SP参加型演習を上手に運営するファシリテー ター養成コース(受講)				
4 その他教育活動上特記すべき事項	平成19年~22年	実務実習訪問指導(4年制4年次、6年制5年 次):実務実習先の病院・薬局へ出向いての訪問指導				
(FDを含む)	平成19年~現在	OSCE委員会:OSCE運営として準備・実施を行っ ている。				
	平成19年~現在	SP養成: OSCEにおける模擬患者育成を行っている。				
	平成20年~現在平成21年~現在	早期体験実習:1年次の体験実習として、企業・施設等への引率 学生委員会:学生生活(学習、生活習慣、課外活動など)支援担当				
	平成24年~現在	中央機器委員会:中央機器室内の機器管理等を 行っている。				
	平成24年~現在	卒延生ワーキンググループ				
Ⅱ 研究活動	1	<u>I</u>				
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可) 発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称				
(論文) Enhanced platelet responsiveness due to chilling and its relation to CD40 ligand level and platelet-leukocyte aggregate formation	共著	平成21年4月 Blood Coagulation and Fibrinolysis, 2009, 20: 176-184				
Ⅲ 学会等および社会における主な活動						
<u> </u>						

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。

### (基礎資料15-77) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧						
大学名 日本薬科大学	講座名 健康生命科学分野	職名 助教	氏名    浦	丸 直人		
I 教育活動	•					
教育実践	<b>上の主な業績</b>	年 月 日	概要			
1 教育内容・方法 む)	の工夫(授業評価等を含	平成18年~19年	健康薬学実習 I : 生物系C9(3), C10(2)、衛生系C11(1)(2)(3)、物理系C2(2)(3)などを含む実習			
		平成18年~19年		系C8(4), C10(3)、衛生系		
		平成20年~現在	衛生系実習 I : 生物 C12(1)などを含む実	系C8(4), C10(3)、衛生系  翌		
		平成20年~現在		:系C11(1)(2)(3), C12(2)、物		
		平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ	(4年〜6年次):衛生系 寅習形式で、講義の復習や問題		
2 作成した教科書	、教材、参考書	平成19年~20年	健康薬学実習 I 実習書			
		平成19年~20年	  衛生化学実習実習書 	:		
		平成21年~現在	衛生系実習 I 実習書	:		
			衛生系実習Ⅱ実習書			
		平成20年~現在	薬学総合演習Ⅰ、Ⅱ演習プリント			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		平成20年11月23日 ~24日	第4回茨城県認定実界 ショップ参加(受講	務実習指導薬剤師養成ワーク :)		
4 その他教育活動上特記すべき事項(FDを含む		平成22年~現在	実務実習訪問指導:実務実習先の病院・薬局へ出 向いての訪問指導			
Ⅱ 研究活動						
著書 名	・論文等の 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称		
(著書) Thyroid hormonal and estrogenic activities of hydroxylated PCB and brominated flame retardant in cell culture.		共著		Persistent Organic Pollutants (POPs) Research in Asia ed. Masatoshi Morita, 318 - 313.		
(論文) Affinity for thyroid hormonal and estrogen receptors of hydroxylated polybrominated diphenyl ethers.		共著		J. Health Sci., vol.54, No.5, 607 - 614.		
(論文) Nuclear hormone receptor activity of polybrominated diphenyl ethers and their hydroxylated and methoxylated metabolites in transactivation assays using chinese hamster ovary cells.		共著	平成21 (2009) 年7月	Environ. Health Perspect., vol.117, No.8, 1210 - 1218.		
(論文) Design, synt pharmacological acti pyrazolone-type anti	vity of nonallergenic	共著		J. Med. Chem., vol.53, No.24, 8727 - 8733.		
(論文) Effects of polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) and their derivatives on protein disulfide isomerase activity and growth hormone release of GH3 cells.		共著	平成24(2012)年1月	Chem. Res. Toxicol., vol.25, No.3, 656 - 663.		
Ⅲ 学会等および社会	における主な活動 					

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
  - 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
  - 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
  - 4 「Ⅱ 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5報を記入してください。
  - 5 「Ⅲ 学会等および社会活動」は、就任年月日順に記入してください。